

新越谷の潜水艦少女

東方魔術師

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

中学時代のトラウマから逃げる様に新越谷に来たサブマリン少女。

サブマリン少女は、中学時代のトラウマを克服しヨミ達と一緒に頂点を目指すのを決意する。

目次

ブルペン投球（キヤラ紹介等）	
ある野球少女のスカウトレポート。	
1	
投球練習1球目：地元中華料理店看板娘の調査報告書。	7
投球練習2球目：吹奏楽少女の調査報告書	13
投球練習3球目：老舗和菓子店双子姉妹の調査報告書	19
投球練習4球目：川原光先輩の妹ちゃん緊急調査報告書	33
☆相互本編コラボ記念：オリ学校・関係者紹介①☆	39
☆相互コラボ本編記念②：オリキヤラ紹介2年生編☆	46
☆相互コラボ本編記念③：1年生内野手編part1☆	70
☆相互コラボ本編記念④：1年生内野手編②+コラボキヤラ紹介☆	95
☆相互コラボ本編記念⑤：オリキヤラ外野手編☆	115
☆コラボ記念：不思議な特別パーティー☆（序章）	133
☆コラボ記念 不思議なパーティー（1章：出題編）	144

試合前投球練習（序章）

1 球目：星歌の過去と未来へ — 168

2 球目：友達 — 172

3 球目：キャッチボールと魔球!?

183

4 球目：ノック、そして先輩達来訪。

194

5 球目：岡田先輩との各1打席勝負!

— 211

6 球目：博多弁娘と剣道娘と幼馴染（前

編） — 232

7 球目：博多弁娘と剣道娘と幼馴染み

（後編） — 256

1 回表裏（本編1章）

8 球目：練習、告白そして監督就任!

270

9 球目：対柳大附属川越高戦①（プレイ

ボール前） — 289

10 球目：対柳大附属川越高戦②（1回

〜3回終了迄） — 308

11 球目：対柳大附属川越戦③「4回〜

5回」 — 348

12 球目：対柳大附属川越高戦④（6回

〜最終回） — 390

（番外編）9・5球目〜12球目☆佐倉

姉妹達の観戦記録☆ — 405

て

13球目：新たな部員と初合宿に向け

425

14球目：特訓開始！

434

15球目：まだまだ特訓！

458

16球目：大鷲・藤和・そして湾星。

468

17球目：対横浜大学付属湾星高戦①

480

18球目：対横浜大学付属湾星高戦②

492

19球目：対横浜大学付属湾星高戦③

519

20球目：対横浜大学付属湾星高戦④

21球目：横浜大学付属湾星校戦⑤

545

561

22球目：対横浜大学付属湾星高戦⑥

588

23球目：対横浜大学付属湾星高戦⑦

605

24球目：対横浜大学付属湾星高戦⑧

615

ブルペン投球（キャラ紹介等）

ある野球少女のスカウトレポート。

1年生時

名前：渡辺星歌「わたなべせいか」

イメージCV：洲崎綾さん。

性別：女子

高1

15歳

背番号：11↓13 [夏大会以降]

身長：153 cm

体重：?? kg

胸：貧乳「まないた」

誕生日：3月31日

利き手：右利き

好きな動物：イルカ

得意教科：現代文・社会（世界史）

苦手教科：古典・数学・英語

クラス：1-1-2

性格：友達思い

髪型：黒髪のお団子頭

趣味：野球観戦、お城巡り。

一人称：名前呼び、目上の人には私。

出身中学：星神大附属中学

進学理由：制服の可愛さとトラウマから逃げる為。

憧れ選手：渡辺俊投手

大事にしてる目標：1球1球丁寧にそしてチームの勝利の為に頑張る。

希望した理由は、サブマリンの切欠を作ってくれた渡辺俊介投手が「31番」を着用しており。

その数字を逆にした形。

中学時のポジション：投手兼内野手兼外野手。

サブポジ：一塁手「C」・三塁手「D」・左翼手「C」、右翼手「D」

GW合宿以降のポジションは・・・。

投手兼外野手

サブポジ：左翼「C」・右翼「D」

投法：アンダースロー

右投右打

持ち球

ストレートの

スライダー・2

カーブ・3

スローシンカー・2

高速シンカー・3

オリジナル「フォーク」・4

スタミナ：C

コントロール：C

投手所持スキル

プラススキル

キレ○「C」、クイック○「C」、牽制○、リリース○

高速チャージ「野手能力と併用」・ベースカバー○

マイナスキル

負け運、寸前、乱調

青赤両方スキル

ポーカーフェイス

野手所持スキル

高速チャージ「投手と併用」、流し打ち、粘り打ち、ヘッドスライディング、対左D・

対チャンスD

選手スタイル

変化球中心・慎重守備、反応打ち

野手能力

ミート：D

パワー：D

走力：D

肩：C

守：C

備考

名前の星歌の命名理由は、両親が共に野球が好きで両親が応援してるチーム「横浜DeNAと千葉ロッテ」が勝った際に球団歌を娘共に歌いたいから。

星歌自身も野球が好きで、観戦もプレイもするのが好き。

応援してるチームは、両親の影響から、セリーグは横浜DeNA、パリーグは千葉ロッテ。

投手で、サブマリンス少女をなつた切欠は元千葉ロッテ所属ミスターサブマリントン渡辺俊介投手を知りファンになってから。

※選手モデルは元千葉ロッテのミスターサブマリントン渡辺俊介投手。

内部進学をせずに新越谷を受験し、入学した少女。

中学時代に在籍した野球部は、部員数も多くかつ監督が勝利優先主義だった。

それにより、練習試合・紅白戦等で結果を出さないと2軍行か強制退部を命じられる為。

2軍行、または強制退部の恐怖・他の子との比較によるプレッシャー・焦りが嫌になり内部進学を辞めた。

中1〜中2の途中迄はプレッシャーも無く楽しくチームメイトとプレイしていたが、それ以降はプレッシャーと焦り等を感じ楽しくプレイをしなくなった。

新越谷に入学してからは、運命の巡り合わせか武田詠深、川口息吹&川口芳乃双子姉妹達と同じクラスになり、後の一緒にしたキャッチボールから再び楽しく野球をプレイしようと思いつく。

*嫉妬状態になると、球速・コントロール・変化球のキレがUPしスタミナ消費量が多くなる。

更には、捕手のサインを無視しがちになり自分自身で投げたい球を投げだしボール返球を急かす。

投球練習1球目：地元中華料理店看板娘の調査報告書。

オリキャラ1人目の説明書。

志木蓮華「しきれんか」

イメージCV：東山奈央さん

1年生時プロフィール。

高1

15歳

背番号：12番

性別：女子

性格：元氣一杯で努力家

利き手：右利き

誕生日：3月22日

好きな動物：小鳥

身長：146cm

体重：マル秘

胸：A

容姿：薄桃色の髪で、ショートカット。

※志木一族の血筋で、女の子の髪が薄桃色になりやすい。

出身チーム：美南ガールズ

高1「新越谷高校」

クラス：1-6

得意教科：家庭科・社会（世界史）

苦手教科：数学・音楽

部活：新生新越谷野球部

趣味：野球観戦・料理。

進学理由：制服の可愛さと、母親がOGで野球部埼玉4強の話を良く聞いて興味を抱いたから。

憧れ選手：松井稼内野手

大事にしてる目標（言葉）：チームの為・投手の為黒子に徹する。

一人称：自分、

他人称：さん付け呼び、但し星歌だけには呼び捨て。

右投両打

打法フォーム：松井稼選手

ポジション：捕手兼外野手

ポジション別能力

捕手「B」、左翼手「C」、中堅手「B」、右翼手「C」

基本能力

ミート：B

パワー：B

走力：B

肩：B

守備：B

スローイング：B

捕球：E

所持スキル

青

チャンスメーカー

広角打法

内安○

走塁B

盗塁B

対チャンスC

対左C

バント○

ヘッドスライディング

粘り打ち

流し打ち

ムード○

赤スキル

エラー

怪我しやすいE

緑スキル

チームプレイ・読み打ち、積極的走塁・積極的盗塁・積極的守備・バランス型配球。

備考

渡辺星歌とは、同じ小学校出身で尚且つ中学に入学する迄に同じ少年少女野球チームと一緒に在籍した事がある幼馴染みである。

実家が、地元の人達に人気の中華料理店「銀河亭」でその看板娘。

志木家と渡辺家が近所同士で、両家仲良く交流しており。

星歌が、私立の星神大附属中学・蓮華が別の市立桜花中に進んでからは二人で遊ぶ事が少なくなり。

お互いに中学で新たに出来た友人達と遊ぶ事が増える。

但し、スマホを使つての電話やLINE等で交流は続けているが星歌が新越谷を受験し合格してた事は知らされていなかった。「お互いの両親は把握済」

中学時代は、山崎珠姫と同じ名門美南ガールズに在籍。

山崎珠姫と正捕手争いをするが、捕球への自信のなさから捕逸阻止・暴投阻止成功率が低く逆に打撃と走力に自信あった為外野へとコンバートされる。

外野守備は、左中間・右中間のライナー性飛球や内野手との間に落ちそうな飛球に成功・失敗問わず飛び込む癖がありその分怪我が多い。

捕手時は、相手打者の雰囲気・データを加味しつつ投手の持ち球をバランス良く配球するタイプ。

苦手打者タイプは、天才型打者や悪球打ちをする人。

苦手投手タイプは、長身投手「左右問わず」

新越谷野球部へ加入した切欠は、入学式の日に乗った電車の車両に幼馴染みの渡辺星歌らしき人物「本人」を見かけて密かに行動をチェックしてたから。

※146cmと山崎珠姫選手より身長が低く、低身長をネタにした冗談や馬鹿にした言葉を聞いた瞬間から口調が変わる。

普段はコンタクトで、家ではメガネを使用。

*柳大川越の大島留々とは、美南ガールズ対古谷ガールズで対戦したときに会話した共通の趣味や共通の友人を通じて友達・親友関係になる。

投球練習2球目：吹奏楽少女の調査報告書

秋津奏「あきつかなで」

15歳

高1

性別：女子

性格：優しい。

誕生日：2月25日

身長：149cm

体重：秘密

胸：C

利き腕：左利き

一人称：私

他人称：～さん、～先輩。

高校：新越谷

クラス：1-2

部活：吹奏楽

担当楽器：トランペット。

趣味：演劇・音楽鑑賞、野球観戦。

出身中：風見中

容姿：水色髪のサイドテール。

得意教科：社会（世界史）・音楽

苦手教科：英語・数学

好きな動物：ハムスター

好きな食べ物：サンドイッチ・おにぎり等手軽に食べれる物系。

進学理由：制服の可愛さと、上級生に姉がいるから。

備考：音楽と野球好き一家生まれの妹で、姉は吹奏楽の副部長。

トランペットを担当楽器に選んだ理由は、父がプロ野球の施設応援団でトランペットを・母がオーストラに所属で同じくトランペットを担当しているから。

中学迄は、地元中学の風見中で吹奏楽を野球は少年少女クラブチームでプレイした経験がある。

クラブチームのポジションは投手兼外野手。

怪我をしやすく、野球は中学で断念したが野球への想いが捨てきれず野球に携われる部活がしたい為吹奏楽部を選ぶ。

クラスは、主人公の渡辺星歌・川口芳乃・川口息吹・武田深詠（ヨミ）と同じクラスで。

ヨミ達と仲良くなった切欠は、調理実習で一緒の班になった事。

停部中の野球部が活動再開したと聞き、一人でも応援出来ないかなと思い。

現在有名・マイナーの応援曲を練習に加えてオリジナルのヨミ達選手個別応援曲を副部長の姉の指導の元作成中。

早く吹奏楽部全員で野球部の応援をしたくてウズウズしている、野球部の初練習試合になった柳大川越戦時は自主練中にちよくちよくグラウンド近く迄来て観戦していた。

更には夏大会の影森戦から個人的に応援しに行きたかったが、練習や家の用事等で行けず。

〈中学迄の選手能力表〉

左投左打ち

投手編

スタミナ：E

コントロール：B

持ち球

ストレート

スライダー：3

チェンジアップ：2

カーブ：4

スクリュー（シンカー）：3

く野手編く

ミート：D

パワー：F

走力：A

肩力：B

スローイング：C

守：B

捕球：C

ポジション：外野手

中堅「B」・右翼「B」

クラブチームで投手起用時、はスタミナがそんなに無い点と。

奏本人が先発より中継ぎを希望した事もあり

対左へのワンポイント等で登板。

タイプは、技巧派。

野手で起用時は、主に代走・守備固め。

所持スキル

投手編

対ピンチC

対ランナーC

牽制○

対左打者B

クイック○

打球反応○

野手編

内安○

粘り打ち○

走塁 B

盗塁 B

バント○

ムード○

赤スキル

一発病

怪我しやすい

緑スキル

変化球中心・慎重守備・反応打ち・積極的盗塁。

投球フォームは、元 S B ↓ 巨の森福投手。

打撃フォームは、元 T の赤星外野手。

隠れポンコツとの噂もあり、更には迷子癖・苦勞人・特定の食べ物が好きとの噂も

投球練習3球目：老舗和菓子店双子姉妹の調査報告書

オリキャラ3人目の紹介になります。

佐倉陽奈「さくらひな」

イメージCV：伊藤静さん。

1年生時プロフィール。

高1

15歳

背番号：14番

性別：女子

身長：156cm

体重：秘密よ？

利き手：右

性格：大人しくて妹想い（隠れシスコン）。

胸：貧乳

誕生日：3／20

出身チーム：古谷ガールズ

進学理由：家からの近さ。

高校：新越谷

クラス：1-1

好きな食べ物：和菓子・ファーストフード。

趣味：某企業のお菓子シール等の収集。

好きな動物：鳩

一人称：私

他人称：～さん・先輩等。

妹への呼び方：日葵

容姿：緑髪のショートカット

部活：帰宅部↓野球部

得意科目：家庭科・古典

不得意科目：英語・科学

憧れ選手：小坂内野手

大事にしてる目標（言葉）：努力は裏切らないそして、日葵といつまでも仲良くプレイしたい。

ポジション：遊／二／中／（三）

○ のは、新たに獲得したサブポジションです。

～野手能力～

右投げ左打

ミート：D

パワー：E

走力：A

肩力：A

スローイング：B

捕球：A

守備：A

守備適性

遊 [A]

二 [B]

中 [C]

※三 [D]

※は、GW合宿中に新たに獲得したサブボジです。

所持スキル

盗塁 B

走塁 B

送球 B

粘り打ち

回復 B

バント ○

守備職人

内安 ○

逆シングル

グラブトス

中継プレイ ○

チーム ○

赤スキル

対左投手E

対チャンスE

緑スキル

慎重打撃

積極的走塁

積極的守備

積極的盗塁

備考：埼玉にある老舗和菓子店の看板双子姉妹の姉の方。

野球をやる際は眼鏡を着用し、オフの際は眼鏡なし。

妹も野球少女で、ポジションは二塁手兼一塁手。

昔は、二人でキャッチボールや併殺ごっこ等して遊んだ経験あり。

今でも姉妹間の仲は良く、一緒に買い物・店番等する姿を良く目撃されている。

古谷ガールズ在籍時に、チームメイトの大島留々から一緒に柳大川越に受験しないかと誘われたがやんわりと拒否している。

古谷ガールズ時に、遊・二以外に走力・守備力を活かす為に外野守備（中堅手）にも挑戦。

更には、打撃には課題があるが佐倉陽奈の走力・守備力を目当てに梁幽館・美園学院・咲桜高校等からスカウトが来て勧誘合戦に。

特に熱心にスカウトしき来たのが、梁幽館・美園学院・咲桜高校の3校。

咲桜高校は、田辺由比の後釜兼ライバル役として。

美園学院は、妹とダブル獲得を狙い話題性をアピールしたい。

梁幽館は、代走・守備固め専門要員として。

まず最初にスカウト御断りの挨拶をしたのは、梁幽館。

理由は、試合に出る以上スタメンで出場したいのと寮生活に難色を。

2番目に御断りの挨拶をしたのは咲桜高校。

理由は、埼玉県NO1遊撃手の田辺由比さんの後釜やライバル役に不安を感じた為。

最後が美園学院で、姉妹揃つてのプレイに憧れたがイメージキャラクターになりたくなくしてお断りを。

山崎珠姫 & 志木蓮華がいた美南ガールズとも対戦経験があり、盗塁対決は5勝4敗1分で佐倉陽奈が勝っている。

ヨミ達が勧誘してた頃は、家族の都合で休んでおり遭遇していない。

妹の日葵の事になると妹バカ（シスコン）になる。

無意識だが妹とスタメン時はやる気大UP

妹がベンチや、両者がベンチスタートだとやる気が微妙にdown。

野球部に入った切欠は、柳大川越との練習試合を見て活動再開を知ったから。

4人目キャラ紹介

佐倉日葵（さくらひまり）

イメージJCV：佐倉綾音さん。

1年生時プロフィール

高1

15歳

背番号：13番

性別：女子

身長：155cm

体重：見たら有罪！

利き手：右

性格：素直で明るく、陽奈大好きっ娘（シスコン宣言してます）

胸：貧乳

誕生日：3/20

出身チーム：古谷ガールズ

進学理由：陽奈お姉ちゃんと同じ学校に行きたいからと、制服が可愛いから。

高校：新越谷

クラス：1-1

好きな食べ物：ファーストフード、洋菓子

趣味：お菓子作り、利きポテト

好きな動物：フクロウ

一人称：名前呼び

他人称：く先輩・くちゃん等

姉（陽奈）への呼び方：陽奈お姉ちゃん。

容姿：緑髪のツーサイドアップ、星型のヘアピンで止めている。

部活：帰宅部↓野球部

得意科目：家庭科・現代史（世界史）

苦手科目：英語

憧れ選手：陽奈お姉ちゃん！

大事にしてる目標（言葉）：みんなと楽しく野球をプレイする事。そして陽奈お姉ちゃんといつまでも楽しくプレイしたい！

ポジション：二ノ一ノ（遊）ノ（投）

○のポジションは、新たに獲得したサブポジションになります。

く野手能力く

右投右打

ミート：A

パワー：B

走力：A

肩力：C

スローイング：D

捕球：E

守備：B

〱 投手能力〱

スタミナ：E

コントロール：B

持ち球

ストレート

スライダー：3

カーブ：2

フォーク：4

チェンジアップ：4

守備適性

二塁「B」

一塁「C」

※遊撃〔B〕

※投手〔D〕

※のポジションは、GW合宿で新たに獲得したサブポジ。

野手所持スキル

盗塁B

走塁B

流し打ち○

内安○

対チャンスB

対左投手B

固め打ち○

すくい捕り

逆シンブル

グラブトス

中継プレイ○

赤スキル

エラー

悪球打ち

野手緑スキル

積極的打撃

積極的走塁

積極的盗塁

調子極端

く投手所持スキルく

対ピンチC

クイックC

キレ〇「C」

奪三振

リリース〇

対強打者〇

打たれ強さC

回復B

牽制○

赤スキル

一発病

力配分

緑スキル

変化球中心

テンプ○

備考

佐倉陽奈の双子の妹。

双子間の仲は良く、二人で練習したり店番をしている。

シスコン属性持ちで、試合に姉が出るか出ないかでやる気が変わる。

隠された特技に声真似がある。

度々双子で入れ替わりしたりして、遊んでいる。

古谷ガールズ時代は、姉と同じく大島留々と仲が良く柳大川越と一緒に受験しないか

と誘われるがきっぱりと拒否をしている。

美南ガールズと対戦した際は、盗塁対決は5勝5敗のイーブン。

姉と同じく、梁幽館・美園学院・咲桜高校からスカウトを受けるも姉の陽菜が断った事を知るとスカウトを拒否をしている。

古谷ガールズ時代の評価は、打の佐倉日葵、守の佐倉陽奈と。

ヨミ達が勧誘してた頃は、姉の陽菜と同じく家族の都合で休んでて遭遇していない。野球部に入った切欠は、陽奈お姉ちゃんが誘ったから。

※投手として、登板した際は性格が変わるとの噂・・・。

投球練習4球目：川原光先輩の妹ちゃん緊急調査報告書

〈緊急調査報告書〉

名前：川原湊（かわはらみなと）

イメーჯCV：水瀬いのりさん。

☆「1年生時ステータス」☆

高1（新越谷）

年齢：15歳

性別：女子

クラス：1-1

身長：155cm

体重：女の子に体重を聞くなんてエツチ！

誕生日：10/26

胸：B

性格：ポジティブで仲間想い。

趣味：野球観戦・打撃フォームの研究・データ収集・お菓子作り等

出身チーム：蒲生中

好きな食べ物：ファーストフード・お菓子全般等

進学理由：姉の川原光が2年生で在籍してるから。

容姿：銀髪のショートヘア

好きな動物：インコ

部活：帰宅部↓野球部

好きな教科：音楽・家庭科等

嫌いな教科：英語・数学等

憧れの選手：打・走・守三拍子揃った選手の人達

大事にしてる目標（言葉）：チームプレイを大事に、そして一球一球を無駄にせず
に好球必打！

一人称：私

他人称：くさん・く先輩

姉への呼び方：お姉ちゃん

く選手情報く

右投左打

背番号：15番「夏大会以降↓16番予定」

打撃フォーム：振り子打法

ミート：A

パワー：C

走力：C

肩力：A

スローイング：E

捕球：D

守備：B

ポジション

捕手／遊撃／三塁／左翼／右翼

守備適性

捕手「B」

遊撃「B」

三塁「B」

左翼「C」

右翼「D」

く所持スキルく
対チャンスB
固め打ち
広角打法
アベレージヒッター
内安○
粘り打ち○
対エース○
対変化球○
ムード○
走塁B
怪我しにくさE
送球E
併殺×
捕手E
選球眼

反応打ち

バランス型配球

備考

2年生の川原光の妹で、野球少女。

先に野球部に入部してる佐倉陽奈・日葵姉妹とはクラスメイトでもあり、中学時代の同級生。

野球部に途中入部（加入）を決めた理由は、佐倉姉妹から途中からでも良いから一緒にやらない？と勧誘されたのと。

なかなか野球部へ途中入部（加入）へと決意出来てない姉の光を煽り、姉と一緒に夏大会を経験したいので夏大会迄に入部させようと計画した為。

小倉ガールズに在籍時に、珠姫・蓮華達の美南ガールズ・佐倉姉妹達の古谷ガールズ等と対戦経験があり梁幽館・柳大川越と言った高校の面々に存在は認知されている。

小倉ガールズに最初に入部した際は、遊撃手からスタートし肩の強さを見込まれ遊撃手↓捕手↓三塁手↓左翼手↓右翼手と経験している。

捕手として出場した際、チームが負けると負けた敗因は自身の配球のせいだと抱え込

む癖がある。

趣味で作ったお菓子をヨミ達野球部の面々に差し入れをし、同じお菓子作りが趣味で得意な日葵とは良きライバル関係にある。

陽菜・日葵の両名から、姉妹百合同盟に加入しないか密かに打診をされており悩んでいる。

※湊はヨミ達が野球部メンバーを勧誘時には、芳乃の極秘ノートにリストアップされていたが勧誘の返事を保留している。

保留理由は、お姉ちゃん（光）次第で入るか決めるからもう少し待つて欲しいと。

くサンプルボイスく

「川原湊です、途中加入ですがよろしく願います。」

「お菓子作って来ました、良ければみんなさん食べて下さい」

「お姉ちゃん、何か切欠さえあれば入部してくれるはず」

☆相互本編コラボ記念：オリ学校・関係者紹介①☆

〈学校名〉

私立聖愛舞浜女子学院

〈所在〉

千葉県

〈学風〉

中高一貫校で、キリスト教の学院。

外部からの編入学も行われており、生徒の何割かは外部生。

元お嬢様系の学校の歴史から、少数派ながらお嬢様な生徒も稀に入学している。

生徒会の権力は強め（ガルパンの生徒会をイメージ）

様々な科・コースがあり、生徒数は年々増加傾向。

学生寮が完備されており、原則的學生寮で學生生活を過ごす（例外もあり）

〈硬式野球部〉

10年前程までは、ベスト4入りする実力のある強豪校だったが・・・。
ここ最近は、低迷気味。

現在は、1年生・2年生合わせて16名が在籍。

↳①監督及びマネージャー紹介↳

①三木雛（みつきひな）

イメーজICV：堀江由衣さん

関係者名鑑

地位：新人教師兼野球部監督

一人称：私

年齢：23歳

誕生日：3月7日

身長：152cm

出身中：聖愛舞浜女子学院中等部↓聖愛舞浜女子学院高等部↓聖愛女子大

好きな動物：ハムスター

趣味：バツティングセンター通い

赴任理由：母校が好きだからと後は現生徒会会長のラブコール（脅迫？）：・との噂等。

担当教科：保健体育

二つ名：天真爛漫ルーキー監督

（説明）

今年度から、聖愛舞浜女子学院高等部の保健体育兼硬式野球部の新たな監督として赴任。

本校の卒業生（OG）でもあり、かつて野球部に在籍。

野球部では、左投の救援投手として活躍したとの記録あり。

②倉野愛衣（くらのめい）

イメージC.V：中原麻衣さん

関係者図鑑

地位：マネージャーチーフ（暫定）

一人称：名前呼び

学年：2年生

年齢：16歳

誕生日：1月2日

身長：153cm

出身中：京葉ガールズ

好きな動物：猫

趣味：料理（本当はダラダラする事）

進学理由：通学範囲（寮で疑似1人暮らしが出来るかと思ったから）。

※委員会：保健委員

二つ名：ポンコツお姉ちゃん

〈説明〉

お団子頭が特徴な少女で、暫定ながらマネージャーチーフを任されてる者。

サボリ癖があるものの、ぶつぶつと文句を言いながら任された仕事はこなす少女。

今年度入学してきた1年生の中に妹（愛衣視点では監視者）がいる。

口癖は「かつたるいよ〜」

普段の学生生活では、優等生（猫かぶり）を周りに披露しているが仲の良い友人にはもろバレである。

部活では主に練習補佐を担当。

③倉野優衣（くらのゆい）

イメージC V：高垣彩陽さん

関係者図鑑

地位：マネージャー補佐

一人称：私

学年：1年生

年齢：15歳

誕生日：6月17日

身長：158cm

出身中：京葉ガールズ

好きな動物：猫

趣味：料理・掃除

進学理由：お姉ちゃんが心配で・・・。

※委員会：風紀委員

二つ名：未来の風紀委員長候補

〈説明〉

倉野愛衣の妹の方。

姉の愛衣と違ってしつかり者のちやんな妹。

ガールズでは姉妹で名バツテリー結成。

選手として倉野優衣を復帰させるには、姉の愛衣がカギとの認識。

姉がサボリ癖を発動し、仕事を放棄等した際はチームメイトに頭をペコペコと下げて

謝罪後に・・・。

素晴らしい笑顔（目が笑ってない）をして姉を搜索後にO・H A・N A・S H Iをしてるのをよく目撃されている。

口癖は「お姉ちゃんは何処かな？フッフ」

第②弾は、2年生の部員を紹介します。

続く。

☆相互コラボ本編記念②：オリキャラ紹介2年生編☆

〈部員紹介〉

①：河野杏（かわのあんず）

イメーჯCV：福園美里さん

地位：生徒会会長兼野球部主将

一人称：私

学年：2年生

年齢：16歳

投打：右投両打

背番号：2番

誕生日：4月27日

身長：156cm

出身中：福姫ガールズ

好きな動物：インコ

趣味：釣り・情報収集・交渉

進学理由：スカウト

二つ名：聖女に君臨する魔女・聖女の支配者等

メインポジ：捕手

サブポジ：投手

選手能力

打撃フォーム：スタンダード21

弾道：3

ミート：A

パワー：B

走力：C

スローイング：A

肩力：S

捕球：B

ポジ別守備適性

捕手「A」

投手「B」

投手適性

先発：◎

中継：○

抑え：○

投手能力

フォーム：オーバースロー131

スタミナ：A

コントロール：B

球種

ストレート

カットボール：2

スライダー：4

Dカーブ：5

S F F : 5

高速シュート : 2

野手所持スキル

球界の頭脳

精神的支柱

司令塔 (アプリから)

対チャンスB

対左腕B

球界の頭脳

精神的支柱

鉄の壁

ミラクルボイス (アプリ)

バズーカ送球

シュートバウンド捕球○

送球A

流し打ち

逆境○

守備職人

調子安定

投手所持スキル

形勢逆転（アプリから）

驚異の切れ味

ドクターK

ギアチェンジ

変幻自在

要所○（アプリから）

対左打者C

打たれ強さC

クイックC

逃げ球

リリース○

球速安定○

闘志

ベースカバー○

シュート回転×

くプレイ時思考く

積極的走塁

く備考く

スカウトによつて外部入学（スポーツ特待生）で聖愛舞浜女子学院に。

直々にスカウトしてくれた前の生徒会長の恩に応える為に1年生からレギュラーを取り奮闘するも夏・秋ともに結果を出せず。

同じ福姫ガールズから入学の阿部燕は中学からの友達。

上級生・同級生・下級生からは、会長・GM等呼ばれている。

たまにちよつぴり見せる横暴な面を持ちつつも、学院内の評判・人望は高め。

※外部からの評判は五部五部

土日は、趣味の釣りをしたり仕事（生徒会）として全国の有望な選手の噂を聞いてスカウト活動を自ら行う。

河野杏のスカウト（交渉・脅迫？）により、今年度は7名の選手を獲得（入学）に成功している。

自身の後継者探しと育成にも力を入れている。

新しく教師として、そして監督として登用（赴任）の三木雛への交渉が苦労したとの事。

副会長の阿部燕・そして同じ2年生の柏姉妹とは大の親友。

く芳乃評く

投打共にチームの精神的支柱な存在の選手。

唯一惜しまれるのは、捕手と投手を兼任してる点位。

②阿部燕（あべつばめ）

イメージCV：高橋美佳子さん

地位：生徒会副会長兼副主将兼親友の一人

一人称：私

学年：2年生

年齢：16歳

投打：右投右打

背番号：3番

誕生日：10月8日

身長：156cm

出身中：福姫ガールズ

好きな動物：つばめ

趣味：釣り・アイススケート・情報整理等

進学理由：スカウト

二つ名：聖愛の女神・会長の絶対的右腕等

メインポジ：一塁

サブポジ：三塁

選手能力

打撃フォーム：スタンダード1

弾道3

ミート：B

パワー：B

走力：C

スローイング：D

肩力：C

捕球：B

ポジ別守備適性

一「B」

三「B」

野手所持スキル

リベンジ（アプリから）

盗塁アシスト（アプリから）

対チャンスB

対左腕B

広角砲

精神的支柱

代打の女神様

固め打ち

満塁女

すくい捕り

逆境○

高速バントチャージ

逆シングル

併殺×

選球眼○

くプレイ時思考く

積極的走塁

く備考く

会長の河野杏と同じ福姫ガールズ出身でかつ中学からの親友。杏と一緒にスカウトで入学出来た嬉しさを今でも覚えてる。会長の影響から、自身も同級生等から副長と呼ばれている。

杏が仕事で不在時は、代行で学院内の生徒会での仕事や野球部の活動を支えている。キレた時が野球部内で1位を争う程怖いとの噂。

く芳乃評く

普段は聖愛の女神（聖母）とも評される程の優しい人で。

親友であるあの河野杏会長さんが唯一頭が上がらないとの噂がある程・・・。
試合となるとスイッチが入り、頼りになる主砲の一人へと華麗に変身する。

③柏麻衣（かしわまい）

イメージCV：大西沙織さん

地位：生徒会役員兼風紀委員兼現左腕エース

一人称：私

学年：2年生

年齢：16歳

投打：左投左打

背番号：10番

誕生日：8月6日

身長：156cm

出身中：聖愛舞浜女子学院中等部

好きな動物：子犬

趣味：アニメ鑑賞・野球観戦等

進学理由：内部進学等・・・。

二つ名：聖愛の守護神

メインポジ：投手

サブ：外野兼一塁

選手能力

打撃フォーム：スタンダード90

弾道3

ミート：B

パワー：B

走力：B

スローイング：B

肩力：D
捕球：C

ポジ別守備適性

投手「C」

左翼「B」

中堅「C」

右翼「D」

一塁「C」

投手能力

投球フォーム：スリークォーター71

スタミナ：B

コントロール：A

投手適性

先発：◎

中継：○

抑え：△

球種

ストレート

スライダー：4

カットボール：3

カーブ：6

チェンジアップ：2

野手所持スキル

安打製造機

メツタ打ち

芸術的流し打ち

内安○

逆境○

バント○

粘り打ち○

走塁B

送球 B

怪我しにくさ B

対左腕 C

すくい捕り

盗塁 F (赤)

選球眼 ○

ムード ○

投手時所持スキル

形勢逆転 (アプリから)

ドクター K

変幻自在

ド根性

緊急登板 ○

ノビ B

打球反応 ○

牽制 ○

キレ○

クロスファイヤー

リリース○

回またぎ○

闘志

ベースカバー○

テンポ○

くプレイ思考く

積極的走塁

慎重的盗塁

慎重的守備

く備考く

河野杏・阿部燕に続いて、3人目の2年生部員。

姉妹で、姉のほうである。

妹の柚葉とは良いライバル関係で、普段は超仲の良い姉妹である。

中学時には、ついカツとなりベンチの備品などを利き腕で殴打してしまい負傷した過

去を持つ・・・。

く芳乃評く

姉妹選手でお姉さんの方。

技巧派左腕タイプ。

のらりくらりとイニングを稼ぎ、いつのまにか試合終了・・・なんて事も。

④：柏柚葉（かしわゆずは）

イメージCV：M A c h i k o さん

地位：現エース兼天才少女

一人称：名前呼び

学年：2年生

年齢：16歳

投打：右投両打

背番号：1番

誕生日：11月11日

身長：156cm

出身中：聖愛舞浜女子学院中等部

好きな動物：子犬

趣味：野球観戦・ぬいぐるみ作り等

進学理由：お姉ちゃんが高等部に内部進学したから一緒に。

二つ名：聖愛のjoker・聖愛の天才（天災？）

メインポジ：投手

サブポジ：遊・二・中

選手能力

打撃フォーム：スタンダード75

弾道3

ミート：A

パワー：A

走力：A

スローイング：A

肩力：S

捕球：A

ポジ別守備適性

投手「B」

遊「A」

二「A」

中「A」

投手能力

投球フォーム：スリークォーター

スタミナ：A

コントロール：S

投手適性

先発：◎

中継：◎

抑え：◎

球種

ストリート

高速スライダー：6

シュート：6

スラーブ：5

フオーク：4

ポツキー♪（オリジナル変化球：シンカー系）：7

プリッツ♪（オリジナル変化球：スローシンカー系）：7

野手所持スキル

アイコンタクト（アプリから）

トリックスター

魔術師

ロケットスタート

対チャンスA

対左腕A

盗塁A

走塁A

送球A

怪我しにくさB

逆シンブル

グラブトス

中継プレイ○

目切背走

レーザービーム

存在感

カット打ち

逆境○

広角打法

対エース○

バント職人

ムード○

調子極端

投手時所持スキル

形勢逆転（アプリから）

投打躍動（アプリから）

要所○（アプリから）

火消し人（アプリから）

勝利の星

ギアチェンジ

強心臓

脅威の切れ味

主砲キラー

左キラー

ドクターK

内角無双

走者釘付

存在感

緊急登板○

逃げ球

ノビB

打たれ強さB

ポーカーフェイス

リリース○

制圧

ベースカバー○

調子極端

くプレイ思考く

積極的走塁

積極的守備

積極的盗塁

く備考く

柏姉妹の妹の方。

常に明るくチームのムードメーカー・アイドル的な存在。

何をやってても完璧にこなし、他の人のプレイ等を直ぐにコピー出来ちゃうので過去に

は無意識に他人の心を破壊してしまう事も。

お姉ちゃんの麻衣が大大好きな子。

く芳乃評く

正に天才球児。

スタメンで使うのも良し、切り札な存在として使うのも良し。

唯一の欠点は、調子が安定しない位か。

く第③弾は、1年生の内野手編を紹介しますく

☆相互コラボ本編記念③：1年生内野手編part1☆

①一宮亜澄（いちみやあずみ）

イメーჯCV：夏川椎菜さん

地位：期待の1年生二塁手

一人称：私

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：4番

誕生日：7月20日

身長：152cm

出身：小西ガールズ

好きな動物：海月（くらげ）

趣味：キャンプ・野球観戦等

進学理由：①スカウト・②ちーちゃんと一緒に野球したい。

二つ名：聖愛の魔術師・聖愛のラッキーガール

メインポジ：二塁

サブポジ：遊撃

ポジ別守備適性

二「A」

遊「B」

選手能力

打撃フォーム：オープン37

弾道2

ミート：B

パワー：B

走力：B

スローイング：A

肩力：B

捕球：S

野手所持スキル

ストライク送球

アイコンタクト（アプリ）

トリックスター

魔術師

ラッキーガール（アプリ）

連打○（アプリ）

盗塁アシスト○（アプリ）

本塁生還（アプリ）

情熱エール（アプリ）

対チャンスC

流し打ち○

対左腕C

逆シンブル

グラブトス

中継プレイ○

盗塁B

走塁B

メツタ打ち○

バント職人

内安○

ハイボールヒッター

ヘッドスライディング

対変化球○

逆境○

ダメ押し

カット打ち

ムード○

三振×

プレイ時思考

積極的走塁

積極的盗塁

積極的打法

〈備考〉

河野杏が県外からスカウトしてきた7人の内の1人。

同じガールズ出身で二遊間を組むパートナーの戸松千華とは、幼稚園の頃からの親友。

戸松千華の事をちーちゃんと呼んでいて、他のチームメイトにもあだ名を付けて読んでいるとか・・・。

趣味のキャンプも戸松千華の影響から。

試合や普段の学校生活でも幸運を發揮。

友人や、チームメイトの普段の学生生活・試合・練習等での怪我に敏感。
嫌いののは雨。

〈芳乃評〉

一宮選手の守備力（特に二塁での）は、千葉NO1。

一二塁間への打球・二遊間への打球は、一宮ゾーン（一部ファンからはあずちゃん工

リア)と評される守備範囲の広さで捕球してしまうので聖愛の投手には安心を・対戦相手には絶望を・・・。

しかし、雨での試合では、無意識かやる気が低下してる？との噂も・・・。

②戸松千華(とまつちか)

イメージCV:雨宮天さん

地位:期待の1年生遊撃手兼切り込みガール

一人称:私

学年:1年生

年齢:15歳

投打:右投両打

背番号:6番

誕生日:7月25日

身長:158cm

出身:小西ガールズ

好きな動物:猫

趣味:キャンプ・野球観戦等

進学理由：①スカウト・②あずちゃんと一緒に野球を続けたいから。
二つ名：聖愛の切り込みガール・努力の天才少女。

メインポジ：遊撃

サブポジ：二塁・三塁

ポジ別守備適性

遊「A」

二「A」

三「B」

く選手能力く

打撃フォーム：オープン109

弾道2

ミート：B

パワー：C

走力：A

スローイング：B

肩力：B

捕球：S

野手所持スキル

芸術的流し打ち

魔術師

切り込み少女

コンタクト（アプリ）

高速ベースラン

トリックスター

本塁帰還（アプリ）

盗塁アシスト（アプリ）

粘り打ち○

カット打ち○

逆境○

バント○

ロケットスタート

電光石火

固め打ち○

逆シンブル

グラブトス

中継プレイ○

送球A

初球○

対チャンスC

対左腕C

怪我しにくさB

ムード○

プレイ時思考

積極的走塁

積極的盗塁

〈備考〉

一宮亜澄と同じく、河野杏のスカウトにより県外から来た7人娘内の2人目。幼稚園以来の仲の一宮亜澄とは阿吽の呼吸でまるで双子姉妹?と思わせるプレイする所を随時見せる。

一宮亜澄を「あずちゃん」と愛称で呼ぶ。

趣味のキャンプは、どちらかと言えばソロ派だが・・・。

あずちゃん（一宮亜澄）からの誘い（キャンプ）には必ず応える。

あずちゃん（一宮亜澄）が雨が嫌いな理由・友達の怪我に敏感な理由を知ってる。

母親は、元プロ野球選手でフリーのコーチとして各校の臨時守備・走塁コーチとして活躍している。

信念は、「努力に勝る天才なし」

く芳乃評く

一宮亜澄選手と双璧をなし、千葉NO1遊撃手の存在。

一宮亜澄選手と同じく、三遊間・二遊間は戸松ゾーン（一部ファンからはちーちゃんエリア）と評される守備範囲は対戦相手の打球を奪取↓アウトにしてい

次期生徒会会長（副会長）？最有力後継者視されている模様。

③田沢萌花（たざわもえか）

地位：未来の4番候補兼ツンデレガール

イメージCV：内田真礼さん

一人称：私

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投左打

背番号：5番

誕生日：6月15日

身長：154cm

出身：野花ガールズ

好きな動物：ペンギン

趣味：アニメ鑑賞・ゲーム・史跡探訪等

進学理由：スカウト

二つ名：聖愛のツンデレ砲

メインポジ：三塁

サブポジ：一塁・捕手

ポジ別守備適性

三「B」

一「C」

捕「C」

選手能力

打撃フォーム：スタンダード169

弾道4

ミート：A

パワー：S

走力：B

スローイング：E

肩力：B

捕球：C

野手所持スキル

アーチスト

勝負師

広角砲

アイコンタクト（アプリ）

リベンジ（アプリ）

逆境○

対エース○

ホーム突入

固め打ち○

対変化球○

威圧感

インコースヒッター

サヨナラ女

高速チャージ

連打○（アプリ）

競争心（アプリ）

一発逆転（アプリ）

四番○

連発

内安○

司令塔（アプリ）

鼓舞（アプリ）

ホーム死守

対左腕 B

盗塁 B

走塁 B

逆シリングル

すくい捕り

送球 E

ムード○

エラー

ハードラック（赤）

くプレイ思考く

積極打法

積極走塁

く備考く

河野杏会長のスカウトにより県外から入学の7人娘中の3人目。

4番・本塁打・打点にこだわりが強い。

同じ4番候補の台湾&日本のハーフ少女である、陳音姫にライバル心を抱いている。

同じガールズ出身の東山風華とは中学からの親友。

ガールズ時代は、捕手起用がメインで打撃に専念したい事から自らコンバートを打診。

く芳乃評く

聖愛野球部自慢の長距離砲の1人目。

ライバル心を抱いている陳音姫選手に、何かしらの勝負でよく対決してる模様。

味方のタイムリー・本塁打・ファインプレーに自分自身の様に喜びベンチを盛り上げて
ている。

ど・・・。
田沢選手が打席に入ると、一定の確率で風の向きが不利になったり死球を貰ったりな

④陳音姫（ちんおとは）

地位：野球部の妹的存在兼早川朱里の○○

イメージCV：矢作紗友里さん

一人称：名前呼び

学年：1年生

年齢：15歳

投打：左投左打

背番号：9番

誕生日：6月21日

身長：147cm

出身：葵シニア（浜松）

好きな動物：金魚

趣味：料理・アニメ観賞・飲茶等

進学理由：①スカウト・②朱里ちゃんが進学するって噂を聞いたから。

二つ名：聖愛の必殺料理人・小さな天女。

メインポジ：一塁

サブポジ：投手・右翼

ポジ別守備適性

一 [B]

投 [B]

右 [B]

選手能力

打撃フォーム：一本足打法

弾道 4

ミート：S

パワー：A

走力：A

スローイング：B

肩力：A

捕球：B

〈野手所持スキル〉

勝負師

アーチスト

広角砲

恐怖の満塁女

威圧感

連打○（アプリ）

連発

4番○

競争心（アプリ）

一発逆転（アプリ）

ロケットスタート

アイコンタクト（アプリ）

リベンジ（アプリ）

逆境○

対エース○

逆シングル

すくい捕り

レーザービーム

目切り背走

高速チャージ

かく乱

盗塁A

走塁A

送球B

怪我しにくさB

対左腕B

粘り打ち○

代打○

ムード○

ハードラック(赤)

悪球打ち(青/赤)

調子安定

人気者

投手能力↓

投球フォーム：スリークォーター102

スタミナ：B

コントロール：B

投手適性

先発：◎

中継ぎ：△

抑え：×

球種

ストレート

Hスライダー：5

スロースライダー：3

Hシュート：5

スローカーブ：5

Dカーブ：3

SFF：4

投手時所持スキル

不屈の魂

左キラー

怪童

驚異の切れ味

怪物球威

ドクターK

威圧感

形勢逆転

投打躍動

緩急

勝運

球速安定

打球反応○

根性

リリース○

牽制○

対強打者○

要所○

バント封じ

制圧

内角攻め

ベースカバー○

対ピンチB

クイックB

スロースターター(赤)

力配分(青・赤)

一発病(赤)

乱調（赤）

くプレイ時思考く

積極的走塁

積極的盗塁

速球中心

く備考く

例の如く、河野杏生徒会会長が直々に他校との獲得（入学）争奪戦を制しスカウトに成功した逸材。

これで、スカウトによる部員は陳音姫で4人目である。

台湾と日本のハーフの少女で、生まれも育ちも台湾。

小学校までは台湾で過ごし、中学生からは父親の仕事の関係で日本に。

他の部員達とは違い唯一のシニア出身者。

葵シニアでは、中学1年生から4番を。

川越シニア出身の早川朱里とは従妹関係の模様。

語尾にくヨ・くネと付けて話すのが癖。

ついつい勝負に熱くなると・・・。

く芳乃評く

田沢萌花選手と並んで聖愛野球部自慢の長距離砲の2人目。

お団子頭の髪型で心優しい性格で、土日等に寮のキッチンで作る本場の台湾（中国・中華）料理は野球部のみならず他の生徒さんにも好評で。

月一で、音姫デーとして学院の昼食（中華部門）を担当・・・。

そうとうな人気で、事前予約制になるほど・・・。

三拍子揃った万能選手であり、投手も兼任。

投手時は、三振よりかは自慢の速球で打ち取る速球派。

4番には多少のこだわりがありつつも、常に考えるのはチームの勝利。

目指すは、通算打率4割以上・100本以上・100打点以上・100盗塁。

音姫ちゃんは、日本全国他校にいる台湾出身選手（梁幽館の陽秋月選手等）よりも活躍し陳一族初の女子プロD1位を達成せよとの陳一族の悲願の願いを小さな背中に背負っており・・・。

なおかつ、母親の旧姓（島田）天さんが早川朱里選手の母親である早川茜さんとライバル関係兼親友らしく・・・。

母親からの期待（過度？）も浴びている……。

ちなみに……、音姫ちゃんと早川朱里選手は従妹関係にある。

そして……、隠れ戦闘狂（バトルジャンキー）属性持ちでもあり……。

強打者対決・試合に夢中・そして禁句を言われたりすると我を忘れて別人格の陳音姫としてプレイするとの噂。

（真偽は不明）

田沢選手と同じで、一定の確率で風の向きが急に変わったり死球を貰ったりと……。

☆各船主の能力は随時更新予定です☆

④弾目は、1年生内野手PT2編を公開です

☆相互コラボ本編記念④：1年生内野手編②＋コラボ キヤラ紹介☆

～内野手紹介編②～

①：高坂彩（たかさかあや）

地位：未来の正捕手

イメーჯCV：前島亜美さん

一人称：私

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：12番

誕生日：12月27日

身長：156cm

出身：青羽中

好きな動物：ハムスター

趣味：アニメ鑑賞・ハイキング等

進学理由：①専願受験・②憧れの選手がいるから。③雪ちゃん・椛ちゃんとの約束。

二つ名：魔女の後継者・魔女に魅入られし者

メインポジ：捕手

サブポジ：外野手

ポジション適性

捕「B」

中「B」

右「B」

選手能力

打撃フォーム：オープン116

弾道3

ミート：C

パワー：B

走力：B

スローイング：B

肩力：S

捕球：A

野手スキル

対チャンスE

対左腕B

送球B

走塁B

盗塁C

怪我しにくさB

チャンスM

ヘッドスライディング

逆境○

バント○

内安○

流し打ち○

ホーム死守

バズーカ送球

座り送球

司令塔（アプリ）

連打（アプリ）

ミラクルボイス（アプリ）

レーザービーム

目切背走

ムード○

三振×

プレイ時思考

慎重打法

積極走塁

慎重盗塁

〈備考〉

青羽中から来た未来の正捕手候補の選手。

生徒会会長の河野杏に憧れ、専願受験してまで聖愛舞浜女子学院に入学をした少女。

特に肩は、現レギュラー捕手の河野杏と同等かそれ以上の評判。

中学野球部の先輩の得意技である二塁への座り送球や、一塁牽制送球を猛特訓の末遂にマスター。

極端にプレッシャーに弱く、特にチャンスに弱い。

河野杏との二人きりの練習が特に幸せな時間。

本人は無自覚ながら嫉妬心からられる時も・・・

く芳乃評く

河野杏さんとやりたくて、聖愛舞浜女子学院に入学した少女。

噂では、数々のスカウト（梁幽館・白糸台・美園等）を断り聖愛舞浜女子の専願受験一本。

高坂選手の強肩に付いた愛称が、彩ビーム。

高坂選手の声が、最近人気のアイドルボーカルに似てるとの事から中学時代から高坂選手が声出し等をするチームの士気が爆上がりとの事・・・

※小学校以来の友達である（若葉雪・坂戸椛）がスタメン・もしくはランナーにいる

とやる気が無意識に上昇との噂。

②：若葉雪（わかばゆき）

地位：聖愛の仕事人

イメージCV：福原香織さん

一人称：自分

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：13番

誕生日：1月7日

身長：156cm

好きな動物：鳩

趣味：喫茶店巡り等

進学理由：①専願受験・②高校でも彩ちゃんや椀ちゃんと一緒に野球をしたいから。

二つ名：聖愛の必殺仕事人

メインボジ：内野全般（捕手を除く）

ポジ別守備適性
オールC

選手能力

打撃フォーム：バスター打法

弾道2

ミート：D

パワー：D

走力：B

スローイング：B

肩力：B

捕球：B

野手所持スキル

対チャンスD

対左腕B

走塁B

盗塁B

送球B

かく乱

バント職人

チャンスM

代打○

内安○

ヘッドスライディング

逆境○

高速チャージ

いぶし銀

連打○

逆シングル

グラブトス

中継プレイ○

すくい捕り

ムード○

三振×（赤）

（備考）

青羽中3人娘の2人目の少女。

3人娘の中ではおとなしい性格であり、一人目の高坂彩は元気ある長女的ポジションにある。

練習の虫であり、たまに寝不足気味になる。

練習試合や大会では、主に一塁コーチャーを担当。

く芳乃評く

聖愛野球部内では練習量NO1を密かに誇り、その隠された努力は他の部員全員が把握している。

スタメンや、出番は少ないが与えられた仕事をしっかりとこなす仕事人少女。いざという時に備えて、外野用・捕手用のグローブを所持している。

小学生からの付き合いの高坂彩・坂戸椛両選手と大変仲が良い。

③坂戸椛（さかどもみじ）

地位：マイペース代打屋少女。

イメーჯCV：三澤紗千香さん。

一人称：名前呼び

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：14番

誕生日：9月3日

身長：158cm

好きな動物：猫

趣味：散歩・喫茶店巡り等

進学理由：①あーちゃん（高坂彩）・ゆーちゃん（若葉雪）と高校でも一緒に野球をす
るって昔からの約束だから。②専願受験

二つ名：真の力を開放出来ぬ大砲。

メインポジ：三塁

サブ：一塁・二塁・右翼・左翼

ポジ別守備適性

一「C」

二「D」

三「C」

右「D」

左「C」

ㄱ 選手能力

打擊フォーム：スタンダード166

弾道3

ミート：B

パワー：A

走力：C

スローイング：E

肩力：B

捕球：E

野手スキル

パワーヒッター

対チャンスB

対左腕キラー

連発

広角打法

代打の女神様

満塁女

固め打ち

逆境○

すくい捕り

気分屋(アプリ)

帳尻合わせ(アプリ)

一発逆転

バント×(赤)

三振×(赤)

エラー×(赤)

併殺×(赤)

〈備考〉

青羽中3人娘のラストを飾る少女。

中学時代からマイペースな性格な所は高校生になっても変わらず。

パワー・飛距離は田沢萌花・陳音姫に劣らず。

何か切欠があれば真の力を開放し、覚醒するとの噂も……。

〈芳乃評〉

一時は河野杏会長の秘密兵器か!?!とも噂された選手。

マイペースな所が試合にも発揮されてしまい、起用が難しい選手でもある。

小学校以来からの高坂彩・若葉雪両選手と大変仲が良く、どちらかの選手が死球でも食らったりすると人格が豹変するとも……。 (真偽は不明)

〈コロボキキャラ紹介〉

鋼英雄様の「最強のスラッガー」から、雷轟遙様・早川朱里様・金原いずみ様・橘はづき様が本編に登場につきまいて、改めてこちらの世界と鋼様の世界での基本設定の変更点を紹介します。

①雷轟遥様について。

1：主な基本設定・能力に変更なし。

2：登場が夏大会前か後のどちらかを予定。

3：新越谷に早川朱里がいない為、一時野球への興味・情熱を失うも・ある切欠で取り戻し野球部へ入部する。

②早川朱里様について。

1：主な能力に変更なし。

2：設定に変更ありで

2-1：人間関係

変更前↓星歌とは川越シニアでのチームメイト。

変更後↓星歌・蓮華とは小学校での友人以上親友未満。

※小学校の途中で諸事情にて転校しており、現在千葉県に。

3-1：学校

変更前：新越谷

変更後：聖愛舞浜女子学院

※新越谷への進学を検討していたが、河野杏の直々スカウト（脅迫？）により聖愛舞浜女子学院へ。

③金原いずみ様について。

1：能力・設定に変更あり。

〈設定〉

1—1：学校

変更前：藤和

変更後：美園学院

1—2：人間関係

変更前：星歌とは川越シニアでのチームメイト

変更後：中学でのクラスメイト

*早川朱里が千葉の聖愛舞浜女子学院にいるのをある出来事で知る。

〈変更前能力〉

弾道 3

ミート：S

パワー：B

走力：S

肩力：S

捕球：B

守備力 A

～変更後能力～

弾道 3

打法とスキルに変更なし

ミート：A

パワー：B

走力：A

肩力：B

捕球：C

守備 C

となります。

④ 橘はずき様について。

1：能力に変更あり。

く変更前の能力く

投手

スタミナ：B

コントロール：B

持ち球

(三振用) スクリュー：7

(カウント用) スクリュー：5

(打ち取り用) スクリュー：2

カーブ：4

スライダー：4

スキル

驚異の切れ味・変幻自在・緩急○・回跨ぎ○・根性○・対強打者○・奪三振・球持ち・

逃げ球・リリース○

野手

弾道2

ミート：B

パワーB

走力：A

肩力：B

守備力A

捕球：B

スキル

アベレージヒッター・意外性・バント○・粘り打ち・パワーヒッター

変更後

投手

スタミナ：C

コントロール：B

球種

(三振用) スクリュー：6

(カウント用) スクリュー：4

(打ち取り用) スクリュー：1

カーブ：3

スライダー：3

スキル：変更なし。

野手

弾道2

ミート：C

パワー：E

走力：D

肩力：C

守備力：D

捕球：D

スキル

意外性・バント○

になります。

☆相互コラボ本編記念⑤：オリキヤラ外野手編☆

①：東山風華（ひがしやまふうか）

イメージＣＶ；佐藤聡美さん。

地位：田沢萌花のツンデレブレーキ役兼１年生ズのお姉ちゃん。

一人称：私

学年：１年生

年齢：１５歳

投打：右投左打

背番号：７番

誕生日：９月１９日

身長：１５７ｃｍ

出身：野花ガールズ

好きな動物：ウサギ

趣味：お菓子作り・読書等

進学理由：①スカウト・②萌花ちゃんがなんだか心配で。

二つ名：聖愛の選球眼女王
ポジション：外野手

ポジ別守備適性

左翼：「C」

中堅：「E」

右翼：「C」

選手能力

打撃フォーム：オープン117

弾道：4

ミート：S

パワー：B

走力：C

スローイング：D

肩力：D

捕球：D

く所持スキルく

安打製造機

内角必打

メツタ打ち

粘り打ち

カッツ打ち

内野安打○

逆境○

広角打法

悪球打ち（青・赤）

連打○（アプリ）

リベンジ（アプリ）

ムード○

選球眼○

くプレイ時思考く

積極的走塁

く備考く

野花ガールズの田沢萌花とは中学からの大親友で、河野杏によるスカウトで入学した5人目の少女。

田沢萌花のツンデレによる暴走をブレーキ役としてよく止めているが、極稀に自らブレーキではなくアクセルを全開で踏む事があるが・・。

同じ1年生のチームメイトからは、風華の雰囲気からお姉さん・お姉ちゃん的な存在として見られている。

く芳乃評く

卓越した選球眼で、関東で三振しない打者NO1として有名な東山風華選手。

走塁・守備面は平均的だが、多額のお釣りがくる程の打撃センスと選球眼が魅力。

同じお菓子作りが趣味の若葉選手とは、腕を競い合う仲。

②石川麗奈（いしかわれな）

イメージCV：西尾夕香さん。

地位：期待の1年生中堅手兼情報屋等

一人称：名前呼び

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投左打

背番号：8番

誕生日：6月16日

身長：157cm

出身：小松ガールズ

好きな動物：フクロウ

趣味：情報収集・喫茶店巡り等

進学理由：スカウト

二つ名：聖愛のジャーナリスト。

ポジション：外野手

ポジ別守備適性

左翼「C」

中堅「A」
右翼「B」

選手能力

打撃フォーム：オープン80

弾道3

ミート：B

パワー：B

走力：B

スローイング：C

肩力：A

捕球：A

所持スキル

安打製造機

切り込み隊長

初回本塁打○

固め打ち

広角打法

初球○

満塁女

本塁生還（アプリ）

逆境○

連打○（アプリ）

走塁B

送球B

目切り背走

高速レーザー

盗塁F

対チャンスF

怪我しにくさA

ムード○

くプレイ時思考く

積極的走塁

積極的守備

慎重盗塁

〈備考〉

小松ガールズ時代に県内ガールズ最多安打記録を保持している。

最近は、打撃スタイルに悩んでいる。

これまた最近では、良家出のお嬢様？ではないかとの噂が広まりつつある。
珍しく、野球部と報道部の掛け持ちをしている。

〈芳乃評〉

ミート重視で行くか、パワー重視でいくかで悩んでいる様子。

野球部での石川麗奈選手と、報道部として活動中の石川麗奈さんは同一人物!?と思われる程雰囲気が違うとの噂。

噂の良家のお嬢様では？については、否定も肯定もしていない。

③中野茜（なかのあかね）

イメージCV：茅野愛衣さん。

地位：野球部1のムードメーカー

一人称：私

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：15番

誕生日：6月22日

身長：157cm

出身：聖愛舞浜女子学院中等部

好きな動物：子犬

趣味：料理・カフェ巡り等

進学理由：内部進学

二つ名：聖愛の太陽

メインポジ：外野手

サブポジ：投手

くポジ別守備適正く

右翼〔B〕

中堅〔C〕

左翼〔D〕

投手〔B〕

く選手能力；野手時く

打撃フォーム：スタンダード165

弾道4

ミート：B

パワー：A

走力：C

スローイング：C

肩力：A

捕球：B

く野手スキルく

パワーヒッター

左腕キラー

流し打ち

固め打ち

広角打法

恐怖の満塁女

伝説のサヨナラ女

気迫ヘッド

逆境○

レーザービーム

目切り背走

代打の女神様

意外性

連打○（アプリ）

一発逆転（アプリ）

ムード○

対チャンスF（赤）

併殺（赤）

調子安定

選球眼○

く投手能力く

スタミナ：B

コントロール：C

投球フォーム：オーバー스로ー46

く持ち球種く

ストレートの

スライダー：4

シュート：3

スローカーブ：2

SFF：5

く投手所持スキルく

怪童

驚異の切れ味

ドクターK

本塁打厳禁

形勢逆転

安全圏（アプリー）

牽制○

打球反応○

リリース○

対ピンチC

対左打者C

クイックC

打たれ強さC

寸前×（赤）

四球（赤）

調子安定

くプレイ思考く

積極的走塁

積極的守備

く備考く

幼馴染の大原夢と一緒に中等部から内部進学した生徒。

高等部からは、投手にも挑戦中。

夏休み等にはお互いの実家に泊まり込みする程の仲。

く芳乃評く

幼稚園から幼馴染である大原夢選手とは大の仲良し。

部内NO1を競う程のコミュニケーション力を持つ。

と。
妹さんも中等部野球部にいる様子で、先輩の柏姉妹の様に姉妹で野球をやれたらな

料理が趣味の陳音姫選手とはライバル関係にあるようで・・。

④大原夢（おおはらゆめ）

地位：聖愛の切り札

イメージCV：井口裕香さん。

一人称：自分

学年：1年生

年齢：15歳

投打：右投右打

背番号：16番

誕生日：9月1日

身長：145cm

出身：聖愛舞浜女子学院中等部

好きな動物：小鳥

趣味：読書・音楽鑑賞等

進学理由：内部進学

二つ名：聖愛のスナイパー

ポジション：外野手

ポジション別守備適性

左「A」

中「A」

右「A」

選手能力

打撃フォーム：オープン75

弾道2

ミート：F

パワー：F

走力：A

スローイング：S

肩力：S

捕球：A

スキル

ストライク送球

魔術師

高速レーザー

電光石火

高速ベースラン

トリックスター

目切り背走

内安○

粘り打ち

バント○

ムード○

三振×(赤)

怪我しにくさE(赤)

くプレイ時思考く

慎重打撃

積極的盗塁

積極的走塁

慎重守備

〈備考〉

仲良し幼馴染の中野茜と一緒に中等部から内部進学した生徒。

打撃は自虐は入る程の苦手ぶりを発揮するも、逆に特に守備にはプライドがある。身長の低さが悩み。

〈芳乃評〉

大原選手の元へ打球が行った際は、対戦相手ランナーは三塁で止まるのがお馴染みの光景に成程の肩の持ち主。

滅多にスタメン出場する事がなく、主に守備固め・代走での出番が主。

朝が大の苦手で、朝練・朝の試合ではやる気が低い。

同じ1年生の戸松千華選手と学年首席を争う程の秀才。

☆コラボ記念：不思議な特別パーティー☆（序章）

くあらずじく

ある日の土曜日、星歌達に差出人Tと名乗る人からの立派なコラボ記念パーティー招待状が届く・・・。

その招待状は、宛先人のそれぞれに数字の1〜5番が印字されており。

ご丁寧に、パーティー会場が設置されてるホテルへの行き方や集合時間（厳守）が書かれた紙も同封・・・。

しかも、そのパーティー招待状はどうやら今回コラボしてくださった鋼英雄様の球詠作品に登場するオリキャラの雷轟遙ちゃんや早川朱里ちゃん達にも届いてるらしくて・・・。

星歌達は、こちらの世界にその不思議な招待状を持って遊びに来てくれた遙ちゃん達と合流して謎のパーティー会場の入り口に到着して・・・。

今まさに足を踏み入れようとして・・・。

くホテル入り口前く

「謎の招待状を持って、星歌達は指定されたこのホテルの入り口前に到着したけど……」
「招待状に入ってた手紙には、会場までの道順と同じ1〜5番の招待状を持つてる者同士ペアを組み扉が開くのを待てと指示が書いてあって……」

「追伸として、この招待を拒む事は出来ない……何故ならばあなたたちはオリキャラなのだから……と書いてあったわ」

「意味不明だよね陽奈お姉ちゃん、しかもペア名らしき名前も書かれてるし?！」

「とにかく、同じ招待状を持ってこちらの世界に遊ぶに来てくださった遙さん達とペアを確認してみましょう」

湊ちゃんが、朱里ちゃん達の方へ視線を向けて

『私は良いけど、朱里ちゃんは どうする?』

『折角この世界に遊びに来たから、取り敢えず同じ数字の招待状を持つてる同士でペアを作ってみるべきかなって』

『何もしないよりは、まずは行動ですね』

『指示に従った方が良いと思います、命令不履行等で何かしらのペナルティを与えられるのは避けたいですし……』

『ペアを作成せよだから、朱里達にペアで何かしらやらせたいイベントがあるとアタシ

は見た!』

星歌達は、お互いに招待状の印字されている数字を確認しながらペアを作成する
と・・・

A : 星歌 & 朱里ちゃんペア (チーム名: クイーン)

B : 蓮華 & 瑞希ちゃんペア (チーム名: ジャック)

C : 日葵 & 遙ちゃんペア (チーム名: エース)

D : 陽奈 & 和奈ちゃんペア (チーム名: キング)

E : 湊 & いずみちゃんペア (チーム名: ジョーカー)

5つのペアが完成して、それぞれペア同士で軽く自己紹介をしてから扉が開くのを待つことに。

くクイーンチームsideく

「朱里ちゃん、星歌達の世界でもよろしくね」

「それと、朱里ちゃん達の世界にお邪魔した時に仲良くしてくれてありがとう／＼」

「しかも、特別な設定持ちだったから・・・」

『私の方こそよろしくね渡辺さん』

『同じヒロインで、しかも投手だから親近感があつて直ぐに友達になれたし』

『そこは、筆者の鋼英雄さんがこちらの筆者の東方魔術師さんに設定変更を打診して快諾を貰ったから！つて後日談で聞いたよ』

くジャックチームsideく

「こちらの世界では初めまして、志木蓮華と言います。こちらのヒロインの渡辺星歌とは幼馴染で捕手をしてます」

「そして星歌が、そちらの世界にお邪魔した際はお世話になりました」

「同じ捕手、そしてヒロインを支える相棒としてお互いに頑張りましょう二宮さん」

『志木さんこちらこそよろしくお願いします、私は二宮瑞希。鋼英雄さんの作品では朱里さんとはバッテリーを組んだ仲です』

『また何かしらの機会に、遊びに来てくださいいね』

『恐らく、主催者Tはいずみさんの予想通りペアで競わせる何かしらのイベントを用意してると思います。なら捕手らしくイベントをクリアしたいと思います・協力してくれますか？』

「良いですよ、最強・最凶コンビをみせてあげましょうよ」

『協力感謝します。』

くエースチームsideく

「よろしくね、日葵は佐倉日葵だよ。」

「陽奈お姉ちゃんとは双子なんだ♪」

「いつもは、陽奈お姉ちゃんと一緒にが多かったから：チームに分かれて競うなんて楽しみだよ」

『よろしくね日葵ちゃん、私は雷轟遥だよ』

『私も、朱里ちゃんと一緒にが殆どだったから。日葵ちゃんと同じでチームに分かれて何かするのにワクワクしてるよ』

『早く扉開かないかな?』

くキングチームsideく

「よろしくお願ひします、私は佐倉陽奈。あちらで雷轟さんと一緒にはしゃいでる妹の日葵の姉です。」

「普段は、妹の日葵と一緒にいる事が多いので別れて何かを競う事にワクワクしてます」

「得手不得手があると思いますが、サポートしあつて頑張りましょ」

『佐倉さん、丁寧な自己紹介ありがとうございます。』

『私は、清本和奈と言いますよろしくお願ひしますね。』

『いずみちゃんの予想通り、ペアでなにかしらを競う企画がこの建物で行われるとしたら。足手纏いにならない様に頑張ります』

くジョーカーチームsideく

「よろしくね、私は川原湊だよ」

「本編ではまだ未登場なんだけどね、番外編では存在感をアピールするよ」

「そう言えば何でチーム名がジョーカーなんだろうね？」

『アタシは金原いずみだよ、よろしくね湊』

『湊が同じ振り子打法で親近感がメツチャ沸いてるし』

『チーム名がジョーカーなのは、多分アタシ達が予定外の人選だったからじゃない？』

各ペアのみんながそれぞれ自己紹介を終えた頃に、謎のパーティー会場に指定されるホテルの入り口扉が開いて・・・。

「大変お待たせしました、ようこそTがパーティーに招待されました皆様」

「これから、皆様を会場へとご案内するね」

仮面舞踏会で着用する仮面を身に着け素敵なドレスを着た、珠姫ちゃんとヨミちゃんの案内で会場へと向かう星歌達。

さりげなく、どんなパーティー内容なの？って聞いてみたけど・・・

「ごめんね星歌ちゃん、パーティーの内容は内緒についてTから指示を貰ってて」

「せめて言えるとしたら、鋼英雄さんとの球詠作品コラボ記念を祝してのパーティーだよ」

「後は、芳乃ちゃん達は勿論。大島さんと言った新越谷野球部に関係ある人たちも裏方として協力してくてるよ」

芳乃ちゃんや、留々ちゃん達もこのパーティーに裏方さんとして参加してる事に驚いてると・・・。

「この扉の先がパーティー会場だよ」

「パーティー会場に1番く5番と表札があるボックス席があるから、番号に従って座ってね」

どうやら、パーティー会場に到着したみたい。

さあ、どんなパーティーが行われるのか・・・

期待と緊張が交錯しながらも星歌達は、扉をくぐっていく・・・。

くパーティー会場く

それぞれのボックス席に座った星歌達。

しばらく待っていると・・・

2人組のヨミちゃん達と同じく、仮面を付けてドレスを着た女の子達がやってきて

《この度は、Tが主催のパーティーにご参加ありがとうございますとございます》

【まあ、みんなには拒否権は無かったと思うけどね・・・】

《拒否権云々の件は、一旦おいといて貰って・・・》

【肝心の主催者のTは、不在なので】

《西谷星と》

【九条心愛が】

【Tに代わってみんなをおもてなしするよ】

息ぴったしで発言する西谷さんと九条さん。

もしかしたら、Tさんが作成した球詠作品のオリキャラなのかな??

《今回のコラボ記念パーティーは、》

「Tがある某番組をヒントにした企画だつてさ」

《星歌さん達には、様々な課題に挑戦してもらいます》

【最初の皆は、一軍（一流）オリキャラから始まり・・・】

【課題に成功すればランクは維持だけど、失敗すると・・・】

《1・5軍（普通）↓2軍（2流）↓3軍（3流）↓出場登録抹消（そっくりさん）↓戦

力外候補（映す価値なし）とランクダウンするから気を付けてね》

【参考にした某番組つて、テレ○日の芸人浜○さんや俳優伊○さん達が司会の正月や秋に恒例のアレでしょ?】

《九条さん、濁して発言したけどほぼ発言してるよ》

【心愛としたつもりが・・・】

「ここまできると星歌達もやつと九条さんや西谷さんが説明してくれた意味が分かって・・・」

「あの番組の企画をやるの!?!」

『不正解をしなければ大丈夫だよ渡辺さん』

「二宮さん、不正解したらすみません・・・」

『どんな問題が出題されるかによって、難易度が変わりますね・・・』

「楽しみだな、日葵やってみたかったもん」

『流石日葵ちゃん』

「私もよ日葵！」

『コンプレックス関係じゃなくて良かった』

「簡単な問題なら良いけど・・・」

『最悪アタシ達が、戦力外候補（映す価値なし）になったらどうなんの？』

金原さんの質問に・・・

《Tからは、コラボしてくださった鋼英雄様の作品のオリキャラである早川さん達には影響はないって聞いてるよ》

【影響があるのは、星歌ちゃん達って聞いてるけど】

【まっ、取り敢えず第一問目に行ってみよう♪】

「ええ!!」×5

星歌達が、戦力外候補（映す価値なし）になった場合どうなるか聞かされないままパーティーが始まろうとしていた・・・。

どうなる星歌達!?

続
く
・
・
・

☆コラボ記念：不思議なパーティー（1章：出題編）

☆パーティー会場☆

遂に始まる・・・。

某人気番組の企画を星歌達が実際にやる事に・・・。

うう・・・、映す価値無し of 戦力外候補にならないようにしないと・・・。

朱里ちゃんの足手纏いにならないようにしないとね・・・。

これは、星歌だけじゃなくて蓮華ちゃん達も多分同じ気持ちだと思う・・・。

《それでは改めてチームを紹介したいと思うよ》

《まずは、渡辺星歌様&早川朱里様のクイーンチーム》

「よ・・・よろしくお願いします」

『頑張ります、渡辺さんそんなに緊張しなくても大丈夫だよ』

《次は、志木蓮華様&二宮瑞希様のジャックチーム》

「緊張はしますが、頑張ります」

『お互いにフォローしあいながら頑張ります』

《3つ目のチームは、佐倉日葵様&雷轟遥様のキングチーム》

「今回だけは陽奈お姉ちゃんに負けたくないから全力で頑張るよ」

『頑張って1軍を維持するぞ!』

《4つめのチームは、佐倉陽奈様&清本和奈様のエースチーム》

「私も、今回だけは日葵に負けたくないなので全力で行きます」

『どんな問題が出るか分かりませんが・・・頑張ります』

《最後は、川原湊様&金原いづみ様のjokerチーム》

「番外編でアピールして、本編で速めに登場させて貰えるように頑張ります」

『楽しみながら頑張るよ』

チーム紹介が終わって、今度は九条さんからの説明が。

【今、みんなのチームのランクは1軍だから1軍に相応しいおもてなしをするけど・・・】

【ランクが変動すると、おもてなしのランクも変わるからね】

【出題数は、6問でその内1問が1ランクアップの2ランクダウンもありもあるからね♪】

一氣に2ランクダウンする問題・・・どんな問題がくるのかな？

《それじゃあ、1問目を出題するよ！》

《1問目は、飲料問題だよ》

《本家では、ワインだけど私達はまだ未成年だから・・・》

《人気ファーストフード店のシェイクを飲み比べてもらうよ》

シェイクか・・・、どこのお店のを当てれば良いのかな？

マック？モス？それともロツテリア？

【当てる貰う正解のシェイクは、モスのシェイクになります】

【不正解のはマツクのシエイクだよ】

《それじゃあ、挑んでもらう代表者を言うよ》

緊張するよ・・・

《クイーンチームからは、早川朱里様》

《ジャックチームからは、志木蓮華様》

《キングチームからは、佐倉日葵様》

《エースチームからは、清本和奈様》

《ジャックチームからは、金原いづみ様》

【呼ばれたチームの代表者は、案内人の案内に従って別室に移動をお願いします】

「朱里ちゃん、頑張つて！」

（星歌、ロツテリア派だから選ばれてたら・・・）

『正解してくるよ』

（モスカ・・・）

「行つてきます」

（よく星歌と一緒にロツテリアには行くけど・・・、モスのシェイクの特徴つて）

『モスシェイクの特徴を把握してたら正解はおのずと・・・』

（飲むシェイクの味もよりますが・・・。）

「マックやモスのシェイクはよくポテトと一緒に買って、陽奈お姉ちゃんと一緒に飲んでるから自信あるよ♪」

（バニラ味かな？それともストロベリー味？）

『頑張って日葵ちゃん！』

（日葵ちゃんの自信発言なら、1問目は突破確実だね）

「清本さん頑張って、ミスされても私が次に挽回します」

（日葵の正解は確実よね・・・出たかったわ）

『頑張ってみますね』

（正解して良い流れを繋ぎます）

『アタシがズバツと正解して、バトンを湊に渡すよ』

（ラッキー問題かも）

「頑張れ！金原さん！」

（私だったら正解出来るか不安だし）

チーム回答者の代表の朱里ちゃん達は、案内人（ヨミちゃん・珠姫ちゃん）の案内で別室へ。

残った星歌達は、モニターで朱里ちゃん達の様子を観察を・・・。
最初の回答者は・・・。

〈回答者：早川朱里 side〉

どうやら、私が回答者のトップバッターらしい・・・。

用意された椅子に座って。

まずは、Aのシェイクを試飲。

『冷たくて美味しい・甘くてついつい塩味効いたポテトが食べたくなる・・』

(ポテトが用意されてたら最高だね)

次にBのシェイクを同じ様に試飲。

『Aと同じく、冷たくて美味しい。Aよりかは甘くないかも・・』

(ポテトよりかはオニオンフライ?)

水を飲んで口直ししてから、少し悩んだけど・私の答えは・・。

『正解はB!』

『Bを選んだ理由は確か、モスのバニラシェイクは甘さ控えめでミルク感を重視だった

はず・・・』

『なのでBにしました』

朱里ちゃんは、Bと書かれた控室に入室。

Bの控室で他の回答者の様子を、星歌達と同じくモニターでチェック。

～回答者：朱里side終了～

～モニター組side～

朱里ちゃんが二つのシェイクを飲んで、選んだ答えをモニターで見終わると・・・

「朱里ちゃん、自信満々でBの札を選んだ・・・」

『朱里さんに余程の確証があったのでしよう』

『凄いよ朱里ちゃん』

「正解がBでしたら、早川さんの味覚と記憶が正確だったと」

「次の回答者がBだったら、正解の確率が高まるね」

次の回答者の答えがBかAが気になりながらも、モニターを注視する星歌達・
side終了

回答者：蓮華side

クイーンチームの早川さんがAかBかの答え終えて、私の番・。

正解の札を選択出来るか不安だが、やるしかない。

椅子に座り、Aのシェイクから試飲を。

「甘い・・・、星歌とよく行くロツテリアのシェイクも甘いが・・・それ以上か？」

（実家の銀河亭で出す胡麻団子や杏仁豆腐以上の甘さ!?)

次は、残りのBのシェイクを・・・。

「Aよりかは甘さ控えめに感じる・・・」

（同じ様にAもBも感じるが・・・）

水を飲み口直しして、札を取り・・・悩んで出した札は・・・。

「多分Bかなと・・・自信は無いです」

「確か、モスのシェイクは甘さ控えめだった様な記憶がしますから・・・」

「外してましたらすみません・・・」

蓮華ちゃんも朱里ちゃんと同じBを選択して、Bの控室へ・・・

～ 回答者：蓮華 side 終了 ～

く控室Bの様子く

「正解Bですよ？自信がなくて・・・」

『Bの方がAより甘くなくて、ミルク感を感じたからモスのかなって思うよ』

「もう一人こちらの部屋に来たら正解の確率が高まりますね」

『ファーストフード好きと思われる佐倉日葵さんが来れば正解は確実と思うよ』

「まるで、GAOKTさんみたいです」

『佐倉日葵さんが神になれるチャンスかもね』

くモニター組sideく

朱里ちゃんに続いて、蓮華ちゃんもBを選択を。

まだこちらでは正解を発表されてないけど・・・

Bが正解なら、クイーンチームとジャックチームは1問目を突破確定なのかも。

ただ・・・、日葵ちゃんがどっちを選ぶか・・・

「蓮華ちゃんも迷ってたけど、Bを選んだね」

『もう一人Bを選択したら正解がBなのかなと確証が持てますが・・・』

『3人目の回答者がポイントだね』

「私と同じく、ファーストフード好きの日葵がこの問題では神になるかなれないかのポイントね・・・」

「日葵さんがもしAを選んだら蓮華さん達どうするかある意味気になりますね・・・」

（side終了）

（回答者：日葵side）

朱里ちゃん、蓮華ちゃんが回答して次は誰かなって？控え室で待つてると日葵の名前が呼ばれてヨミちゃんの案内で別の部屋へ。

椅子に座って、Aからのシェイクを試飲を。

「よく陽奈お姉ちゃんと飲むシェイクの味だ♪」

（ポテトが食べたいけど、ポテトがないのが残念だよ・・・）

軽く水を飲んで口直ししてから、Bのシェイクを。

「こつちもAと同じで陽奈お姉ちゃんと飲みシェイクの味だよ♪」

(飲み比べてみて改めてだけど僅かに、AとBのシェイクに違いを発見だよ)

あんまり迷わずにBの札を手に取り。

「正解はB！自信はあるよ！」

自信満々の表情でBの朱里ちゃんや蓮華ちゃんが待つBの部屋へ歩いていく日葵ちゃん。

～回答者：日葵 side 終了～

～Bの控え室 side～

日葵ちゃんが自信満々で入室し。

「朱里ちゃんに蓮華ちゃん絶対に正解はBだと思うよ、自信あるもん」

自信満々な表情な日葵ちゃんを見て、朱里ちゃんと蓮華ちゃんは・・・。

『絶対は無いと思うけど、自信満々な表情と発言を聞くと1問目突破は濃厚かな』

「陽奈さんと同じくファーストフードが好きな日葵さんですから正解率が高くなったかなと」

和気あいあいと用意されてるお菓子をつまみながら次のペアの回答を待つ3人。

くBの部屋side終了く

くモニター組sideく

今の所、3人連続でBを選択。

もうそろそろ星ちゃんや心愛ちゃんから、星歌達に正解が発表されるのかなと待ってる。

「本家では正解が発表されるけど、この小説では全問発表しないよ。」

《読者の皆様達にドキドキワクワクして欲しいとTから伺ってますので・・・》

心愛ちゃんと星ちゃんの説明を聞いて星歌や皆の反応は。

「正解か不正解か毎問ドキドキするね」

『まるで御神籤みたいですね』

『ファーストフード好き日葵ちゃんを信じてるよ』

「正解を知って様子を見ると、知らずに様子をモニターで見るとは心理状態が変わりますね」

「札を選んだ理由で笑われなくて良いのかも・・・」

改めてモニターを見ると、4組目のエースチーム回答者の清本さんが部屋に入ってくる所で。

「モニター組 side 終了」

「回答者：清本和奈 side」

朱里ちゃん・蓮華さん・日葵さんが先に答えられて私の番を迎えて。

用意された椅子に座り、まずはAのシェイクから試飲を。

『甘くて飲み慣れてる味ですね』

（Bを飲んでみて違いが明確なら良いのですが）

続いて、Bのシェイクを試飲を。

『Aと同じで甘く感じて違いがあんまり・・・』

（難しいですね・・・、2択なので正解する確率は50%・・・ですが。）

1分? 数分? の沈黙のあとに。

『多分Bだと思えます・・・』

『自信はないです・・・、外してたら佐倉さんすみません。』

自信無さげな表情をして、Bの部屋へと向かう清本さん。

↳ 回答者：清本和奈 side 終了

↳ Bの部屋 side

自信無さげな表情をして入室した清本さん。

入室してから、朱里ちゃん・蓮華ちゃん・日葵ちゃんの3名が居る事に遅れながら気付いて・・・。

『1人だけじゃあ無くて良かったです』

『1人よりは、何人か居ると安心感があるよね』

「1人勝ちのパターンもあると思いますから、なんとも言えませんが・・・」

「4人連続でBだね、ジョーカーチームの回答者である金原さんがAを選んだら金原さんの一人勝ちの可能性もあるよね」

『そうですね・・・』

『いずみ次第だね』

「逆もありますね、金原さんだけ不正解でランクダウンと」

「金原さんの回答に注目だね」

仲良くお菓子を食べながら金原さんの動向を見守る朱里ちゃん達。

↳ B部屋 side 終了

↳ モニター組 side

此処まで4人連続でBを選択。

Bが正解だったら、星歌のチーム・蓮華ちゃんのチーム・日葵ちゃんのチーム・陽奈

ちゃんのチームがランクを維持になるけど。

Aが正解だったら、少しヤバいかも？

【此処まで全員がBだね】

《正解を知ってるけど、ジャックチームの金原さんがどっちを選択するか注目ですね》

「Bが正解でありますように・・・」

『1問目でスタートダッシュを決めたいですからBが正解だと嬉しいですが・・・』

『いずみちゃんの一人勝ちの可能性もある訳だね』

「待機されてる私達が正解を知らされてないだけでドキドキなのですから、回答者の蓮華ちゃん達はもっとドキドキしてると思います」

「1チームだけ不正解は嫌だから、金原さんも早川さん達と同じ回答だと良いけどな・・・」

モニター組の星歌達も、いずみちゃんのお返事をまるでドラフト会議1巡目選手名発表を待つ1野球ファン・スカウトの人達の気持ちでモニターを注視して。

「モニター組 side 終了」

「回答者：金原いずみ side」

やっとアタシの番。

しかも、最後のオオトリとして・・・。

朱里達がどう回答したか分からないけど、下手したらアタシだけ違う回答の可能性もあるだろうし・・・。

ミスしても、湊が必ずカバーしてくれると信じて。

まずは、Aのシェイクから。

『シェイクだから甘いのは当たり前前だよね・・・』

（Bを飲んでみないと分からないけど違いつてあるの？）

次にBを。

『分かったような、分からない様な・・・』

(飲んだ感じ、Aの方が若干飲みやすいかなって程度しか分からない・・・)
AとBの両方の札を取ってから再度悩み・・・

『多分B?』

『湊、不正解だったらごめんね』

先程の清本さんと同じ様にBの部屋へと。

～回答者：金原いずみ side 終了～

～B部屋組 side～

金原さんもBの部屋に入室して、後は正解発表を待つだけに。

『いずみもBか』

「1問目は、全ペアが同じ回答になりましたね。これで全ペアが正解か不正解かのシンブルな2択に」

「正解発表が楽しみ♪」

『普段の試合よりなんだか緊張してる気がします』

『必ず白星でバトンを渡す』

少し時間が経過した時に、アナウンスが流れて。

《長らくお待ちせしました、皆さんの待望の正解発表しちやいます》

《心愛ちゃんが入室した部屋が1問目の正解の部屋なので、皆さん心愛ちゃんが入室してくるのをドキドキワクワクしながら待っててね》

【心愛が入室した部屋に回答者の早川様や志木様・佐倉日葵様・清本様・金原様がいてくれると嬉しいな♪】

↳ B部屋組 side 終了↳

アナウンスの後に、近付いてくる心愛ちゃんの足音。

果たして、心愛ちゃんが入室する部屋は無人のAか・あるいは回答者全員が待つBか・・・。

【AとBの部屋の前に着いたよ】

がちやがちや

AとBの部屋のドアノブを何回か回す心愛ちゃん。

【正解おめでとう！】

心愛ちゃんが入室した部屋は・・・。

↳ 続く↳

試合前投球練習（序章）

1 球目：星歌の過去と未来へ

また・・・この夢か・・・。

新越谷高校に合格してからよく見るけど・・・

いつになったらこのリピート上映終るのかな？

広い映画館の座席に星神大附属中学時代の星歌1名だけが座って、繰り返しされる星神大附属中学野球部時代の良かった時の映像を鑑賞している。

「星歌、良かった時の映像を繰り返し鑑賞出来てもポップコーンやチュロスを食べながら鑑賞したいな・・・」

座席に律儀に座りポップコーン等が出てこないのを、この場に登場しないだろう映画館の管理人に文句を言いながら。

そんなリトル？星歌を、今年高校1年生になった今の星歌が空の上から眺めている感じ。

自己紹介が遅れちゃってごめんね、星歌こと渡辺星歌は新越谷高校1年生の15歳だ

よ。

星神大附属中学時代は野球部でポジションは投手、しかも投法が別名サブマリンと言われるアンダースローだよ。

えっ?、もう謎のスカウトからのレポートの存在でそれ以外の事も把握してるから改めての説明は不要だと・・・。

星歌の口から読者の皆に自己紹介したかったけど・・・仕方ないか。

さて、そろそろリトル星歌が鑑賞してる記録映画を皆で鑑賞しようか・・・リトル星歌が星歌達の存在に気づく前に。

「あれ!、人の気配がした様な・・・しかも星歌自身の声も聞こえた気が・・・幽霊?・・・気のせいだよ。うん気のせい。」

く過去：中1の秋く

(星神大中学野球部2軍紅白戦、試合終了。5対1で赤組の勝ち。)

く試合終了です、紅組投手渡辺星歌ちゃんの完投勝利です。勝利投手：渡辺星歌ちゃん・敗戦投手：黒木翼ちゃんです。>

紅白戦の球審を担当した、1軍から派遣された先輩のゲームセットのコール。

同じ中1の友達が所属する放送部の子によるウグイスのコールを、当時中1の星歌がマウンド上から聴きながら捕手・内野手のチームメイトからもみくちやにされている。

この中1の秋に星神大附属中学野球部2軍で実施された紅白戦が、星歌の中学野球生
活で初出場した記念試合だったから記憶に鮮明に覚えてるし。

星神大附属中学野球部は部員数が沢山在籍してるのと1軍担当の監督さんが勝利優
先方針もあって、プロ野球チームみたいに1軍2軍の構成だよ。

この紅白戦での登板結果がアピールに成功して、それ以降の紅白戦や対外練習試合に
先発・中継ぎ問わず起用して貰える事が増えたし。

更に打撃も嫌いじゃあ無かったから登板しない日はサブポジション練習の意味も込
めて、内野手「一塁Or三塁」と外野手「左翼Or右翼」でスタメンや途中出場も増え
たから、星歌自身としては貪欲にアピールして1軍昇格を目指すモチベーションだっ
たのは覚えてる。

野手で出場した時は、チームプレイを大事にして本塁打は前田大○内野手が打つレベ
ルだから期待されると困るけど。

「打撃タイプで言えばアベレージ、本塁打を打撃練習の様に放つ子が羨ましいよ」
　　↳過去：中2春↳

（試合終了、星神大附属中学対雪風中の練習試合は、5対4で星神大附属中学の勝利）
球審がゲームセットのコールをする。

雪風中と対戦した練習試合に野手でスタメン出場した星歌は、4打4安1本塁打にサイクルヒット達成と最初で最後のサイクルヒットだったから記憶にあるよ。

※サイクルヒットとは、野手が放つ4種類の安打「単打・二塁打・三塁打・本塁打」を1試合で達成するメモリアルな記録である。

この練習試合を境に運命時計の歯車が狂い始めて・・・

（現在）

リトル星歌に気付かれぬ様に鑑賞してた記録映画はここで終了し、映画館に照明が灯る。

「あれ？いつもなら、予告場面に巻き戻ってからスタートするのに・・・変なの・・・」
リトル星歌が、いつもとは違う夢の映画館の様子に戸惑ってる・・・。

多分、そろそろ夢が終って現実の星歌が起きて今日から始まる新越谷高校入学式へ準備する頃かな。

「そろそろ、この映画館から帰らなきゃいけないのかな・・・バイバイ未来の星歌と幽霊さん達」

リトル星歌の一言を最後に、夢空間から追い出された。

2球目：友達

新越谷高校に合格が決まってから、良く見る様になった不思議な夢。

でも、今回見た夢はいつもと違ってて・・吉か凶かは分からないけど・・

今日は、星歌の新越谷高校生活のデビュー戦だよ。

高校生活初日は大事だよプロ野球なら開幕戦と同じかな。自己紹介や友達作りに成功した白星スタートなら良いけど、失敗しちゃった黒星スタートだったら少し元気をなくしちゃうかも。

リーゼントで有名な、三〇番長みたいに数年連続開幕戦敗戦投手は避けたいもん。

「しつかりと寝れたし、お母さんが作ってくれた朝食もしつかりと食べたし後は忘れ物がないか確認するだけだね」

「お母さんは後で入学式を見に来てくれる予定だし、お父さんは仕事で来れないから残念だけど後で可愛い新越谷高校の制服をお父さんが帰宅してから見せてあげようよ。」

出発前の玄関で、ローファアを履きながらそして星歌のお気に入り音楽を聴きながら最後の確認をする。

「それじゃあ、行ってきます。デビュー戦白星目指して頑張るね」

お父さんから入学祝いにプレゼントして貰った腕時計で最寄り駅から出発する電車の時間を確認しながら、そしてお母さんに挨拶をしてから玄関の扉を開けて自転車で駅へと向かう。

駅から乗車した電車の同じ車両に同じ制服を着た子を何名か発見して、更には小学校以来の幼馴染の子に似た子を発見したけど話しかけて人違いだったらめっちゃ恥ずかしいから止めたけど……。多分あの子だと思っただけな……。

無事学校の最寄り駅に到着してからは徒歩で学校へ、学校の正門を抜けて道中にある提示版に提示されてるクラス表で星歌のクラスを確認してからクラスへ。

「星歌の席は渡辺性だから、後ろのはず……。うん？」

クラスに入って、星歌の席を確認しながら歩いてると二人のクラスメイトが野球雑誌（通称・週ペ）を読んでいるのを発見。週ペを見てるって事は野球好きか野球少女だもんねお友達候補発見。

「私、武田詠深《ヨミ》よろしくね」

「川口芳乃だよ、芳乃で良いよ」

二人の会話を聞いて、机に置いて週ペを見てた金髪の方が川口芳乃ちゃん。片方が武田詠深《ヨミ》ちゃんと判明。

「もし、お二人さんがOKだったら一緒に週へ見ても良いかな？えつと星歌は渡辺星歌と言います。よろしくお願いします。」

ドキドキしながら、星歌の高校生活初挨拶をして川口芳乃ちゃんと武田詠深《ヨミ》ちゃんの反応を待つ。

「良いよ、私は武田詠深《ヨミ》。星歌ちゃんだねよろしくね」

「勿論良いよ、私は川口芳乃だよ。星歌ちゃんよろしくね」

無事二人の返事を貰って、星歌も芳乃ちゃんが見てた週べを拝見しようとしたら芳乃ちゃんがヨミちゃんに野球好きかを聞いてから・

「ヨミちゃんって、中学時代のポジションは!？」

「えっ!、投手だけど」

「ヨミちゃんも!？」

咄嗟に星歌もヨミちゃんの言葉に反応しちやって・

「星歌ちゃんも中学時代に投手を？」

「うん、メインは投手でサブで内野なら一塁・三塁で外野なら両翼守備経験があるよ」

「私は、投手だけで良いかな・あはは」

芳乃ちゃんに星神大附属中時代に担当したポジションを説明したら、ヨミちゃんは苦

笑してたけど・・

投手以外のポジションをするのも星歌は好きだけどね。

「ヨミちゃんに星歌ちゃんも投手経験者なら、おててを見ても良い？」

「えっ、うん」

「へっ、・・うん良いよ。利き手を見て何か分かるの？」

急に芳乃ちゃんから利き手を拝見していいか質問されて、一瞬戸惑ったけどね

先にヨミちゃんの利き手、つまり右手を見て芳乃ちゃんが

「凄く固くなってるね、めっちゃ投げ込みをした証拠だね。決め球は・カーブ系かな？」

見てみたい」

ズバツと某テレビ番組の探偵君みたいに、利き手の状態からヨミちゃんの現状や、決め球を推理してみた芳乃ちゃん。的中してるかは・・ヨミちゃんの反応を見てるとね。

星歌も当てられちゃうかも!?

「次は、星歌ちゃんの番だね。おててを見せて」

「うん、まじまじと見られると恥ずかしいね。」

今度は、某鑑定番組の鑑定士さんみたいにじっくりと星歌の利き手を観察(鑑定?)をする芳乃ちゃん。

「星歌ちゃんは、ヨミちゃんに比べると固くはないけどそれでもしつかりと練習してき

たのは分かるよ。決め球は・・・多分フオーク系の落ちる球かな」

星歌も、ヨミちゃんと同様に現状の練習具合や決め球を鑑定されちゃった・・・でも星歌はポーカーフェイスだから正解された事を表情に出さない様にはしたけど・・・

「こら、芳乃。二人が困ってるじゃない」

「あつ、息吹ちゃん」

芳乃ちゃんの声と、教室のドアの方から聞えて来た声の方を見ると

「知らない野球経験者にちよっかいをかけるなって、いつも言ってるでしょ」

「えへへ、つい」

芳乃ちゃんが、悪戯が見つかってバレた時みたいな表情をしてるから・・・芳乃ちゃんに声をかけた息吹さんはもしかして・・・

「ちよつと待って、似てない？まさか双子!？」

ヨミちゃんが、星歌より先に芳乃ちゃんと息吹さんに問いかけると・・・

「えへへ、そうだよ」

「姉の息吹よ、よろしく」

「よろしく！双子にしては似てないね」

「忙しい人ね」

ヨミちゃんが98年横浜優勝のマシンガン打線みたいに言葉を発してたら、息吹さん

に忙しい人ねってカウンターを食らってたけど・・・。

「隣の席が元野球部のヨミちやんで、お団子頭の子が同じく元野球部の星歌ちゃん。二人とも投手経験者なんだよ息吹ちゃん。」

芳乃ちゃんが、息吹さんにヨミちやんと星歌の事を紹介してくれたけど星歌からも挨拶しなきゃね。

「息吹さん改めて星歌は、渡辺星歌と言います。中学では投手兼内野手兼外野手をしてましたよろしくお願いします」

「よろしくね、芳乃が迷惑を掛けるかもしれないけど」

「ついでにだけど息吹さんだと、なんだか壁を感じるから芳乃と同じで息吹ちゃんて良いわ」

「よろしくね、息吹ちゃん」

芳乃ちゃんと同様に、姉の息吹ちゃんも下の名前で呼ぶ事が出来て良かった。お友達が増えたよ

「二人とも、投げ込みで手が痛いんだよ」

芳乃ちゃんの言葉に誘導される様に、息吹ちゃんもヨミちやんと星歌の手をぶにぶにと芳乃ちゃんと一緒に触って。息吹ちゃん実は苦労人タイプなのかも？

「ヨミちゃんや星歌ちゃんが新越谷に来たって事は、もう野球をしないの？」

「不祥事とかで活動停止中だったじゃない。もう部員殆どいないらしいわよ」

芳乃ちゃんと息吹ちゃんから、ヨミちゃんと星歌へ新越谷に入学した事〓野球に未練はないのかと質問が来て。

「……うん、もう野球はいいかな。制服で選んだような感じだし。」

ヨミちゃんは、野球には未練がない感じで返答したけど……。星歌は……。

「ヨミちゃんと同じで、制服が可愛いからと後は……内緒なんだ……ごめんね」

もう一つの理由を内緒にしちゃった……ヨミちゃん達に嫌われないかな？

「星歌ちゃんが、内緒にしたいなら大丈夫だよ。星歌ちゃんがお話したいときにお話してくれたら良いな」

「芳乃と同じで、誰にでも内緒にしたい事はあるし。星歌が言いたい時に伝えてくれたら」

「星歌ちゃんともつと仲良くなった時に、教えてくれたら良いな」

星歌の理由に、芳乃ちゃん・息吹ちゃん・ヨミちゃんの三者三様の返答が来て嫌われなくて良かった。

芳乃ちゃん達とこれからもつと仲良くなって、内緒にした理由を言えたら……。

それから、雑談を交えてからクラスの担任の先生が教室に来たので星歌は星歌の席

へ。

ヨミちゃんは、席に座ってから芳乃ちゃんに手を繋がれたままのプチハプニングがあつたけど・・・。

その後は無事入学式を終えて、星歌達のクラスに戻つて来て。

「これからレイクタウンに行つてみない？」

「良いよ、越谷レイクタウンに行つた事がないから尚更だよ。」

「それじゃあ、昼ごはんそこで食べましょ。」

「もつと、お話したいしね。」

ヨミちゃんからの越谷にあるレイクタウンに行つてみないの質問に、行つた事が無い星歌と訪問経験のある芳乃ちゃん・息吹ちゃんの返事で4人で越谷レイクタウンに行く事に。

廊下に出て、昇降口へと向かつてると・・・。

「ヨミちゃん・・・？」

途中すれ違つた子に、ヨミちゃんへ言葉があつて

「やつぱり、ヨミちゃんだ。珠姫だよ覚えてない？」

「タマちゃん・・・！、・・・覚えてるよ」

「久しぶり〜！」

「いつ!？」

会話から推理して知り合いのタマちゃんさんに、再会して興奮したヨミちゃんが抱き着いて。

「知り合いみたいね?・・芳乃?」

「ヨミちゃんが興奮する位だから、小学校時の友達や野球チームと一緒にプレイした子なのかも。・・芳乃ちゃん?」

ヨミちゃんと知り合いっぽいタマちゃんさんとの場面以来、芳乃ちゃんが無口になってどうしたんだろう?」

「山崎珠姫選手、なんでこんな所に・・。中二時に名門美南ガールズで正捕手をし強気なリードと守備が魅力な選手だよ」

タマちゃんとヨミちゃんに言われた、タマちゃんさん〓山崎珠姫捕手の詳しい説明(テレビ中継や、ラジオ中継の解説者以上の)を聞いてると

「ファンです、サインを下さい!」

鞆に常備?してたサイン色紙とマジックを取り出して、山崎さんにサインを頼む芳乃ちゃん。

星歌も、憧れの選手にもしばったり会えたらサイン貰いたいけど・・鞆にサイン色紙

やマジック等を常備してないかな．．。

「へえ、タマちゃんも野球してたんだね」

「ヨミちゃんもやってたの？」

「．．うん、1回戦負けだけど」

芳乃ちゃんへのサインを書きながら、ヨミちゃんと会話のキャッチボールをする山崎さん。

「そーだ、タマちゃん。アレしようよ」

「アレ？」

「アレって、ヨミちゃんと山崎さんとの決まりのルーティンのなものなのかな？」

「私は、ヨミと山崎さんとのアレは当然知る訳ないわ」

「山崎さん、サイン有難うございます」

アレが判明しないままヨミちゃんが言うアレをしに、山崎さん含めた5人で昇降口で上履きからローファーに履き替えてグラウンド方向へ。

「ヨミちゃん、アレって何かな？山崎さんとの決まりのルーティン？」

グラウンドへ向かう道中ヨミちゃんにアレが気になつて質問してみたら、その返事が：「アレはね星歌ちゃん、タマちゃん、野球女子再会の儀式Ⅱキャッチボール事だよ。これ

から星歌ちゃんやタマちゃん達とでキャッチボールをするんだ」

「そうなんだ、やっと判明して良かった。気になってさ」

アレの正体が判明し、多分ヨミちゃんを除く星歌達の気分がすつきりした状態で改めてキャッチボールをしにグラウンドに足を踏み入れる。

☆次回の捕手からのサインを待つて下さいませ☆

3球目：キャッチボールと魔球!?

道中、ヨミちゃんを除く星歌達で軽く自己紹介しながらヨミちゃんのアレレキャッチボールをしに、グラウンドへ。

芳乃ちゃんは、息吹ちゃんとペアを。

星歌は、ヨミちゃんと山崎さんのペアに混ぜて貰って3人一組の不規則なキャッチボール。

「ヨミのアレをしにグラウンドへ来たけど、誰も居ないわね」

「停部期間は終了して、活動再開はしても良いはずなんだけど・・・」

芳乃ちゃんや息吹ちゃんの会話を聞きながら、星歌達も不規則なキャッチボールをスタート。

「タマちゃんって、捕手だったんだ。」

「ヨミちゃんは投手なんだね」

ヨミちゃんと5球ずつ交代して、今度は星歌が山崎さんにボールを投げる。

ちなみに、キャッチボール時だけ投法は右サイドスローだよ。

「名門美南ガールズの正捕手を担当した山崎さんに、星歌の球を受けて貰うなんて最高だよ」

「渡辺さんは、基本の投法は右サイド？」

「ううん、基本は潜水艦とも言われるアンダースローだよ」

持ち球を終了して、ヨミちゃんと再び交代。

待つてる際に、もう一組の芳乃ちゃん達の方から声が聞こえてきて。

「息吹ちゃん。やっぱり経験者のプレーは、キャッチボールだけでも違うね」

「そうね、星歌のアンダースローも見てみたいわね」

「そうだね、息吹ちゃん」

恥ずかしい様な、嬉しい様な二人の評価を得て多少動揺しちゃって・・・。

「どお？私のストリートは？」

「普通かな（一回戦負けは勿体無いな）」

「あはは、厳しいねタマちゃんは」

山崎さんの辛めの評価にヨミちゃんが苦笑してる。

「ヨミちゃんに渡辺さん、投球練習してみる？」

山崎さんから座った状態の投球練習の誘いに。

「うん。」

「よろしくね山崎さん。」

ヨミちゃんと星歌二人共、快諾の返事をして。

1番手はヨミちゃん、星歌は少し離れてヨミちゃんの後ろで待機。

「よし、じゃあ打席で見てあげるわ」

「じゃあ、私は審判」

息吹ちゃんが打者役・芳乃ちゃんが球審役で山崎さんの後ろに。

「良いけど、ヘルメットしないと危ないよ」

「それと後ろ危ないよ」

山崎さんが、芳乃ちゃんにヘルメット着用と背後は危険だから少し離れたら良いよと促すと。

「公式戦捕逸（パスボール）無し、信頼してるよ」

*捕逸（パスボール）は捕手の人が捕球可能な投手の投球をミスで取れずに横や後ろに弾いたり後ろに逸らしてしまう事。

芳乃ちゃんから山崎さんへの信頼感1000%返答が・・・、それを聞いて、流石名門美南ガールズの正捕手さんだと素直な感想を抱いた星歌。

「そうだヨミちゃん、あの球は投げないの？」

「投げて良いの?」

山崎さんからあの球?と聞いて投げてても良いのか、不安げな表情をするヨミちゃん。

「捕球出来るの?」

「投球出来るの?このボールで?」

「……似た様な球なら……」

「投げて!、きつと捕るから」

山崎さんの捕球宣言と、ヨミちゃんの決意した雰囲気から三者反応をする星歌達……

「何だか、ヨミの雰囲気が違うんだけど……、嫌な予感が……」

（多分、ヨミちゃんの決め球）

（山崎さんがきつと捕ると宣言させる程の変化球、是非見てみたい）

息吹ちちゃんは、嫌な予感を感じて緊張した感じで。芳乃ちゃんはヨミちゃんの決め球を拜見出来るとわくわく感が溢れてて。星歌自身は若干芳乃ちゃん寄りの反応を。

「行くよ」

「来い」

ヨミちゃんの行くよの発言から、来いと山崎さんの勢いのある返事が。

グローブを頭上迄に振りかぶって……ヨミちゃんが決め球らしき球を山崎さんのグ

ローブ目掛けてリリースする。

そして・・・。

ヨミちゃんが投げた球が、すつぽぬけた感じになって右打席にいる息吹ちゃんの頭へ直撃コースに。

「あつー、息吹ちゃん危ない！」

（息吹ちゃん、避けて！）

（ヤバー、すつぽ抜けだよヨミちゃん）

「ひいいい、当る！」

息吹ちゃんが咄嗟に、目を閉じながら体を捻りながら避けた瞬間に。

ヨミちゃんが投球した球が急激に曲がって山崎さんがなんとか捕球に成功。

コース的には、アウトローギリギリのストライク投球。

「こ・・・こらー!!、何処に向けて投げてるのよ。頭に当たるところだったでしょ！」

尻もちをつきながら、息吹ちゃんがヨミちゃんに猛抗議。

「多分、ストライクだよね・・・」

「うん・・・入ってる」

「なっ?!、本当に!？」

「ヨミちゃんの得意球、凄く変化してた・・・あんな変化球投げれるの羨ましいな」

ヨミちゃんが投球した1球に、4者それぞれの反応が・・・。

星歌としたら、純粋にヨミちゃんが羨ましいと思ったよ。

「ナイスボールだよ、ヨミちゃん。後数球投げたら渡辺さんと交代だよ。」

「・・・うん」

「凄い、あんな変化球今まで見た事ないよ。それにヨミちゃんのあの球を一度も逸らさずに捕球する珠姫さんも凄いよ。」

「ヨミって、中学時代1回戦負けが多いんでしょ?」

「それは・・・、多分中学時代の捕手が捕球出来なくてサインを出さなくなったのかも」

「野球は、一人じゃ出来ないからね・・・」

星歌は、芳乃ちゃん達とヨミちゃん&山崎さんのバッテリーについて雑談をしながらヨミちゃんの投球練習完了を待つ。

そして、星歌の投球練習の時間がやって来て。

「星歌ちゃんがどんな投法で、どんな決め球を披露してくれるか楽しみだよ。」

「星歌ちゃんの決め球って何かな?」

「また私が打者役?」

「渡辺さんの持ち球って、何種類ですか?」

芳乃ちゃん、ヨミちゃんから期待の視線・・・。息吹ちゃんからは打者役をやる事への

抵抗感オーラが、山崎さんからはサインの確認等・・・。

今回は芳乃ちゃんが引き続き球審役、打者役はヨミちゃんですタート。

「渡辺さん、最終確認ですが持ち球はスライダー・カーブ・スローシンカー・シンカー・フォーク系のオリジナルであってますか？」

「合ってるよ、山崎さん。折角だから下の名前で呼んで欲しいな星歌も珠姫ちゃんと呼ぶからね」

「分かりました、じゃあ星歌ちゃんが得意な変化球をそれぞれ1球ずつサイン出すからね」

「了解」

投球練習前にマウンドで軽く珠姫ちゃんと打ち合わせして、その際にお互いに名前で呼び合う約束を。

「プレイボール」

「さあ、打っちゃうよ」

「ヨミ、打ったら危ないわよ」

芳乃ちゃんのコール、ヨミちゃんの宣言、息吹ちゃんのヨミちゃんへの忠告からスタートした星歌の新越谷での投球練習。

まずは1球目、珠姫ちゃんからのサインはストレート。

ミスターサブマリソンと言われた、元ロツテの渡辺俊介投手みたいにマウンドギリギリ迄利き手を沈めてから浮上させる様にボールをリリース。

「ストライク」

「サブマリソンって、あんまりみないから球筋に慣れないよ」

「星歌って、利き手傷めない?」

1球目は、右打者のヨミちゃんから見てアウトコースの真ん中（ベルト付近）で芳乃ちゃんの判定はストライク。

ヨミちゃんと息吹ちゃんの言葉を聞きながら2球目の珠姫ちゃんのサインを見る。

2球目はスライダのサインに首を振り、カーブのサインに頷く。

2球目のカーブをリリースし、アウトコースの下（アウトロー）に投球するも・・・芳乃ちゃんの判定は・・・

「ボ・ボール」

「際どいよ、ボールで良かった」

（芳乃ちゃんが判定に一瞬迷った、球審によってはストライクかな）

「へえ、星歌って珠姫さんのサインに拒否するから複数の変化球を習得してるのね」

3球目は高速シンカーのサインに領いて、高速シンカーを珠姫ちゃんが要求するコースにリリース。

コースは、2球目とほぼ同じのアウトローに投球し芳乃ちゃんの判定は……。

「ス・ストライク」

「さつきは、ボールだったよ芳乃ちゃん」

（2球目のカーブより、僅かに芳乃ちゃんのストライクゾーン入ったお蔭かな？）

「コントロール良いわね」

ラスト4球目、珠姫ちゃんからのサインは星歌オリジナル変化球（星歌命名：サブマリン：フオーク系）。

星歌が、決め球のサインに領いたのが分かったのか……

（星歌ちゃんの決め球、多分フオーク系？かな見てみたい）

（星歌ちゃんの決め球を打てたら打ちたいな）

（星歌の決め球何かしら？）

芳乃ちゃん・ヨミちゃん・息吹ちゃんの三者三様の反応をマウンドから確認して、珠姫ちゃんのミットに目掛けてリリース。

リリースされた球は、途中迄はストレートと同じ球筋で浮上しベース上辺りで急激に

潜航するみたいにストンと落下。

まるで98年横浜優勝時代のハマの○魔神と言われた投手の宝刀フォークみたい
に落ちて・・・。

芳乃ちゃんの判定は・・・、そしてヨミちゃん達の反応は・・・。

「ストライク、星歌ちゃんの決め球は落差のあるフォークなんだね。」

「何今の、見たことのないフォークだよ凄いや星歌ちゃん」

「初めて見たかも・・・」

「何とか捕球出来て良かった、星歌ちゃんからオリジナルの変化球の特徴を聞いて無
かったら捕球出来ないかも」

芳乃ちゃん・ヨミちゃん・息吹ちゃん・そして捕手の球姫ちゃんからの反応を聞いて
オリジナル変化球を開発・特訓してきて良かったなと心の底から思ったの。

そして、ヨミちゃんのあの球を見た衝撃と今日この5人でしたキャッチボールが楽し
かったから・・・なんだかこの新越谷高校で再び野球に情熱を注いでも良いかなって・・・。

その後は、軽く皆でキャッチボールをした後に仲良くグラウンド整備をして。

遅れながら越谷レイクタウンにレッツゴー。

越谷レイクタウンのフードコートで仲良く飲食して、より仲が深まった感じがした

よ。

☆次回の捕手のサインをお待ちくださいませ☆

4球目：ノック、そして先輩達来訪。

芳乃ちゃん達とキャッチボールして数日後。

また、皆でキャッチボールをしたくてそれぞれ体操着や中学時代の練習着を着用してグラウンドへ。

現在、新越谷高校野球部に籍を置く生徒は、名無しの2年生の先輩達2人とヨミちゃん・珠姫ちゃん・息吹ちゃん・芳乃ちゃん・そして星歌の計7人。

でも、芳乃ちゃんはマネージャーを兼任してるから選手登録上は6人のはず。

そうすると、試合するには最低後3人は必要だね。

「三人とも練習着（ユニフォーム）姿良いね」

「ヨミや、星歌のは中学時代の?」

「そうだよ」

「うん、本当は新越谷の練習着を着てしてみたいけど停部中だから貰えないから仕方なく・・・」

「息吹ちゃんも体操着じゃなくて、ちゃんとした練習着買わないとね」

「そうね・・・」

ワイワイと雑談をしながら歩いてるとヨミちゃんが・・・
「あつ、誰かいる」

グラウンドに先乗りしてた2人の練習着を着た生徒を発見。

星歌が籍を置いてくれて廃部を阻止してくださった、2年の先輩達かと思ひ・・・ヨミちゃんに続いて声を掛けようと思つて。

「もしかしたら、停部中ですけど籍を置いてくださつて野球部の先輩方でしょうか？」

返答は・・・

「こんにちは、1年よ」

ツインテールにしてる子が答えて。

「ちわゝす」

残りの片方のショートカットの勝気そうな子が答えて。

「なんだ、二人共1年生か。先輩かと思つたよ二人は何処中出身なの？」

ヨミちゃんが、同じ1年生の2人と判明後に何処中出身か尋ねて。

「私達は、二人共南相模中よ」

代表して、ツインテールにしてる子が答えてくれる。

その返答に反応して、息吹ちゃんが。

「へえ、隣の地区じゃない。私達は光陽台桜中よ」

「おつ、近いな」

ショートカットの子との間に、学区の近さによる親近感が沸いたみたい（多分）。

一方、芳乃ちゃんは・・・。

（南相模中は、去年の埼玉県大会出場校。そこそこ強かったはず・・・）

恐らく、芳乃ちゃん脳内PCによる分析・調査等が開始されてるはずと思う・・・。
だって、芳乃ちゃんの表情が無意識かもしれないけど歓喜の表情してるからね。

「そういえば二人のメインポジションは！、そしてそれと名前！」

バネに弾かれた様に二人に抱き着いて、メインポジションとまだ聞いてなかった名前を聞き出そうとする芳乃ちゃん。

「お・・・おう!？」

そんな芳乃ちゃんに抱き着かれて、戸惑うショートカットの子。

芳乃ちゃんにクールダウンして貰ってから、改めて2人の自己紹介がスタート。

「藤田董よ、メインポジションは二塁手よ」

「川崎稜、メインポジションは遊撃手だ」

ツインテールにしてる子が藤田董ちゃん、片方のショートカットの子が川崎稜ちゃんとやつと判明。

「二遊間かあ」

「頼もしいわね」

ヨミちゃんと息吹ちゃんの感想が聞こえて。

その間に、芳乃ちゃんがおでてチエツクに次ぐ新たな足チエツクをしてたけど・

「選手が芳乃ちゃんを除いて、ヨミちゃん・私・星歌ちゃん・息吹ちゃん・董ちゃん・稜ちゃんの6人・大丈夫かな？」

「先輩も二人程いるらしいし、まだ1年生が入部するかもしれないから慌てる時期じゃないよタマちゃん」

「ヨミちゃんに珠姫ちゃん、もしかしたら星歌の知り合いが入部するかもしれないから・まだ大丈夫だと思うよ。(あの入学式の日に見た姿が間違いじゃ無かったら多分・・)」

ヨミちゃんと珠姫ちゃんと星歌の3人で野球部の今後を軽く話してる間に、芳乃ちゃんと息吹ちゃんは双子トークで董ちゃん・稜ちゃんと仲良くなつてたよ。

「お〜い誰か、ノック打って」

稜ちゃんが内野へ歩いてて、ノックを希望して。

そんな稜ちゃんに董ちゃんが・

「こら！稜たら、勝手に入ったら怒られるでしょ」

そんな二人を見ながら、ヨミちゃんと芳乃ちゃん・息吹ちゃんと珠姫ちゃんと私ですトレッチを入念に。

ストレッチを怠ったら良くないから、皆も気を付けてね。

「あくあ・・・、折角グランド綺麗にしてくれてるのに・・・」

「二連の不祥事には、暴力沙汰が含まれてるらしいからおしりバット位は覚悟しないからね・・・」

「ひっ」

ヨミちゃんのおしりバット発言に息吹ちゃんが恐怖心を抱いて・・・。

「停部まで食らってるから、流星に改善はされると思うけど」

「ほっ」

「その代わりに、腕立てやスクワット100回はとかはあるかもね」

「ひくやつぱり」

息吹ちゃんのストレッチ補助をしてる珠姫ちゃんの発言に気持ちがあが上昇・下降を繰り返して・・・

そんな息吹ちゃんの様子を見て、まるで千葉県にある某夢の国にあるホテル型アトラクションに乗ったお客さんの反応みたいで少し面白かったのは内緒だけど・・・。

「はあく、しょうがないわね・・・」

「董ちゃんも結局行くんだね」

「こういうのは連帯責任が定石でしょ」

稜ちゃんのノック早くのオーラと、連帯責任は免れぬ状況に諦めの表情で董ちゃん内野へ。

「星歌も、ノックを受けようかな。丁度中学から愛用してる星歌用の一塁手グローブと三塁手のグローブを持参してるからどちらでもノック可能だよ」

稜ちゃん、董ちゃんが内野へ歩いているのをみて星歌も内野ノックを受けなくなつてついアピールしちやつた。

「じゃあ、私がノッカーをするね。息吹ちゃんは一塁で董ちゃん・稜ちゃん・星歌ちゃんからの送球を捕球してもらつて。星歌ちゃんは最初三塁でスタートして後半は息吹ちゃんと交代して一塁でノックだよ」

ノッカーを担当してくれる芳乃ちゃんに、ヨミちゃんが気になつた様で・・・。

「芳乃ちゃん、ノック打てるんだね」

「私達、遊びでやってたし多少はね」

芳乃ちゃんがノッカーを出来る理由を近くにいた息吹ちゃんが答えてくれて、芳乃ちゃんへの返事もしつそして一塁に向かつて歩き出す息吹ちゃんに。

「了解だよ芳乃ちゃん、優しく送球するね息吹ちゃん」

「よろしくね星歌、上手く捕球出来なくても怒らないでよね」

「うん大丈夫だよ、だって息吹ちゃん初心者さんだからね」

「そ・・そうね」

さて、久々の内野ノック楽しみだな。

ノックの順番は、星歌・稜ちゃん・董ちゃん（5・6・4）

※：今更ですが、ポジション別の数字を。

投手（1）・捕手（2）・一塁（3）・二塁（4）・三塁（5）・遊撃（6）・左翼（7）・

中堅（8）・右翼（9）となります。

「行くよ！」

ノッカーの芳乃ちゃんの問いかけに。

「準備出来てる」

「何時でも良いわ」

「どんどん捕球しちゃうよ」

稜ちゃん・董ちゃん・星歌の順に芳乃ちゃんへ返事する。

（カン）

ノック1球目は、星歌への強くもなく弱くもない打球でしつかりと捕球し一塁の息吹ちゃんへ優しく送球。

星歌の送球を見た稜ちゃんが．．。

「もつと強く送球しても良いんだぜ」

その質問に

「一塁の息吹ちゃんは、一塁でのノック経験があんまり無いと思うから捕球しやすい送球が良いかなと思って」

「あの子は、初心者よ」

そんな空気が流れたノック2球目。

(カーン)

1球目よりは強めの打球に、稜ちゃんは飛び付いて捕球し即体制を整え一塁の息吹ちゃんへ。

「ちよ、優しく送球してよ」

案の定？稜ちゃんの送球を弾いてしまった息吹ちゃん。

「へえ、上手いのね」

「だろ、見直しただろう？」

「はあ？、あの子（芳乃）のノックの上手さによ」

「なっ！」

芳乃ちゃんへのノックの上手さを褒めた董ちゃんと、自身のプレーを評価して欲しい稜ちゃんが軽く口論に。

星歌が仲介しても良かったんだけど、会っても間もない人が仲介してもあんまり良くないかなと思って静観しちやって。

そんな空気を強引に打ち払う様に

「次！董ちゃん」

芳乃ちゃんからの強い口調の声

「来なさい！」

ノック前より力強く返事する董ちゃん。

董ちゃんはゴロに対して丁寧な捕球し、一塁の息吹ちゃんに優しく送球。

（ぼす）

稜ちゃんの後の送球だったから、息吹ちゃんが安心した表情をしてる。

「董のプレーは、上品なんだよ」

「でもアウトにしたのは私よ」

「さっきのゴロだって、スライディングキャッチしなくても捕球出来たし稜のはエラー

ね。稜は目立ちたがりだから」

「はあ!?!、エラーはあいつ（息吹）の責任だろ」

「悪いわね、エラーをして」

「あのこと（息吹）は、初心者よ。稜もいい加減にチームプレイをした方が良いわ」

若干不穏な空気を残しつつ、それから各ポジ3球ずつノックしてから星歌は息吹ちゃんと交代して一塁へ。

ノック後半戦は、星歌・董ちゃん・稜ちゃん「3・4・6」の順でノック開始。

息吹ちゃんは、芳乃ちゃんの補佐に。

「星歌ちゃんが一塁に回ってからのノック行くよ」

「後半戦もよろしくね」

「何時でも良いわ」

「来い」

前半と同じく、芳乃ちゃんへ返事をする3名。

それから各ポジで前半より多い5球ずつノックを受けて、更に急遽数種類の併殺練習をしていると。

事 *併殺（ゲッツー）とは、一度の打球処理で2つのアウトを取れる守備側のプレーの

*例えば、(6↓4↓3、5↓2↓3)等です。

レアですが、プロでは一度に3つアウトを取る三重併殺(トリプルプレー)も。

何処からかヨミちゃん達以外の視線を感じて・・でも不穏な視線じゃ無かったから気にしなかったけど・・。

一塁でノック、そして併殺練習中に芳乃ちゃん表情を伺うと・・。

(董ちゃんに稜ちゃん、二人共思った通り上手だよ。星歌ちゃんも良いね、別の機会に外野守備もチェックしたいよ)

金の卵発見、ラッキーな表情をした。

一方、ノックを受けてないヨミちゃん達はゴロ処理や送球に関して対立してる董ちゃんと稜ちゃんのペアを見て。

「ねえタマちゃん、あの二人って仲悪いのかな？同中だよね？」

「それでもないと思うよ、だって・・」

「余計なプレーをするから、傷が増えるんじゃない」

「大丈夫だよ、これ位」

「良いから、足だして」

「あつ、いたたたた」

プレー中に軽い怪我（擦り傷）をした稜ちゃんに、董ちゃんが消毒スプレー等で処置をしているの見て。

「あつ、成程ね」

ヨミちゃんが納得した所に、先程の視線の持ち主？の先輩達が来て。

「!!。皆、先輩達が来たよ」

ヨミちゃんの言葉で、ヨミちゃん以外の全員が先輩達の周囲に集合。

「こんにちは×7」

皆で先輩達に挨拶、挨拶は大事だもんね。

「こんにちは、2年生の藤原理沙です」

「岡田怜・・・です」

二人の先輩達の名前が分かった所で、ヨミちゃんが・・・。

「お待ちしました、先輩達。良ければ一緒に野球をしませんか？」

代表して、岡田先輩に言葉と同時に握手をしようとしたら・・・

（バチ）

「私達は別だから」

「えっ!？」

岡田先輩の言葉で、一瞬何が起きたのか不明だったけど。

「どうやら、握手を拒否されちゃったの。」

「私達は、あなた達の遊びに付き合うつもりは無いの」

この岡田先輩の発言を聞いて、稜ちゃんと董ちゃんが怒りの表情で特に稜ちゃんが岡田先輩の方へと歩きだそうとして・・

「川崎さん、暴力はダメだよ!」

「稜ちゃん、落ち着いて!」

星歌は珠姫ちゃんと一緒に稜ちゃんを落ち着かせようとしてて。

(怖い)

息吹ちゃんは、岡田先輩に恐怖心を抱いた表情をして。

(岡田怜先輩、荻島ガールズにいた走攻守3拍子揃った名中堅手。勿論チエツク済です。)

こんな状況でも、多分芳乃脳内PCを起動させて岡田先輩を見てたと思う。。

「(この)野球部はね、以前は強かったの」

「一度全国に出場しましたよね」

芳乃ちゃんが、もう一人の先輩の藤原先輩と会話し。

皆に新越谷野球部の今に至る流れの説明を・・・。

「でも、近年結果が出なくてそのせいか練習・上下関係・しごきが段々厳しくなっていて・・・私達が入部した頃には最悪だった・・・。」

「それが、遂にある時度を越えてしまつて・・・その処分として対外試合禁止・活動自粛」
「その後に、私達以外の野球部の子達は退部したり学校を転校したりして二人だけに」

藤原先輩の説明を聞いてる内に冷静を取り戻した董ちゃんが、岡田先輩に質問を。

「何で、お二人は他の子達が転校や退部する中で何故今まで野球部に？」

それに対して、岡田先輩の返答は・・・。

「新入生が入部するまでに廃部にならない様に、籍だけは残して置きたかった。最後の最後で役に立って良かった。」

岡田先輩の返答に今度は、芳乃ちゃんが質問。

「最後について、じゃあ先輩達は？」

それに対しての返答は……。

「停部中、私達は好意でクラブチームの練習に参加させて貰って」

「大学とかでやり直す為にも、これからもそうするつもり」

「今度は、新入生で新しい野球部を作れば良いさ」

その言葉の後に、藤原先輩と一緒にグラウンド外へと歩き出そうとして……

「先輩！私や、星歌ちゃんの球を打ってみませんか？」

ヨミちゃんが、岡田先輩に突然の申し出を。

星歌は、事前に聞いても無いし知らされてもいないから内心びびくりして心臓ドキドキしてるけど……。

「部存続のお礼の意味も込めて……、でも真剣勝負ですよ。ねっタマちゃん」

「う……うん！」

「岡田先輩、藤原先輩、帰るのは良ければ滅多に見れない潜水艦（サブマリン）を見てからでも良いですよね？」

星歌も決心して、岡田先輩・藤原先輩にお誘いを。

「分かった、そう言う事なら・・・」
「怜・・・」

岡田先輩に対して、ヨミちゃんと星歌の二人がそれぞれ1打席のみの真剣勝負を。先に投球するのはヨミちゃん、星歌は2番手で外野手グローブを準備をしながら珠姫ちゃんの防具取り付けの補佐を。

「ヨミちゃんが最初に対戦する相手がレギュラー級の岡田先輩」

「岡田先輩にも通用すると思うよあの球は。」

「岡田先輩がヨミちゃんの例の球を知らなければ効果大だけど、把握されてたら厄介かも」

芳乃ちゃんと一緒に珠姫ちゃんの捕手用防具装着を補佐しながら情報交換。

「外野適当に入って、理沙先輩もお願いします」

「はい」

藤原先輩の了承も得て、バッテリー以外は外野に適当に散って守備に。

その際、息吹ちゃんが無意識か偶々か中堅方向へ。

(なんで私が中堅なのよ)

息吹ちゃんの困惑したオーラを感じたから、息吹ちゃんのカバーしやすい位置で守ろうと。

一方内野グラウンドの方は・・・

「外野に強い打球が行けば私の勝ち、それ以外はそっちの勝ちで良いよ。」

「サービス良いですね」

岡田先輩により、岡田先輩対ヨミちゃんと星歌の各1打席勝負のルールが決定。

数秒の沈黙が流れる・・・。

☆次話は、捕手のサインをお待ちくださいませ☆

5球目：岡田先輩との各1打席勝負！

球審は芳乃ちゃん、右打席に岡田先輩。

そして、バッテリーはヨミちゃんと珠姫ちゃん。

外野から守りながらみてるけど、緊張感がこつちにまで伝わってくるよ。

(凄い打者と美南ガールズで何人と対戦してきた、岡田先輩も凄い打者のその内の一人。)

(ここで、しっかりと抑えてヨミちゃんに自信を付けて貰いたい！)

珠姫ちゃんが、ヨミちゃんにサインを出しそのサインにヨミちゃんが頷く。

グローブを頭上まであげて、珠姫ちゃんが構えるミットに向かってリリース。

ヨミちゃんの1球目は・・・。

(パァン!!)

「ストライク！」

球審芳乃ちゃんのストライクコール

(外角一杯の良いストレートだよ)

アウトローに決まってそれを岡田先輩が見送り、0ボール1ストライク。

まるでヨミちゃんのあの球しか狙ってない感じ・・・

(ストレートに反応なし・・・、ヨミちゃんのあの球を待つてる?)

(無関心な顔・・・、私のストレートってシヨボいのかな?)

2球目、1球目と同じく珠姫ちゃんのサインに頷くヨミちゃん。

(ヨミちゃん、あの球行くよ!)

(うん)

1球目と同じ、モーションで珠姫ちゃんのミット目掛けリリース。

1球目とは違い、ヨミちゃんのあの球に反応しバットを出す岡田先輩。

しかし、岡田先輩のバットは空を切り・・・これで0ボール2ストライク。

ヨミちゃん、珠姫ちゃん岡田先輩を追い込んだよ。三球勝負?それとも1球様子見かな?

(やはり、あの球はただのカーブじゃない。球筋も確認出来た。次は打つ！)

3球目、珠姫ちゃんのサインに頷き投球動作に入るヨミちゃん。

珠姫ちゃんのミット目掛けリリースされた、3球目は・・・。

(パン！)

外角一杯(アウトコース)一杯ギリギリに、芳乃ちゃん球審の判定は・・・。

(ストレート!?)

(際どい・・・)

(どっち!?)

数秒?1分?長く感じた沈黙・・・

「・・・ボ・ボール」

沈黙後に放たれた、芳乃ちゃん球審のボール判定。

芳乃ちゃんもストライクかボールか悩んで出した判定だと思うよ。

(いや・・・、ボールと判定されたが球審によつてはストライクと判定されるコース。それに咄嗟に反応が遅れた。)

(あの球を、意識しすぎた・・・)

これで、岡田先輩のカウントは1ボール2ストライクまだヨミちゃん達有利のカウントだよ。

4球目に行こうとした時にヨミちゃんが。

「先輩!」

「この勝負、負けた方が勝った方の言葉をなんでも聞く・・・これはどうですか?」

「はっ?」

なんとこの場面で、ヨミちゃんが賭けを提案してきた。多分珠姫ちゃんはびっくりしてると思う。

「あら、あの子完全有利状況下で賭けを怜に提案だなんて・・・」

「ヨミ、せこい・・・」

(お遊びと言った発言)

(謝って貰わないとね)

(その賭けハイリスクハイリターンかな?)

(ヨミちゃん・事前に教えてくると嬉しけど)

(楽しくなってきたよ、この勝負)

ヨミちゃんの賭け提案に戸惑う岡田先輩を含め、グラウンドにいる皆がヨミちゃんの発言を聞いてそれぞれ言葉にしたり反応したりと・・・。

「・・・良いよその賭けに乗ろう。でも、そう簡単には行かないよ」

時間を置いてからの岡田先輩の返答は、ヨミちゃんの賭けにYESと。

「やったー!」

マウンド上で喜ぶヨミちゃん。

「つたく、何があんなに楽しいのか」

「中学時代に2球目に投げたあの球を捕球してくれる捕手がいなくて、だから純粹にその分投げるのが楽しいんだと思いますよ・・・この賭け状況も含めて」

「・・・そうか」

外野から見ても、マウンドから喜ぶヨミちゃんを見てこっちも楽しく感じる・・・岡田先輩と珠姫ちゃんとのやりとりは聞えなかつたけど・・・(残念)

・・・。

それに、多分だけどマウンド上にいるヨミちゃんと星歌は岡田先輩の印象が変わるの

感じてると思う・・・。

岡田先輩は、部員が藤原先輩の2人だけになりながらも部存続を願ひ籍を置いてくれたり・・・。

停部中、放置されて荒れてるはずのグラウンドや備品も綺麗だったから。

野球部へそしてまだ籍を置きながら罵詈雑言等があるなか、藤原先輩と一緒にグラウンド整備や備品を綺麗にしてください・・・感謝しかないよ。

つい、星歌達にお遊びって言ってたけど・・・、本音は星歌やヨミちゃん達と一緒に野球をプレイしたいはず。

だって、野球を嫌いになつたり籍を置いただけの幽霊部員さんがグラウンドや備品を綺麗には出来ないもん。

（皆とやりたいに決まってる）

（それなのに、どうしてあの言葉を）

（きつい練習・厳しくなる上下関係・それに伴うしごき・・・）

（停部中、野球部へそしてまだ籍を置く私達への風当たり）

（あの子達の楽しそうにグラウンドで、キャッチボールにノックをする姿を見て羨ましかったと気付かされた）

（折角掴みかけてるチャンス、チャンスを活かしそして勝つて此処で皆と野球がしたい！）

ヨミちゃんの賭け提案による一時中断後に、改めてヨミちゃんが珠姫ちゃんのサインに頷き4球目をリリース。

4球目は、ヨミちゃんのあの球・

その球を・

（カキーン）

岡田先輩が下からすくい上げる様にバットを出し、捉えた打球は・

星歌から若干離れた場所にいる息吹ちゃんの方へ。

（星歌より、息吹ちゃんが近い・・・）

「何で私の方へ飛んで来るのよ！」

「息吹ちゃんごめんね。なんとかカバーするけど星歌が捕球するより、息吹ちゃんが捕りに行った方が近いの」

星歌のこの言葉を聞いて、息吹ちゃんの表情が一瞬固まって・・・その後にはボールに向

かつて全力ダツシユ。

そして・・・

息吹ちゃんがダイビングキャッチ？（こけた様にも見えるけど・・・）をしてみるも、ボールには届かず・・・岡田先輩の安打が記録されて岡田先輩の勝利。

（岡田先輩の勝利だけど、もしヨミちゃんの勝利だったら・・・どんな事を岡田先輩に言うつもりだったのかな？）

果敢にもダイビングキャッチ？にトライした息吹ちゃんの元に、稜ちゃん・董ちゃん・星歌が近寄って。

「息吹！ナイスガッツよ」

「見直したぜ」

「カバー出来なくてごめんね息吹ちゃん」

（こけたただけど・・・）

一方の内野グラランドの方は・・・

「ヨミちゃんごめんね」

「・・・大丈夫だよタマちゃん・・・」

「・・・」

芳乃ちゃんは・・・

（やっぱり凄いですよ、でも怜さんの最大の特徴は守備！さっきの打球も）

打球の行方を見ていた岡田先輩から・・・。

「私ならさっきの打球捕球出来てたよ」

「中飛（センターフライ）、そっちの勝ちだよ」

「良い球だった、先程は悪かった。遊びつて発言して」

「そんな・・・」

ヨミちゃんとの勝負後に流れる穏やかな空気・・・。

「岡田先輩、藤原先輩も、勝負結果に関わらずに私の潜水艦（サブマリン）見てくれませんか？」

星歌の勝負が流れそうだったので、ついにアピールしちやった。

「分かった、それだからさっきの賭けの実行を後で良いかな？」

岡田先輩がヨミちゃんに問いかけて。

「分かりました。まずは星歌ちゃんとの対決が先ですからね」

星歌は、外野手用グローブから投手用に変更してマウンドへ。

マウンドを少し星歌なりに整備してから、珠姫ちゃんと軽く打ち合わせ。

「岡田先輩に対してどう対決する?」

「イン・アウトと使い分けて尚且つ緩急を使って、打ち取れたら良いなって」

「2連勝目指して頑張ろうね」

「うん、目指せ2連勝」

それから解散して、珠姫ちゃんは定位置へ。

その後軽く投球練習してから岡田先輩を迎える。

ちなみに今回の守備シフトは実戦に近い形の変則シフト。一塁に息吹ちゃん・二塁に董ちゃん・三塁に藤原先輩・遊撃に稜ちゃん・二遊間の間の場所にヨミちゃんと、外野手0のシフト。

「2連敗は避けたいから、打たせて貰うぞ」

右打席に立ち、気合を入れる岡田先輩。

「プレイ」

引き続き球審は芳乃ちゃん。

まず、1球目。珠姫ちゃんからのサインはインコース（ベルト付近）へのスローシンカー。

サインに頷いて、ヨミちゃん達に数日前に披露したミスターサブマリンⅡ渡辺俊介投手のフォームでミット目掛けてリリースする。

（!!）

岡田先輩が驚いた表情で、星歌がリリースしたスローシンカーを見送る。

珠姫ちゃんがインコースに構えたミットにしつかりと投げて、球審芳乃ちゃんの判定を待つ。

「ストライク！」

出だしよく1ストライクを岡田先輩から取れて、0ボール1ストライクのカウント。

「これ程のアンダースローは見るのは初めてだな」

「驚きました？」

「初見では打ちにくいと思うぞ」

岡田先輩と珠姫ちゃんが小声で会話してる様だけど・・・マウンド迄は聞えなくて残念。

珠姫ちゃんからの2球目のサインは、アウトコース（真ん中）のストライクからボールになるスライダー。

多分、ファールを打たせてストライクを稼ぐ考えかな。

1球目と同じフォームで、珠姫ちゃんの構えるミット目掛けリリース。

「くっ」

咄嗟に反応するもバットを何とか止める岡田先輩。

「芳乃ちゃんー！」

捕球後すぐに珠姫ちゃんが芳乃ちゃんにスイングしたかを確認・・・その結果は。

「スイングしてないかな・・・ギリギリで恰先輩がバットを止めたに見えたよ」

「分かった」

スイングの判定を聞いてから、ボールを返球してくれる珠姫ちゃん。

（バットが回った様にも見えたけど・・・、岡田先輩の執念かも）

マウンド上で、判定に内心若干の不服しながらも・・・気を取り直して珠姫ちゃんからのサインを待つ。

カウントは1ボール1ストライク。

3球目、珠姫ちゃんからのサインはインコース高め「インハイ」のストレート。

サインに頷いて2球目迄と同じフォームで、珠姫ちゃんのミット目掛けてリリース。

(パン)

ミットから響く良い音。

3球目を見送り、判定を待つ岡田先輩と星歌達。

「ストライク」

球審芳乃ちゃんのストライクコールで、カウントは1ボール2ストライク。

(ヨミちゃんはこの場で、岡田先輩に賭けを提案したけど・・・どうしようかな・・・)

ヨミちゃんと同様に賭けを提案してみようかなと心が傾きかけてると、それ察した珠姫ちゃんから。

「星歌ちゃん、ヨミちゃんの真似はしなくて良いからね！岡田先輩との勝負に集中だよ

！」

「ごめんね珠姫ちゃん。」

珠姫ちゃんに聞こえる様に返事した後に、改めて珠姫ちゃんからの4球目のサインを見る。

4球目のサインは、コース低めでストライクからボールになるカーブのサイン。サイン領いてミット目掛けてリリース。

「くっ」

（コン）

咄嗟に止めようとした岡田先輩のバットにボールが当たり。

（ボテボテ）

偶然か打球の勢いが殺されて、絶妙な三塁線へのセーフティーバントみたいな打球に。

※セーフティーバントは、バント安打の方法の1つで左・右打者がバントでボールを三塁線・一塁線方向に転がして出塁する安打の事。

※イチロー氏が、メジャーのマリナーズ時代に得意とした戦法。

打球の行方を見てから岡田先輩が一塁へと急いでダッシュ。

急いで、三塁の藤原先輩と捕手の珠姫ちゃんと星歌の3人がボールを取りに行き。

（急がなきゃ、ボールを掴んで・・・あつ）

速くボールに追い付いた星歌が、急いでボールを一塁の息吹ちゃんに慌てて送球しちゃって・・・。

その結果ボールが一塁の息吹ちゃんが構えるグローブから外れてファールゾーンへ。
(・・・、後で芳乃ちゃんからノックして貰わなきゃ・・・)

星歌自身の悪送球で、岡田先輩の一塁到達が間に合いセーフに。

これで岡田先輩は、1勝1敗の結果で終了したけど・・・

それを内野から見てた皆と芳乃ちゃんが近付いて来て・・・

「ドンマイ」

「あんまり気にしちやダメよ」

「星歌ちゃん、今度は私達に任せてね」

「怜の足に焦ってしまったのね」

「星歌、ドンマイ」

「星歌ちゃん、私もする事があるから大丈夫」

「ヨミちゃんや、星歌ちゃんへのノック必要だね」

「今度から慌てずに送球すれば良いさ」

「うん、ありがとうヨミちゃん達に藤原先輩に岡田先輩。今度はしっかりと一塁に送球しますね」

ヨミちゃん達から言葉を掛けて貰って、少しずつ元氣を取り戻す星歌。

それから時間を置いてからヨミちゃんが。

「怜先輩、賭けの実行なんです。私達からお願いを聞いて貰っても良いですか？」

「勝った方の言葉を聞く、それが賭けの内容だからね。良いよ」

（まさか、出ていけとかじゃあ・・・）

内心ではドキドキしながらもヨミちゃんの返事に了承する岡田先輩。

「一緒に野球をプレイしませんか？」

「もし、出来たら主将（キャプテン）をお願いしたいなつて」

ヨミちゃんの言葉に驚く岡田先輩・・・、ヨミちゃんの返事に岡田先輩の返答は・・・。

「良いよ、これからけっこう厳しくいくからね」

「はい」

「そうこなくちや」

（厳しく・・・？）

各々岡田先輩の主將就任了承に反応。

「理沙もそれで良いか？」

〔勿論〕

藤原先輩からも了承する言葉を貰えて一安心してたら・・・。

「ねえ、タマちゃん。そう言えば私や星歌ちゃんの球つて案外大した球じゃあ・・・」
ヨミちゃんが、岡田主将（キャプテン）にあの球打たれた事を思い出したらしくて：。
「そんな事はないよ、ヨミちゃんに星歌ちゃん。誰かヨミちゃんや星歌ちゃんの球を
打ちたい人！」

珠姫ちゃんが、落ち込んでるヨミちゃんと打たれたのを気にしてる様に見えた星歌の
球を打つてみないかと皆に打診して。

稜ちゃん・董ちゃん・藤原先輩・息吹ちゃんが希望。

息吹ちゃんは星歌との対戦のみ希望で、稜ちゃん達はヨミちゃんと星歌の2名を希
望。

先ずは、ヨミちゃんが先に登板。

結果は、稜ちゃん「空三」・董ちゃん「空三」・藤原先輩が「内野ゴロ」と。

続いて星歌が登板。

最初の打者の息吹ちゃん「左打席」は、

初球：インローのカーブをファール。

2球目：インハイのストレートを空振り。

0ボール2ストライクからの3球目・・・

3球目：アウトローのスローシンカーにタイミングが合わず空振り三振。

2人目の稜ちゃんは・・・

初球：インローのスライダーを見送り、1ストライク。

2球目：アウトコースのカーブが外れて、1ボール・1ストライク。

3球目：高めの釣り球で稜ちゃんの打ちたい気持ちを誘って、空振りを取って1ボール・2ストライク。

4球目：ボールからストライクに入るアウトローの高速シンカーを見逃して、見逃し三振。

3人目の董ちゃんは。

初球：インコースのストレートをファール。

2球目：インローのスローシンカーをファール。

3球目：アウトコースのスライダーが外れて、1ボール・2ストライク。

4球目：低めのストレートを見送って、2ボール・2ストライク。

5球目：低めのカーブを打って、星歌へのゴロ。

最後の藤原先輩は。

初球：アウトコースのスライダーをファール。

2球目：低めのストレートを送って、1ボール・1ストライク。

3球目：インコースのスローシンカーを送って、1ボール・2ストライク。

4球目：高めの釣り球に反応してくれなくて、2ボール・2ストライク。

5球目：ヨミちゃん以外に初めて投げるサブマリリン（オリジナル変化球：フォーク系）にびっくりしながらもなんとかファールで、カウントは変わらず。

6球目：アウトローのカーブを打って、三遊間を抜けてく安打。

（藤原先輩には負けちゃったけど、息吹ちゃん達に勝ったよ）

内心、岡田主将の分も合わせて、3勝2敗で勝ち越した事に喜んでいたら。

息吹ちゃん達が近付いて来て、藤原先輩へ投げた5球目のオリジナル変化球について
追及がスタート。

「なあなああの球って、星歌の秘密兵器か？」

「サブマリリン自体珍しいのに、フォーク？を投げれるなんて」

「ヨミにも、星歌にも負けたわ」

「私の対決の時は投げて来なかったが、打ってみたかったが」

「息吹ちゃん、星歌ちゃんに2連敗だね」

芳乃ちゃん以外のメンバーからの追及に星歌は。

「稜ちゃんの言う通りあのオリジナル変化球が星歌の秘密兵器で、好きな野球マンガのド○ベ○の里○投手や現楽天の牧○投手からヒントを得て、開発した変化球だよ」

「息吹ちゃんは、星歌に全然タイミングがあつて無かつたから、3球勝負かなと思つて」

「岡田主将（キャプテン）の時は、珠姫ちゃんからのサインが来たら投げようかなって思つてまして・・・その前のカーブで決着がついちゃいましたね」

皆への返答を終えた後に、秘密兵器に対応した藤原先輩が・・・

「なんで怜が武田さんから、そして私が渡辺さんから打てた理由はね・・・」

「入学式の日に、5人でキャッチボールしてたり投球練習をしてたでしょ」

「怜たら、気になつてずっと見てたの。勿論私も」

藤原先輩からのヨミちゃんや星歌が打たれた理由を説明してくれて。

「それで把握済だったんだ」

「初見で星歌のオリジナルに対応されたの藤原先輩が初めてだったから、そういう理由なら納得です」

（ヨミちゃんや、星歌ちゃんが打たれた理由はその為だったのか）

ほのぼのの空気が流れてると、主将に就任した岡田先輩がある事に気付いて。

「そう言えば、主将に就任して最初の指示を出すのを忘れていた」

主将の岡田先輩からの指示をドキドキしながら待つ星歌達。

「主将より先にグラウンドに入った罰として、グラウンド20周!」

息吹ちゃんは、ムンクの叫びみたいな表情をしてたけど皆でグラウンド20周を目指して走り出す。

（芳乃ちゃんを除いて、主将や稜ちゃん達を加えて計8名。後1名来てくれたら試合が出来る楽しみだよ）

☆次回の捕手からのサインをお待ち下さいませ☆

6球目：博多弁娘と剣道娘と幼馴染（前編）

あ・この場面・

懐かしいな・、勿論夢で見てるけどね。

二人の小学生位の野球少女が、公園のグラウンドで楽しくキャッチボールをしている。

く夢（過去：小学年〇生時？）く

（パン）

「良い球だよ星歌！、男の子に比べたらスピードは無いけどね」

（パン）

「??ちゃんだって、男の子並に速い球送球出来ないじゃん」

（パン）

「確かに、自分は女の子で更に捕手もやってるから痛感してるけどね。二塁への盗塁阻止・バントや投手前の弱い打球を処理した際に、速い球を送球する必要があるから男子並に速い球を送球したいよ・」

（パン）

「でも、女の子だけにしか無い武器もあるからそれをパワーアップすれば良いんだよ」
(パン)

「体の柔らかさや、器用さ等だね・・星歌の言う通り頑張ってみる」

(パン)

「??ちゃんは、頑張り屋さんだからきつと男の子以上にパワーアップ出来るよ」

(パン)

「星歌の言葉信じるね、もし中学生になってパワーアップした自分と対面して星歌びつくりしないですよ」

「??ちゃん楽しみにしてるよ、もしパワーアップして無かったら・・??ちゃんのお家の中華料理屋さんでラーメンを注文しちゃうからね」

「いつも星歌は、結局ラーメン(各味のどれか)だけじゃなくセットで半炒飯か餃子OR春巻きを頼むじゃん」

「それは・・、どれも美味しいから・・つつい」

「今回は、阻止してみせる。絶対に!」

星歌と??ちゃんは、小学生からの幼馴染で家が近所さんで・・。

??ちゃんのお家が地元で人気な中華料理屋さんの銀河亭なんだ。

夢の場面が切り替わって・・

く過去2（小学6年生位？）く

先程の場面の時より幾らか身長が伸びた二人の野球少女がキャッチボールをしている。

（パン）

「星歌・・・自分は市立の桜花中学で星歌は星神大附属中学に進学・・・一緒に野球やれなくなっちゃたね。」

（パン）

「ごめんね??ちゃん、****の約束を高校生になっても覚えていたら・・・一緒に食べよ」

（パン）

「勿論良いよ、けどもしどっちかが忘れてたら・・・忘れた方が****だよ!」

（パン）

「約束だよ??ちゃん・・・」

此処で夢の映像が終了する・・・

く現在く

「懐かしい夢を見たけど・・・何を約束したか覚えだせない・・・どうしよう・・・」

懐かしい夢を見て、朝から気分が良かったけど・??ちゃんと約束した内容を覚えだせない・・・・

(ヤバイ)

「願うなら、入学式の日に通学に使う電車の車内で見た女の子が??ちゃんじゃありません様に・・・」

神頼みして、お母さんの手作り朝食を食べてお父さんに朝の挨拶をしてから入学式の日から使用してる愛用の自転車に乗って駅へ。

いつも通学で使う電車に乗って、車内を見てみたけど・??ちゃんらしき子は見当たらず・・・

それから、最寄りの駅で降りて学校へ・・・

教室に入つて、ヨミちゃん達と朝の挨拶

「おはようヨミちゃんに、芳乃ちゃん・息吹ちゃん」

「星歌ちゃんおはよう、今日も放課後に勧誘してみるよ」

「星歌ちゃん、おはよう。今日も勧誘頑張るよ」

「おはよう星歌。星歌の知り合いとかで野球経験者っていない？」

三者三様の朝の挨拶を貰い雑談した後、それからクラスメイトの子達とも朝の挨拶や雑談をして席に。

それから放課後を迎えて・・・。

（放課後）

「野球部いかがですか？」

「経験者・未経験者の子ウエルカムだよ」

芳乃ちゃんから渡された極秘ノートを頼りに、部活未所属の子・野球経験者の子にヨミちゃんと一緒に勧誘をしてるけど・・・。

「確か、野球経験者だよ？一回練習見学してみませんか？」

ヨミちゃんが野球経験者の子達に声をかけてみて（その内1人は確かクラスメイトの??さん）

「ごめんねもう将棋部に入部しちゃって」

「同じく」

「吹奏楽部に入部してて、でも応援の形で野球部に関われたら良いな」

??さんは吹奏楽部に入部されてて、他の子は将棋部と・・・

芳乃ちゃん極秘ノートが敗北・・・。

「経験者、今の子達で全員だね」

「今日もダメだったね・・・」

「次回から、未経験者の子にも勧誘してしましょ」

「諦めたら試合終了だもんね、雨天ノーゲームや雨天中止等には負けちゃうけど・・・」

星歌達の様子を廊下から見てる2人の視線には気づかず・・・

それから、グラウンドに集合して練習スタート。

ヨミちゃんと星歌は交代しながら珠姫ちゃんを相手に投球練習。

野手組の皆（星歌や珠姫ちゃんも途中参加↓外野守備or内野守備・打撃練習・基礎練等）は各ペアに分かれて練習スタート。

「ひい、ひい、はあはあ・・・」

「ほら、もつと腰を落として・・・」

「は・・・い・・・」

息吹ちゃんは主将の岡田先輩とペアで、基礎練

「ほいっと、なあなんであんなに息吹は主将に期待されてんだ？」

「それは、息吹ちゃんがセンスの良さで野球選手の真似が得意な点が関係してるかも」
「へえ〜」

稜ちゃんは芳乃ちゃんを相手にグラブトス・バットトスの反復練習。

「確かに息吹ちゃんはセンス良いですよね」

「初心者の仮面を付けた経験者さんだったりして・・・」

「息吹、主将に随分目を掛けられてるわね」

「怜つたら、息吹ちゃんを気にいって・・・あんな楽しそうな怜を見るのは久々ね」

星歌は珠姫ちゃんとペアと董ちゃん藤原先輩のペアで、トス打撃を一旦中止して雑談。

ヨミちゃんは見学？

そんな星歌達を見て岡田主将が・・・

「こら、サボるな！」

岡田主将から注意を貰って、星歌達はトス打撃を再開。

ヨミちゃんは1人でグラウンド外周ランニングを。

（後で星歌もランニングしないと）

「昔から、芳乃の野球選手再現玩具にされてきましたから・・・」

必死に岡田主将の基礎練メニューをこなす息吹ちゃん。

「それでか、打撃フォームや走り方が似てるのは」

「ほらもつと頑張れ、足腰を鍛えれば私を追い越せるぞ！後60回！」

「ひいひい」

息吹ちゃんの悲鳴を聞きつつ、投球マシンを相手にバント練習をする星歌達・・・

（息吹ちゃん・・・頑張れ）

（息吹ちゃん、実は大化けするかも）

（怜、本当に息吹ちゃんを後継者育成したいのね）

（息吹、ご愁傷様）

そんな星歌達をグラウンド外から見てる2人

「部員は8人く9人・・・これじゃ試合どころか全国にも・・・」

（バッティングセンターに寄った方が良いかも）

「あの姿は、やっぱり星歌じゃん。ここに入学してだんだ・・・」

（あの約束覚えてるかな？）

見学者？の2人は、お互いの言葉でお互いの存在を把握。

「ここで全国を目指そうと思うなら、期待しない方が良いと思うけんね」

（ちやんと調べて学校を選べば良かった）

「グラウンドに小学校以来の幼馴染で投手の星歌と、捕手で??と一緒に美南ガールズでプレーした、チームメイトの山崎さんがいるから案外全国は夢じゃあ無いかもよ」

（この子、経験者だね）

お互いに牽制？しあっている、そこに新たな少女がやって来て・・・。

「あの、お二人は野球部見学者ですか？」

「あつ・・・、私は大村と言います。良ければ皆さん一緒に見学しませんか？」

新たに加わった大村さんの一緒に見学しないかの誘いに見学者？の2人は・・・

「野球部に入る気はないけん」

「良いよ、大村さんは野球経験は？」

一人は拒否・片方は賛成に分かれて・・・

拒否した博多弁の子が大村さん達から離れようとした時・・・

「あれ？野球部見学（入部）希望者の方々ですか？」

グラウンド外周をランニングしてたヨミちゃんが絶妙なタイミングで声を掛けて・・・

「我が野球部はアットホームで、未経験者の方大歓迎中です」

「スタメン登用制度あり、1年生から活躍出来ますよ」

訪問販売・深夜の通信番組みたいに、大村さんを含む3人にセールストークを展開するヨミちゃん。

「少しでも良いので、見てくださいよ」

「いや・・私は・・」

「それじゃあ、見学しちやいます」

「は・・はい」

ヨミちゃんにぐいぐいと背中を押されて3人はグラウンドへ。

「皆！見学者（入部希望）の方々だよ」

ヨミちゃんの言葉に反応して、ヨミちゃんと見学（入部希望）者の3人の周りに集合する。

（9人以上達成だよ、3人の内何人が入部してくれるか分からないけど・・取り敢えず揃った♪）

（あつ、あの薄桃色の髪・・??ちゃんだよね・・）

（あれは??ちゃんだよね）

星歌を含めて何名かが、見学者（入部希望）を見て周りに気づかれずに反応する。

「主将、あんまり3人を威圧しないようにお願いしますよ」

「岡田先輩、笑顔・笑顔ですよ」

「わ・分かっている」

董ちゃんの注意と星歌の応援のエール？を受けて3名の元へ。

「コホン、2年主将の岡田です」

「ポジションや出身中学等軽く自己紹介を」

ぎこちない笑顔を保ちながら、岡田主将が3名へ質問を。

「お・大村白菊と申します。中学迄は剣道部で野球は初めてでポジションはまだ・・・」

一人目の子は大村白菊ちゃん、剣道部出身。剣道で大村さん・どっかで聞いた様な気が。

「剣道部か、どうして野球部に？」

ヨミちゃんが気になって大村さんに質問を。

「えっと、個人競技以外もプレイしてみたくて来ました」

「もしかして、大村さんをテレビとかで見た事があるかしら？」

息吹ちゃんも若干の違和感を感じながら、大村さんに質問。

「いえ？」

(大村さんからの返答は否か・・・、やっぱり息吹ちゃんや星歌の気のせいかな。)

恒例だけど、芳乃ちゃんからのチエックも受けながら・・・。

2人目、博多弁を話す子の自己紹介がスタート。

「中村希、一塁と外野の守備経験あります・・・でも野球部に入部する気は・・・」

中村さんが続けて言葉を言おうとした時に、芳乃ちゃんが。

「もしかして、中村さんって左打？」

「良ければおててを拝見しても良いかな？」

「えっ、一応よかよ」

中村さんの許可が下りて、恒例の芳乃ちゃんチエック・おてて編がスタートだよ。

(また芳乃の癖発動ね)

(あはは)

息吹ちゃんやヨミちゃんは苦笑してたけど・・・

「やったー、野球部に両打は息吹ちゃんがいるけど左打が居なくて・・比較的新しいママがあるから春休み中しつかりとスイングしたんだね」

芳乃ちゃん分析完了。

（芳乃ちゃん、必ずプロ野球の裏方さんのスコアラーさんにもなれるよ）

中村さんの自己紹介が終了して、最後の3人目・・あの子が前に出てくる。

（チラ）

星歌と珠姫ちゃんの方を一瞬見てから自己紹介がスタート。

「志木蓮華と言います、捕手と外野全部の守備経験あります。お団子頭の子の星歌は小学生からの幼馴染で・・捕手の山崎さんとは美南ガールズと一緒にプレイして正捕手を争った仲です」

「入部する気100%なので、皆さん宜しくお願いします」

（ちら）

再度こちらに確実に視線を向けた後に、何か後で言いたげそうな表情をして輪に戻る。

（約束、約束早く思い出さなきゃ）

（あの件だよね・・）

「それじゃ、体験入部と言う事でお試しにマシン打撃をしてみましよう」

「えっ、宜しいのですか？しかもマシンがハイテクです♪」

3人への藤原先輩のお試しマシン打撃のお誘い＋マシンがハイテクな事に、大村さんのテンションがUP。

（バッテリーセンター行くお金が浮くし、丁度良いや）

（怪我明けだけど、久々の打撃楽しみ）

部室を紹介して、着替えに行く大村さん達。

（確かに設備は一流やけん、でも監督さんが居ないしやる気がない？）

（停部してたと聞いてたけど・・・設備一流だよ。やる気更にUPしちゃうよ）

（マシン打撃楽しみです）

部室に入り、体操着に着替えようとする3名。

「わく、〇〇回全国大会記念の全員集合写真があります」

停部前の〇〇回全国大会記念集合写真を見て、嬉しがる大村さん。

（全国、停部前は本当に強かったったい）

（星歌や山崎さんや、先輩達でまた全国に行く！）

（つて、実績に騙されて新越谷に入学したっちゃった）

着替えが終わって、再びグラウンドへ。

「じゃあ、経験者の中村さん・大村さん・志木さんの順に打ってみましょう」

マシン打撃の順番を指定し、打撃ケージに中村さんを促す藤原先輩。

最初に打つのは、中村さん。

「お願いします」

打撃マシンの調整は稜ちゃんが担当。

（経験者らしいが、球速は県内最速の久保田投手に設定。初球から打てる訳がない・・・にひひ）

マシンから久保田投手の最高球速に設定されたボールが放たれて・・・。

（カキーン）

タイミングばっちりですええ打球は、マシンを防護してるネットに直撃。

「ひっ!?!」

初球を完璧に捉えた中村さんの打撃に、見学してた藤原先輩・蓮華ちゃん・星歌・ヨ

ミちゃん・芳乃ちゃんとマシンを設定した稜ちゃんが驚き。

「凄いじゃない中村さん」

「やるね中村さん」

「凄いタイミング完璧だった」

「凄いよ中村さん」

「流石だよ中村さん」

皆の反応に中村さんは・・・。

「別に・・・バツセンで慣れとーけん」

「いやいや、普通初球から打てるか？」

（中村さんが利用するバツセンって、どんなバツセンか気になる）

（マシンの球速、久保田投手かな？）

それから打撃マシンから放たれて・・・。

（カーン）

（カーン）

（カキーン）

初球以降の球も、芯で捉えてライナー性・ヒット性の打球を連発する中村さん。

「中村さんって何者？」

「全部、芯で捉えてる」

「しかも全部の打球が投手返し・・・、それに狙って打ってる」

珠姫ちゃん・岡田主将・芳乃ちゃんも中村さんの打撃に驚き。

（こんな凄い選手を調査漏れするなんて・・・一生の不覚！）

芳乃ちゃんがショックを受けた様な表情をして・・・

「中村さん！出身の中学は何処かな？」

芳乃ちゃんが前のめりになって、中村さんに出身中学を質問して。

「箱崎松陽・・・福岡」

中村さんの出身中学と、出身県が分かって皆の反応が。

「福岡県！、野球王国だね」

「遠い所から来たね!？」

「あの方言は博多弁なんだね」

「それでか、チエックリストから漏れてたのは・・・まさか野球留学生？」

「驚いたな・・・、まだ新越谷が越境組を取ってたとは」

「つて事は中村さんは停部中の事は知らずに？」

ヨミちゃん・蓮華ちゃん・星歌・芳乃ちゃん・岡田主将・息吹ちゃんが反応。
それに対して中村さんは……。

「ち……ちが……」

「違うよ、埼玉県に来たのは親の仕事上の都合で……本当は全国を目指せる高校に入学して野球をしたかったちゃけど……」

「でもこの高校の野球部の事を良く調べずに入学したから……入部する気は……」
「中学の皆と全国で会おうって、約束したのに……」

しんみりとした空気が流れる

「一応だが聞きたい、美南ガールズで全国経験がある珠姫に志木さんはどう思う？」

岡田主将が、珠姫ちゃん・入部内定の蓮華ちゃんに質問を。

「それは……、参謀の芳乃ちゃんに聞いて貰えたら」

「自分はまだ正式に入部していませんのでなんと……ただ、可能性は0%では無いのは確信出来ます！」

（今日初めて会った志木さんと、主将に声を掛けられた子が全国経験者?!）

岡田主将の質問に二人の考えで返答。

「参謀の芳乃に聞きたい、中村さん・大村さん・志木さんの3人が入部したと仮定してのチームのレベルは・・・」

今度は芳乃ちゃんに質問を。

「3人が無事加入してくれたとして・・・今のチームレベルですが・・・」

（こんな所でも、凄い子は一応入ってくるったい）

「ベスト4以上は狙えるかと」

（えっ、そんなに?）

（ベスト4以上、上手く行けば各大会のシード権常連校のチャンス!）

「またまた芳乃ちゃん、大げさじゃない?」

「それはシード高とかをなめすぎじゃ?」

「出来るかな・・・」

ヨミちゃん・董ちゃん・星歌が芳乃ちゃんの分析結果にびっくりしていると

(ずい)

「なめていないよ。3人共むしろそっちこそが自分自身を過少評価していないかな？」

董ちゃんと星歌が、芳乃ちゃんに迫られて・・しかも無意識か自分自身を過小評価を
していないかを問われて・・。

「そ・・そうね」

「芳乃ちゃんの言う通り、無意識に星歌自身・・過小評価しちやつてたのかも」

「勿論、夏までの三月間みっちりと練習して尚且つ運も味方になってくれたらの話だけ
どね」

星歌達から離れて、分析結果の詳細を教えしてくれる芳乃ちゃん。

(なんでかいな、この子の言う事は信用出来る気がする・・)

「なら、1年後はどうなるかいな!？」

「1年後はすぐには分からないかな」

「優勝出来るつちやないと？」

「他校の事情も変わるからね・・」

「打撃ケージのネット裏付近でぐいぐいと芳乃ちゃんに迫り、色んな事を聞く中村さ
ん。」

一方、2人目のマシン打撃体験者の大村さんも遅れながらマシン打撃をスタート。

「大村さんは、野球初めてだよね緊張するかもしれないけど、マシン打撃楽しんでね」

「大村さんは、初心者だったわね。スイングとか大丈夫？」

「大村さん、頑張つて」

打撃ケージの近くで、大村さんにアドバイスや応援を送る蓮華ちゃん・藤原先輩・星歌。

「はい．．一応．．」

緊張した様子で、右打席に。

「お願いします」

大村さんへ1球目がマシンから放たれて．．．。

（ガキーン）

良い音を立てて放った打球は、左中間の防球ネット直撃の認定本塁打。

「バットに当たりました！．．．良い感触です」

その打球を見た皆は．．

「西武の山○選手似の打球じゃん、どすこい！」

「横浜DeNAの99番の弾道だよ」

「あんな打球打った事ないのに・・・」

「えっ・・・大村さんって初心者だよね？」

「大村さん、4番確定ね怜」

「野球部諦めないで良かった」

「嘘・・・!?」

「当たったってレベルじゃあ・・・」

「きゃあ・・・大村さん最高だよ♪」

「私にはあんな打球は絶対に無理ね」

「マジで・・・!?」

大村さんが放った規格外の打球・弾道の衝撃に皆がびっくりしてる中の2球目・・・。

「次お願いします・・・（あの感触を忘れない内に）」

（ブン）

（ボス・・・）

「あれ？」

3球目・・・

（ブン）

（ボス・・・）

「あれ？全然当たりません」

「なんだ・・・さっきの打球は偶然か・・・」

「はいその様です・・・」

（な・・・なんで初心者の大村さんが!?!、私でもあんな打球飛ばした事ないのに）

マシンを担当してる稜ちゃんと、大村さんが話していると中村さんが嫉妬の視線を。

そんな中、息吹ちゃんと星歌が大村さんへの違和感の正体に気づき始めて・・・。

「あつ、思い出したわ大村白菊さんって」

「有名な剣道道場の娘さんで・・・」

「全国剣道大会のテレビ中継で見た事あるわ」

「そうそう、そうだよ息吹ちゃん」

（全国優勝!?!）

「凄いじゃん」

「でも、全国大会で優勝する位強いのになんで野球を?」

ヨミちゃんが「大村さんが高校から剣道では無く、野球をやりたいのか気になった様子で。」

「元々は、野球がしてみたくなって更にはテレビで見た高校野球の試合に感動して・・・。野球漫画も好きです」

「母に、高校で野球をやりたいとお願いしたら、全国大会で優勝する事が条件だと言われまして・・・」

「ですから、高校からですがよろしくお願いします」

大村さんの正体が、有名な剣道道場の娘さんで全国大会で1位を取る程の実力者さんと判明した所で・・・

最後のマシン打撃体験者の志木蓮華ちゃんが、一礼をして打撃ケージへ。

蓮華ちゃんは最初は右打席に立ってマシンからの投球を待つ。

そんな蓮華ちゃんはある秘密があつて・・・。

「中村さんや、大村さん程の打撃を披露出来るか分かりませんが・・・よろしく願います」

そんな蓮華ちゃんの打撃お披露目に皆の注目が集まつて・・・。

1球目が放たれる・・・。

☆良い所ですが、次回の捕手のサインをお待ちくださいませ・・・次回はこの続き（後編）を予定してます☆

7球目：博多弁娘と剣道娘と幼馴染み（後編）

志木蓮華ちゃんが打撃ゲージの右打席に立って、マシンからの1球目を待つ。

「蓮華ちゃんって、どういう打者なの？」

ヨミちゃんが美南ガールズでチームメイトだった珠姫ちゃんに質問。

ヨミちゃん以外の皆も珠姫ちゃんからの答えに興味津々。

「蓮華ちゃんは、走攻守の三拍子が揃った打者で積極的な守備と盗塁が特徴かな。打者として弱点を強いて言えば・・・長身の投手」

「自己紹介にも言ってた様に、捕手と外野を守れて美南ガールズの時は打力と走力等を活かす為に外野へとコンバートされたけど・・・。捕手でも外野手でも十分お釣りがくる選手かな」

「後は蓮華ちゃんには、最大の秘密があるけど・・・それは蓮華ちゃんの打撃を見たら分かるかな」

珠姫ちゃんの解説を聞いて、皆の反応は・・・。

「捕手兼外野手を守る選手は貴重だよ」

「長身投手が苦手・・・にひひ」

「外野でも3つのポジションを守備出来るのは凄いわ」

「蓮華ちゃんにも負けんけんね」

「志木さんから打撃や守備のアドバイスを貰えたら・・・」

「これでタマちゃんの負担も軽減だね」

「息吹ちゃん以外にも後継者が出来たわね・・・怜」

「評価は実際の打撃、守備を見てからだが・・・」

「走攻守三拍子凄いです」

「早く・・・約束を思い出さなきゃ・・・(小声)」

打撃ケージ内で皆の感想を聞いている蓮華ちゃんは・・・

(恥ずかしい様な、嬉しい様な・・・でも小学生の頃からパワーアップした証を星歌に見せる！)

鋭い眼光をしつつ、ルーティンのバットを軽く地面にコンコンと2回当てて。

それから更にバットで軽く2回円を描く蓮華ちゃん。

そんな蓮華ちゃんの打撃フォームは、現・埼玉西武ライオンズ2軍監督のリトル松井

と言われた松井稼内野手を真似たフォーム。

蓮華ちゃんの秘密Ⅱ松井稼内野手・分かるかな？

投球マシンから1球目が放たれて・

（コン）

流れる様な動きで、一塁線へのバントを。

2 球目

（コン）

今度は、逆の三塁線へのバントを決めてみせる蓮華ちゃん。

3 球目からは・

（カーン）

（カーン）

（カーン）

三遊間・二遊間・一二塁間へ引つ張り・投手返し・流し打ちと広角に打ち分ける蓮華ちゃん。

それだけでも反応は上々で

「引つ張り・流し・投手返し・見事に打ち分けてる・・・」

「バントも凄いいけど、初見のマシンの球を打ち分けるなんて」

「苦手コースってないのかしら？」

「私もあんなにポンポンと打てたら・・・」

「タマちゃんもうかうかしてられないね」

「パワーアップしてるよ蓮華ちゃん」

「ボールを捉える技術、伝授して貰いたいです」

「ますます蓮華ちゃんには負けたくない」

「久保田投手の最速球速の球を簡単に打てるもん？」

皆の評価公表が落ち着いたところで、遂に蓮華ちゃん秘密が・・・それは。

「今度は、左で打ちます！」

打撃ケージの右打席から、左打席へと変更した蓮華ちゃん。

そう、志木蓮華ちゃんは珍しい右投両打の捕手兼外野手の幼馴染なんだ。

左打席でも同じルーティンをし、マシンからの球を待つ蓮華ちゃん。

そんな両打だが判明した蓮華ちゃんを見た反応は。

「両打の捕手なんて珍しいよ」

「息吹と合わせて、チームに両打が2名になるのね」

「これで内野も守れたら最強じゃん」

「両打をマスターなんて、蓮華ちゃんの努力は並大抵じゃない」

「両打のライバルとして負けないわ」

「タマちゃんのチームメイトの蓮華ちゃん凄いよ」

「志木さん尊敬します」

「部員の選手起用にも余裕が出るわね、怜」

「打撃は問題ないと思う、後は守備を見てみたい」

「た・確か約束は・う・うん（小声）」

左打席で迎える1球目・・

（コン）

右打席と同じ様に1球目はバントを、今回はセーフティーバント気味に三塁線へ。

2球目

（コン）

2球目もバントを成功させる蓮華ちゃん、今度のバントはプッシュ気味のバントで仮想一塁手と仮想投手との間に転がす強めの打球を。

3球目からは・・

(カキーン)

(カキーン)

(カキーン)

(カーン)

右打席時とは変わって強めの打球が、一塁線・右中間・左中間・三塁線を抜けて行く。
マシシ打撃を終了して、蓮華ちゃんが打撃ケージから出てくる。

「中村さんや、大村さんみたいに打撃でアピール出来たかなって・・・」

やや不安げな表情で、主将の岡田先輩や藤原先輩・参謀の芳乃ちゃん達の方を見て：

「打撃は申し分ないと思う、後日に守備・走塁も見せて欲しい」

「志木さんが入部してくれるなら心強いよ」

「一緒にプレイ出来たら嬉しいわ」

「蓮華ちゃんとまた一緒にやりたな」

「蓮華ちゃん、また美南ガールズの時みたいに、正捕手を争いしない？」

「蓮華ちゃんにもあの球を受けてみて欲しいな」

皆からの蓮華ちゃんに対する評価は高くて、星歌も嬉しいな。

そんなときに稜ちゃんが．．

「蓮華って、珠姫より身長低くない？」

（あつ）

（稜ちゃんその禁句ワードは．．）

星歌と、蓮華ちゃんの事を知ってる珠姫ちゃんだけ禁句ワードを知ってて．．．。

（ピキ．．）

何かが切れる音と、若干蓮華ちゃんの周りの体感温度が下がって．．。

ゆっくりと稜ちゃんの方へと向いて。

「あれ？．．なんか自分の身長の低さをバカにする発言が聞こえた様な気がするんですけど．．」

「自分だって、好きで146cmになった訳じゃないもん！毎日牛乳飲んで身長を伸ばそうと努力してるのに」

「此処でもチビチビと言われるんだ．．（泣）」

蓮華ちゃんの身長へ対する不満が爆発した感じで、泣いちゃって．．

しばらくして泣き止んだ蓮華ちゃんに、稜ちゃんが謝罪して一件落着して良かった。

「希ちゃん・白菊ちゃん・蓮華ちゃん、私投手なんだ」

空気を換えようとヨミちゃんがあの球を3人に披露。

あの球が打撃ケージに設置されてるネットにいつも通りの変化をして直撃し。

(何?今の変化球)

(見た事ない変化球だった・・・)

(凄いです)

「3人の打撃力でガンガン打って、援護してね」

続いて星歌もアピール。

「ヨミちゃん程の変化球は無いけど、潜水艦(サブマリン)少女として頑張るからね」

決め球の一つのオリジナル(サブマリン:フォーク)を普段投げてる渡辺俊介投手のフォームでネットに向けて投球。

(ストーン)

いつもよりキレが増した感じで落下した球がネットに当たり・・・。

それを見た3人は・・・

(!!、この野球部弱くないけん)

（星歌もパワーアップしてるね）

（何ですか今の球は？）

表情を見るだけでもアピール成功した事が分かったよ。

その後、中村さんが・・・

「良いよ・・・、でも入部するからには・・・一緒に目指して欲しいっちゃけど・・・」

「全国を！」

「それから、白菊ちゃんに蓮華ちゃんには負けんけんね！」

中村さんからの入部・全国宣言に続いて、打倒大村さん&蓮華ちゃん発言も飛び出
て。

「えっ!？」

「望む所だよ、中村さん」

驚く大村さんと、受けて立つ気100%の蓮華ちゃん。

その様子を見てた芳乃ちゃん達が・・・

「人数も揃ったね」

「チームの目標も決まったな」

「よし」

「皆で言おうよ」

「全国を目指すぞ！」（珠姫ちゃん以外）」

その様子を珠姫ちゃんが離れて見ていて・・・

そんな珠姫ちゃんの様子が気になって、近づくと蓮華ちゃんも珠姫ちゃんの所へ。

「星歌、山崎さんお久しぶり、元気だった？」

蓮華ちゃんの挨拶から始まり・・・

（ヤバイヤバイ、約束を思い出させてない！思い出せ渡辺星歌！）

（蓮華ちゃん、あの件を絶対に聞きに来ると思った）

星歌と珠姫ちゃんの2人は内心違う事を考えながら蓮華ちゃんに対面

「蓮華ちゃん、あの頃からパワーアップしたじゃん」

（後少しで思い出せそう）

「蓮華ちゃん、お久しぶり。また一緒にプレイ出来るなんて嬉しいよ」

（梁幽館のスカウトを断って此処にいる事なんて言おうかな・・・）

「星歌に山崎さんも元気そうで良かった、ごめんね突然泣いちゃって」（二人共自分に何か隠してる？まあ自分も泣いちゃったからね・・・）

数秒の沈黙後

「蓮華ちゃん、あのね・・・あの日の約束の言葉を一緒に言わない？」
（これ正解じゃ無かったら、ボークじゃん）

「良いよ星歌、じゃあ1・2・3のタイミングで言おうよ」
（覚えてくれてたんだね）

星歌達の事を少し離れて待っていてくれる珠姫ちゃん。

「1」（星歌）

「2」（蓮華）

「3」（星歌）

「せいの」（蓮華）

「ラーメン！」（星歌・蓮華）

「・・ぷ、息ぴったりだね」

（やった！正解だったよ無死満塁のピンチを切り抜けたよ！）

「銀河亭のラーメンは美味しいからね」

（多分、忘れてたと思うけど・・まあ小学校以来の再会でチャラにしちやえ）

「今日にでも食べに行くよ蓮華ちゃん」

「大盛でも、セットでも注文をお待ちしてるよ星歌」

星歌達の会話に珠姫ちゃんも加わり・・

「もし、良かったら私もラーメン良いかな？」

「勿論」

「山崎さんもうござ」

ほのぼのした空気が流れ・・

今度は蓮華ちゃんのターゲットが珠姫ちゃんへ。

「どうして、梁幽館のスカウトを断ったの？先輩や他の人や自分も、山崎さんが梁幽館へ行くもんだと思ってる」

（吉川先輩からのLINEでの確認のトークや電話が多くて困ってたけど・・・）

「そ・・・それは・・・、進路を決める頃に高校生活を捧げても良いと思う程の野球に対する情熱が無かったからかも・・・」

「でも、今ではスカウトを断って良かったかなって思ってるよ。だって梁幽館に入学したらヨミちゃんや蓮華ちゃんに再会する事も出来なくて、勿論星歌ちゃんとも会えなくてね」

珠姫ちゃんの現時点での新越谷へ対する想いが溢れて来て。

そんな様子を3人程が離れた所で観察してたとは知らなかったけど・・・。

く一方観察者？視点く

「タマちゃんに星歌ちゃんと蓮華ちゃん何を話してるんだろう？」

「それは、幼馴染や元チームメイトだった関係なんだしヨミが心配する程の会話じゃないと思うわ」

「気になるけど、多分3人の秘密にしたい会話だと思うから・・・珠姫ちゃん達が言ってく

れるのを楽しみにしようヨミちゃん」

「やっぱり、幼馴染や元チームメイトって大切だね」

「離れる縁・絆もあるけど、繋がる・続いていく縁・絆もあるから、野球や何か困った時があつたら何で相談してね」

「戻りましたよ、主将達が心配するわ」

そう言つて3人は離れていく・・・。

☆次回の話は、捕手からのサインをお待ち下さいませ☆

1 回表裏（本編1章）

8球目：練習、告白そして監督就任！

蓮華ちゃん達が野球部に加入してから翌日。

初めて迎える9人以上での練習。

人数が増えた分、投内連携練習・バント守備練習・シートノック等が可能に。

今日は、星歌と蓮華ちゃんペアとヨミちゃんと珠姫ちゃんの両バッテリーペア。野手組の皆は内野・外野組に別れて練習スタートだよ。

途中から、珠姫ちゃん・蓮華ちゃんは内野ノックへ参加予定。

一塁側ファールゾーンで、ヨミちゃんと珠姫ちゃんのバッテリーが投球練習。

逆に三塁側ファールゾーンで星歌と蓮華ちゃんのバッテリーが投球練習。

くヨミちゃん&珠姫ちゃんsideく

「良いボールだよ、ヨミちゃん。ラスト1球！」

珠姫ちゃんからのヨミちゃんへ返球されてラストボール。

（パアン）

良い音を立てて、珠姫ちゃんが捕球。

捕球後に、珠姫ちゃんがヨミちゃんに手渡してボールを渡して・・・。

「私、これから内野ノックに入るからヨミちゃんは外野ポール間往復のダツシュだよ」

「うへえ・・・」

（昨日辺りからタマちゃんが塩対応だよ・・・）

言われた通り外野ポール往復ダツシュをしにいくヨミちゃん。

く星歌&蓮華バッテリーsideく

（パン）

こちらも良い音を立てて捕球してくれる蓮華ちゃん。

「今日も調子が良いよ、中村さんの全国発言に刺激された？」

（パン）

蓮華ちゃんからの返球を受け取り

「それもあると思うし、それ以外の理由としては幼馴染の蓮華ちゃんにボールを捕球して貰ってる事かな」

間隔を置いて、再び蓮華ちゃんのミット目掛けリリースする星歌。

(パン)

「それは、捕手冥利に尽きるね嬉しいね星歌！」

(パン)

再び蓮華ちゃんからの返球を受け取り

「星歌、次がラストボールだ」

(コクン)

蓮華ちゃんのラストボール通知に頷いて

「行くよ蓮華ちゃん！」

(あつ)

星歌が投げたボールがベース手前でワンバンドしちやつて・・・。

「くっ、パワーアップした自分を舐めるな」

身を挺してワンバンドのボールをプロテクターで止めてくれた蓮華ちゃん。

「蓮華ちゃん、カバーありがとう」

「まさかラストが暴投阻止練習になるなんてな」

「あはは×2」

蓮華ちゃんと一緒に笑った後に、マウンドを一緒に整備をしてから蓮華ちゃんは内野

ノックへ・星歌はヨミちゃんと同じく外野手組の邪魔にならない様に、外野ポール間往復ダツシユしに外野の芝生へ。

野手組の外野手グループの方はと言うと・・・。

（外野手グループ side）

岡田主将・息吹ちゃん・白菊ちゃんの外野手グループは外野芝生で岡田主将による外野ノックを。

「行くぞ息吹！」

「来い!!」

（カン）

合図を出した息吹ちゃんへ岡田主将が外野フライを上げる。

（パシ）

走りながら捕球成功する息吹ちゃん。

「ナイス捕球だぞ息吹、次白菊！」

「はい！」

（カン）

次は白菊ちゃんへの外野フライを打つ岡田主将。

(・・・ポト)

「ああ、行き過ぎてしまいました・・・」

打球目測を間違えて落下地点をオーバーしちやつた白菊ちゃん。

「よし、1セット目ラスト3球！」

1セット目の終わりを告げるラスト3球予告を息吹ちゃん・白菊ちゃんにし、息吹ちゃんへフライを打つ岡田主将。

(カン)

(パシ)

「意外と簡単かも」

息吹ちゃんの外野ノックを舐める？発言を聞いた岡田主将が・・・

「よし、息吹はまだ元気そうだななら最初からのラスト5球！」

「は・・・はい・・・」

(ひええ、聞こえてた)

それから何セットの外野フライノックが続いて・・・

「も・・・もう・・・動けません・・・」

「し・・・死んだ・・・」

(恨むよ数分前の私)

倒れこむ様に、芝生に倒れる息吹ちゃんと白菊ちゃん。

そんな様子の二人組を見て、岡田主将は。

「二人共、初めよりだいぶ早く落下地点に入りボールを捕球出来る様になった」

「これからこの調子で頑張れ」

岡田主将の褒め言葉に息吹ちゃんと白菊ちゃんが嬉しい表情に。

「嬉しい表情をしている所すまないが、小休憩は終了だ。水を飲んだらトス打撃をするぞ、内野組は休まずに練習してるからな」

岡田主将の言葉に逆にぐったりした表情で、水飲み兼トス打撃をしに息吹ちゃんと白菊ちゃんは内野グラウンド方向へ歩き出し・遅れて岡田主将も。

この時、ヨミちゃんと星歌はお互いを励まし合いながらレフトスタンドのポールからライトスタンドのポール間をダッシュ中だったよ。

く外野ポール間ダッシュ中のヨミ達 side く

「ひいひい、後何回・・・ダッシュすれば・・・良い・・・の？」

「はあ、はあ、外野組の・・・練習が・・・終了・・・した・・・ら・・・か・・・な？」

何回目かのポール間往復ダッシュを繰り返して、多少ダウン気味の星歌達。

「これ・・・が・・・終了・・・したら・・・星歌は野手・・・組に・・・合流だ・・・」

「内野・ノック・だね・・・」

「そうだよ・・・ヨミちゃん・・・」

「頑張つてね・・・星歌ちゃん・・・」

最後の体力を絞つて往復ダッシュをする星歌達・・・

一方、内野手組は・・・

〈内野グラウンド：内野手組side〉

捕手に珠姫ちゃん・蓮華ちゃん

一塁に希ちゃん、二塁に董ちゃん、三塁に藤原先輩、遊撃に稜ちゃん。

後で星歌、一塁で途中参加予定だったけど・・・無理かも・・・。

今は、併殺練習中。

「最初は、二塁併殺からその次は遊撃併殺と複数の併殺を練習するからね！
「行くよー！」

ノッカーの芳乃ちゃんの指示と、掛け声で併殺練習スタート。

(カン)

二塁の董ちゃんへのゴロ打球を打ち、それを董ちゃんが捕球し二塁カバーに入ってる稜ちゃんへ送球、そしてすぐに稜ちゃんが一塁の希ちゃんへ送球。

これを数回繰り返し・・・。

「次は遊撃併殺行くよ！」

(カン)

今度は、遊撃の稜ちゃんへゴロ打球を放ち、それを稜ちゃんが捕球し二塁にいる董ちゃんに送球、すぐに董ちゃんが一塁希ちゃんに送球。

これを二塁併殺時と同じ様に数回繰り返し・・・。

「いい加減上がりなさいよ稜、打撃練習時間減るわよ」

「へばったか？きついなら先に上がっても良いぜ」

「それに新調したグラブを慣らすには、練習しかないだろ」

「そ・・・それはそうだけど・・・」

そこへ芳乃ちゃんからの注意が

「董ちゃんは捕球後のテンポが若干遅いよ！、稜ちゃんは送球が雑だよ！しっかり送球
しっ」

二塁併殺時に一塁の希ちゃんが背を伸ばして捕球してたりしてたから・・・

それから、三塁併殺・一塁併殺を練習した後に・

「ラストに満塁を想定した三塁ホーム併殺（5↓2↓3）と、一塁ホーム併殺（3↓2↓3）をするよ！」

この併殺練習の時だけ、捕手の珠姫ちゃんと蓮華ちゃんとなんとか体力が回復した星歌が遅れながら一塁で参加。

「行くよ」

ノッカーの芳乃ちゃんの声でスタート。

（カン）

三塁の藤原先輩へゴロ打球を放ち、藤原先輩が捕球後すぐに捕手の珠姫ちゃんへ送球し、珠姫ちゃんも直ぐに一塁の希ちゃんへ送球。

2回目は、捕手を蓮華ちゃんが担当。

（カン）

先程と同じ様に藤原先輩へゴロ打球を芳乃ちゃんが放ち、藤原先輩から捕手の蓮華ちゃんへ送球、蓮華ちゃんが若干お手玉をしてから一塁の星歌へ送球。

「蓮華ちゃん、焦らずにかつ迅速に送球を、もう1回行くよ！」

3回目は珠姫ちゃんの予定だったけど、蓮華ちゃんのミスでもう1回蓮華ちゃんが担

当。

蓮華ちゃんと星歌にとっておかわりとなった、3回目の満塁想定之三塁併殺はミスなく終了。

この後珠姫ちゃんと蓮華ちゃん、星歌と希ちゃんを入れ替えながら練習を繰り返す。

「はあ、はあ、メジャーで二刀流をしてる大○選手が凄いよ。」

「星歌・ラストにトス打撃が待ってるからね」

「・・・頑張る・・・」

「無理しないでよ」

星歌・蓮華ちゃん・珠姫ちゃんと軽く話ながらボール回収等の片付けを。

「片付けが終了して、トス打撃の準備が完了したら暗くなるまで打つよ」

野手組+星歌がトス打撃に移行しようとした時に、フラフラしながらこっちの方へ来るヨミちゃんの姿が見えて。

「ヨミちゃん、いつまで走ってるの?」

珠姫ちゃんがフラフラのヨミちゃんに声を掛け。

「タマちゃんが投球練習後は外野ポール間ダツシユだつて、指示したんじゃ・・・」

(タマちゃん、自分で走らせておいて酷いな・・・)

「ごめんねヨミちゃん、お詫びに私の分迄トス打撃をしても良いよ」

「やった!」

珠姫ちゃんとヨミちゃんのやりとりを聞いてた星歌達は・・・

(二人分を一度にやることだよね・・・ヨミちゃん大丈夫?)

(武田さんが苦しくないなら良いのかも?)

「ひいひい」

珠姫ちゃんがトスする球を、必死に打ち返すヨミちゃん。

他の人達は、藤原先輩・白菊ちゃんペア、岡田主将・息吹ちゃんペア、董ちゃん・稜ちゃんペア、希ちゃんと芳乃ちゃんとペアでトス打撃を暗くなる迄実施。

その際に、練習の物足りなさを感じた希ちゃんに芳乃ちゃんが自主トレ(素振り・ラニング)のお誘いをして希ちゃん・芳乃ちゃん・息吹ちゃんの3人がこの後に自主トレをすることに。

その後、完全に暗くなったのでトス打撃を終了し片付けをして部室へ。

「ふ〜今日も楽しかったね」

「そうだね」

「頑張るぞ二刀流を！」

「器用貧乏にならないようにね星歌」

ヨミちゃん・芳乃ちゃん・星歌・蓮華ちゃんと揃って部室の中へ。

ヨミちゃんが先に着替え終ってドリンクを飲んで希ちゃんを発見。

「希ちゃん、何を飲んでるの？」

「プロテイン・・・飲む？」

試しに、ヨミちゃんと星歌と蓮華ちゃんが試飲させて貰う事に。

「なんか粉っぽい」

「飲み慣れるまでに時間掛りそう・・・」

「他の味はありますか？」

三者三様の感想を希ちゃんに、その様子を見ていた白菊ちゃんが。

「あの・・・、私も試飲してみてもよろしいでしょうか？」

〔白菊ちゃんはダメ!〕

（更にパワーがついて差をつけられたら困るし・・・）

落ち込む白菊ちゃんを見て、少しだけと言って白菊ちゃんにドリンクを渡す希ちゃん。
ん。

そのドリンクを上品な飲み方で飲む白菊ちゃんを見て・・・。

「飲み方上品だね」

「そんなに飲んだら今以上にムキムキに」

「飲み方に性格が表れるんだね」

「プロテインって、即効性だっけ？」

ヨミちゃん・希ちゃん・星歌・蓮華ちゃんが各々の感想を。

そんな星歌達を離れた席で見てる珠姫ちゃん。

その後、準備出来た人達から家路に。

その際、ヨミちゃんは珠姫ちゃんに呼ばれていつもとは別の方角へ歩き出して・・・。

星歌と蓮華ちゃんは、トレーニングついでに今日はいつもととは違う帰り道で駅に向かう事に。

軽くジョギングをしながら進んでると、防波堤？の所でヨミちゃん達を発見・・・でも何か重要な会話をしてる感じだから・・・

咄嗟に蓮華ちゃんと一緒に草むらの近くにあつたブロック塀に隠れちゃつて・・・。

しかもギリギリにヨミちゃん達の会話が聞こえる距離で・・・。

(急に隠れてびつくりだぞ星歌)

(ごめんね蓮華ちゃん、咄嗟にね・・・)

隠れながらヨミちゃん達の様子を観察。

観察していると、途切れ途切れだけど会話が聞こえて来て・・・

「・・・こう・・・して・・・間・・・も・・・」

「強い・・・チーム・・・練習・・・」

「しか・・・才・・・ある・・・選手・・・が・・・」

「全国・・・つて・・・つたよね・・・」

「ヨミ・・・ちゃ・・・んは・・・どこ・・・まで・・・本気・・・なの？」

最初に聞こえて来たのは、珠姫ちゃんの声・・・なんだかヨミちゃんに問いかけてる感じ・・・。

「・・・気に・・・言つて・・・も？」

「う・・・」

「け・・・本気・・・だよ・・・」

「*****」（聞き取れず）

「別・・・思つ・・・いよ」

「確か・・・実・・・はな・・・けど・・・」

「私は・・・野球・・・楽し・・・だ」

「み・・・なや・・・タマ・・・が・・・だから」

「好き・・・人と・・・一・・・懸・・・でも・・・く・・・たい」

「そ・・・為・・・は・・・つ・・・でも・・・勝た・・・と」

「・・・て・・・スタ・・・ス・・・か・・・な・・・私は」

先程聞こえた珠姫ちゃんへの問いかけに、今度はヨミちゃんが答えてる感じばい。

更には会話をしながら、キャッチボールをするヨミちゃん達。

ふっと、道路を見ると、自主トレ中の希ちゃん達を発見。

希ちゃん達も咄嗟に星歌達を発見すると同時に、隠れて観察を。

蓮華ちゃんは、ブロックサインを応用して芳乃ちゃんに今までの状況を報告してお互

いの状況把握をしてくれてて。

「私……、初ね……」

「ヨミ……んと……ら……勝……負……か関係……く……楽……れば……かな……て……思……て……んだ……ね」

「……し……人……が……らな……たら……ボールを……けの……部……も……と……つてた」

「……よ……りも……つた人……が……で……で……まつたり」

「……いうの……は……中学……で……た……ず……から」

「……もね……ぎ……人……が揃って……格的……に……活を……なっ……全国……葉……で……つたら」

「……だろ……半端……は……嫌……んだ」

ヨミちゃんの返答を受けてからの珠姫ちゃんの返事……。

肝心な発言箇所が途切れ途切れで……うくん。

「……れは……タマちゃん……つてる……ら……しよ」

「……んなで……つ……味を……」

会話を聞きながら、観察してるけど……ヨミちゃんと珠姫ちゃんの秘密の会話をこれ以上聞くのは野暮かなって蓮華ちゃんとアイコンタクトを取りながら様子を見てるけどね……。

（星歌、そろそろ離れよう・・・もしかしたら武田さんか山崎さんのどちらかが気付き始めるかもしれないから）

（うん、そうだね蓮華ちゃん。芳乃ちゃん達に合図を送ってから星歌達は退散しようか）
蓮華ちゃんが、ブロックサインを応用しながら芳乃ちゃんに先に退散する旨を連絡してから・・・星歌達はひっそりとこっそりと退散。

その後、息吹ちゃんやヨミちゃんからLINEでトークが来て、芳乃ちゃんが我慢出来ずに乱入しちゃった事や練習メニユーが強化される等を教えてくれる・・・。

（練習メニユー強化・・・はあ・・・）

（翌日）

放課後にいつも通りに練習して予告通り？芳乃ちゃんからの新たな練習メニユーを貰っていると、岡田主将が女性の先生と一緒にグラウンドに来て。

「はい、皆集合！それじゃあ先生お願いします」

岡田主将の言葉で、女性の先生が一步前に。

「引継ぎが遅れてしまい、大変すみません。この度顧問になりました藤井です、ですが皆さん自主的に工夫をしながら練習をしてた様ですね。」

「良かった、優しそうな先生で」

「家庭科の先生ですよ」

「あ・・・あれは埼玉4強時代の・・・（小声）」

「うん？蓮華ちゃん何か言った？」

「いや・・・なにも」

藤井先生を見て、それぞれの感想を言う息吹ちゃん・白菊ちゃん・蓮華ちゃん・蓮華ちゃんは藤井先生について何か知ってるっぽい様子だけど・・・。

「ふふ、もう授業で会った子達もいますね」

「さて・・・、事前に主将の岡田さんから皆さんが全国を目指してると伺いました」

藤井先生の様子・空気感？が変わった感じがして・・・

「そこで、1週間後に相手高を迎えての練習試合を組みました」

「現時点での、皆さんの実力をどこまで相手高に通じるか見せて下さい」

藤井先生の練習試合成立発言に・・・

「初試合だね蓮華ちゃん」

「走攻守アピールしてレギュラーを掴みたい」

「試合!?!」

「やった」

「早速だねヨミちゃん」

「絶対に勝とうねタマちゃん」

「頼もしい1年生達だな」

「あら私達も初めての試合よ怜」

「1番打ちたい!」

「稜、打順は監督やマネージャーの芳乃が相談して決めるから我儘は良くないわ」

「初試合楽しみです」

「いきなりですか!?!」

「各々反応を示すみんな」

「1週間後に新生新越谷野球部の初対外試合・・・」

「相手は分からないけど、どんな打者がいてどんな投手がいるか楽しみ」

☆次話から、対外練習試合（柳大付属川越高校：通称柳大川越）編をお送り致します

☆

公開は、捕手（珠姫か蓮華）のサインをお待ちください。

9球目：対柳大附属川越高戦①（プレイボール前）

顧問の藤井先生から伝えられた初対外試合を明日に迎えた今日・・・。

監督・マネージャー兼作戦担当就任の芳乃ちゃん・ヨミちゃん・星歌・珠姫ちゃん・蓮華ちゃん・岡田主将が空き教室を借りて作戦会議を・・・。

「明日の対外試合の相手は、柳大附属川越高・・・通称：柳大川越だよ」

芳乃ちゃんの第一声から本日の会議はスタート。

「以前までは弱小で1回戦・2回戦負けが多かった高校ですが、去年に1年生の投手の朝倉さんが入部してからは朝倉さんを軸に夏をベスト16・秋季大会を準々決勝進出を達成してます」

「今年の埼玉県予選の注目高で、ダークホースになるのではないかと睨んでいます」

芳乃ちゃんから簡単な柳大川越高情報を提供して貰い・・・。

「そんな高校との対外試合の約束を取り付けて下さった藤井先生の人脈が気になります
が・・・（苦笑）」

岡田主将が苦笑しながら、芳乃に情報の続きを促し。

「基本的に投手は右の朝倉さん、左の大野さんの2枚看板で、野手では1番を打ちます大島選手・4番で捕手の浅井選手が要注意選手になります」

芳乃ちゃんの情報で、監督以外の参加者皆が頷き。

「柳大川越は、基本1番の大島選手・2番の亀平選手が出塁してから3番・5番の浅井さんを含む主軸が打って得点するパターンが多いです」

「なので、捕手の珠姫ちゃん・蓮華ちゃんは大島選手・亀平選手の足も警戒しながら配球して貰って。投手のヨミちゃんと星歌ちゃんはクイック・牽制を忘れない様にして投球してね」

芳乃ちゃんからの注意事項を聞いて

「芳乃ちゃん、情報ありがとう」

「塁上にいる時のウエストボール指示は、ベンチから出す？それとも山崎さんや自分の判断で？」

（大島さんか・・・、再会した時になんて言われるかな・・・。）

「クイック苦手だけど・・・、頑張るよ」

「一緒に頑張ろうヨミちゃん」

（蓮華ちゃんの様子が一瞬変だったけど・・・気のせい？）

「ウエストの指示は基本ベンチから出すよ、蓮華ちゃんや珠姫ちゃんの判断でブロックサインを出してもOKだよ」

芳乃ちゃんが一步下がって、代わりに監督が前に出て。

「次の議題は、スタメン選手・打順についてですが・・相手の投手が右の朝倉さん・左の大野さんのどちらが先発してくるかは分かりません。」

「部員に余裕があれば、偵察メンバーを適用できますが・・控えが2人なので今回は使いません」

「なので、どちらが来ても良い様な先発メンバーを選びたいのですが・・」

監督の藤井先生が、皆の方を向いて・・

「そして皆さんの初対外試合もあって、なるべくは経験者を優先したいと思ってます」

監督の言葉を受けて岡田主将が挙手して。

「監督や芳乃の考えで決まってるのは、遊撃手の稜・二塁手の董・三塁手の理沙・一塁手の希・そして私の中堅手かと思えます」

「未定が両翼とバッテリーかと思えます・・」

頷く藤井監督と芳乃ちゃん。

「両翼候補は、息吹と白菊ですが・・捕手の蓮華や投手の星歌も外野守備を出来ますので

悩みますし・・・」

「捕手も珠姫を起用するのなら、先発はヨミで。逆に蓮華を起用するのなら先発は星歌のペアが良いかと」

それから、予想投手の相性・打線の様々な組み合わせの模擬実験を繰り返して・・・
やつと先発メンバーが決定！

メンバー表に書き込まれたのは・・・

1番：「一」中村

2番：「右」志木

3番：「捕」山崎

4番：「中」岡田主将

5番：「三」藤原

6番：「遊」川崎

7番：「二」藤田

8番：「投」武田

9番：「左」川口息

控え：渡辺星歌・大村白菊

監督：藤井杏夏

マネージャー：川口芳乃

白菊ちゃんは、代打予定で星歌は2番手で登板予定

当日は、ヨミちゃんが4回・星歌が3回の継投予定。

そして、試合当日を迎えて・・・。

〈試合当日朝：蓮華side〉

今日が高校生での初試合・・・楽しみだな・・・

確か、親友の大島さんも柳大川越に朝倉さんを慕って入学したって4月にLINE来てたから・・・

今日の試合にもスタメンだろうな・・・、しかも確実に1番中堅手で。

自分の肩で、大島さんの盗塁を阻止したり進塁を捕殺してチームに貢献出来たら・・・

父さんの中華朝食を食べた後に、忘れ物をないか確認して家を出る・・・。

勝って、皆で銀河亭で祝勝会をやれたら・・・。

(番組星座占いで、挑発に注意を・・・って言ってたけど・・・挑発って?)

〈蓮華side終了〉

〈星歌side〉

今日は、初めての対外試合だよ。

緊張して寝不足・・・なんて事はしないけど・・・マウンドに登板してすらしていないのに緊張してる・・・

へ・・・変なの星歌。中学の時のトラウマから逃げる為に、野球を辞める想いで新越谷に来たのに・・・。

それが、今じゃ新生新越谷野球部で野球を・・・ヨミちゃん・蓮華ちゃん達と野球をする事が楽しく・・・楽しみに感じてる・・・。

あの中一の頃以来かな？星歌自身、楽しく野球をしたのって・・・。

今日は、チームの為に投手でも野手でも力一杯頑張るぞ！

（今日の朝の星占いで、友達を巡りけんかするかも・・・注意って言った・・・蓮華ちゃんと喧嘩するの?）

蓮華ちゃんと待ち合わせするために家を出る。

（勿論、朝食はちゃんと食べたし忘れ物はないつと）

く星歌side終了く

く大島留々sideく

今日は、対外試合遠征で新越谷高校と練習試合つす。

新越谷高校は確か停部中と聞いてたけど、新越谷高校に入学し野球部に入部した蓮華ちゃんから、LINEで連絡貰って再開した事を知ったつす。

再会するのが楽しみつすよ

(テレビの占いでは、友達に災いがつて言つてたけど・・・災いつて何つすか?)

く大島留々side終了く

蓮華ちゃんと合流して、一緒に新越谷高校のグラウンドへ。

その道中に、一人で釣りをしてるポニーテールの柳大川越の制服を着た生徒さんを見。

おそるおそる蓮華ちゃんと一緒に声を掛けてみると・・・

「あの・・・、ここでは何が釣れるんですか?」

(ザリガニ?フナ?)

「此処で釣りしてる人初めてみたよ」

(もしかして、大島さんが慕つてると言う朝倉さんなのかな?)

星歌達からの質問に返事が来て

「・・・さつきニゴイが釣れましたよ」

「そちらは、野球部ですか?」

釣り少女から質問が来て・・・。

対して星歌達は・・・

「はい、今日が入部してからの初めての試合なんで楽しみなんです」

「勝てるか分かりませんが、頑張ります」

「そう・・・、頑張つてね・・・」

「そちらも釣り頑張つて下さい」

「試合に遅刻しないで下さいね・・・朝倉さん（小声）」

それから、星歌達は寄り道した分の遅れを取り戻す様に急いで歩き出す。

それを見てた釣り少女（朝倉さん？）が・・・

「・・・あつ、ヒットしてる」

く新越谷高校グラウンド：蓮華 side く

「さつ、こーい」

「ばつちこーい」

「ノツカーへたつび！」

「新越谷のノツカーの子が上手かったぞ」

今は、先攻の柳大川越の試合前のシートノック中。

ノッカーの子が、味方の内野陣の子から口撃を食らってる・・・。

そんな様子をベンチから見ると・・・

「ねえ留々、新越谷のシートノックで右翼を守備してた子中学生？」

（本当に高校生？）

「いや、大野先輩の見間違えじゃないっすか？」

（久しぶり蓮華ちゃんを見ましたけど、やっぱり他の子達と比べて身長低いっす）

「見間違えじゃないわよ、留々より視力は良いんだからね」

（留々、あんた私をバカにしないでよね）

「高校なんですから、中学生がいる訳無いっす」

（蓮華ちゃんが殺気たつぷりの視線でこっちをみてるっすよ）

蓮華の身長の低さをバカにする発言が三塁側ベンチから聞えて来て・・・

声が聞こえた方を向くと、親友の大島さんと大野さんらしき人が会話をしてて・・・。

蓮華が、殺気を込めた視線を送ると2人が気付いて・・・。

「あら？、噂の中学生外野手の子がこつちに恨み・怨み殺気たつぷりの視線を送ってるわね」

（身長の事を気にしてるのね、からかいやすいわこの子）

「大野先輩、この辺で止めた方が良いつす。浅井先輩が最終確認の為にファールゾーンで待ってますから早く行かなきゃいけないいつす」

（蓮華ちゃんがズンズン近づいて来るし、浅井先輩は先輩で視線でこつちを睨むし・もう嫌つすよ）

「留々つて、あの子と友達だっけ？留々もからかいたくならないの？」

（留々が、美南ガールズと対戦した際に親友になった子がやたら背の低い選手つすよつて言ってたからこの子の事ね）

大島さんと大野さんがやりとりを続けてる内に、相手ベンチに到着。

「志木蓮華と言います、身長は146cmしかないけど野球の活躍に身長は関係ないつて証明しますからね」

「だ・か・ら、この辺で自分の身長をバカにするのはやめて下さい」

大野さんをお願いしたら・・

「あら？野球には才能に加えて身長も関係あるのよ。だから、今日先発の埼玉左腕ナン

バーの私の球から猛打賞出来たらあなたの事をバカにしないわ」

(そう簡単にヒットを献上したら、朝から釣りで不在の朝倉が登板するでしょうが！)

「大野先輩それ、フラグっす」

(特大なフラグ成立の音がピコーンって聞こえたっす)

「じゃあ、今日の試合大野さんからヒットを沢山打ってぼこぼこのKOにしますからね
！」

大野さんに対して、やる気UPして自分のベンチに帰ろうとすると大島さんが。

「蓮華ちゃん、久しぶりっす。今日はヒットを打って蓮華ちゃんの送球より速く一塁から三塁・もしくは各塁からホームインするっすよ」

(蓮華ちゃん強肩だから油断出来ないっすよ)

「大島さん、こちらこそお久しぶりです。大島さんが慕ってる朝倉さんは川で魚釣りを
してましたけど・・・」

(これで大島さんのやる気が少しでも下がってくれたら良いけど・・・)

「朝倉先輩が魚釣りですらないのは恒例なので、心配ないっすよ」

(やる気を低下させようとしても残念ながら無駄っすよ)

大島さんと軽く挨拶ついでに話していると、目のハイライトがなくなりつつあって嫉妬

の火が灯ってる星歌がズンズンと自分達に近づいてきて・・・

く蓮華 side 終了く

く星歌 side く

蓮華ちゃんが身長に関する悪口？を聞いちゃってズンズンと柳大川越のベンチに向かつて歩いてって・・・

それから、大野さんらしき人と背番号8を付けた大島さんと話をして・・・話が終わってから、蓮華ちゃんがベンチに帰ろうとすると大島さんが親しげに声を掛けて・・・それを見てたら・・・。

なんだか、沸々と大島さんに対して嫉妬の火が灯ってそして無意識に星歌の体も柳大川越ベンチに歩き出して・・・。

その様子を見てたヨミちゃんや珠姫ちゃん達曰く、目のハイライトが消えてて不気味だったと。

無意識に歩いて、蓮華ちゃんと大島さんの元に到着だよ。

なんで、蓮華ちゃんと大島さんが若干怯えてるのかな？かな？

「蓮華ちゃん遅いよ、早くベンチに帰ろうよ」

(大島さんに蓮華ちゃんは渡さないから)

「ごめんね星歌、すぐ戻るから星歌は先に戻ってて良いよ」

(目のハイライトのない星歌を見るの初めて・・)

「お初つす大島留々です。柳大川越1年生で外野手つすよ」

(この子が蓮華ちゃんのLINEで来てた星歌ちゃんつすね、それにしたら目のハイライトがないつす)

「よろしくね大島さん、今日は大島さんを徹底的にマークして出塁させませんから」

(大島さんに打席で蓮華ちゃんと話す時間をあげないから)

「それじゃあ、大島さん失礼しますね。じゃあ戻ろう星歌」

(早くこの空気から抜け出したい!)

「よろしくつす、マークを潜り抜けて出塁するつすよ」

(蓮華ちゃんと一緒に新越谷のベンチに戻って欲しいつす)

それから、蓮華ちゃんと一緒に新越谷のベンチに戻り・・。

目のハイライトが戻ってたらしくて、ヨミちゃん達がほっとしてたぽい・・。

☆星歌side終了☆

藤井監督、柳大川越の監督さんが挨拶ついでにメンバー表の交換を。

「対外試合の打診を快諾してくださって、ありがとうございます」

「いえいえ、こちらも左腕の大野を本当のエースとして育成させる為に経験が必要だと思っただけからね」

ベンチで皆でブルペン投球をしてる大野さんを見て

「あの人が朝倉さん？」

「違うよヨミちゃん、あれはね大野さんだよ」

（ミーティング聞いてたよね・・ヨミちゃん？）

「左腕のサイドか」

「新越谷には左腕がないから打ちづらいかもな」

（大野さんブルペン調子良さそう・・打てる？）

「そもそも、初心者がいるチームが対戦するチームじゃないわよ」

「よく受けてくださったわよね・・監督の人脈が気になるけど・・」

「早よ大野さんから打ちたいけん」

「緊張してきました」

「大野さん、サインくれないかな♪」

「・・・芳乃ちゃん・・」

「余裕がある子は、大野さんのリリースのタイミングに合わせて素振りをしてね」

各々反応を見せる皆。

試合前の芳乃ちゃんからの最終補足情報が・・

「大野さんは、今年の春から主に背番号1を付けて先発として登板。28回を投げて失点は5」

「それでもたまたまに制球を乱して、四球やヒットを許してるから決して倒せない投手じゃないからね」

芳乃ちゃんが皆を鼓舞してくれる情報も。

「エースか・・(小声)」

ヨミちゃんが小声でエースについて何か考えてた様子。

ユニフォームについても芳乃ちゃんから情報が。

「このユニフォームは、練習試合用だけど・・新生新越谷野球部の船出祝いに(新)の文字を僅かに大きくしてみたよ」

「あつ、本当だ」

「言われてみないと分からなかったよ」

「これが母親が着てたユニフォーム・・・」

「気合が入りますね」

「船出祝いに勝とうね皆！」

様々な好意的な反応が。

「けど、デザインのベースは全国出場時のを採用してるよ」

「無様な試合は出来ないな・・・」

岡田主将の一言に皆同感。

「さてさて、皆首を長くして待ってるお待ちかねのスタメン発表だよ」

「待ってた！」

「どんなスタメンかしら？」

芳乃ちゃんの口から昨日監督さん達と話し合って決めたスタメンを発表。

まさかのサプライズが・・・。

「1番、一塁手希ちゃん・2番、右翼手蓮華ちゃん・3番、捕手珠姫ちゃん・4番、中堅手岡田主将・5番、三塁手理沙先輩・6番、遊撃手稜ちゃん・7番、二塁手堇ちゃん・8番、左翼手星歌ちゃん・9番、投手ヨミちゃん」

「ベンチからスタートは、息吹ちゃん・白菊ちゃん二人共代走・代打で登場するから心の準備は万全にね♪」

芳乃ちゃんからのスタメン発表でまさかの星歌がスタメンに・・・、だって昨日の模擬実験では星歌ベンチからのスタートだったはずだよ??

芳乃ちゃんの方に視線を向けると、ドツキリ大成功の顔をしてるし・・・。昨日の会議に参加してた他の参加者の様子を見ると・・・。

ヨミちゃんはまったく知らされてなかった様子で、かつ自分が8番から9番に打順変更された事に若干の不服を。

珠姫ちゃんは、知ってた様子で慌てて顔を逸らし・・・。

岡田主将は、優しそうな表情。

蓮華ちゃんは、ギギギと効果音が付きそうな感じで視線を外そうとしてて。

でも・・・、サプライズでスタメンは嬉しいな・・・。

新越谷の二刀流・三刀流選手としてベンチスタートの息吹ちゃんや白菊ちゃんの分迄頑張るよ。

スタメンを聞いた、昨日会議に参加してない希ちゃん達は。

「1番、芳乃ちゃんの期待に応えるけん」

「私7番なのね、意外」

「1番じゃあ、ねえけど・・・何番だろうがとにかく打つ！」

「まあ、私初心者だし・・・ベンチからでも良いし」

「団体戦の次鋒・中堅・大将として待つ気持ちと同様に精神を統一して待機しますね」

最後に芳乃ちゃんと柳大川越の監督さんと挨拶等を終えてベンチに帰ってきた監督から・・・。

「練習してきた事を振り返って、基本を大事にチームプレイを大事にそして声を掛け合って楽しくプレイしてね」

「練習期間が試合までに短つたと思います、ですが皆さんがこの舞台で力を発揮してくれるのを楽しみにしています」

代表してヨミちゃんが岡田主将に・・・

「岡田主将、是非船出にふさわしい掛け声をお願いしますよ」

「ああ、」

(コホン)

「新生、新越谷野球部！絶対に勝って初白星を！」

「おお!! (皆)」

さあ、プレイボールまで後数分・・・。

待ちきれないよ・・・。

☆試合編（1回〜3回の序盤戦）は、次話からとなります・・・☆
審判のコールが響く迄しばらくだけ、お待ちくださいませ。

10球目：対柳大附属川越高戦②（1回～3回終了迄）

試合開始まで後15分。

新越谷ベンチに芳乃ちゃんの手によつて貼られた柳大川越のスタメン表を見る。

先攻柳大附属川越高スタメン

1番：「中」大島

2番：「二」亀平

3番：「一」山崎

4番：「捕」浅井

5番：「三」新井夢

6番：「右」遠藤

7番：「左」蔵本

8番：「遊」阿部

9番：「投」大野

それから一塁側ファールゾーンに出て最後のキャッチボールを蓮華ちゃんとしなが

ら、グラウンド整備が終わるのを待ってて。

「緊張するね、蓮華ちゃん」

「そうだね、試合前に自分や大島さんに目のハイライト無しで迫った様な気迫で頑張れば良いさ」

「むっ、もうその話題は止めにしようよ」

「じゃあ、星歌も自分が大野さんの挑発に乗って猛打賞を狙う事になったのは秘密だよ」

二人だけの秘密を抱えて、岡田主将と共に外野のそれぞれの守備位置へ。

星歌は、岡田主将と外野での最後のキャッチボールをして早めに切り上げ、ボールを蓮華ちゃんとキャッチボールをしてる息吹ちゃんに返球をし。

蓮華ちゃんは、キャッチボール相手の息吹ちゃんが星歌からのボールを受け取ってから再開して、キャッチボールを数球してこちらも終了。

後は、内野の稜ちゃん達のボール回しとヨミちゃんの試合前投球が終わればいよいよだよ。

ボール回しとヨミちゃんの投球練習が終わり。

珠姫ちゃんが

「しまつていくよ、絶対に勝つよ！」

「お!!（全員）」

珠姫ちゃんの滅多に出さない大声の掛け声で、皆のスイッチが入り。

（珠姫の奴、大声出せるんじゃない）

（どんどん打たせて良いわよヨミ）

（三塁線は抜かせないわ）

（ヨミちゃんのあの球が通用するか楽しみ）

遂に・・・

《1回の表、先攻の柳大附属川越高の攻撃は》

《1番、中堅手大島さん》×2

出場予定の無い柳大川越野球部の子が、ウグイス嬢を担当。

蓮華ちゃんと仲の良い、大島さんが左打席に立つ。

「お願いするっす」

一礼して、ヨミちゃんを睨む大島さん。

ヨミちゃんが珠姫ちゃんのサインに頷いて、第1球目をミット目掛けて投球する。

(パアン)

1球目はストレートで、外角のアウトコースに決まり大島さんはそれを見送って

《ストライク》

ヨミちゃんの高校野球対外試合1球目は見事ストライクを。

2球目は低めのストレートを、それを大島さんが打ちに行くけど・ファールに。

3球目は内角のストライクゾーンギリギリに、投げるけど大島さんがファールで逃げてカウントは1ボール2ストライク。

4球目は外角低めに投げるも、カットされて。カウントは変わらず1ボール2ストライク。

(ストレート、良いコースに決まるけど・流石にカットで逃げられるか・)

(でも、投手有利のカウントだからあの球を行くよヨミちゃん)

(分かったよタマちゃん)

5球目にヨミちゃんの例の球を投げて、大島さんがびつくりして見送って

《ストライクバッターアウト》

ヨミちゃんが初めて取ったアウトは、見逃し三振！

「良い球だよヨミちゃん！」

「ワンアウト！」

「良い球よ」

「自分にも投げてヨミちゃん」

「この調子でいきましょ」

ボール回し中に、ヨミちゃんに対してヨミちゃんを鼓舞する内野陣の皆。

遊撃手の稜ちゃんが、サインで外野の星歌達にもアウトカウントを教えてくれて。

「先頭を討ち取ったよ！、大島さんの負け！」

「油断するなよヨミ」

「大島さんもあの球にはびっくりするんだ」

見逃し三振に倒れた大島さんが、次の打者の亀平さんに耳打ちを

（ヤバイっす、カーブがすっぱ抜けかと思っただら急激に曲がってど真ん中の文句のないストライクっす）

（そんなにヤバイカーブなの？）

(初見では打てないっす)

(なら、狙い球から捨てないと)

亀平さんがネクストサークルから、左打席に。

《2番、二塁手亀平さん》×2

(ストレート1本狙いよ)

ヨミちゃんが珠姫ちゃんのサインに頷いて、亀平さんに対して1球目を投げる。

(カーン)

亀平さんが打ったのは外角一杯のストレート。

打球は三遊間を襲い・・

(ちっ、今から捕ってもアウトには・・)

稜ちゃんが諦めの表情をした時・・

(パシッ)

三塁の藤原先輩が、ダイビングキャッチでボールを取りすかさずに一塁の希ちゃんに送球。

《アウト!》

「くつ、やるなああの三塁手」

藤原先輩のガッツあるプレーで、2アウト！

そんな藤原先輩に。

「ナイスです理沙先輩」

「助かった」

「打つ前に守備で、ヨミちゃんを援護出来て良かったわ」

「ナイスプレーです」

「流石」

藤原先輩以外の内野陣が藤原先輩を褒める。

稜ちゃんが2アウトとサインで外野の星歌達に教えてくれる。

「ヨミちゃん良いよ」

「理沙の奴張り切ってるな」

「あの打球が抜けてるか、川崎さんが捕りに行っても安打になって厄介な走者を1塁にだす所でしたから・・・藤原先輩ナイスプレーです！」

《3番、一塁手山崎さん》×2

今度は、右打者の山崎さんが右打席に。
今日初の右打者を迎えて・・・。

初球はインコースのストレートを見逃し、1ストライク。

2球目は、ヨミちゃんのあの球が外に外れて1ボール1ストライク。

3球目は、ボール球に山崎さんのバットが出て1ボール2ストライク。

4球目は、ストライクからボールになる様に要求したヨミちゃんの決め球を山崎さんが一か八かのスイングで拾い上げて・・・

(カキーン)

良い打球音を残して、左中間・・・星歌と岡田主将の間を打球が飛んで・・・。

「くっ、間に合わん」

(星歌、頼んだぞ。カバーは任せろ)

「捕ります! 捕れます! 任せて下さい!」

(外野の練習はあんまりやれてないけど、今までの経験を活かすんだよ星歌!)

「頼んだぞ」

(星歌にあんまり外野ノックをしてやれなかったから少しは心配だったが・・・あの表情を見ると大丈夫だな)

落下地点を判断して、カバールの岡田主将の位置を確認してから速度を緩めながらボールをランニングギャッチをして・・・。

（パシ）

初外野飛球を捕球出来て良かった、星歌の守備範囲ギリギリで良かったよ。

岡田主将が星歌に近づいてきてくれて・・・

「ナイス捕球だぞ、しかも初処理だな」

「はい、久々の外野スタメンで緊張してて・・・捕れて良かったです」

「良かったな、これからも投手・野手として期待してるぞ」

「頑張ります」

星歌が飛球を捕球成功した事により、山崎さんの記録は左飛で3アウトチェンジ。

これで1回表の柳大川越の攻撃は三者凡退。

なるべく駆け足で1塁側のベンチに戻らなきゃ。

1塁側ベンチに戻って来るとヨミちゃんが満面の笑みを浮かべて・・・。

「星歌ちゃん、理沙先輩ありがとう好きだよ」

星歌と藤原先輩に抱き着いてきて・・・。

「もう大げさよヨミちゃん」

「は・・恥ずかしいよ皆見てるからさ／＼／＼」

そんな二人を温かい目で見守る皆。

「さあ、新生新越谷野球部の最初の攻撃だよ。理沙先輩や星歌ちゃんの好守の流れをそのまま攻撃に！」

ベンチから芳乃ちゃんが皆を鼓舞してくれる。

先頭打者は、希ちゃん。ヘルメットをかぶりバットを握り名前をコールされるのを待つてる。

《1回裏、新越谷高校の攻撃は》

《1番、一塁手中村さん》×2

コールを聞いて、球審に一礼をして左打席に。

マウンド上は、大野さん。

(停部明けの野球部にこの埼玉NO1左腕の私の球を打てる訳がないわ)

(それに、留々と仲が良い志木さんと賭けをしてるんだから余計に打たれる訳にはいかないの！)

(だから、志木さんの前にランナーは出塁させたくないわけ！)

「私からの挨拶代わりよ！」

希ちゃんに投げられた、大野さんの第1球目は・

（カキーン）

「なっ!？」

見事に希ちゃんが捉えて、右翼の遠藤さんがボール処理に少し時間を掛けてて、三塁へ行けると判断した希ちゃんが加速して二塁を回って三塁に到達。

記録は、右三塁打。

無死3塁で、蓮華ちゃんがネクストサークルから右打席に向かい。

《2番、右翼手志木さん》×2

球審に一礼をしてから、いつものルーティンを行い大野さんを鋭い眼光で睨み。

（打たせて貰います、打点付で!）

（先頭打者に三塁打を許したのはたまたまよ。ピンチを抑えてこそエースなんだからね!）

お互いに無言で睨み付け。

大野さんが投球動作に入る前に、球審にタイムを取って一塁側の芳乃ちゃんのサイン

を見て。

(芳乃さんどうする?、内野は1点OKの守備布陣だけど・疑似スクイズのふりをする?
?それとも実行する?)

(蓮華ちゃん、相手が1点をくれるならわざわざアウトをあげて1点を取るよりは。
打って1点以上を目指すよ!だから三振・浅い外野飛球・併殺になりそうなライナー以
外をお願い)

(了解)

ヘルメットのつばを触ってサイン理解の合図を送る。

(新越谷サイド、スクイズしてくるかしら。まあ仕掛けて来ても仕掛けて来なくても関
係ない)

(埼玉左腕NO1大野彩優美が、試合にも負け勝負にも負ける事はプライド的に許され
ない!)

捕手浅井さんのサインに頷き、蓮華ちゃんに対して1球目を投げる。

(パアン)

浅井さんのミットから良い捕球音が響き。

《ストライク!》

蓮華ちゃんが見送って1ストライク。

内角低めに綺麗に決まったストリート。

俗に言うクロスファイヤーの投球をしてくる大野さん。

（どうよ、埼玉NO1のクロスファイヤーは！）

（打たなくて良かった、打ちに行ったら外野迄飛ばせてたかな？）

大野さんが、浅井さんからの返球を受け取り急かす様に浅井さんからのサインを待つ。

（花代子、早くサイン出さないよ。志木さんに考える時間を与えたくないの）

（落ち着け彩優美、勝負を急ぐと仕損じるぞ）

（大野さんと浅井さんの呼吸が合っていない様に感じる・・・）

浅井さんが出したサインに、首を降り新たなサインを求める大野さん。

（私が希望する球はそのサインじゃないの）

（・・・これが希望か!?!）

（そのサインを待ってたわ）

やっとサインが決まり頷く大野さん。

(やっと決まったよ．．)

大野さんの投球フォームに合わせてタイミングを取って．．。

2球目を待つ．．。

「手が出せない内にアウトになりなさい！」

(パアン！)

2球目は、内角高めのストレート。

反応しちやって咄嗟にバットを止めたけど．．。

「やば (小声)」

「スイング！」

浅井さんが球審を通じて一塁塁審にスイングをしてないかを確認し．．。

《スイング！》

一塁塁審がスイングしたとジャッジして、カウントは0ボール2ストライク。

（追い込んだわよ、志木蓮華！）

（粘って粘って必ず中村さんを返す！）

（次はどうしようか・・・）

バットを短く持つて、どんな球に対応出来る様にして次の球を待つ・・・。

浅井さん、大野さんの視点になって配球を考えるんだ自分。

（ストレートがインコースに2球、1球外すかあるいはアウトコースにボールからストライクに入れる変化球で見逃しを狙うか・・・。それともボールからボールで打ち気を誘ってくるか・・・）

（多分、カーブかチェンジアップの球速の遅い球でタイミングをずらしてくるはず）

（2球続けて、志木さんのインコースにストレートを投げて2ストライクを奪う）。

（3球勝負するか、しないか・・・悩むわね・・・）

（私は3球勝負したいわ、花代子のサインは何かしら・・・）

（そう・・・、そのサインね・・・私と花代子と考えが一致で良かったわ）。

（じゃあ、食らいなさい球速差がある。チェンジアップを）

サインに頷き、投球モーションに入る大野さん。

浅井さんのミット目掛け投げられた白球（チェンジアップ）を・

（カーン）

なんとかアウトコースのストライクゾーンギリギリのチェンジアップをバットの先で捉えて・・・。

打球はフラフラと上がり、一塁手の山崎さんの頭上を越えライト線ギリギリに落ちる。

（よっしやー、一安打目達成！）

落ちたのを確認してから、三塁走者の希ちゃんが本塁に。

蓮華ちゃんの派手さはない玄人好み？の右線安（1点）で

1点を先制！

先攻：柳大川越0点

後攻：新越谷1点

なお無死1塁で、3番の珠姫ちゃんが打席に向かおうとした時・・・。

《新越谷高校の第一得点の中村さんに、第一得点賞としてポ〇リ1週間分を》

うん？ポ〇リー週間分？！

《同じく新越谷高校の第一打点賞の志木さんにはアク〇〇アス1週間分を》

えっ？今度は、アク〇〇アス？

《後日、柳大川越高から郵送で送ります》

費用は柳大川越高負担なの？？

突然のリアの野球で聞くフレーズが流れた後にやつと・・

《お待たせしました》

《打者は、3番捕手・山崎さん》×2

珠姫ちゃんが若干疲れた様な表情をして打席に。

（連打連打で1点を許すなんて・・、私とした事が・・）

（しかも、志木さんに安打を許したから、猛打賞を防ぐチャンスは後1～2回よね・・）

（困ったら、敬遠よね・・）

（この子を併殺にとつて、一旦落ち着きましょ私・・）

仕切り直しに、大野さんが珠姫ちゃんに投げた1球目が・・。

（手が滑った・・）

(ボコ)

「いつ」

珠姫ちゃんの左お尻部分に直撃

直ぐに帽子をとって謝る大野さん。

心配してヨミちゃんが冷却スプレーを手にして珠姫ちゃんの元に向かおうとして…。

「大丈夫だよヨミちゃん、心配しないで」

心配するヨミちゃんを手で制して、1塁に走りだす珠姫ちゃん。

一方の大野さんは…。

(ヤバイヤバイ、この高校って直近まで暴力沙汰で停部でしょ)

(報復が来る、怖いわよ…)

《4番、中堅手岡田さん》×2

無死1塁・2塁の状況で、岡田主将が打席に立つ。

岡田主将は、獲物を逃さん・報復は必ずするからと言わんばかりの眼光で大野さんを睨み…。

(逃げちゃダメ…逃げちゃダメよ私…エースなんだから…)

岡田主将に投げた1球目を・・・

（カーン！）

良い打球音を残して、右中間を破るタイムリー2塁打（1点）

記録は右中二塁打。

先攻：柳大川越0点

後攻：新越谷2点

なお無死2塁3塁で、藤原先輩が打席へ。

《5番、三塁手藤原さん》×2

「タイム」

浅井さんが球審にタイムを取って、マウンドの大野さんの元へ。

「一旦落ち着け、彩優美。2番に許したポテン安打や3番に与えた死球だって偶然だ」

「今日の彩優美の球は調子は良いぞ、ストレートも変化球も良い。自信を持って投げて

な」

「そ・・・そうよね先制安打や先程の死球だってたまたまよね」

「鼓舞してくれてあ・・・ありがとうなんだからね／＼（小声）」

「じゃあ、エースらしくこのピンチをバックを信じて切り抜けるぞ」

浅井さんは、定位置に戻り。

タイム後に右打席に藤原先輩が立ち。

そんなイケイケな流れに乗りたい藤原先輩を復活しかけてる大野さんは寄せ付けない感じで・・・。

《ストライクバッターアウト!》

インコースのボールゾーンからストライクゾーンに食い込むシュート系かツーシームで、藤原先輩を見逃し三振に。

まだチャンスは続き、1死・2塁3塁で稜ちゃんが打席に。

《6番、遊撃手川崎さん》×2

「じゃあー、打って点差を広げるぜ」

(打ち気満々ねこの子)

大野さんが投げた球を打ち気満々の稜ちゃんは

(か〜ん)

打ち気満々のスイングとは別に打球は、フラフラと上がり左翼の蔵本さんの前にポトリと落ちる2点タイムリー

記録は左安（2点）

先攻：柳大川越0点

後攻：新越谷4点

チャンスは続いて、1死1塁で董ちゃん。

《7番、二塁手藤田さん》×2

打席に立ち、1塁側ベンチの芳乃ちゃんのサインをみる董ちゃん

（どうする？進塁打・それとも送り？）

（一気にたたみ掛けたいから、ここはエンドランを仕掛けるよ）

（最低でも稜ちゃんを2塁に置きたいから・相手が油断してるタイミングで出すね）

（分かったわ）

（分かったぜ）

了解の合図として、ヘルメットのつばを触る二人。

ダミーとして、一塁コーチャー役の息吹ちゃんが稜ちゃんに耳打ちを

「送りよ分かった？」

「心配すんなよ息吹」

「サインを見逃さないでよね（小声）」

「勿論だ（小声）」

柳大川越のベンチから背番号二桁の子が伝令役に、球審にタイムを申請してからマウンドの大野さんの所へ。

「タイムをお願いします」

《守備側タイム一回目》

亀平さん達や浅井さんもマウンドに集まり。

（監督が何かを仕掛けてくる雰囲気あり、要警戒との事です。最後に大野、浅井のサインを信じろと。）

（了解）×内野陣

（タイミングを変えながら牽制を入れるぞ彩優美、それと私のサインを信じて投げてこい！）

（花代子、分かったわ）

伝令役の子がベンチ戻り守備側タイム終了。

定位置に戻る浅井さん達。

《プレイ！》

プレイ再開後長くボールを持って、一塁走者の稜ちゃんを睨む大野さん

牽制をすると見せかけて、董ちゃんに投げて1ストライク。

次は、ボールを持つタイミングを変えて一塁に牽制し稜ちゃんは手から戻る。

再度牽制を入れて様子を見る大野さん、それに対して稜ちゃんは今度は足から帰塁。

（3球連続の牽制は無いと思うから、仕掛けるよ稜ちゃん、董ちゃん）

（行くぜ）

（空振りは絶対にダメ）

大野さんが、投球モーションに入ると同時に稜ちゃんがスタート。

「スタート！」

「走った！」

一塁コーチチャーの息吹ちゃんの合図と、一塁手の山崎さんの稜ちゃんが走った事を知らせる合図が、ほぼ同時に。

（クイックで投げたけど、刺せるかは花代子次第よ頼りにするわよ）

大野さんが董ちゃんに投げた球は、低めのフォークでそれを董ちゃんが何とかバット

に当てようとしたげと空振りに・・・。

対して浅井さんは、低めのフォークを捕球後すぐさまレーザービーム並の二塁送球で単独盗塁の形になった稜ちゃんの盗塁を悠々阻止しちやた・・・。

(感謝するわ花代子)

(2回からはしつかりな)

これで、2死ランナー無しでカウントは。

0ボール2ストライクと追い込まれて・・・。

一方浅井さんの強肩を見たベンチの反応は・・・。

「浅井さんの肩を忘れてたよ」

「タマちゃん、今の送球って甲○さん並かな？」

「大野さん、これで調子を取り戻すかも・・・」

「浅井さんの肩と大野さんのクイックのどちらか欠けてたら稜の盗塁は成功してるだろう」

「甲○さん並かは分からないけど、凄い強肩」

董ちゃんと大野さんの勝負は続いてて、

2ストライクと追い込まれてからファールとボールで粘りカウントは3ボール2ストライクのフルカウント。

董ちゃんへの12球目。

アウトロー低めのスライダーを見送り、一塁へ歩きかけた時・ワンテンポ遅れて球審からのコールが。

《ストライク！バッターアウト！3アウトチェンジ》

球審の判定は董ちゃんの見逃し三振。

1回裏が終了して、新越谷（4）対柳大川越（0）。
攻守交代で、2回表が始まる。

～2回表～

《2回表、柳大附属川越高の攻撃は》

《4番、捕手・浅井さん》×2

4番で同じく主将の浅井さんが打席に。

（彩優美の為にも1点でも多く返す！）

（柳大川越打線の精神的支柱と思う浅井さんを打ち取って、主導権を握りたい）
（皆がくれた4点、必ず守って勝つんだ）

浅井さんへの1球目は、ヨミちゃんの決め球を。

それを浅井さんが見送り。

《ストライク》

1ストライクを取り、2球目・・・。

2球目もヨミちゃんの決め球を要求の珠姫ちゃん。

サインに領き、浅井さんに対して2球目を投げるヨミちゃん。

浅井さんは2球目も見送り2ストライク。

(2球連続、3球連続で来るか? いやそれとも1球外してくるか?)

(浅井さん悩んでる今ならいける)

(タマちゃんのサイン信じるよ)

浅井さんへの3球目は。

「くっ」

(高めの釣り球だ?!?)

《スイング、バッターアウト!》

高めの釣り球で、浅井さんのスイングを誘い、球審がスイングをしたと認め空振り三

振に。

※高めの釣り球は、高めのボール球で打者の打ち気を誘い空振りやストライクカウン
トを整える配球の1つ。

1死ランナーなしで、5番の新井さんを迎える。

《5番、三塁手：新井夢さん》×2

確か、新井さんにはお姉さんがいて熊谷実業か馬宮高にいたような・・・。

新井さんが右打席に立ち。

初球のストレートを打ち上げて、岡田主将への飛球。

記録は中飛。

2死ランナーなしで、6番の遠藤さん。

《6番、右翼手：遠藤さん》×2

遠藤さんが左打席に。

一方三塁側ベンチでヨミちゃん達の投球を見てた大野さん達は。

く大野さん達 side く

「やっぱり、山崎のリード（配球）は生意気スね」

（蓮華ちゃんのリードの方が対処しやすいかもっす）

「留々、あの捕手の子を知ってるの？」

（有名な子なのかしら？）

「山崎や、蓮華ちゃんがいた美南ガールズは全国区っすから」

（ある意味、全国区だからガールズ時代に対戦出来たっすよね・・）

「へえ、そうなのね・・」

（あの志木さんもなんだ）

「新越谷、結構強いっすね。守備は良いし、投手の球も厄介ス」

「まあ、2巡目から打ちますよ」

「留々、あんたが出塁しないと得点チャンスが来ないでしょが！」

「頑張るっす」

く大野さん side 終了く

場面は、6番の遠藤さんを迎えた所。

遠藤さんに対しての初球。

遠藤さんが、セーフティーバントを試みてファールに。

遠藤さんのセーフティーバントを実行してきた事をみて、珠姫ちゃんがブロックサインで三塁手の藤原先輩に数歩前に出て守備するように指示を。

遠藤さんの2球目は、遠藤さんが外角のストレートを今度は見送り1ボール・1ストライク。

3球目は、ヨミちゃんのあの球を。

遠藤さんが、びつくりしながらもセーフティーバントをでも小飛球にさせることに成功。

（パシ）

珠姫ちゃんが、ホームベース付近でキャッチ。

《3アウト、チェンジ》

2回表も柳大川越打線を三者凡退に。

ナイス投球だよヨミちゃん。

2回裏は、星歌からだから急いでベンチに戻り少し休憩してから準備して打席へ。

《2回裏、新越谷高の攻撃は》

《8番、左翼手：渡辺さん》×2

「お願いします」

球審に一礼してから、そして大野さんを軽く睨んでから構える。

(大野さん、蓮華ちゃんの身長の低さをばかにした事を許さないからね)

(ばかにしたつもりはないわ)

初球は、インコースにチェンジアップが来て空振り。

2球目は、内角低めのカーブを見送っちゃって2ストライク。

(2球インコースだから、1球はアウトコースかな?)

(この回は三者凡退にするわ)

3球目はど真ん中に球威のあるストレートにタイミングが合わずに見逃し三振に倒れちゃった。

(次は打ちますからね)

(返り討ちにしてあげるわ)

大野さんへのリベンジを誓ってベンチに戻る。

気を取り直して、ヨミちゃんや皆の応援を頑張るよ!

次はネクストサークルで待機してたヨミちゃん。

《9番、投手：武田さん》×2

「自援護しちゃうよ」

ヨミちゃんの自援護発言に・・

「目指せ菅○投手！」

「いや、浜の哲学者の今○選手でしょ」

「いやいや、暴れん坊投球の藤○選手」

「広島カビパラ3兄弟の、大○良投手だね」

ベンチのみんながセリーグで打撃が得意・好きな選手名をあげて

一方の大野さん達バッテリーは

（2018までDeNAにいたウィー○○ドみたいに本塁打は止めてよね）

（去年までいた山○先輩が他校との練習試合で投手に見事なバックスクリーン直撃弾を浴びてたな・・）

結果は・・

「はい！」

(カーン)

(パシ)

一飛でした・・・残念。

2 死ランナーなし、打順が一巡りして1番の希ちゃんに。

《1番、一塁手中村さん》

1 打席目と同じく、礼をして打席に。

初球は外角のスライダーを見送り1ボール。

2 球目、内角のシュートのカットして1ボール1ストライク。

3 球目、低めのカーブを見送り2ボール1ストライク。

4 球目、ストライクを取りに来た、低めのストレートを・

(カキーン)

大野さんの足元を抜けて行くセンター前ヒット。

(打撃練習みたいに打ってくれるじゃない！)

(中村希、要警戒だな)

記録は中安(2打2安の希ちゃん)

2死1塁で2番の蓮華ちゃんに打順が。

1打席目と同じく恒例のルーティンをして、再び大野さんと対峙。

（2打席目も安打貰いますよ）

（マルチを許すわけないでしょ）

（落ち着けよ彩優美）

初球は、低めのフォークを空振りですトストライク。

2球目は、外角のストレートをファールで2ストライク

（1打席目に自分が打った球を浅井さんが要求するかしないか・・・）

（今度は凡打になりなさい）

蓮華ちゃんへの3球目は・・・。

（コン）

外角のストライクからボールになるシュートに手が出て大野さんへのゴロに。

大野さんが一塁の山崎さんに送球して3アウトに。

記録は投ゴロ

気持ちを切り替えて3回の守備を頑張るぞ

《3回表、柳大附属川越高の攻撃は》

《7番、左翼手：蔵本さん》×2

蔵本さんが右打席に。

蔵本さんは、

初球の外角ストレートを見逃し。

2球目の外角低めのストレートも続けて見逃し。

3球目はヨミちゃんの球にタイミング合わず空振り三振。

3球三振って、ヨミちゃん今日初かも。

《8番、遊撃手：阿部さん》×2

初球を打って董ちゃんへのゴロ

記録：二ゴ

《9番、投手：大野さん》×2

大野さんが左打席に、大野さんの打撃が得意か不得意かどっちなんだろう？

初球：外角ストレートをファール

2球目：外角低めのストレートをファール。

3球目：ヨミちゃんの球をストライクにとつて貰えず1ボール・2ストライク。

4球目：内角低めのストレートを打って、蓮華ちゃんへの浅いフライ。

記録：右飛

1～3回連続三者凡退に抑えたヨミちゃん、次の4回からは打者2巡目だから注意だよ。

《3回裏、新越谷高の攻撃は》

《3番、捕手：山崎さん》

3回裏は、3番から始まる好打順。

第一打席は死球を食らった珠姫ちゃん、この第二打席で倍返ししてお返ししなきゃね。

（第一打席に死球を与えた相手だ、落ち着けよ）

（外角主体にするか？）

（私を舐めないでよ花代子！）

(逃げてたら勝てないわよ、内角を攻めるわ)

(死球を嫌がって外角主体?それとも思い切って内角を攻めてくる?)
 珠姫ちゃんと、大野さん達バッテリーの読みあいが・・。

注目の初球は、内角にストレート。

それを珠姫ちゃんがファール。

2球目:ストライクからボールになるシュートを見送り1ボール。

3球目:内角低めのスライダーを打って・・

(カーン)

一・二塁方向へ流し打ちをするも・・

「セカンド!」

大野さんの指示で二塁の亀平さんが打球を捕りに行き、一塁の山崎さんは送球に備えてバツク。

亀平さんが打球に追いつき、慌てる事無く1塁へ送球。

《アウト》

惜しくも珠姫ちゃんは間に合わず。

《4番、中堅手:岡田さん》

打席に第一打席で、タイムリー2塁打を打った岡田主将が打席へ。

すると、大野さんの視線が岡田主将や浅井さんへじゃなくてバックネット裏へ。

そこには、ウグイス嬢を担当してくれてる野球部の子隣で仲良く話をしてる朝の釣り

人（朝倉さん？）が居て・・・。

（!!）

（朝倉・・・なんで、今になって来るのよ。朝から釣りしてたんじゃないの？）

（もしや、私の試合内容を笑いに来たんでしょ！）

（柳大川越の背番号1を付けてるのはこの私、大野彩優美よ）

（元：SBの捕手で釣り番組を持つ城○選手みたいに、釣り人に転職でもしてなさい！）

「うりゃー！」

大野さんが声を出しながら投げた球は、珠姫ちゃん迄の球とは違って格段に球威が増した様に見えて・・・。

（バシン）

浅井さんのミットが弾かれそうになる位？の捕球音が聞こえて・・・。

（もしや、朝倉が来てるのか？）

《ストライク》

岡田主将の眼光が増したような感じも・・・。

2球目・・・

「とりや！」

1球目と同じく声を発して投げた大野さん、球威はそのままだけど若干制球が甘くなつたようで・・・。

(カキーン)

岡田主将が捉えて、大野さんを襲う打球になり・・・。

(絶対的に捕る！捕つてやるわ！捕れなかつたら朝倉に笑われるに決まつてるじゃない)

(バチイ)

大野さんの執念か、岡田主将の打球をダイレクトに捕球し2アウト。

記録：投直

「残念！どうだ！朝倉！」

(??)

(朝倉の事になると若干我を忘れるからな・・・)

肝心の朝倉さんは、無邪気に拍手してた・・・。

2アウトで打者は藤原先輩。

《5番、三塁手：藤原さん》

藤原先輩が打席に。

第一打席は三振に、この第二打席はリベンジですよ藤原先輩！

岡田主将への投球とは変わって・・・。

初球は、内角にカーブで1ストライク

2球目は、高めのストレートをファールで2ストライク。

3球目は低めのチェンジアップに態勢を崩されてボテボテの大野さんへゴロに。

記録：投ゴ

この回は三者凡退に：、大野さん立ち直りつつあるのかも・・・。

く3回終了く

新越谷（4点）対柳大川越（0点）

グラウンド整備が終了後に4回が始まる・・・。

柳大川越は打者2月巡目の1番大島留々さんから・・・

はたして・・・どうなるか・・・。

捕手のサインを・待ってね。

11球目：対柳大附属川越戦③ [4回～5回]

1回目のグラウンド整備が終わり、星歌達が守備位置へ。

《お待たせしました、4回表柳大附属川越高の攻撃は》

《1番、中堅手・大島さん》

新しく白線が左引かれたバッターボックスに立つ大島さん。

《今度は絶対に出塁するっす》

《大島さんを出すと厄介だから、慎重かつ大胆に行くよヨミちゃん》

《分かったよタマちゃん》

初球は、ヨミちゃんの決め球から入り外角に決まって見逃しを奪い1ストライク。

2球目もヨミちゃんの決め球を、それを大島さんが空振りし2ストライク。

3球目は、珠姫ちゃんが大島さんの意識が外角行ってる事を読んで、逆に内角一杯にストリートで見逃しを狙いに・・・。

その球を・・・。

(カーン)

大島さんが綺麗な流し打ちで、三遊間を破るヒットを。

柳大川越にとつて、ヨミちゃんから放った初安打に。

記録：左安

すかさずに珠姫ちゃんが、タイムを要求してマウンドのヨミちゃんへ。

《タイム》

「ヨミちゃん、初めてランナーを許したけど点差もあるから大胆にかつりラックスして投げて来てね」

「う・うん」

〈ドクン・ドクン〉

珠姫ちゃんが定位置に戻って、プレイ再開。

無死1塁で、バッターは2番の亀平さん。

第一打席では良い当りを三遊間に放たれるも、藤原先輩のガッツプレーでアウトにしたけど・・・。

《2番、二塁手：亀平さん》

亀平さんが左打席に、そして三塁側のベンチを見る。

(仕掛けます?)

(此処はランナーを貯めたいわ、粘って四球・最悪でも留々を2塁に進塁させて)

(分かりました)

(初ランナーを出して投手の子に動揺があるか、もしくはバッテリーに隙があつたら盗塁を狙いますよ)

数秒?・1分?の沈黙後・・

ヨミちゃんがターンし一塁に牽制球を。

「留々バツク!!」

(!!)

ヨミちゃんの牽制球と。

急いでリードしてる場所から手から戻る大島さんのタイミングはほぼ一緒・・。

一塁審判の判定は・・。

《セーフ》

(危ないっす、それにしても・・)

(牽制球上手いな)×留々・希

〈ドクン・ドクン〉

(抑えなきや・抑えなきや調子が戻りつつある大野さんから追加点は難しいと思う・・・だから)

(ベストは引つ張りの一・二塁間を破る安打か、もしくは投手返しで留々が上手く3塁まで進塁出来れば・・・)

(ベストは、併殺・三振・浅い飛球かな・・・)

(1点も与えたくない、自分で作ったピンチなんとかしないと)

三者の思惑が入り乱れ・・・。

そんな中亀平さんへの1球は・・・

(バシンン！)

いつも投げてるストレートとは球威が格段に違うストレートが。

(!!は・・・速いよヨミちゃん)

(球速が増した!?)

(昔○投手みたいにギアを上げたっすか!?)

続く2球目・・・

(ビュン)

(ゴキン)

球威が増したヨミちゃんのストレートを打ち返す亀平さん、打球の行方は・・・

(バシイ)

ヨミちゃんのグローブを弾き、稜ちゃんの方へ。

急いで稜ちゃんがカバーしに行くけど、その間に俊足を飛ばして亀平さんが1塁を駆け抜ける。

記録：投安

〈ドクン・ドクン〉

「ヨミちゃん、亀平さんに打たれた打球は不運だけどさつきの球は良いよ」

「点差もあるから、急がずにバツクを信じて投げて来て」

（と言っても、ヨミちゃんのストレートで切り抜けられる3番く5番でも無いし・・・）
〈ドクン・ドクン〉

無死1・2塁で迎えるは3番の山崎さん。

第一打席は良い当りの星歌へのフライ、甘く入ったら場外迄運ばれそう・・・。

《3番、一塁手：山崎さん》

山崎さんが強打者のオーラを放ちながら打席に。

そんな山崎さんに対して、珠姫ちゃんが出したサインは・・・

(あの球から入るよヨミちゃん！)

(・・・うん)

〈ドクン・ドクン・ドクン〉

ヨミちゃんが山崎さんに対して投げた1球目は・・・

(うっ、甘い)

(あっ)

(絶対球貰ったぜ！)

(パカーン)

良い打球音を残して、蓮華ちゃんへの当りに。

(まだ、まだ大丈夫・・・蓮華ちゃんなら)

2塁走者の大島さんが、打球判断及び3塁コーチャーの本塁突入の指示を見て三塁を蹴り。

同時に1塁走者の亀平さんも丁度2塁を蹴って3塁へと向かう途中。

「蓮華ちゃん、ホーム！」

藤原先輩の指示が蓮華ちゃんに飛ぶ。

「大島さんを絶対に刺す！」

(あっ・・・)

右翼から一気に本塁に送球する蓮華ちゃん・・・でも送球が若干一塁側にそれで・・・若干それた返球を珠姫ちゃんが捕球し、本塁にタッチを回避しながら突入を試みる大島さんにタッチを試みて・・・

クロスプレーの形になり・・・。

《セーフ、セーフ》

大島さんのホームベースへの片手タッチが早かったと判断されて、柳大川越が1点を奪取。

記録：右安（1点）

新越谷（4）対柳大川越（1）

なお送球間に亀平さんが3塁に到達、山崎さんは1塁でストップ。

無死1・3塁で4番の浅井さんを迎える前に珠姫ちゃんが守備タイムを取って、マウンドへ。

《新越谷守備タイム1回目》

内野の皆もヨミちゃんの近くに集まり輪が出来て。

そんな様子を外野手の星歌達は・・・

（星歌side）

「ヨミちゃん、怪我でもしちゃったのかな？」

「念の為に準備をしたほうが良いかな・・・」

（一塁側ベンチを見るけど、監督や芳乃ちゃんが慌ててる様子はないぽい・・・）

「珠姫がタイムを取る位だ、怪我かマメが潰れたか・・・一呼吸を取りにタイムを要求したか」

（出来れば、一呼吸の方で正解になってくれ・・・）

「すみません、自分がしつかり握って山崎さんに送球してたら・・・」

（一瞬でも大島さんの足の速さに焦った）

「人は誰でもミスはするさ、大事なのはそのミスを忘れずに前へと進むのを止めない事だ」

(蓮華、必ずミスを取り返す機会が訪れるからな)

「岡田主将の言葉、胸に刻みます」

(汚名返上の機会がめぐって来たら必ず打つ)

く星歌side終了く

く大島留々sideく

なんとかホームに帰って来れたっすよ。

蓮華ちゃんの送球それでしたけど、それでなかったらタイミング的にはギリギリだった。

まだまだ、野球の神様は柳大川越を見放してないっすね。

これから、逆襲が始まるっすからね。

く大島留々side終了く

一方のマウンドに集合してる内野陣は・・・

「ごめんねタマちゃん、点許しちゃった」

（エースなんだから、無失点投球しないとだよね・・・）

俯きながら話すヨミちゃん。

そんなヨミちゃんに話しかける珠姫ちゃん。

「ねえヨミちゃん。今の球、あまりにもダメダメだったからマメでも潰したのになって
気になって」

（本当にマメ潰していないよね？）

「ど直球に言うねタマちゃん・・・」

（弱ってるメンタルにグサツと刺さるよ）

「折角の対外試合なのに、楽しそうに投げてないよ？」

（もしかして、打撃が結果出ていないから？）

「あの球を投げて私が捕逸するかもって思ってる？」

（小さい頃の私じゃあないんだよヨミちゃん）

「絶対に逸らさないよ私は、蓮華ちゃんは分からないけど・・・」

（蓮華ちゃんが捕球出来たらヨミちゃんとバッテリー・・・それはなんだか嫌だ）

「皆でこのピンチを切り抜けて、2番手で登板の星歌ちゃんに良い流れでバトンを渡そう」

（星歌ちゃん登板の際は、蓮華ちゃんと交代かな？）

「うん、タマちゃんの言う通り皆でピンチを切り抜けるぞ」

「ヨミ、リラックスリラックスだぞ点差はまだあるからな」

「投手のミスは野手が、野手のミスは投手がカバーしあえば良い流れは生まれるわ」

「ヨミちゃんまだ試合は終わってないわよ、落ち込むのは試合が終わって負けてたら・・・ね」

ヨミちゃんに稜ちゃん・董ちゃん・藤原先輩が声を掛け。

「皆、ありがとう」

ヨミちゃんの言葉を聞いてから、内野の皆は輪を解いてそれぞれの守備位置へ。

《4番、捕手：浅井さん》

タイム後に、アナウンズが流れ浅井さんが右打席に。

(投手の動揺してる内に畳み掛けたかったが、相手の捕手が一步先にそれを阻止したか・山崎珠姫良い捕手だな)

闘志を取り戻したヨミちゃんが浅井さんへの1球は

ヨミちゃんの決め球。

それを浅井さんが空振りし、1ストライク。

「良いわよヨミ！」

「ヨミさん！ナイスボールです！」

ベンチに控えてる息吹ちゃん・白菊ちゃんからのエールも聞こえて。

それに対抗する様に

「花代子！、決めちゃいなさい」

「浅井先輩、よく見れば打てるっす」

大野さん・大島さんから浅井さんへの激励が。

両者の意地がぶつかる中、2球目・・・。

(ジョン)

(ブン)

(バシーン)

《2ストライク》

2球続けて投げたヨミちゃんの決め球を浅井さんが空振りし、2ストライク。

(今度こそは、3球連続で来る・・・)

(来るって分かっても、この球は・・・)

(ビュン)

(ブン)

(バシーン)

《ストライクアウト》

4番の浅井さんを三振に打ち取って、1死1・3塁に。

記録：空三振

「ナイス投球よ」

「ナイス奪三振！」

(もつと、投げたいよ)

「ヨミちゃん、ナイスボールだよ最高の球だよ」

「もっと、ミット目掛けて投げて来て」

(コクリ)

無言で頷くヨミちゃん。

打席には5番の新井夢さん。

《5番、三塁手・新井さん》

三塁側で動きが。

《柳大川越の一塁走者、山崎さんに代わりまして京田さん。背番号16》

先程タイムリーを放った山崎さんに代走の京田さんが。

京田さんが三塁側ベンチから小走りで一塁へ、交代の際は山崎さんとハイタッチを。

同時に背番号15を付けた子がベンチ前でキャッチボールを。

一塁走者の交代理由は分からないけど、注意が必要かもだし。

次の回から柳大川越の守備が変わるのかも。

(気を付けて、ヨミちゃんに珠姫ちゃん)

一方の代走を出した柳大川越の方は・

く柳大川越 sideく

「浅井先輩、あの投手の球を止めるのに山崎さんは精一杯だと思うっス」

「なので、山崎先輩から俊足の葵ちゃん（京田）に代えてスチール（盗塁）やダブルスチール（重盗）を仕掛けれるチャンスだと思えますよ」

「留々の意見に一理ありか・・・やってみる価値はあるな」

「でも留々。一塁手は誰がやるのよ？」

「葵ちゃん（京田）が代走からそのまま遊撃手に入り、阿部先輩が遊撃手から二塁手に、新井夢先輩が三塁手から一塁手に、空いた三塁手に杏ちゃん（三ツ俣）が入る感じなら大丈夫っす。」

「それなら大丈夫ね、花代子実行よ」

「分かった、葵（京田）と杏（三ツ俣）出番だ」

「はくい、行ってきます」

「キャッチボールしてきます」

京田さんが三塁側ベンチから元気良く飛び出して行く。

く柳大川越 side 終了く

一塁走者に代走が出た事で、柳大川越がどう仕掛けてくるか・迷った珠姫ちゃんはベンチの芳乃ちゃんへの指示を仰ぐ事に。

(どうする？一塁走者の盗塁を無視して、三塁走者の本塁突入に備える？)

(ピンチ拡大が怖いけど、重盗塁に警戒だね)

(了解だよ)

芳乃ちゃんからの指示が出た所で、改めて珠姫ちゃんがブロックサインで内野の皆に伝達。

守備シフトは、中間守備。

稜ちゃん・董ちゃんの二・遊間は、二塁併殺を狙える位置で。

藤原先輩と希ちゃんの一・三は、打球によつては本塁送球or二塁送球での併殺を。

新井さんに一球目のヨミちゃんの決め球を投げた瞬間。

「走った!」

一塁走者の京田さんがスタート。

珠姫ちゃんが素早く捕球し二塁に送球、それをみてタイミングをずらして三塁走者の亀平さんがスタート。

(パシ)

(ヒューン)

珠姫ちゃんの送球を二塁手前で、董ちゃんがカットし本塁へ送球。

(パシーン)

頭から本塁に突っ込む亀平さんに、珠姫ちゃんが董ちゃんからの返球を捕球し素早くタッチし。

《アウト!》

審判コールを聴いて、喜ぶ新越谷ベンチと落胆する柳大川越ベンチに・・・。

(やられたな)

(読まれてたぽいつすね)

(まだチャンスは続いているわ)

(重盗阻止出来て良かったよ♪)

2死2塁で、5番の新井夢さんのカウントは1ボール0ストライク。

(キーン)

一・二塁間を襲う当たりを・

(パシ)

希ちゃんが飛び付いて。

「希ちゃん!」

一塁ベースカバーに走ってるヨミちゃんに送球し・、打者走者の新井夢さんより先に一塁ベースを踏んで。

《アウト1・3アウトチェンジ》

1点を返されてからの無死1・3塁のピンチを脱出に成功!

特に、蓮華ちゃんが涙が出そうなのを堪えながら笑顔でベンチに駆け足で戻る姿が印象的だった。

く芳乃side

凄い・・

1点を返されて、尚無死1・3塁の状況で最悪同点は仕方ないかと思ってた。

ヨミちゃんの気迫の投球に、相手の重盗阻止、そして希ちゃんの好守。

まだ流れは新越谷にあるよ、そしてこのチームは強いよ。

心配なのは、右翼手の蓮華ちゃんかな。

1点を返された事を気にしてないと良いけど・・・。

く芳乃 side 終了く

アナウンスで柳大川越の守備位置の交代のお知らせが

《先程、代走に出ました京田さん。そのまま入り遊撃手・背番号16。遊撃手の阿部さんが二塁手に。》

《左翼手の蔵本さんが右翼手、右翼手の遠藤さんが左翼手に。》

《三塁手の新井夢さんが、一塁手に。2番に三ツ俣さんが入り三塁手。背番号15：以上で代わります・・・はあ疲れたよ》

守備位置変更の4回裏時点の柳大川越のスタメンは・・・

1 [中] 大島

2 [三] 三ツ俣（亀平さんに代わり）

3 [遊] 京田（代走から遊撃手）

4 [捕] 浅井

5 [一] 新井夢（三塁手↓一塁手）

6 [左] 遠藤（右翼手↓左翼手）

7 「右」 蔵本（左翼手↓右翼手）

8 「二」 阿部（遊撃手↓二塁手）

9 「投」 大野

複数の選手がポジションを入れ替えて守備に。

京田さん、三ツ俣さんの守備がどの程か気になるけど・・・。

星歌の打順が回る迄に、ベンチ前で5回からの登板に備えて息吹ちゃんと肩ならししている。

「野球部のみんな頑張ってるね！」

一塁側ベンチ近くのネットから聞きなれた声が。

声の方を見るとエールを掛けてくれたクラスメイトの秋津奏ちゃんが。

あれ？奏ちゃんって吹奏楽部のはずだけど・・・。

「今、休憩中なんだ。だから野球部の試合が気になって」

ジュースを片手に持ちながら、星歌の心の疑問に答えてくれた奏ちゃん。

「また音楽室に戻らないと行けないけど、4対1でリードしてるね」

「星歌ちゃんは登板するの？」

「5回から、ヨミちゃんの2番手として登板だよ」

「応援してるね、目指せ完璧リリーフ！」

「頑張るね」

奏ちゃんの声に気付いたヨミちゃん達も、近くに。

「奏ちゃん、夏の大会で吹奏楽部で応援してね」

「奏ちゃん、吹奏楽部じゃなければスカウト出来たのに残念だよ・・・」

「奏、音楽室に戻るのに迷子にならないようにね」

「秋津さん、そろそろ休憩時間終るのでは？」

奏ちゃんは、中学迄は野球をしてたんだけど怪我で続けるのを断念。高校では野球に携わりたい・応援したいとお姉さんがいる吹奏楽部に。

ちなみに、迷子癖があつて初めて行く場所の時は大抵迷子になるんだって。

「じゃあこの辺で音楽室に戻るね、息吹ちゃんいくら私が迷子癖があるからってバカにしないでよ」

「はいはい、迷子にならずに部室に帰ってたら明日でも購買の人気パンでも奢るわ」

「その約束、確かに聞いたからね！」

上機嫌で吹奏楽部がある音楽室方角へと歩き出す奏ちゃん。

息吹ちゃんと、奏ちゃんのやりとりを聞いてたヨミちゃん達は・・・。

(フラグ?)

(奏ちゃん、購買で人気のサンドイッチは確実に頼むね)

(勝利の女神はどちらに微笑むかな?)

(明日にでも奏ちゃんに聞いてみよう)

ベンチにヨミちゃんと一緒に戻って、準備しないとね。

グラウンドの方に視線を戻すと。

《4回裏、新越谷の攻撃は》

《6番、遊撃手：川崎さん》

丁度、アナウンスされて稜ちゃんが打席に入る所。

稜ちゃんは第一打席で2点左安を大野さんから打ってるから期待だよ。

(彩優美、この回も抑えて流れを呼び寄せるぞ)

(分かってるわよ)

稜ちゃんへの初球・・・。

それを稜ちゃんはフルスイングで・・・

(ブン)

(チツ)

投手頭上への高いバウンドの打球に・・・。

「早く落ちてきなさいよ!」

やっと落ちて来たボールを大野さんがグローブに収めた時には稜ちゃんが1塁を駆け抜けてて。

無死1塁で、董ちゃん。

(コン)

初球を确实バットに当てて、犠打成功で1死2塁で星歌の番に。

《8番、左翼手：渡辺さん》

初球は内角高めのストレートに空振りしちやって、1ストライク。

2球目は、インコースのボールからストライクに食い込むシュートを見逃し2ストライク。

(さつきは三球三振に倒れちゃったから、粘って球数を投げさせるぞ)
(2打席目もさつきと凡打にしてあげるわ)

大野さんがサインに頷いて、モーションに入って3球目を・・・

(パシン)

ボール気味内角低めのフォークを見送って

(低いかな、多分ボールだよな?)

球審の判定は・・・

《ストライクアウト!》

(うそ〜!、低いよ)

内心球審への文句を言いながら、ベンチに下がる。

怒りの気持ちを鎮めて、投球に備えなきや。

《9番、投手：武田さん》

ヨミちゃんが打席に。

今度こそ、自援護だよ!

予定では、ヨミちゃんはこの回迄。

「ハイ!」

(カーン)

(パシイ)

2打席目は、良い音を残すも蔵本さんへのファールフライに。

記録：右邪飛。

大野さんが尻上がりに調子を上げてきて、1回以降は大野さんからランナーを出すも無失点に。

星歌が良い投球をして、流れを呼び戻すぞ！

藤井監督が球審に選手交代を告げて。

《新越谷高校、選手の交代をお知らせします。》

《8番左翼手の渡辺さんが、投手。9番武田さんに代わりまして川口息吹さんが入り左翼手。》

《8番投手渡辺さん。9番左翼手川口息吹さんに代わります。以上になります》

アナウンスを聞きながら、ヨミちゃんと大野さんのリリース跡で多少荒れてるプレート付近を足で整えながら、珠姫ちゃんと軽く打ち合わせ。

左翼の方を見ると、息吹ちゃんが緊張した様子で岡田主将とキャッチボールを。

「点差はあるから、リラックスして投げてきて」

「5回は、6番の遠藤さんからだから油断しない様に頑張るね」

星歌の言葉を聞いてから、珠姫ちゃんは定位置へ。

その後、数球の投球練習をして、柳大川越の攻撃開始のアナウンスを待つ。

星歌達の様子を見てた大野さん達は

「あの子、投手なのね。しかもアンダー」

(てつきり野手かと思ってたわ)

「蓮華ちゃんからLINEで投手兼野手と聞いてたつすけど、アンダースローだった

すね」

(敢えて、情報を隠してたつすかね！)

「データ不足だが、なんとか攻略するしかないな」

(チャンスが必ず来る)

《5回表、柳大川越の攻撃は》

《6番、左翼手：遠藤さん》

先程の回から右翼手から左翼手に、守備を変えた遠藤さんを先頭打者として迎える。

(コクン)

珠姫ちゃんのサインに頷いて、いつも通りの投球動作に入る星歌。

新越谷の投手デビューの初球は・・・。

《死球、打者走者1塁へ》

遠藤さんのユニフォームをかする死球に・・・。

(落ちつけ星歌、デビュー初球が死球だけど次の蔵本さんをOUTに出来れば良いんだから)

《7番、右翼手：蔵本さん》

無死1塁で、第一打席にヨミちゃんの前に3球三振に倒れた蔵本さんが打席に。

(バシン)

《ボール》

(パン)

《ボール》

(パン)

《ストライク》

(パン)

《ボール》

打つ気があんまり感じない蔵本さんに、3ボール1ストライク・

《どくん、どくん、どくん》

(どうしよう、どうしよう、ストライクが入らないよ・・・蔵本さんも出塁してランナー2名の状態で大野さんに本塁打を浴びちゃったら・・・)

《どくん、どくん、どくん》

星歌が、遠藤さんに与えた死球のショックから内心パニック状態になると。

「星歌ちゃん、落ち着いて投げれば大丈夫だよ」

(初登板で緊張してるのかも、先頭打者の遠藤さんに死球デビューだから・・・)

「星歌！リラックスリラックス」

(ヨミ以外の投手は星歌だけだから・・・)

「ランナーを溜めてもヨミみたいにピンチを切り抜けられるわ」

(点差があるから大丈夫と思うけど)

「星歌ちゃん、落ち着いて投げれば大丈夫よ」

(星歌ちゃんが、打たれて失点してもその分打って点を取り戻す)

「星歌ちゃん、いつも通りに投げれば大丈夫だから」

(多分、遠藤さんに与えた死球の影響が響いてる)

星歌自身の心臓の音が邪魔して、聞きづらいけど珠姫ちゃん、それから星歌の後ろや横で守備をしてくれてる内野の稜ちゃん・董ちゃん・藤原先輩・希ちゃんが声を掛けてくれて・・・

気を取り直して、蔵本さんへの5球目を投じるも・・・

(パシン)

《ボール、フォアボール》

高めに浮いて、完全なボール球になり蔵本さんに四球を・・・。

《8番、二塁手：阿部さん》

無死1・2塁で阿部さんだけど、送りかな？それとも強行かな？

《どくん、どくん、どくん》

兎に角、1アウトが欲しい。早く1アウトが欲しいよ。

(阿部さんバントの構えだけど、緊張してる：なら上手く行けば失敗や併殺を狙える！)
 (星歌ちゃん、内角高めに思い切りストレートを投げてきて)

(コクン)

《どくん、どくん、どくん》

星歌の心音が煩いけど、珠姫ちゃんのサインを信じてミットを目掛け投げる。

(ストライク? いや高い、急いでバットを引かなければ)

(キン)

「ミスった」

(パシイ)

阿部さんのバントを失敗に成功、珠姫ちゃんへのファールフライに。

記録：捕邪飛

1死1・2塁で大野さんが打席に。

大野さんから謎のオーラが・・・

く大野さん side

この回は6番の遠藤からよね、1人以上出塁すれば私に打席が来るけど代打かしら？

「あつ！朝倉先輩っす」

「5回から登板か？釣り人の朝倉さん？」

「肩が準備出来てないけど、5回から投げられるけど」

嘘、なんで今になってベンチに来るのよ!?

朝倉不在に備えて、清水・松葉が控えてるけど・・・。

やつぱり、4回4失点のエースは降板しろというのね・・・

慕ってた留々も今じゃ、朝倉朝倉と。

「大野先輩！、次打席っす！状況は阿部先輩がバント失敗で1死1・2塁っすよ」
留々の声で、はっとしてネクストサークルから打席へ向かう。

代打を出されなかっただけでも監督の采配に感謝しないと。

私のバットでタイムリーや、本塁打が出れば最高ね

く大野さん side 終了く

大野さんのオーラが凄くて、何を投げてでも打たれそうなイメージしか浮かばない：。
それでも、嫌なイメージを振り払う様に珠姫ちゃんのサインだけを見て投げるだけ。

(パシン)

《ストライク》

(パシン)

《ストライク》

(パシン)

《ボール》

(パアン)

《ボール》

内角・外角にカーブ、ストレート・サブマリンス「フオーク」・シンカーを投げて2ボール・2ストライク

でも、打者の大野さんは一切スイングしないで見送るだけ……。

次の大島さんに柳大川越ベンチは期待なのかな？それとも球筋を確認してるだけ??

く大野さん&珠姫ちゃんsideく

この子、意外に良い変化球を持つてるのね。

しかも、先発した子と同じく1年生・・

それに比べて私は、2年の朝倉に怯えながらエースの座にいる・・

下手したら、次から中堅手に回って朝倉が登板よね・・・この打席も監督からの情けみたいな物ね。

いけないいけない、ぼーとしてたわ。

注意力散漫ね、あついつの間にか追い込まれてるし。

あつ、外角低めにストライクのストレート打たなきや。

<まったく、スイングをしてこない・・・>

<投手だから三振指示？、でも負けてるから可能性は低いだろうし>

<ただ、タイミングが合わずに見送ってるだけ？>

取り敢えず、追い込んでるから安全な外角低めにストレートを

く大野さん&珠姫ちゃんside終了く

く星歌sideく

珠姫ちゃんの外角低めストレートのサインを信じ、ミットを目掛けて投げる・・・

(ヒュン)

(カキーン)

打たれたのを確認して、打球の方へ振り向くと。

今まで打つ気0の大野さんがスイングした打球は、放物線を描いて右翼の防球ネット

方向へ。

(行かないで、行かないでよ、本塁打を浴びたら折角のヨミちゃんから託されたバトンが……)

「蓮華、バックだ！」

「これ以上無理です！」

「打球に合わせてジャンプだ！」

「はい！」

蓮華ちゃんと岡田主将のやりとりを消すかの様に……。大野さんの打球を後押しする声援がさつきから煩く聞こえる。

「行け！そのままオーバーフェンスするっす！」

「彩優美自身の手で、黒星を消すんだ！」

「潜水艦を沈めちゃえ！」

打球が右翼防球ネットに向かって落ちてくる。

(捕ってお願い、捕ったら間違いなくヒロインだよ蓮華ちゃん!!)

蓮華ちゃんが大野さんからバカにされた146cmの身長をフルに使って、打球に向かって大ジャンプを・・

(カシヤーン)

(ポトツ・・コロコロ)

蓮華ちゃんの掲げたグローブの数十cm上のネットに打球が当たり・・・。

蓮華ちゃんも、申し訳ない表情をして帽子を深く被り。

《本塁打！認定本塁打！》

打球の行方を見てた、一塁塁審判が片手をぐるぐると回し・・・

(あああ、同点に・・・ヨミちゃんごめんなさい。起用してくれた藤井監督に、芳乃ちゃんごめんなさい・・・)

(やつぱり、星歌には白星はふさわしくないんだ・・・。あはは・・・中学時代に陰口で言われた沈没潜水艦の通りだ・・・)

く星歌side終了く

く大野さんsideく

咄嗟に出したバットが、外角低めのストレートを掬い上げ打球が意外に伸びて右翼防球ネット方向へ。

しかも、あの中学生外野手・・・じゃあないわね。

志木さんが懸命にバックし打球を追っていく。

(進塁打にはなったかしら、二塁走者の遠藤が三塁にタッチアップ出来れば留々も楽だろうし)

「飛べ蓮華！」

「二世一代の大ジャンプをして、星歌を救います！」

ゆつくりと二塁ベースを蹴り、二塁へ向かおうとした時に。

(カシャーーン)

(ポトツ・・コロコロ)

私が放った打球がネットに当たる音が聞こえ、一塁塁審を見ると。

片手をぐるぐる回しながら。

《本塁打！、認定本塁打！》

審判の声で、私が同点3点本塁打を放った事に気付き。

二塁ベースを蹴り、投手の子の表情をチラ見したら俯いて表情分からなかった。

でも、申し訳ないけど試合でもあり。あなたとの勝負だから負けたくないの。

心を鬼にしながら、ホームイン。

ネクストで控えてる留々とはタッチをし、ベンチに戻ったら、次打者の留々以外のメ

ンバープラス朝倉から祝福を。

「やったな彩優美」

「流石朝倉先輩です」

「潜水艦少女を沈めたぞ」

手荒な祝福を受けながら裏の登板に備えてグローブを取り。

「朝倉、あんた裏から投げんの？」

「肩の準備がまだなので、6回から」

「はいはい、リードした状況であんたにバトンを渡すわ必ず」

「ありがとうございます彩優美先輩（小声）」

「何か言った？」

「いいえ、気のせいですよ大野先輩」

「そう」

朝倉が何か言ってたけど、気のせいにしてベンチ前でキャッチボールを。

く大野さんside終了く

メンタルが半分バキバキに折られても、表情には出さないにして。

潜水艦だもん、味方にも位置や訓練内容を把握されてはいけない艦種。

※海上自衛隊情報から。

ポーカーフェイスを貫くには中学から慣れてるよ……だから、珠姫ちゃん申し訳ない表情はゴメンね……。

早く、タイム要らないからサインを頂戴と思つてたら……

「守備タイム2回目をお願いします」

《新越谷守備タイム2回目》

ベンチの藤井監督が球審にタイムを要請して、伝令役にヨミちゃんが。

マウンドの星歌を囲む様に内野の皆とヨミちゃんが集まつて……

「星歌ちゃん、深呼吸深呼吸だよ。落ち着いて投げればバックが必ずOUTにするから」

「星歌のド派手なデビューになつたけど、此処から抑えれば必ず点を取り返してやるから落ち込むなよ」

「星歌ちゃんゴメンね、私の配球ミスかも。大野さんから全然打つ気配を感じられなかったから……」

「まだ試合は終わってないわよ、諦めるのはまだまだだよ」

「此処から仕切り直しよ」

「監督からのアドバイス、勝利を諦めた者には野球の女神は微笑みませんよって。」

「私からは、今野球をプレイ出来る事を楽しんでタマちゃんや蓮華ちゃんのミットを目掛けて投げてみて」

上から、希ちゃん・稜ちゃん・珠姫ちゃん・藤原先輩・董ちゃん・監督の伝言にヨミちゃんからの励ましの言葉が星歌に。

「皆、ありがとう……もう一度やる気のエンジンを動かして柳大川越打線を抑えるね」
中学時代から忘れかけてた笑顔で皆のエールに答えて。

輪が解けて、それぞれの守備位置に。

伝令のヨミちゃんはベンチに。

試合再開後は、1番の大島さんに風に乗ったラッキーパンチを浴びるも、2番の三ツ俣さん・3番の京田さんを打ち取って3アウトに。

星歌からラッキーパンチを打った大島さんの表情が、本人も本塁打になってびつくりの表情をした。

5回は風が柳大川越に味方したけど、新越谷にも味方してくれると良いな。

裏の攻撃は1番の希ちゃんから、大野さんに2安打と相性が良いから上手く行けば……。

しかし、

《ボールフォア》

敬遠気味に歩かされて、2番の蓮華ちゃんは。

(カキーン)

(パシイ)

《アウト!》

(ズサア)

(パシイ)

《アウト!》

大野さんから良い打球を放つも、一塁手へのライナー打球になり一塁走者の希ちゃんが飛び出して慌てて戻るもアウトに。

記録：一直による併殺。

2死で3番の珠姫ちゃんは、粘るも大野さんの前に打ち取れて3アウトに・・

流れが柳大川越に行ってる・・・

でも、6と7とテンポの良い投球で柳大川越打線を抑えればチャンスはやってくる。

5回終了

先攻：柳大川越（5）

対

後攻：新越谷（4）

2回目のグラウンド整備へ。

戦いは終盤戦へ。

1 2球目：対柳大附属川越高戦④（6回～最終回）

5回終了後のグラウンド整備が終了して、真新しいグラウンドに内野陣の皆とバッテリーの星歌と珠姫ちゃんが足を踏み入れ。

投球練習と、軽いボール回しを。

外野の芝生には、息吹ちゃん・岡田主将・蓮華ちゃんの3人が各々の守備位置からキャッチボールを。

息吹ちゃんは岡田主将と、蓮華ちゃんはヨミちゃんを相手にキャッチボールを。

6回表の柳大川越打線は、4番の浅井さんからの好打順から。

1点ビハインドだから、テンポ良く投球して良い流れを新越谷に引き戻すぞ。

《6回表、柳大附属川越高の攻撃は》

《4番、捕手：浅井さん》

浅井さんの3打席目。

一打席目と二打席目共にヨミちゃんの前に空三振。

三打席目で、星歌との初対戦。

そんな浅井さんを1B2Sからの内角低め4球目のスライダーを打たせて、稜ちゃんへのゴロに打ち取り。

5番の新井夢さんにフルカウントから四球を与えちゃったけど、6番の遠藤さんを4↓6↓3の二塁經由の併殺打に仕留めて3アウト。

良い流れを新越谷に呼び戻せたかとも思ってたら、柳大川越のベンチから監督さんが出てきて球審に投手交代及び守備交代を告げて・・・。

《柳大川越の投手交代及び守備交代をお知らせ致します。》

《投手の大野さんが左翼手に、6番遠藤さんに代わりまして朝倉さんが入り投手》

《6番投手、朝倉さん。9番左翼手、大野さんに代わります。》

〈柳大川越side〉

「智景、6番で、遠藤に代わり登板だぞ。彩優美は左翼に。」

「肩は準備完了しましたので、いつでも」

「朝倉先輩の投球を見れるっすよ」

「私が左翼ね・・・、自信は無いけど」

〈柳大川越side終了〉

2番手投手としてマウンドに立つのは、朝に釣りをした人が。

そんな朝倉さんを見て、芳乃ちゃんの様子が少し変で……。

「あ……あの人は……」

「去年の夏にデビューし、4試合登板してたった3失点の速球派の本格的投手」
「大野さんが技巧派で打ち取るタイプなら、朝倉さんは三振を沢山奪うタイプ」
そんな朝倉さんから点を奪えなきや試合終了に……

《6回裏、新越谷の攻撃は》

《4番、中堅手岡田さん》

岡田主将が打席に。

《ストライク》

《ストライク》

《ストライク、バッターアウト！》

岡田主将が朝倉さんの前に3球三振に……

次の5番の藤原先輩、6番の稜ちゃんも朝倉さんに空振り三振に……。

逆に星歌も3者連続三振に取って、7番の堇ちゃんから始まる攻撃へ後押しが出来れ

ば。

6回裏の攻撃中には、希ちちゃんと蓮華ちゃんが朝倉さんの球を打つてみたいから打順を回して！と言ってたけど・・・。

希ちゃん達迄に打順を回せれるか不安だよ・・・

《7回表、柳大川越の攻撃は》

《7番、右翼手：蔵本さん》

最終回の柳大川越は、下位打線の蔵本さんから。

蔵本さんとの第一打席には四球を与えちゃったけど今回は・・・。

1B1Sからの外角低めの3球目（スライダー）を打たせて、息吹ちゃんへの飛球に。
8番の阿部さんは、2B1Sからの内角高めの4球目（ストレート）を打ち上げさせて珠姫ちゃんへの飛球に打ち取り2アウトに。

9番の大野さんには、3点本塁打を浴びたけど。

《ストライク》

《ストライク》

《ストライク、バッターアウト！》

今回は倍返ししの3球三振に打ち取って、プチ仕返し成功！

最終回の攻撃へ向けて、良い流れを呼んだぞ。

「この回が最終回だよ、7番の董ちゃんからの攻撃で同点に持ち込めれたら○。逆転サヨナラ勝利が◎だね」

芳乃ちゃんからの発破で、少しやる気が上がる皆。

特に途中出場してから初打席を迎える息吹ちゃんと、星歌に代わって代打出場予定の白菊ちゃんは緊張した表情を。

「白菊ちゃん、星歌の代わりに思い切りバットを振り抜けば何かが起こるから」

「はい、一閃を振り抜いて希さんに必ず繋がります！」

1対1の真剣勝負に臨む武士の様なオーラを纏い白菊ちゃんかネクストサークルへ。

《7回裏、新越谷高の攻撃は》

《7番、二塁手：藤田さん》

董ちゃんが打席へ。

董ちゃん対朝倉さんの対決を注視しつつ、気になった事を投手の星歌とヨミちゃんが芳乃ちゃんに質問を。

「ねえ、芳乃ちゃん。仮に同点に追い付いて延長戦になった際は誰が投手するの？」

「息吹ちゃんに投手を頼もうかなって。息吹ちゃん投手用グローブを持つてるし、コピー投法なら1〜2イニング位凌げるかなって」

「へえ、息吹ちゃん投手用グローブを持つてたんだね意外」

「色んな選手の主に野手のコピーをして貰ってる内に、投手のコピーも出来る様になつてね」

「投手息吹ちゃんデビューになったら、蓮華ちゃんが右翼手から左翼手に。白菊ちゃんが右翼手の予定？」

「ヨミちゃんの言う通りの予定だよ」

「息吹ちゃんは、新生新越谷野球部の秘密兵器になれるかも」

「息吹ちゃんも投手兼任なら、3名体制だね」

「この練習試合後の部活練習内で、投手素質チェックするよ♪」

芳乃ちゃん・ヨミちゃん・星歌で話ながら注視してる菫ちゃん対朝倉さんの勝負に決着が訪れて・・・

《フェアール》

《フェアール》

《フェアール》

《フェアール》

《ファール》

OB2Sから5球連続で朝倉さんの快速直球をファールで粘る董ちゃん。

（ストレートにはなんとかファールで粘れる事が出来るけど、決定打が・・・）

（智景、新変化球でこのファール合戦に終止符を）

（分かりました）

董ちゃんに対する6球目は・・・

（ひゅん）

（バシイン）

落差あるフォーク？SF？に董ちゃんのバットが空を切り空振り三振に。

《ストライク、バッターアウト》

董ちゃんがベンチに下がる前に、ネクストサークルで待機してる白菊ちゃんに耳打ちをしてからベンチへ。

（白菊、無理に変化球を打とうと思わなくて良いわ、ストレート一本に絞って思い切りバットを振り抜いて）

（董さん分かりました）

ネクストサークルから右打席に向かう白菊ちゃん。

《8番、星歌さんに代わりまして。》

《代打、大村白菊さん》

一礼してからバットを構える白菊ちゃん。

初球のSFFを豪快に空振り、2球目のストレートをファール。

3球目の高めのストレートを一閃、振り抜いた打球は三塁手の三ツ俣さんのダイビングキヤッチを笑うかのように。

三塁ベースに直撃し、ファールゾーンを転々とする間に2塁に進塁出来るラッキーな安打に。

《9番、左翼手：川口息吹さん》

1死2塁で、この試合初打席を迎える息吹ちゃん。

ネクストサークルから打席に向かう息吹ちゃんに、芳乃ちゃんが耳打ちを。

耳打ちをされてから打席に向かう息吹ちゃん：、練習では右打席だけど今回は・・・。

「息吹が左打ち!?!」

「確か、自分達が見学しに来た日に希さんの手をチェックしながら。芳乃さんが息吹さんは両打だからメインの左打ちが少ないのよって言ってた様な記憶が」

「でも、いきなり左打ちで朝倉さんの快速直球を打てるの？」

「カット打ちが得意な選手の真似を息吹ちゃんにさせてみたよ♪」

「芳乃ちゃんの博打采配が成功します様に」

左打席に立つ息吹ちゃんをベンチで見ながら各々の反応をする皆。

～川口息吹 side～

芳乃何で、こんな場面で真似打ちをさせるのよ！

初心者の初心者の私が、あんな速い球を投げる投手から打てる訳ないじゃない。

でも、チームの為にやるしかないわ。

失敗したって、文句を言わないでよね！

～川口息吹 side 終了～

朝倉さんの快速直球をなんとかカットし続けて粘る息吹ちゃん。

《ファール》

《ボール》

《ファール》

《ボール》

《ファール》

《ボール》

3B 2Sとフルカウント迄持ち込み・

朝倉さんが息吹ちゃんに対しての6球目

6球目のSFFの前に息吹ちゃんのバットが空を切り・・・

「息吹ちゃん走って！」

「浅井さんがボールを逸らしてる！」

「息吹ちゃん速く一塁へ！」

息吹ちゃんの振り逃げが成立して、1死1・2塁で希ちゃんに打順が。

「一打逆転サヨナラのチャンスだよ！」

「息吹！ ナイス振り逃げだぜ！」

希ちゃんが左打席に。

初球のSFF、2球目のストリート共に空振りを取られて2S。

2Sに追い込まれてからは、ファールとボール

粘ってからの5球目のストREETを捉えて・・・

(ガキーン)

良い打球音を残して、打球は右中間へ。

二塁走者の白菊ちゃん、一塁走者の息吹ちゃんは打球が抜けるか確認する為に塁間で止まり。

打球の行方を見守り。

（パシイ）

中堅手の大島さんがダツシユキャッチして、白菊ちゃんと息吹ちゃんが慌て帰塁を。

「朝倉先輩、打球を和光市まで飛ばされてるつすよ」

大島さんの声が聞こえたような気が・・・

2死1・2塁で、蓮華ちゃんが打席に。

「ミスを取り戻すチャンスだぞ！」

「ヒロインになれるよ！」

「星歌の黒星を消す一打を！」

星歌と皆のエールを背中に受ける蓮華ちゃん。

（カーン）

朝倉さんが投じた低めのSFFを上手く捉えたけど・・・

「たあ！、同点にはさせません！」

(パシイ)

元氣娘？の4回表代走から遊撃手の守備に京田さんが、大ジャンプキャッチを成功させて蓮華ちゃんの打球をグローブの中に納めて・・・

《ゲームセット》

《試合終了です、4対5で柳大附属川越高の勝利です。》

《勝利投手：大野さん、セーブ投手：朝倉さん、敗戦投手：渡辺さん。》

《本塁打賞は、大野さんと大島さん》

《盗塁賞は、京田さん》

《3名の選手には、後日に商品が贈呈されます》

く渡辺星歌 side e

アナウンスをベンチで聞きながら、改めて負けたんだと・・・

新生新越谷野球部の初勝利を、星歌が消しちやった事実が星歌にのし掛かる。

思い切り泣きたいから、泣いてる所を見られたくないから急いで着替えて帰るとする所を蓮華ちゃんに見られて・・・。

く渡辺星歌 side 終了く

く志木蓮華 sideく

試合が終って、大野さん大島さんと軽く雑談してからみんなとグラウンド整備を。でも、グラウンド整備前に大野さんと大島さんから言われた言葉を大事にした。

「志木さん、今回は私の勝ちだけど。それよりもあの投手の子の精神ケアを大事にしなければ」

「もしかしたら、今回の敗戦が自分の責任だと

背負い過ぎる可能性があるわ」

「私はあの子から3点本塁打を放った憎い相手かも知れないけど、投手の事は投手が良く分かるし。」

「相棒の捕手も投手の事を唯一理解出来る存在だから、あの子が潰れそうになつてたら支えてあげて」

（先発の子や、アンダーのあの子も1年生だから成長が楽しみなのよね・・・敵に塩を送る感じだけど・・・ライバルが増えるのは大歓迎よ。だって私は何れ埼玉NO1左腕になる大野彩優美なんだから）

「留々が放った本塁打が勝利打点になりましたが、たまたまつす」

「風が、野球の神様があの時だけ柳大川越に微笑んでくれただけつすよ」

「逆の展開になってたかも知れないから、星歌ちゃんをサポートしてあげて欲しいっす」

「同じ1年生同士、投手野手関係なく切磋琢磨して埼玉の頂点を目指せれる仲になりたいから」

「蓮華ちゃんが星歌ちゃんには大事つすよ、今日の試合で組んでた山崎も大事にですが・・山崎はもう一人の投手のパートナーになるかもですから」

（他校でライバル関係になれる1年生が少ないから、蓮華ちゃんや星歌ちゃんは貴重っす）

会話を思い出しながら、グラウンド整備をしてると泣きそうになりながら。みんなにばれたくないようにグラウンドを足早に去ろうとする星歌の背中が視界に入って・・・。

く志木蓮華 side 終了く

星歌と蓮華ちゃんと二人きりでの秘密の会話は・・・内緒かな・・。

もしかしたら、番外編で紹介するかも・・（多分）

新生新越谷野球部初戦は、黒星スタート。

初勝利を目指して、頑張らなきゃ。

クラスメイトで吹奏楽部の秋津奏ちゃん以外の子が、今回の練習試合を観戦してたら

らしくて……。

「新生新越谷野球部、初戦は善戦したけど黒星ね」

「お姉ちゃんと一緒に加入したら、もっと強くなって初勝利も近いかも」

観戦してた姉妹？が入部してくれるかは・・、芳乃ちゃんコンピューターでも分からないかも？

続く。

(番外編) 9・5球目〜12球目☆佐倉姉妹達の観戦記録



〜時系列：柳大川越戦試合前〜

日葵 side

日葵こと、佐倉日葵はお姉ちゃんの佐倉陽奈とクラスメイトの川原湊ちゃんと一緒に今日学校のグラウンドで行われる。

新生新越谷野球部の初対外試合をグラウンドの外から観戦する為に、グラウンドの方へ歩いてる最中。

クラスメイトの川原湊ちゃんは、午後から地元の草野球チームの応援選手として参加だから試合最後まで一緒に観れないのが残念だよ。

「陽奈お姉ちゃんに湊ちゃん早く早く!」

『日葵落ち着きなさい、試合は逃げないわ。』

【日葵さん歩くの速いよ。】

「でもでも、柳大川越にいる留々ちゃん、の打撃練習や有力選手の打撃練習もチェックしたいし・・・」

「それに、シートノックでしょ。さらには新越谷野球部の方もチェックしたいから・・・」
「更には、練習終わりの古谷ガールズでチームメイトだった留々ちゃんに挨拶したいし・・・時間が足りないよ」

陽奈お姉ちゃんと湊ちゃんに少しでも早くグラウンドに到着したい理由を伝えたら・・・

『まったく、その情熱を普段のお店の手伝いにも発揮してくれば良いのに・・・』

『私と一緒に手伝う日と、そうじゃない日の日葵の気分とお店の売り上げが違うって家族のみんなが言ってるし・・・』

『まあ、私も日葵と似たような点もあるから仕方ないのかしらね・・・』

(私と日葵はやっぱり双子姉妹なのよね)

『分かったわ、私も古谷ガールズと一緒にプレーした留々さんに挨拶はしつかりとしたいから。少しでも時間は確保よ』

陽奈お姉ちゃんは陽菜お姉ちゃんらしい理由で納得してくれて。

湊ちゃんは・・・。

【日葵さんらしい理由ですね】

(光お姉ちゃんも来れば良かったな・・・)

【日葵さんの言う通り噂の新生新越谷野球部や、柳大川越高の力を早くチェック出来るチャンスだね。】

(私がもし、加入しても受け入れて貰えるかまずは練習中の雰囲気から確認かな)

湊ちゃんらしい理由でこちらも納得してくれた♪

不安だったけど、陽奈お姉ちゃんと湊ちゃんが日葵の理由を聞いて納得してくれて嬉しいな。

流石日葵の自慢のお姉ちゃんと親友の湊ちゃん♪

(陽奈お姉ちゃんや湊ちゃんに嫌われたくないから、お店の手伝いを頑張るし湊ちゃんを含むお友達を大切にしなきゃ。)

さてもう少してグラウンドに付くよ。

日葵 side 終了。

陽奈 side

今日は、妹の日葵に誘われて私達が通う新越谷高校対柳大附属川越高校・通称：柳大川越との対外練習試合を、クラスメイトの湊ちゃん（川原湊）と一緒に見に来ている。

新越谷高校野球部は、最近迄暴力沙汰等による活動自粛をしていたのだけれど・・・隣のクラスの詠深（ヨミ）ちゃんや、星歌ちゃん達を中心にしたメンバーで活動を再開。

現状メンバーは、11人。

投手2名（内1名は野手兼任）・捕手2名（外野手兼任）・内野手4名・外野手3名の内訳。

対する柳大附属川越高校は、メンバーは20名以上。

有力選手は、3年生の左腕の大野彩優美さん・同じく3年生の浅井花代子さん・2年生の朝倉智景さんに私達と同じ1年生で古谷ガールズでチームメイトだった大島留々ちゃん等・・・

戦力では、やや柳大附属川越側が有利ね。

日葵は、ヨミちゃんや星歌ちゃんは凄い投手なんだよとか・あの美南ガールズにいたタマちゃん（山崎珠姫さん）に蓮華ちゃん（志木さん）がいるから簡単には柳大川越には負けないもん。

逆に勝利して、他の学校が驚くからって言ってたけど・・・。
今回は、日葵の予知は当たるか注目ね。

湊ちゃんは、内野陣に怪我人が出たらアウトですわね・・・。

日葵さん達や自分がいれば大丈夫なんですわが・・・って。

まだ野球部に参加してない事を悔いてる感じで呟いて。

陽菜 side 終了

日葵 side

陽奈お姉ちゃんの協力もあって、早めにグラウンドに到着。
早速チエツクしつつ、留々ちゃんに挨拶しなきや。

スコアボードを確認すると、柳大川越は後攻でベンチを見ると三塁側に。

丁度、留々ちゃんの打撃練習が終わってベンチに戻ってくる所だったから留々ちゃん

に挨拶しよう。

く三塁側ベンチ付近く

「留々ちゃん！今日はスタメン？そして噂の先輩は今日はあるの？」

(LINEで聞いてた噂の先輩って気になるんだよね)

《日葵ちゃんに、陽奈ちゃんお久しぶりッス。そして初めましての方もいますね》

(初対面の子がいますね、気になるっす)

《留々は、1番中堅手でスタメンっすよ》

《例の先輩(朝倉)は、朝から釣りに行って今は不在っす》

(何処の川か釣りをしてるんっすかね?)

『留々ちゃんお久しぶり、例の先輩がいないからやる気出ないのでは?』

(朝倉さんどこで釣りしてるのかしら?)

《その台詞、新越谷にいる蓮華ちゃんにも言われそうっすよ!》

(確実に聞かれそう・・・)

【えつと・初めまして、私は川原湊と言います。2年生の光お姉ちゃんと共に野球部に
入部するか思案してます】

(留々さんのメインポジションは何処だろう?)

《湊さんつすね、噂は日葵ちゃんや陽奈ちゃんから聞いてましたよ。》

(どんな噂かは秘密つすよ)

《留々は太田留々ツス。日葵ちゃん達と同じ1年生同士ライバルでもあり友達つすよ

！》

(永遠のライバルになれば)

【どんな噂か気になるけど・・よろしくね留々さん。私は捕手兼内外手だから捕手や外野
手でスタメン時は留々さんを強肩で捕殺しちゃうよ♪】

(私は送球が若干それる癖があるからそこが不安かな・・)

《なら留々は、強肩を掻い潜りぬけて盗塁に味方の安打で本塁に帰ってくるよ》

(湊ちゃんの強肩はどの位の強肩か気になる)

留々ちゃん、日葵達のお話後にノックを受けに外野へ。

湊ちゃんも留々ちゃんとおしゃべり出来て良かったな。

後は3人でじっくりチェックしなきや。

日葵 side 終了。

陽奈 side

私と日葵と湊ちゃんの3人が留々ちゃんとお話しをした後に、早速両校のチェック開始。

『やつぱり、柳大附属川越は守備の動きが良いわね。』

『でも、新越谷の方も負けてない』

『そうだね陽奈お姉ちゃん。初心者と聞いている息吹ちゃんや、白菊ちゃんは仕方ないとして珠姫ちゃんと蓮華ちゃんの美南ガールズ出身者を中心に守備も良いよ』

『打撃は見てみないと分からないけど、守備・走塁はほぼ互角かな。後は実際の試合での動きがどうか。』

【練習と試合では、緊張感が違いますから。】

【併殺を取れるか取れないか、咄嗟の処理判断・ベースカバー・先の塁を取れるか取れないか、

いか等、僅かな差が後々に響いたりしますから」

野手の動きをチェックして次は両校の投手をチェック。

これは、捕手の湊ちゃんと私達の目力が問われるわね・・・。

最初は、三塁側の大野さんをチェックよ。

陽奈side終了

湊side

私は、同じクラスメイトの陽奈さん・日葵さんの双子姉妹からの誘いで学校のグラウンドで行われる野球部の柳大川越を迎えての練習試合を観戦しに来ているよ。

本当は、お姉ちゃんも加えた4人の予定だったけど・・・。

都合が合わなくて、結局3人で観戦。

（お姉ちゃん、まだ野球部への悪いイメージを持つてるから行きたくなかったのかな？）
（私は、お姉ちゃんや陽奈さん達と一緒に野球をやりたいから。私が先に入部すればお姉ちゃんを入部へと煽る効果があるかも・・・）

今は、両校の選手の打撃・守備・走塁練習の動きをチェックが終わって。

先発予定の両校の投手を3人の目でチェックだよ、柳大川越は左腕の大野さん・新越谷は隣のクラスメイトの右腕のヨミさん。

最初は、大野さんのブルペン投球（ファールゾーン）をチェック開始！

「大野さんの第一印象は、技巧派でゴロを打たせるタイプかなって」

『私も湊ちゃんと同じ意見よ』

「日葵も同じ、留々ちゃんから聞いた情報だと同じ投手で速球派の朝倉先輩に対抗心を燃やしてるって」

「だから、投球フォームや投球スタイルを変更したって聞いてたけど」

「見た感じ大野さんの投球スタイルと、柳大川越の内野陣の守備は相性良いかも」

『大野さんはコントロールを乱してランナーを貯めて失点するタイプには感じないから、私たちの野球部は得点するのに苦労するかもね』

「得点チャンスがあるとしたら、慢心投球か味方の失策・四死球でランナーを出塁させた時かな？」

「大野さん視点からみたら、自身の投球や味方の好守でピンチを切り抜けたり。味方が得点等で尻上がりに調子を上げる切欠になるかも・・・」

『勝負は時の運ね・・・』

大野さんのブルペン投球視察を終えて、次はヨミさんのブルペン投球をチェックしに
一塁側へ。

湊side終了

→移動中→

日葵side

日葵達が大野さんをチェックしてる内にヨミちゃんの投球練習が終了してたみたい
い・・残念。

気を取り直してヨミちゃんや星歌ちゃんは、どんな球を投げるか楽しみだよ。

だって古谷ガールズにいた時に、美南ガールズや籠原ガールズ・小倉ガールズ等に
いた有力な子達の中にヨミちゃん達の情報は無かったから・・。

ヨミちゃんや星歌ちゃんは、ガールズに所属してなくて中学でやってたのかも。

益々、この柳大川越との練習試合の翌日にも陽奈お姉ちゃんと一緒に入部予定だか
ら。ヨミちゃんと星歌ちゃんと対戦したくなつてきちゃった♪

湊ちゃんは、いつ途中入部するか悩んでるみたい・・。

「陽奈お姉ちゃんに、湊ちゃん、ヨミちゃんや星歌ちゃんの決め球なんだろうね?」

『詠深ちゃんや星歌ちゃんの情報はあんまり得る事は出来てないわ、同じクラスの息吹ちゃんに聞いてみたけど口が堅くて・・・』

【ヨミさんは、スライダー系・カーブ系・落ちる球のどれかだと思うけど・・・実際に見てみないと分からないかも】

「もう一人の投手の星歌ちゃんも、分かっているのはアンダースロー位だし・・・」

『アンダースローだから、決め球カーブかシンカー系に絞られると思うわ』

【もしかしたら、ナツクルやオリジナル変化球でしたら面白いですね】

「投法は違うけど愛称がナツクル姫の吉田えり投手や、人気女子野球漫画ヒロインの早川投手みたいなの?」

『ちなみに星歌ちゃんは、外野手でスタメンだって息吹ちゃんがLINEで唯一教えてくれた情報』

『しかも星歌ちゃん本人は、スタメンだって事を知らなくて詠深ちゃんの2番手としてベンチスタートだって思っていると補足で芳乃ちゃんが同じくLINEで』

【サプライズですね、この事を知っているのは星歌さん以外のみんなのかな?】

「多分、一部の人しか知らないと思うよ・・・多分」

それから、日葵達がお花畑タイム中に星歌ちゃん目の目のハイライトさんが行方不明になる事件があったことを、留々ちゃんや息吹ちゃん達から後日教えて貰ったよ。

そろそろ試合開始・・・楽しみだな。

↓1回↓3回迄↓

陽奈 side

私達は、バックネット裏から観戦。近くにはアナウンスを担当する柳大川越のベンチ外の子が。

私達の新越谷の後攻で試合開始した、練習試合。

1回に先頭の中村さんの三塁打を足かがり、大野さんの立ち上がりを攻めて4点を先取。

(慢心投球して打たれたのかしら?)

それでも、川崎さんの盗塁を浅井さんが強肩で阻止した辺りから大野さんが尻上がりに少しずつ調子を上げて1回以外は0点に。

対して、新越谷の先発の詠深ちゃんは3回迄を味方の好守もあってノーヒット・ノー

ランナー投球をし柳大川越を0点に。

その際、詠深ちゃんが投げた決め球のナックルカーブ？に私も含めた3人が驚いたわ。

『あの変化球は初見ではなかなか打てるとは思えないわ』

「変化量・キレが良いけどその分、球審によってはなかなかストライクを取ってもらえない可能性があるよ」

「1～3球種程、違う変化球があればより山崎さんが配球がしやすくそしてヨミさんが勝ちやすくなると思うよ」

詠深ちゃんの決め球を見た感想を3人それぞれ披露して、その後3回終了までの感想を。

『序盤戦を終えて新越谷が4点リードしてるけど、追加点を大野さんから取れるか鍵ね』
「後は、ヨミちゃんがまだランナーを許してないから。初めてランナーを許してから
の投球に注目だね」

「私はグラウンド整備を挟んでからの中盤戦の攻防が注目してます、柳大川越の打線は4
回から一巡目が終わって2巡目に突入しますから」

『詠深ちゃんと珠姫ちゃんのバッテリーがどう対応するか注目ね』

「そろそろグラウンド整備が終わるね、頑張れみんな！」

【最後ですが大野さんが、私達の近くにいた柳大川越の制服を着た方に対して挑発したのにはびつくりしました】

(あの人が留々さんと陽奈さん達の会話の中に出て来た例の先輩なのかも)

「留々ちゃんが言った肝心の例の先輩(朝倉)は、大野さんが岡田先輩の打球を処理したプレーに無邪気に拍手してたしね・・・」

陽奈 side 終了

くグラウンド整備終了後↓5回終了迄く

日葵 side

遂に、4回表に膠着してた試合が動き出して・・・。

ヨミちゃんが初めて出した安打のランナー(留々ちゃん)を切欠に1点を失い、尚無死1・3塁で4番の浅井さんを迎えるピンチ。

この場で、ヨミちゃんとタマちゃんのバッテリーは浅井さんを空振り三振・重盗阻

止・希ちゃんの好守もあって1点で凌いだよ！

「陽奈お姉ちゃん、湊ちゃん。ピンチをヨミちゃん達ピンチを最小失点で抑えた！」

『2点以上の失点・・・もしくは同点になるかもしれないから凄いわ』

【失点を1点で食い止めたのは凄いですが、ただ点が入ったって事は試合が動くサインになる確率が高いかな】

4回表の良い流れで5回裏の攻撃に繋がったけど、それを尻上がりに調子を上げてる大野さんが阻止。

5回表からは、2番手で星歌ちゃんが登板し左翼に息吹ちゃんが守備に。

星歌ちゃんは、四死球も絡みの3点逆転本塁打を大野さんに浴びちゃって・・・

更に続く留々ちゃんが風に乗ったラッキーパンチの本塁打を放って柳大川越が逆転しちゃった・・・。

がつくりした様子のマウンド上の星歌ちゃんの周りに円陣が出来て、珠姫ちゃん達が星歌ちゃんに声を掛けてるのを見て・・・

「星歌ちゃん、大丈夫かな？逆転された責任を感じてなければ良いけど・・・」

(むく許されるなら、今すぐにもグラウンドに行つて声を掛けてあげたいよ)

『捕手の山崎さんや、星歌ちゃんの幼馴染と聞いている志木さん・同じ投手の詠深ちゃん辺りが試合後のメンタルケアをしてあげたら』

(この試合までに野球部に所属していない事を後悔してるわ)

【星歌ちゃん頑張れ・・・】

(ベンチからの伝令として来たヨミさんが来た事を合図に声かけを始める前に、率先してタイムを取って投手への声かけが出来る捕手になりたい)

5回を終了して柳大川越が1点リード・・・。

2回目のグラウンド整備を挟んでからの、6回からの星歌ちゃんの2イニング目の投球次第でまだ逆転可能だもん

頑張れみんな!

日葵side終了

〜6回〜最終回〜

陽奈&日葵side

6回が始まる頃に、湊ちゃんが午後からの地元の草野球チームの助っ人として合流する為に離脱。

6回からは、私と日葵の2人で引き続き観戦。

6回裏のマウンドには、大野さんの2番手として釣り人さん事朝倉さんが・・・。

その朝倉さんは、新越谷野球部の攻撃を三者凡退に退ければ。

星歌ちゃんも、6回～7回と三者凡退に柳大打線を退け・・・

遂に最終回・・・。

マウンド上には引き続き朝倉さん。

『遂に最終回・・・、点差は1点』

『野球は2死からと言われるけど・・・』

「ランナーが1人以上出塁出来れば、希ちゃんや蓮華ちゃんに打順が回るよ!」

「この回は、董ちゃん・星歌ちゃん・息吹ちゃんの打順だけど。多分星歌ちゃんの所に代打が出るはず・・・」

運命の先頭打者の董ちゃんは粘るも三振で1アウトに、次の代打の日葵達の佐倉和菓子の常連様の白菊ちゃんがラッキーな2塁打で出塁すれば。

続く息吹ちゃんもラッキーな振り逃げで出塁を。

1死1・2塁のチャンスで希ちゃん・蓮華ちゃんに、長打や一発が出れば逆転サヨナラ勝利だったけど・・・。

「希ちゃんの大打球が風に押し戻されて、留々ちゃんへの飛球に・・・」

『蓮華ちゃんの打球は、相手の遊撃手の子にジャンプキャッチで阻まれ・・・』

球審の試合終了のコールを聞いて実際に試合をしていないのに、心が悔しい気持ちで一杯になって・・・

隣に居る陽奈お姉ちゃんの様子をチラ見したら、日葵と同じ表情をしてて。

「陽奈お姉ちゃん！なんだか悔しいよ。留々ちゃんの本塁打が決勝点なのが更に悔しいよ」

「日葵達が入部して、野球部に白星をプレゼントしたいよ！」

『日葵の言う通りね、私も悔しいわ』

『本塁打後に留々ちゃんの一瞬私達の方を向いて見せたあのドヤ顔が！』

『早速、週明けにも入部届を出すわよ！』

「うん、陽奈お姉ちゃん！」

「湊ちゃんも誘って3人で一緒に入部出来たら良いな」

『湊ちゃんの事情もあると思うけど、一緒に入部出来たら嬉しいわね』

日葵との会話をしながら、私達は観戦していたフェンスから離れ家路へと歩き出す。
3人一緒に入部を楽しみにしながら・・・。

終

13球目：新たな部員と初合宿に向けて

（家庭科準備室）

藤井監督・芳乃ちゃん・岡田主将が練習試合を経て反省会も兼ねてのミーティングを。「先日の柳大川越との練習試合は、惜しくも惜敗だったが初対外試合としては合格と思う」

「初回以降点が取れなかった反省点を踏まえて、5月以降の練習では打撃練習を重視の方針で行きたいなと思います」

「初回以降調子を取り戻した大野から、そして朝倉の投球に私も含め全員が打てなかったから芳乃の打撃練習重視の意見には同感だ」

岡田主将と芳乃ちゃんとの会話に藤井監督も加わり

「危機管理の面もありますが、川崎さん・藤田さん・姉妹で新しく入部された妹の佐倉日葵さんの二遊間の3名にサブポジを新たに習得を目指す個別守備練習を（特守）したいですね」

「川崎さんが二塁を、藤田さんと佐倉日葵さんが遊撃を習得出来ればスタメンのバリエーション等に余裕が出来るかと判断しています」

「更に、余裕があれば佐倉陽奈さんに三塁を武田さんも先発では無い時に一塁か三塁で起用したいのでテストするかもです」

「同じ投手の渡辺さんは、芳乃さんからの情報では一塁・三塁・両翼の守備経験があると同つてますが。武田さんと違って野手起用の場合は外野手としての起用を考えてます」

「では監督。みんなへの守備練習の指導はお任せしますね」

(かちや)

眼鏡を掛けなおす藤井監督

「良いですよ」

(私を試しましたね・川口芳乃さん)

「さて、藤井監督や新しく入部してくれた姉妹の佐倉陽奈ちゃんや日葵ちゃんとの親睦兼ねてGW中に合宿をしたいのですが・・・」

監督や芳乃ちゃんの会話に出てくる新しく入部してくれた双子姉妹は、佐倉陽奈ちゃんと言葵ちゃんです。

大島留々選手と同じ古谷ガールズ出身の二遊間を守る姉妹なんだ。

陽奈ちゃんは、メインが遊撃でサブに二塁と中堅手を守る走塁と守備に自信があるお姉ちゃん。

日葵ちゃんは、メインが二塁でサブに一塁の打撃と走塁に自信がある妹の方だよ。

「親睦ですか・・・、問題なく学校の合宿施設を借りれば大丈夫と思いますよ」

監督は合宿に賛成で、岡田主将は微妙ほい表情を・・・。

「主将、微妙な表情をされてますが・・・」

「ああ、すままい。去年の合宿を思い出してな・・・」

「今回の合宿は、きつと楽しいですし皆の良い思い出になると思いますよ」

「必要な物があれば、申し出で下されば用意しますね」

この会話をもって、GW中に合宿が実施される事が決定！

芳乃ちゃんと、岡田主将は一足先にグラントに行き練習してるみんなに報告しに。

藤井監督は、人脈を使って練習試合の相手探しへ着手を。

くグラントsideく

グラントでは、柳大川越との練習試合以降に新しく入部してくれた佐倉陽奈ちゃん・

日葵ちゃんの双子姉妹が改めて自己紹介を。

まずは、お姉ちゃんの陽奈ちゃんから。

「佐倉陽奈と言います、日葵とは双子で古谷ガールズでは日葵と二遊間を」

「梁幽館・咲桜高・美園学院等からスカウトを受けましたが、家の事情等からこの新越谷高校を選びました」

「メインポジションは遊撃手で、サブで二塁手と中堅手守備出来ます。走塁と守備には自信がありますので、レギュラーを目指して頑張ります！」

みんなから歓迎の拍手が。

陽奈ちゃんの自己紹介を聞いての反応は・・・。

（稜ちゃんと董ちゃんのライバルさん出現だ！）

（陽奈さんの足と守備は、ガールズ時代から知ってますから良い戦力強化になりますね）

（陽奈ちゃんの守備は、確実にヨミちゃんや星歌ちゃんの助けになるのは確実かな）

（メインが遊撃かよ、スタメンが減る？）

（稜と私に良い競争相手が出現ね）

（早く守備を見てみたい）

（梁幽館や咲桜高等のスカウトを蹴るなんて凄いよ）

(梁幽館等のスカウトを断って此処にくるなんて・・・)

(佐倉さんって、実家近くの和菓子店の方でしょうか?)

(佐倉陽奈さんの守備の癖・特徴を早く把握しなくちゃね)

(走塁と守備に自信か・・・、選手起用に幅が広がって助かる)

(いずれ、再度勧誘しようかなと思つてたけど・・・来てくれて嬉しいよ)

メンバーの反応は様々で・・・。

次に自己紹介は、妹の日葵ちゃんが。

「えっと、妹の佐倉日葵だよ♪」

「陽奈お姉ちゃんと同じく、梁幽館等からスカウトを受けたけど・・・お姉ちゃんがスカウトを拒否したから日葵も断ったけどね」

「メインポジションは、二塁手でサブに一塁手が出来ます。新たなサブポジションにも頑張ります!」

「陽奈お姉ちゃんとは違って、日葵は打撃と走塁に自信があるよ」

「よろしく願います、最後に実家が学校近くの佐倉和菓子店なんですけど・・・先輩やみんなのご利用お待ちしております♪」

陽奈ちゃんの時と同じく温かい歓迎の拍手が。

そして、皆の反応は・・・

(陽奈ちゃんは落ち着いてて、日葵ちゃんは明るい元氣娘な感じかな?)

(ガールズで対戦時は、よく打たれよく走られた記憶が・・・)

(確か、陽奈ちゃんや日葵ちゃんには隠された癖があったような・・・)

(日葵ちゃんも梁幽館や咲桜高等からスカウトを受けてたんだ・・・)

(日葵まで、サブポジで遊撃が出来たらますますスタメンが減るかもじゃん)

(打撃と走塁に自信ある攻撃型二塁手ね・・・、アピールするには守備かしら?)

(アベレージタイプ?それとも白菊ちゃんみたいなパワータイプ?)

(やつぱり、佐倉さん姉妹は実家近くの和菓子店の方だったんですね)

(姉妹揃って、梁幽館等のスカウトを拒否って想像出来ないわよ)

(確実に戦力強化ね)

(守の姉に、打の妹・・・面白い)

(日葵ちゃんも、陽奈ちゃんと同じく入部してくれて嬉しいよ)

陽奈ちゃんの時と同じく十人十色の反応が・・・。

稜ちゃんは、もしもの控えに回るのがイヤなのかも??

そこに藤井監督が来て・・・

「4泊5日の日程で、合宿を設定しました」

「練習試合相手は、藤和高校・大鷲高校・横浜大学付属湾星高校の3校です」

藤井監督からの合宿お知らせに事前に知っていた芳乃ちゃん・岡田主将と去年経験してる藤原先輩以外のメンバーは喜びの表情を。

「藤和や大鷲って、東東京代表や千葉県が強豪高やろ？」

芳乃ちゃんからの補足情報が。

「藤和高校は1〜2年生主体のBチームが来てくれるらしくて、大鷲高校も千葉県ベスト16だから強いよ」

「横浜大学付属湾星高校って？」

「参加学校数の多い神奈川県の中で、ベスト8以上に常に入る強豪校で春夏の甲子園出場も何回もある学校だよ」

「今回来てくれるチームは、1年生主体のCチームでAチームは別の日に梁幽館や咲桜高等と練習試合だよ」

「梁幽館と練習試合をする程の学校と練習試合を組む監督の人脈が凄いわね・・・」

「監督って、何者なのかな・・・気になるよ（小声）」

「1年生主体か・・・、星歌達のライバルになる子達と対戦か・・・」

「Cチーム1年生主体なら、育成・リハビリメインのチームなのかしら？」

「練習試合で沢山アピールして、背番号1桁を貰うぞ」

藤井監督の人脈が気になったり、練習試合相手について話していると藤井監督から話
が。

「合宿中に、何人かの人にサブポジ習得を目的とした特別守備練習を行いますので覚
悟しておいて下さい」

藤井監督が、稜ちゃん・董ちゃん・陽奈ちゃん・日葵ちゃん・ヨミちゃんに意味深な
視線を送って・・・。

（何処を守らせれるんだ？）

（サブポジを習得しておけば、出番が増えたり味方のアシデントに対応出来るわね）

（私は、サブが二塁・中堅だけど・・・三塁かしら？）

（日葵は、遊撃かな？それとも三塁？外野？捕手？何処かな？）

（私、投手専任じゃあないの!?!）

視線を貰ったヨミちゃん達の反応が面白かったかな。

サブポジ習得・・・、一種のプチコンバートに意欲的か消極的かに分かれた形に。
でも、練習中や試合中の怪我やアクシデントに備えて、複数ポジションを守れる人が
ベンチやスタメンにいるのは有難いし。

野球部の強みになれるからね。

GWの合宿楽しみだな・・・。

皆でご飯作ったりするのかな？

続く。

14球目：特訓開始!

GW合宿1日目

〈グラウンド〉

午前中は外野手の息吹ちゃん、白菊ちゃん、岡田主将が外野手グループに入りスタート。

内野手グループは、希ちゃん・董ちゃん・稜ちゃん・藤原先輩・陽奈ちゃん・日葵ちゃんか。

打撃・守備・走塁のメニューをそれぞれ消化していく。

投手組のヨミちゃん、星歌は午前中は珠姫ちゃんと蓮華ちゃんを相手にブルペン投球後に野手組に合流して投内連携練習を。

藤井監督が着任されてからの初投内連携練習・・・緊張するよ。

お昼休憩を挟んで、芳乃ちゃんのある診断が・・・。

みんなの様子をどうぞ。

〈外野手組side〉

岡田主将からの愛のあるアメリカンノックを受けたり、基本のフライ捕球・ゴロ捕球を繰り返し受ける息吹ちゃんと白菊ちゃん。

※アメリカンノックとは、日本独自の外野手守備練習ノックの1つで、左翼のポールと右翼のポール間をダッシュしながらフライをキャッチをする練習。

※春季キャンプや、試合前の外野手の守備練習等で見かける事が出来ます。

「はあはあ、もうダメだわ」

「普段の練習より、ハード・・ですね」

倒れ混むかの様に、外野の芝生に座り込む二人。

そんな二人に発破を掛ける岡田主将。

「内野組はひたすら藤井監督のノックと投内連携練習をしてるぞ」

「それに比べたらアメリカンノックは優しい方だし」

「最終セットのノックが終われば、打撃・守備・走塁の各練習後に昼休憩が待ってるからそれまでの辛抱だ」

「ふあ〜い」

「頑張ります・・・」

のろのろと立ち上がり、アメリカンノックの最終セットを受けに行く息吹ちやんと白菊ちゃん。

「最終セットスタート！」

(カーン)

(カーン)

(カーン)

(カーン)

(パシ)

(ポロ)

(パシイ)

(ポロ)

時に簡単な、時に意地悪な打球を放ち息吹ちやんと白菊ちゃんを左に右へと走らせる岡田主将・・・。

一方の内野組は・・・。

〈内野組side〉

藤井監督がノックバットを手にグラウンドに

最初の守備位置は、一塁に希ちゃん・二塁に董ちゃんと日葵ちゃん・三塁に藤原先輩・遊撃に稜ちゃんと陽奈ちゃん。

「行きますよー！」

「来い」

「お願いします」

「ノックお願いします」

「どんだん捕球しちゃうよ♪」

「監督のノック初披露やね」

「監督、よろしくお願いします」

皆の返事を聞いた後の、藤井監督の初ノック1球目は……。

(スカ)

見事な空振りに

稜ちゃんと日葵ちゃんがコントみたいに、前のめりに。

「……すみません、久々にバットを握ったので……。」

監督がノック1球目を空振りした事に謝り……。

メガネを掛け直して、雰囲気が変わった感じが……。

「先生、大丈夫か？」

「先生、芳乃ちゃんと交代されます？」

稜ちゃんと日葵ちゃんの言葉を聞いた後の、藤井監督によるノック2球目・・・。

(カキーン)

(パシィ・・・ポロ)

飛び付いて捕球をしようとした、一塁の希ちゃんのグローブを弾く強烈なノック打球を放つ藤井監督。

そんな希ちゃんの様子を近くで見てた、二塁の堇ちゃんと日葵ちゃんは・・・。

「な・・・何今の打球速度」

「あの打球の速さ、古谷ガールズ時代でもあんまり見てないよ」

「先日の柳大川越高は、打線が売りのチームではありませんでしたが・・・内野のみんなさんに高校野球の打球の速さ強さを叩き込んであげますよ」

「次は二塁！」

藤井監督からの予告に。

「お願いします」

「頑張るよ」

董ちゃん・日葵ちゃんがそれぞれの返事を藤井監督にして、二塁へのノックスタート。

（カキーン）

（キン）

「あつ」

「あれ？」

弾いたり、差し出したグローブが打球に間に合わなかったりと捕球成功とはならずの

董ちゃんと日葵ちゃん。

「今度は遊撃！」

遊撃の稜ちゃん・陽奈ちゃんへのノック予告に。

「絶対に取ってみせる」

「捕球出来る様に頑張りますよ」

董ちゃん達と同じく、稜ちゃんと陽奈ちゃんも藤井監督へ返事してからノックスタート。

ト。

(カキーン)

(カキーン)

「くそ・・・」

「なんとか・・・捕れました」

追いついたけどボールがグローブからこぼれた稜ちゃん。

陽奈ちゃんは、成功して日葵ちゃんが大喜び。

「流石陽菜お姉ちゃん!、日葵の自慢のお姉ちゃん♪」

(陽奈お姉ちゃんなら、遊撃のスタメン間違いなしだね)

「日葵!、家じゃあないんだから。は・・・恥ずかしいから大声で言わないで／＼／」

(お姉ちゃんは日葵の応援パワーで更に頑張るわよ)

陽奈ちゃんと日葵ちゃんのほのぼのとしたやりとりを見てた他の皆は。

(姉妹間の仲良いわね)

(百合なのかしら?)

(百合? 姉妹に負けたくねえ)

(シスコン?)

(若いわね)

5名中捕球に成功したのが陽奈ちゃんだけ。
最後の挑戦者は、三塁の藤原先輩。

「お願いします」

(カキーン)

(パシイ)

藤井監督のノック打球を藤原先輩も捕球に成功。

藤原先輩が捕球に成功した事に、2巡目の順番を待ってた稜ちゃん達の反応は・・・。

「流石先輩！」

「流石です」

「藤原先輩に続きます」

「リベンジするぞ」

「次は必ず捕る」

ノック2巡目以降は藤原先輩以外に、稜ちゃん・堇ちゃん・日葵ちゃん・希ちゃんも何回か捕球に成功。

お昼休憩迄は、藤井監督の鬼ノックとヨミちゃん・星歌のバッテリー組が合流してからの投内連携練習が。

お昼休憩後に、芳乃ちゃんから野手面談が・・

「野手面談（投手診断）するから、希ちゃんから順にベンチ裏に来てね・・」

「なんで野手だけなの？」

ヨミちゃんが、野手だけの面談する事に疑問を抱いた様で・・。

「直ぐに分かるさ」

「チームの戦略上の必要な面談ですね」

「??？」

岡田主将・蓮華ちゃんの説明を聞いてもヨミちゃんの頭上には??マークが。

面談の先頭打者は、希ちゃん・・

ベンチ裏へと繋がる扉が閉まった後に・・

「あつ」

「きやあ」

ベンチ裏から聞える希ちゃんの悲鳴に

(面談よね?)

(面談だよな?)

(何をされてるの?)

(希ちゃん大丈夫かな?)

(ガチャ)

ベンチ裏から戻ってきた希ちゃん。

「次、董ちゃん」

芳乃ちゃんに呼ばれた董ちゃんが希ちゃんに何をされたか聞いてみると・・・。

「マツサージ?を芳乃ちゃんからされた」

それから、順番に芳乃ちゃんの面談(診断)?を受ける野手の皆。

野手面談を終えて、芳乃ちゃんがベンチ裏から戻って来て・・・。

「野手面談(診断)は、投手適性を確認する目的があつて。上半身のやわらかさ・下半身の強さから・・・」

「理沙先輩、息吹ちゃん、日葵ちゃんの3人には、投手用のメニューも並行して練習してもらいます」

「日葵ちゃんは、遊撃のサブポジ練習もあつて大変かもしれないけど」

芳乃ちゃんから、投手適性があると判断された3名は。

「私が投手!?!」

「日葵が投手!?!、サブポジ練習と一緒に頑張らなきゃ」

「芳乃、私が投手用グローブを持つてるのを分かっているから言ったでしょ」

早速、藤原先輩・息吹ちゃん・日葵ちゃんが試しに投球練習を。

1人目は、投手用グローブを持つてる事を自白した息吹ちゃん。

「行くわよ」

柳大川越の朝倉投手にそっくりのフォームから投げた球は……。

(ポーズ)

本家のストレートに比べると速くはないけど、捕手の珠姫ちゃんからみたら……。

(ストレートのノビを感じる……、成長次第では大化けするかも?)

一方の投球を見てたギャラリーは。

「遅いわね」

「ストレートの球速もコピーしろよ」

「噂では聞いてたけど・・・、コピーできるなんて凄いわ」

「息吹ちゃんは秘密兵器になれるよ」

捕手役を珠姫ちゃんから蓮華ちゃんに交代。

「上手く行くか、分からないけど・・・試しに変化球投げてみるわ」

蓮華ちゃんにある球を予告して、朝倉投手（コピー）で投げる息吹ちゃん。

（ヒューン・・・）

（パァン）

蓮華ちゃんがびっくりしながら捕球。

今度は、本家よりは落ちないSFFFぽい変化球を。

（意外にノビがあるストレートに、コピーに成功した投手の持ち球の変化球・・・今後の成長具合やリード次第では息吹さんはエース格になれる素質があるのでは？）

息吹ちゃんのコピー変化球（仮）をみたギャラリーは・・・。

「嘘!?!」

「マジで!?!」

「これで初心者!？」

「凄いよ息吹ちゃん」

「むむむ、星歌ちゃん以外にもライバル出現？」

「お互いに切磋琢磨出来たら良いな」

概ね高評価を。

次は、藤原先輩のお試し投球。

最初の捕手は、珠姫ちゃんが。

「次は、理沙先輩ですね!」

（私が、投手?）

珠姫ちゃんのミットを目掛けて投げた1投目は。

（ドン!）

珠姫ちゃんのミットから、良い音が。

ギャラリーの反応は……。

（良い球……）

（あれ位の速い球を投げたいな……）

「重そう・・・」

「確かに」

「重たそうです」

「手が痺れそうね」

「是非とも打つてみたいな」

「やっぱり、私達より1年分体づくりが出来てる・・・」

評価を聞いてた藤原先輩は・・・。

（球の話よね、体重じゃないわよね？）

息吹ちゃんの時と同じく、蓮華ちゃんも藤原先輩の球を受けて・・・いよいよ最後の日
葵ちゃんの出番。

「最後は、日葵ちゃんだね」

「うん、日葵ね小さい頃から遊びで陽奈お姉ちゃんを相手に投手の真似（練習）をしたんだ」

「だから、何種類かの変化球を投げれるよ♪」

日葵ちゃんの自信満々の告白に、主なギャラリーの心中は。

(私のエースの座危うし?)

(日葵ちゃんの投法が気になるし、それに速球派?技巧派なのか楽しみ)

(日葵が遊びに満足するまで、私が練習の相手してたわね・・)

(ヨミさんに、星歌に、藤原先輩、息吹さんに、そして日葵さん・・兼任も含めて投手が5名か・・)

(日葵がどんな投球をするのか楽しみね)

(先輩、星歌に更に日葵まで二刀流選手かよ)

(日葵ちゃんの球打ってみたい)

(日葵ちゃんはどうな投手かな?タイプが分かれば起用のバリエーションが増えるよ♪)

(日葵も投手出来るのね)

「じゃあ、投げるよ♪」

日葵ちゃんは、巨人・メジャーリーグのレッドソックスで活躍された雑草魂で有名な投手フォームで投げた注目の1球目は・・。

(パン)

投手の基本のストレートで。

投手にとって、心地いい捕球音が珠姫ちゃんのミットから聞えてくる。

「ど・・・どうかな？」

日葵ちゃんがギャラリーの反応が気になるようで・・。

「良い直球だよ」

「息吹ちゃんよりは速く、藤原先輩よりは若干遅い感じかな？」

「このストレートに、決め球や更に何種類かの変化球があれば先発や抑えでもいけるかも」

「日葵！投手か二塁に専念してくれ！」

「あら？稜は露骨ね」

「日葵、良ければ得意の決め球も投げさせて貰ったら？」

「日葵ちゃんの決め球気になる」

「益々期待しちゃうよ」

「私より速いのね・・この差は一体・・」

捕手が蓮華ちゃんに交代してのラストボール。

蓮華ちゃんが、日葵ちゃんの近くに寄って一言二言会話して定位置に。

「日葵の決め球披露しますね」

此処に、新聞部・写真部の子達がいたら一齐にプロ並のカメラを取り出して日葵ちゃんの連続写真を撮るんだろうな・・

(ヒューン)

(パン)

先程、息吹ちゃんが投げた朝倉投手のSFFぽい変化球よりはキレも落差もあるフォークを投げた日葵ちゃん。

お化けフォークまではいかないけど、先程よりは落ち着いて捕球出来た蓮華ちゃん。

(先発も楽しみみだけど、意外に守護神も良いのでは?)

「どうかな?フォーク以外にも沢山練習(遊び)した変化球があるから楽しみにしてね♪」
笑顔でギャラリーの反応を伺う日葵ちゃん。

ギャラリーの反応は・・

「益々私のエースの座が・・」

「芳乃ちゃん次第だけど、抑え・・守護神に日葵ちゃんがるのも良いかも」

「遊撃に来ないでくれ」

「堂々と言うわね・・」

「日葵、久々の投手は楽しかった？」

「日葵ちゃんと対戦したい」

「隠し玉発見だよ♪」

「私は野手に専念したいわ・・・」

概ね高評価。

評価を聞いた日葵ちゃんも嬉しそうな表情を。

「3人は、コントロールがある程度ついたら試合に登板して貰います」

「投げ込みは、80球程度を目安に。他には野手メニューをしながら走り込み・投内連携・BP等を」

芳乃ちゃんの指示に息吹ちゃん・藤原先輩・日葵ちゃんは。

「分かったわ」

「何か分からない事があれば、ヨミちゃんや星歌ちゃんにアドバイスを貰うわ」
「頑張るぞ」

早速、3人は試しに投手として初めてのベースカバ練習と牽制練習挑戦。

野手からは、練習補助兼サブポジ練習の意味合いも兼ねて。

ヨミちゃんと珠姫ちゃんのバッテリーを除くメンバーが参加。

〈日葵side〉

本格的に投手も練習する事になった日葵だよ。

投手としては若葉マークが付くから、投手として先輩のヨミちゃんや星歌ちゃんのアドバイスを参考に成長するぞ!

日葵は、出来たら抑え・つまり守護神をやってみたいなって。

投手は野手より覚える事が多いから大変だよ・頭がパンクしそう。

〈日葵side終了〉

息吹ちゃん、藤原先輩、日葵ちゃんは苦戦しながらも牽制練習とベースカバー&練習に挑戦。

牽制は、3人の特徴が出てたかな。

多分だけど、息吹ちゃんはコピーした投手の牽制を・藤原先輩は規則性ある牽制・日葵ちゃんは速い遅いの牽制を使い分けをマスターしてる感じかな。

続いて、一塁ベースカバー・三塁ベースカバー・本塁ベースカバー・三塁&本塁バツクアツプ練習を。

息吹ちゃん・藤原先輩・日葵ちゃんも頭から煙を出しながら四苦八苦しながらも、なんとか一通りの練習をこなしていく。

「野手の方が楽だわ・・・」

「投手は9人目の野手・・・この意味が分かったわ」

「ヨミちゃんや、星歌ちゃんが神様にみえる」

小休憩を挟んだ後に、3人はグラウンド外周走り込みを。

それ以外のメンバーは・・・

希ちゃんと陽奈ちゃんはマシン相手の特打、白菊ちゃんは岡田主将指導のマンツーマンの外野守備特守。

珠姫ちゃんと蓮華ちゃんは、マシンを使った暴投阻止練習を。

稜ちゃんと董ちゃんは藤井監督による指導の基礎トレーニングを。

そこに通りかかったヨミちゃんと星歌は・・・

「ほら、もつと腰を落とす」

「苦しいわね」

「地味な割にきつ」

ヨミちゃんが、藤井監督に質問を。

「何をしているの?」

「股割りですよ、練習終わりに最低100回この動作を体に覚えさせれば土壇場の場面で自身を助けますから」

「じゃあ・・・、頑張つてね」

（投手で良かった）

「失礼します」

（星歌もやるのかな?）

ヨミちゃんと一緒にその場を去ろうとしたら、藤井監督に捕まって・・・。

「武田さん、渡辺さん、お二人さんも登板してない時は野手で出場して貰います」

「武田さんは、一塁か三塁で。渡辺さんは、中学時代に外野手の経験があると伺ってますので。外野手として出場を」

「なので、武田さんは今から内野の練習（股割り）を。渡辺さんは大村さんに合流して外野守備特守を」

「えっ?」

（マジですか? 藤井監督・・・）

「分かりました、白菊ちゃんに合流してきます」

(外野を中学時代にやってて良かったよ)

ヨミちゃんの悲鳴を背後に聞きながら、白菊ちゃんの外野守備特守に合流する星歌。

夜になり、宿泊棟で皆と夕御飯。

芳乃ちゃんの特製夕御飯は美味しくて、蓮華ちゃんや日葵ちゃん達と一緒に御代わりを。

食べ過ぎて、体重が余分に増えないか心配だけど・・・。

夕御飯後に、ヨミちゃん・白菊ちゃん・稜ちゃんは夜の学校探検を。

岡田主将・藤原先輩・陽奈ちゃんは自主トレしに。

珠姫ちゃんと蓮華ちゃんは、練習試合相手の藤和・大鷲・横浜大付属湾星高それぞれの有力選手調査を。

星歌は、息吹ちゃん・日葵ちゃんと一緒にタオルを使ったシャドーピッチングを。

シャドーピッチングを終了して、息吹ちゃん達と一緒に入浴してから一人で1Fの休憩スペースで雑談しながら休憩していると。

LINEのグループトークから、ヨミちゃんから通知が。

通知内容は……。

「稜ちゃん達と、探検して帰ってきたら……」

「芳乃ちゃんが監督にマツサージを」

「そこで芳乃ちゃんの口から明かされる、衝撃の事実が」

「衝撃！なんと藤井監督が埼玉4強時代のOGだった！」

それに対する探検組以外の反応・返事は。

(やっぱり、お母さんの言う通りだった)

(人脈理由はOGだったからなのね)

(知ってた芳乃ちゃんがある意味凄い)

(ノックの上手さは、流石OGね)

(ビックリだよ、日葵が投手適性ありと判断された以上の衝撃だよ)

(監督は、何処のポジション選手なのかしら?)

(練習時の打者役してくれる藤井監督の威圧感凄いもん、何処を投げても打たれそうなイメージしかないよ)

(芳乃、今まで黙ってたわね)

(藤井監督の指揮で、再び4強入り出来れば)

最後は芳乃ちゃんからの返事とスタンプで。

(皆黙っててごめんね、お詫びに美味しいご飯で許して)
ペコリとお辞儀するスタンプも送付。

衝撃の事実にはビックリしながらも、明日の練習に備えて就寝。

明日の練習頑張るぞ！お休みなさい。

Z z z。

☆次回の情報公開をお待ち下さいませ☆

15球目：まだまだ特訓!

〈合宿2日目〉

いつもより早く目が覚めて、軽くランニングしに行く前に顔を洗いに洗面所へ向かう途中で同じくランニングしに行く陽奈ちゃんと合流・・・。

洗顔等を終えて、一緒にリビングに入ると。

蓮華ちゃん・芳乃ちゃんの2人が協力しながら、みんなの朝食作りを。

蓮華ちゃんは、実家の中華料理店「銀河亭」のお手伝いで。

芳乃ちゃんは、昨日の夕ご飯の美味しさ・手際の良さから料理が普段から上手なんだろうなと判断したけど。

様子を伺ってたのを、2人に気付かれた様で・・・。

「星歌と陽奈さん、早いね。これからランニング?」

「星歌ちゃん、陽奈ちゃんごめんねまだ朝食出来てないんだ」

「大丈夫だよ蓮華ちゃんに、芳乃ちゃん。軽く陽奈ちゃんとランニングして戻ってから

シャワーを浴びてたら朝食出来てると思うから我慢出来るよ。」

「私も大丈夫です、星歌ちゃんと一緒にランニングして逆にお腹を空かせてきますから美味しい朝食に期待してますから」

「星歌ちゃん達がランニングから戻ってきた頃にみんなと朝食を食べれるように準備しておくね」

「楽しみにしててな」

二人の言葉を聞いて、朝食を楽しみにしながら陽奈ちゃんとランニングへ。

く星歌&陽奈 side く

陽奈ちゃんと仲良く軽くランニングしていると、陽奈ちゃんから星歌に質問？問いかけが来て・・・。

「ねえ星歌さん、私と日葵が野球部に加入してまだ数日だけでも仲良くしてくれてありがとう」

「妹の日葵は、明るくて素直な子だけど実は秘密があつて・・・」

「もし何らかの形で日葵の秘密を知っても、星歌ちゃんは日葵の大切なお友達でいてくれるかしらっ？」

陽奈ちゃんからの質問（問いかけ）？に、星歌は・・・。

「星歌は、日葵ちゃんの秘密を知っても日葵ちゃんの大事なお友達でいる事を約束するよ」

「日葵ちゃんが抱えてる秘密は、日葵ちゃんの口から直接聞いたら良いなと思ってるし。それまでに日葵ちゃんや陽奈ちゃんとも更に仲良くなれてたらいいな」

星歌の返事に陽奈ちゃんは・・・。

「星歌さんありがとう、その返事を聞いただけでも嬉しいわ」

「そろそろペースアップして、切り上げましょ。芳乃さん達が作る朝食も出来てる頃だと思っから」

陽奈ちゃんの言葉に頷いて、走る速度をペースアップして芳乃ちゃん達がいる宿泊棟方向へ。

稜ちゃん・岡田主将・日葵ちゃん・蓮華ちゃんとチーム内での俊足ランキングベスト5を争ってる陽奈ちゃんの走力に敵うわけなく・・・。

陽奈ちゃんに遅れて到着。

急いで、朝シャワーを浴びて着替えてから芳乃ちゃん・蓮華ちゃん特性の朝食を食べ

に1Fのリビングへ。

この時間帯になるとぼちぼち他の皆も起きだしてきて、一緒に朝食を食べた後に時間を置いた後にグラウンドへ。

さあ、今日も特訓頑張るよ！

☆星歌&陽奈 side 終了☆

☆グラウンド2日目☆

午前中の投手陣メニユー（ヨミちゃん・星歌・藤原先輩・息吹ちゃん・日葵ちゃん）は、投げ込みと走り込みを中心を。

午前中の野手陣メニユー（岡田主将・白菊ちゃん・董ちゃん・稜ちゃん・希ちゃん・陽奈ちゃん・途中参加の珠姫ちゃん・蓮華ちゃん）は、トス打撃・ロング打撃・ベースラニング・守備練習を中心に。

お昼休憩も挟んだ午後からは、明日からの練習試合に備えた皆参加で投内連携・バントシフト・重盗阻止・シートノック・マシン打撃と星歌達が皆を相手に軽くBPを一通りこなしていつて・・・。

*BPは、打撃投手で投手が打者相手に行う練習の一種です。

残りの時間は、個別練習や講義を

董ちゃん・稜ちゃん・陽奈ちゃん・日葵ちゃんは昨日から引き続き複数ポジション習得に向けた藤井監督よる特守を。

珠姫ちゃん・蓮華ちゃんはマシンを相手にした暴投阻止練習を。

岡田主将は、白菊ちゃん・息吹ちゃんに外野手によるベースカバーの講義を。

希ちゃん、藤原先輩は、特守練習補佐として参加を。

ヨミちゃんと星歌はマシンを相手のバント練習。

夜、夕飯後に明日の藤和戦・大鷲戦に向けたミーティングを。

〈ミーティングルーム〉

「明日は、午前・午後それぞれに大鷲・藤和の両校との練習試合が設定されています」

「学校から移動して市民球場を借りての試合になりますので、寝坊は厳禁だからね」

「まず、1試合目の大鷲戦のスタメン・ベンチスタートと投手の予定インニングを発表するよー」

対大鷲戦（原作と一部変更あり）

1 「二」 佐倉日葵

2 「遊」 佐倉陽奈

3 「捕」 志木蓮華

4 「一」 中村希

5 「中」 岡田主将

6 「投」 藤原先輩

7 「右」 大村白菊

8 「三」 武田詠深

9 「左」 川口息吹

控え

山崎珠姫・川崎稜・藤田董・渡辺星歌

登板予定

藤原先輩3回・息吹ちゃん3回・日葵ちゃん1回

「続いて、2試合目の藤和戦のスタメン・控え選手・投手の予定イニングを発表するよ！」

対藤和戦

1 「一」 中村希

2 「二」 藤田董

3 「捕」 山崎珠姫

4 「中」 岡田主将

5 「三」 藤原先輩

6 「遊」川崎稜

7 「右」大村白菊

8 「左」渡辺星歌

9 「投」武田詠深

控え

志木蓮華・佐倉陽奈・佐倉日葵・川口息吹

登板予定

ヨミちゃん5〜6回

星歌1回〜2回

「基本は、このメンバーで行くけど試合当日の怪我やアクシデント等で起用・守備位置変更等はあると思うから」

「ベンチスタートの子も、準備だけは念入りにね」

「後、主将と理沙先輩は残って貰って伝えたい事があります。それ以外の人は解散して貰っても良いよ」

芳乃ちゃんのこの言葉で、岡田主将と藤原先輩以外の星歌達は解散して各々就寝の為に移動したり軽く自主トレをしに行く人等で分かれて・・・。

芳乃ちゃんが、岡田主将や藤原先輩に伝言したい事が気になるけど・明日の試合に備えて早めに寝ようよと・・。

（芳乃 side）

岡田主将と、理沙先輩以外のみんなが部屋から退室したのを見てから私が話し出す・・。

「主将と理沙先輩には、お伝えしたい事があります」

「これは、藤井監督と相談の上で決めた事でして」

「3試合目の横浜大学付属湾星高校との練習試合なんですけど、1年生の皆だけでどれ位までやれるか試してみたいので・・」

「お二人は、ベンチスタートで余程の事がなければ試合出場が無い予定です・・」

「すみません・・」

私が深々と頭を下げると・・

「参謀の芳乃と、監督が決めた事なら仕方ない。指示には従うし何よりも、私もヨミ達はどこまでやれるかを見てみたい気持ちもある」

「私もよ、夏大会前に試せれる絶好の機会だし・何よりも稜ちゃん・董ちゃん・陽奈ちゃん達のサブポジ習得具合を判断する機会でもあると思うわ。」

先輩達の温かい言葉を貰って、涙が出そうになったのを堪えながら・

最後に藤井監督を交えながら、3試合目のスタメン等を議論して夜が更けていく・

く芳乃side終了く

く蓮華sideく

初戦の大驚戦で、久々の捕手としてのスタメン出場を・

これは多分、前回の柳大川越との練習試合で山崎さんがフルスタメンだった為の措置かなと私は思う。

次の藤和戦は、山崎さんがフルスタメンマスクか併用だと思うから藤和戦次第で3戦目のスタメンマスクが決まると思う・

願うなら、3戦目はスタメンマスクで星歌とバッテリーをここ新越谷でも出来たら・

それにしても、主将と理沙先輩に芳乃さんが伝えたい事って・

く蓮華side終了く

く佐倉陽奈sideく

日葵と一緒に途中加入してからの初めての対外試合・

与えられるチャンスは、そんなに多くは無いと思ってる。
チャンスを活かし、スタメンを勝ち取るのよ私。

課題があるとしたら、打撃と対左腕・

日葵の自慢のお姉ちゃんとしても克服して、頑張るわよ！

〽陽奈side終了〽

〽佐倉日葵side〽

陽奈お姉ちゃんと一緒に野球部に加入してから初めての練習試合が。

湊ちゃんと一緒に観戦した時に約束した様に、日葵と陽奈お姉ちゃんの活躍で野球部に白星を

そして、出来たら野手としても投手としてもレギュラーを確保しちゃうよ♪

それにしても、芳乃ちゃんがキャプテン達に伝えたい事ってなんだろう？

〽日葵side終了〽

終

16球目：大鷲・藤和・そして湾星。

↳1試合目：大鷲戦前

皆、いつもより早く起きて電車とバスを利用して使用予定の市民球場入りを。

何名かの子は眠そうにしてたけど・・・、特に稜ちゃんや日葵ちゃん・・・。

1試合目の先発は、藤原先輩と蓮華ちゃんのバツテリー。

試合は、先制するも守備の乱れなどもあり4対9で黒星スタート。

藤原先輩は、3回を投げて5失点

三塁手として初スタメンのヨミちゃんと、二塁手でスタメンの日葵ちゃんの失策絡みの失点もあるので及第点かなと思うな。

予定の3回を投げ終わっても、藤原先輩のスタミナや球威は衰えては見えなかったから藤原先輩は先発型タイプなのかも・・・。

ヨミちゃん・星歌・藤原先輩の3人で先発3本柱を結成するなら、息吹ちゃんや日葵ちゃんは中継ぎ起用をメインの方針で良いかも・・・。

マネージャーの芳乃ちゃんが、総合的にどう判断するか気になるけど・・・。

2番手として、投手として初出場の息吹ちゃんが登板。

息吹ちゃんは、藤原先輩と同じく3回を投げて1失点。

初登板にしたら上出来だよ！

最終回は、日葵ちゃんも投手デビューを。

日葵ちゃんは、緊張からか1発を含む3失点だったけど決め球のフォーク・スライダーによる奪三振は同じ投手の星歌からみても魅力的に映るから。

日葵ちゃんは、抑え・つまり守護神として起用するのもありかなと思うな。

ベンチスタート組は、星歌と珠姫ちゃん以外の稜ちゃん・堇ちゃんが守備から途中出場を。

ポジション変更者

日葵ちゃん「二塁」↓「一塁」↓「投手」

希ちゃん「一塁」↓「左翼」↓「一塁」

陽奈ちゃん「遊撃」↓「三塁」

息吹ちゃん「左翼」↓「投手」↓「左翼」

*堇ちゃん「二塁」4回から。

*稜ちゃん「遊撃」4回から。

蓮華ちゃん・白菊ちゃん・岡田主将は最後まで試合出場を。

〈2試合目：藤和戦〉

午後開始の藤和戦のスタメンは大鷲戦のスタメンからは、陽奈ちゃん・日葵ちゃん・蓮華ちゃんに代わって董ちゃんと稜ちゃんと珠姫ちゃんと星歌がスタメン出場を。

バッテリーは、ヨミちゃんと珠姫ちゃんの仲良しバッテリー。

試合は、大鷲戦と同じく先制するも小刻みに点を取られて1対3・柳大川越との練習試合から3連敗・・・。

先発のヨミちゃんは、5回を投げて2失点。

星歌も、6回からの2インングを投げて1失点。

ベンチスタート組は、息吹ちゃんだけで。

星歌が左翼から投手にポジションを変更した際に、守備固めとして出場。

試合後は、学校に戻り軽く練習をした後に、明日行われる横浜大学付属湾星高との練習試合についてのミーティングが。

そのミーティングの際にまさかの通達が・・・

〈芳乃side〉

学校に戻り、明日の横浜大学付属湾星高との練習試合についての説明を。

「明日の練習試合について、みんなに説明する事があって・・」

「藤井監督と主将と理沙先輩と話し合って決めた事なんだけど・・」

「明日の練習試合は、ヨミちゃん達1年生で試合するよ!」

「余程の事が無い限り、主将と理沙先輩の試合出場は無い予定だよ」

「それじゃあ、スタメンを発表するよ!!」

対横浜大学付属湾星高スタメン（仮）

1 「中」 佐倉陽奈

2 「左」 川口息吹

3 「遊」 佐倉日葵

4 「一」 中村希

5 「捕」 志木蓮華

6 「二」 川崎稜

7 「右」 大村白菊

8 「投」 渡辺星歌

9 「三」 武田詠深

控え

珠姫ちゃん・董ちゃん・理沙先輩・怜主将

登板予定

星歌ちゃん4回・息吹ちゃん1回・ヨミちゃん1回・日葵ちゃん1回

ポジション変更予定者

陽奈ちゃん「中」↓「三」*6回から

息吹ちゃん「左」↓「投」*6回からベンチ予定

日葵ちゃん「遊」↓「投」*最終回に

蓮華ちゃん「捕」↓「中」*6回から

タマちゃん「捕」*ヨミちゃん登板に合わせて

ヨミちゃん「三」↓「投」*最終回からベンチ予定

董ちゃん「遊」*最終回から。

スタメン・登板予定者・ポジション変更予定を告げた皆の反応は・・・

く芳乃side終了く

「えええ!! 星歌達だけで試合を!」

(サプライズ過ぎるよ)

「大驚戦の挽回を・・・、そしてやっぱり武田さんの球は山崎さんか・・・」

(武田さんや、監督達からの信用・信頼を勝ち取らないといけないな・・・)

「私は中堅手でスタメンで途中から三塁ね・・・外野手としても有能なのを芳乃ちゃんや監督にアピールするわ」

(そういえば・・・中堅手の控えて誰なのかしら・・・蓮華さん? 私? それとも主将から期待されてる息吹ちゃん?)

「日葵が遊撃手でスタメン・・・陽奈お姉ちゃん程上手くはないけど・・・頑張るよ!。前回みたいな投球はしないようにしなきゃ・・・」

(また失敗しちゃったらどうしよう・・・嫌われちゃうのかな・・・)

「二塁でスタメンか・・・日葵との組み合わせでどこまでやれるか不安もあるけどさ・・・」
(董以外のペアと早く慣れねえとな・・・)

「芳乃ちゃんの期待に応えるけん」

（今度こそ連敗を止める）

「私9番・・・」

（まあ・・・打率だよね・・・9番の理由って・・・）

「私が2番!?!私より最適任者いるでしょ!」

（芳乃!蓮華とか、陽奈とか、バントが得意な人いるのになんで私?）

「アピールの舞台でもあり、レギュラーと控えの選別する試合なのですわ」

（守備にはまだ不安はありますが、打撃でアピール出来れば）

「いつ呼ばれても良いように準備だけは怠らないわ」

（常時戦場の気分ではないとね）

「ヨミちゃんがリリーフ、何気に初かも」

（何事も経験だよね）

皆の反応は様々で、表情を見るに期待よりかは不安な表情を浮かべてる子が殆どで・・・。

更に、芳乃ちゃんから補足情報が。

「先方の横浜大学付属湾星高から、遠征メンバーと監督を含むコーチの人達のリストが届いてるよ」

芳乃ちゃんから、皆に数枚に渡るコピーが配布されて。

く湾星高3軍遠征メンバー及び監督・コーチ陣一覽く

監督兼引率者代表：尾花杏

投手コーチ：大原響

打撃コーチ：北双葉

バッテリーコーチ：細山田燕

内野守備走塁コーチ：仁志葵

外野守備走塁コーチ：南沙耶

マネージャー：桑原美咲

遠征メンバー

投手

*桜井栞：100番：1年生・左／左

森陽奈：101番：2年生・左・左

須田舞花：111番：2年生・右・右

牛田志穂：120番：2年生・右・右

捕手

益子優姫：102番：1年生・右・右

東妻千紗：112番：1年生・右・右

西森翼：119番：2年生・右・両

内野手

高森愛：103番：2年生・右・左

伊藤柚葉：104番：1年生・右・右

呉本美晴：105番：2年生・右・右

知野彩：106番：1年生・右・右
 白根夢：113番：2年生・右・右
 北川泉：114番：2年生・右・左
 山下鳴：115番：1年生・右・左
 内村月：116番：1年生・右・両

外野手

楠本美希：107番：1年生・右・左

宮本風：108番：1年生・右・左

*細川利恵：109番：1年生・右・右

田中遥：117番：2年生・右・左

赤堀凧：118番：2年生・右・右

*の選手は、投手又は野手兼任選手である。

※各ポジション担当コーチは、OGである。

星歌達より多いメンバーに羨ましいなと思つてると、不意に背番号が3桁なのが気になつてると、芳乃ちゃんから説明が。

「湾星校は、部員数も多くてかつ1軍く3軍まであってね」

「1軍チーム（通称：Aチーム）の選手だけ1番く28番を付ける事を許されて、その次に2軍チーム（通称：Bチーム）の選手は29番く69番までを。」

「私達と練習試合をしてくれる3軍・つまりCチームは、主に育成・リハビリ目的の選手が中心の構成だよ」

「育成・リハビリ中心の構成のチームだけど、選手一人一人の実力は凄いから甘くみたりすると負けちゃうから・みんな！油断しないようにね！」

芳乃ちゃんからの忠告を聞いて、何人ががびくって反応してた様な気がするけど・。

更に、向こうのCチームの監督さんの尾花さんと藤井監督が4強時代のチームメイトでその縁で今回の練習試合が組まれた噂だけど・。

本当だったら藤井監督の人脈が凄いよ・。

そして董ちゃん、遠征メンバーのページを閲覧して知り合いの子の名前を見つけたばいけど・。

董ちゃん、なんだか嬉しい様な嬉しく無い様な複雑な表情をしてたのが少し気になったけど・。

その後解散して、各々明日の練習試合に備えて早めの就寝。
1年生ズの力で練習試合連敗を止めるぞ！
終。

17球目：対横浜大学付属湾星高戦①

〔埼玉県営大宮公園野球場〕

電車とバスを利用して訪れたここ埼玉県営大宮球場は、プロ野球・高校野球予選・社会人野球予選・東京新大野球のリーグ戦で使用される球場でもあり・・・。

よく地元の埼玉西武ライオンズが準フランチャイズ球場として、使用してるよ。そんな球場を利用して、横浜大学付属湾星高と練習試合を。

本日の試合は、湾星高側のリクエストで私達が先攻でスタートの形に。

練習前に湾星校の監督さんの尾花さんがマネージャーの桑原さんを連れて藤井監督に挨拶と、董ちゃんが背番号106番を付けた内村さんと話を。

「杏花、今回の練習試合相手の打診を快諾してくれてありがとう」

「いえいえ、こちらこそ貴重な有力校との練習試合をしたかったからタイミングが良かったわ」

「今日先発させる芽を含めて、遠征メンバー達には試合に出場させて実戦経験を積ませ

たかったから・・・勝たせて貰うぞ」

「フフ、易々と勝たせないわよ」

「それにしても、杏花が母校の監督をしてるなんて驚いたぞ」

「あら、私からしたら杏が監督なんて・・・思ってたわ」

「お互い様だな」

「そうね」

会話の最後に3軍担当のマネージャーの桑原さんからお知らせ？があつて・・・

「試合後に私、桑原美咲と数名で余興をしますので良かったら見て下さると嬉しいです」
「後、試合に同行してるメンバー達は個性ある面々なので・・・驚かないで下さいね」

そう言つて桑原さんは、監督の尾花さんと一緒に湾星校のベンチへと・・・

余興は楽しみだけど・・・驚くほどの個性を持った人達が相手つて・・・少し怖いな・・・
一方の董ちゃんと内村さんの方は・・・

「月、久しぶりね・・・」

「ええ中学卒業以来ね」

「その・・・一緒にプレー出来なくてごめんね」

「まったくよ、一緒に高校でもプレー出来るのかなって期待して入学したら高校でも姿を見ないし……噂で停部中の新越谷に稜と在籍しているって聞いた時はびっくりしたけど……」

「あのね月、実は私ね……監督の指示で最近遊撃の練習もしてるの……稜は二塁を」

「へえ……董も稜も自分のポジションに中学時代には拘ってたのに……意外だわ」

「拘りもあるけど……、一つのポジションに拘ってばかりじゃダメって思ったから」

「ふうん、董に言わせる程のライバルが新越谷にいたのね……」

「2人いて、それぞれに個性があつて良いライバルでもあるし仲の良いチームメイトよ」

「董や稜はスタメン？ 私は多分代走で途中出場だと思うけど……」

「稜は二塁でスタメンで、私はベンチからよ」

「ほく、稜のパートナーをライバルの子がやるんだ……これは楽しみだね」

「私も楽しみよ、それじゃそろそろ練習がはじまるからまたね」

「ええまた中学の時みたいに3人で遊びましょ！」

内村さんは湾星高のベンチの方へと歩きだし……、董ちゃんは練習の為に道具を準備しようとしてると……

話の様子を見てたヨミちゃん達から色々と稜ちゃんと一緒に質問攻めされてたのは

「ご愛敬かな？」

それから、みんなでトス打撃・キャッチボール・湾星高のシートノックチエック・シートノック等をしてから。星歌は蓮華ちゃんと三塁側の室内ブルペンで投球練習を。

投球練習が終わってから、ベンチ前で芳乃ちゃんからの最終確認を・・・。

「今さつき、横浜大学付属湾星高の3軍マネージャーの桑原美咲さんとお互いのメンバー表を交換してきたよ」

「それじゃ、相手のスタメンを発表するね」

く湾星校スタメンく

- 1 (中) 宮本風
- 2 (遊) 知野彩
- 3 (投) 桜井栞
- 4 (右) 細川利恵
- 5 (左) 楠本美希
- 6 (三) 伊藤柚葉
- 7 (一) 高森愛

8 (二) 北川泉

9 (捕) 益子優姫

控え

投手

森陽奈

須田舞花

牛田志穂

捕手

東妻千紗

西森翼

内野手

呉本美晴

白根夢

山下鳴

内村月

外野手

田中遥

赤堀凪

相手の投手桜井さんは、3番って凄いな・・・。

打撃にも自信があるって事だよな・・・。

要注意選手だね・・・。

そして、偶然か必然かは分からないけど・・・。

右のアンダースロー投手に有利な左打者が、9名中5名だし・・・。

何気なく相手打線や先発の桜井さんについて考えてたら・・・岡田主将が・・・

「今日の試合前円陣の声出しを・・・、星歌に任せたい！」

「ふえ？、星歌が円陣の声出しをですか・・・？」

(どどどどど・・・どうしよう円陣で声出しをしたことなんて・・・初めてだよ・・・)

「ああ」

「わ・・分かりました。星歌の声出して対外試合初勝利を掴み取れる様に頑張ります！」

（緊張するよ・・蓮華ちゃん達の期待の眼差しが・・）

「えつと・・、岡田主将から円陣の声だしを指名された星歌です！声だし初めてなので下手だったらごめんなさい」

「今日の対横浜大学付属湾星校の3軍との練習試合は、星歌達1年生だけでの力で挑む試合です」

「偶然か相手先発の桜井さんも1年生、そしてスタメンのほとんどが星歌達と同じ1年生」

「夏大会本番前に、星歌達が岡田主将達抜きでどこまでやれるかを示すチャンスです！」

「是非とも勝って自信を、負けてもこの試合で得た経験をこれから続く星歌達の野球人生の１ページに加えたいと思います」

「新越谷での初先発になります。蓮華ちゃんと共に精一杯頑張ります！」

「最後に連敗ストップ、そして初勝利を目指してfight新越谷！」

星歌なりの声出しを終えて、みんなの反応を伺うと・・・

「星歌らしく初々しい声だしで良かったぞ」

（去年はこんな風に和気藹々と、円陣を組んで声だしを出来なかったからな・・・）

「これからの試合は、星歌ちゃん以外の子も試合前円陣声だしをして貰う予定よ」

（担当制じゃなくて、玲からの指名制楽しそうね）

「星歌って、中学時代に経験してると思ってたよ」

（藤原先輩、もしかして楽しんでます？）

「星歌ちゃんの言う通り勝利目指して頑張るよ！」

（声出して何をついたら良いの？タマちゃん！）

「対外試合連敗を1年生のみんなの力で今日こそ止めようね！」

（ヨミちゃんからのSOSの視線を感じる・・・）

「声出し、古谷ガールズでもよくやってたわね」

（同じメンバーがやる事が多かったわね）

「留々ちゃんや陽奈お姉ちゃんや日葵が声出しをよくしてたよね」

（日葵達が声出しをした日の試合はよく勝った印象があるんだよね♪）

「まだ先輩達抜きでどこまでやれるか不安だけどやるしかないわね」

（心境は対戦相手や月も同じはず・・・）

「勝つ事も大事だけど、アピールしてレギュラーを取るチャンス逃すにはいけないぜ」

（陽奈や日葵には負けたくない）

「連敗を止めて初勝利に貢献出来る様に頑張ります！」

（声出し正に高校野球らしいです）

「そう言えば1年生同士で戦うのって今日が初めてよね・・・、対戦相手の人達が私達の今後のライバルになるのよね・・・」

（私みたいな初心者の子っているのかしら？）

「星歌ちゃんの声出し効果で初勝利掴めたら良いね」

（初勝利の為に、私自身のサインや監督の手腕も重要だね・・）

アナウンスで、今日の試合をジャッジしてくださる審判員の人達の名前も紹介されて・・

「球審、吉川・・一塁塁審、神内・・二塁塁審、野中・・三塁塁審、岸本になります」

その後、ホームベースを挟んで両校整列して審判員の方々に礼をしてから星歌達はベ
ンチへ。

桜井さん達はそれぞれの守備位置について、球審の吉川さんの合図を待つのみ・・。

「横浜大学付属湾星高対新越谷の練習試合間もなく開始です」

「1回表、新越谷野球部の攻撃は・・1番中堅手・佐倉陽奈さん」

アナウンスを同行している湾星高3軍サブマネージャーの稲嶺弥生さんが担当を。

そして、アナウンスと球審の吉川さんに導かれる様に先頭打者として陽奈ちゃんが左打席へ。

いよいよ星歌達1年生ズの現時点の実力を知れる試合が間もなく始まるう・・・。

終

18球目：対横浜大学付属湾星高戦②

左打席に入り、球審の吉川さんと相手先発の桜井さんにお辞儀をしてから構える陽奈ちゃん。

<プレイボール！>

球審の吉川さんの試合開始の声を聞いて、相手捕手の益子さんが桜井さんへサインを送り。

陽奈ちゃんへの第1球目は……。

意表を突くインコースへのカーブを陽奈ちゃんが見送り……

<ストライク！>

(初球のカーブに咄嗟にバットが出なかった……、意表を突かれたわ)

続く2球目は……。

<ストライク！>

同じインコースへのストレートを打ちいくも空振りになり2ストライク。

(カーブ、ストレート、此処までは教科書通りの緩急配球よね・・・、3球目は何か来るか分からないから何が来ても良い様に対応よね)

(相手投手の持ち球の情報がないからある程度粘って、次の息吹ちゃんや蓮華ちゃん達へ持ち球の情報を渡せれば・・・)

2ストライクと追い込まれた後の3球目は、アウトコースへのボール球のストレートを送り・・・

カウントは1B2S。

(この投手の決め球は何系かしら・・・、落ちるフォークやチェンジアップ系・・・もしくは横のスライダー系か・・・どちらが来ても良いように対応しないとね)

陽奈ちゃんへの4球目は・・・

(カーン)

ストライクからボールゾーンへと落ちるチェンジアップを捉えるも、当りの弱い投手ゴロに倒れて1アウト。

《2番：左翼手・川口さん》

アナウンスに促される様に、ネクストサークルから息吹ちゃんが打席へ。

その間にネクストで待機する日葵ちゃんにベンチへと戻る最中の陽奈ちゃんが耳打ちで、先程の配球・見た変化球の印象を。

「相手捕手のリードの感じ的に、オードソックスなりリードかも。投げてきた変化球はカーブ・チェンジアップ。まだ投げてきてない変化球もあると思うから気を付けるのよ」

「陽奈お姉ちゃん情報ありがとう」

日葵ちゃんとの会話を終えベンチへ。

〈芳乃 side〉

相手先発の桜井さんは、本来なら2軍・もしくは1軍にいても不思議じゃあないレベルの投手・・・。

仮想敵として見るなら同じ左腕の柳大川越の大野さん。

そんな桜井さんが今回の3軍に居るって事は、他に桜井さん以上の子がいて昇格するチャンスがないのか・・・。

あるいは、怪我をしてその怪我明けの登板だからなのか・・・。

もし、怪我明けの登板なら様子見も込みで1回〜3イニング登板かな

勝負の鍵は、もしかしたら桜井さん降板後かも・・・

〈芳乃 side 終了〉

2番の息吹ちゃんは、陽奈ちゃんの時と売って変わって直球主体の配球翻弄されて内

野ファールフライに。

しかも、息吹ちゃんのパワー不足を見抜いたかは分からないけど・・・インコースを徹底的に攻めてきてた・・・。

この湾星バッテリー・・・手強いよ。

《3番：遊撃手・佐倉日葵さん》

アナウンスに呼ばれ、ネクストサークルから右打席に入る日葵ちゃん。

陽奈ちゃんと同じく、球審の吉川さん・相手先発の桜井さんに軽くお辞儀してから構えて。

（3凡では終わらせないよ♪）

日葵ちゃんは、初球のインローへのキレ味あるスライダーを積極的に打ち行くも三塁線への惜しいファールで1S。

（へえ、キレ味あるスライダーじゃん。左打者の陽奈お姉ちゃんや希ちゃんは苦戦するレベルかな）

2球目、ベースより手前のワンバンド投球になった縦スライダー？らしき球を・・・
《カーン》

日葵ちゃんが拾い上げて桜井さんの頭上を越えて二遊間を抜けて行くチーム初安打を放ち。

(久々にワンバンドボールを打ったけど、ベンチの皆の反応はどうかかな?)

状況は、2死1塁。

日葵ちゃんの曲芸師ヒットを見た皆の反応は・・・。

「まるで、イローさんじゃん」

「日葵の悪球打ちが発揮したわね」

「日葵は打撃の天才ね」

「白菊ちゃんと日葵ちゃんにはますます負けたくない」

「あのワンバンドボールを打って安打にするなんて・・・」

「実際にワンバンドボールを打ってヒットにする子初めて見たよ」

「日葵さんにとってワンバンドボールもストライクボールなんですね」

「悪球打ちは武器でもあり短所ですよね・・・」

「悪球打ちが得意な子とは対戦したくないな・・・」

「日葵簡単に打ってるけど、良くあの球打てたわよね」

「この打撃を見せられると、二塁手の打では董ちゃんより日葵ちゃんかな」

「日葵には二刀流を極めて貰うか・・」

「日葵ちゃんのポジション悩ましいわね」

《4番：一塁手、中村さん》

皆の様々な反応がありながら、ネクストサークルから希ちゃんがアナウンスに促される様に左打席へ。

（芳乃ちゃん、日葵ちゃんは走るん？）

タイムを取り自由に打つか、日葵ちゃんが走るのを待つかを確認する為に希ちゃんはベンチの方を見。

（相手捕手の益子さんの肩と桜井さんのクイックを知りたいから、グリーンライトで日葵ちゃんを走らせるよ）

（希ちゃんは日葵ちゃんが走るまで、1〜3球程待ち球してもらってカウントによっては打つても良いよ）

（日葵ちゃんは、1〜3球の内に行けると思ったら走つても良いよ）

芳乃ちゃんが打者の希ちゃん・一塁走者の日葵ちゃんにそれぞれブロックサインを送り。

（芳乃ちゃんよかよ）

（芳乃ちゃん了解♪）

了解の意味のヘルメットのつばを触る希ちゃんと日葵ちゃん。

タイム後の1球目・・

1球目はインコースのスライダーで日葵ちゃんは走らず、希ちゃんは見送り判定は

ボール。

2球目の前に一度牽制を挟み、様子を探る桜井さんと益子さんのバッテリー。

《セーフ》

桜井さんの牽制に手から戻り、ユニフォームに付いた土を手で払う日葵ちゃん。

牽制後の2球目・・・。

(行くよ♪)

桜井さんが投球したと同時にスタートを切る日葵ちゃん。

「ランナー走った!」

相手一塁手の高森さんの日葵ちゃんが盗塁を仕掛けた事を知らせる声が響き。

2球目はアウトコースへの、スライダー。

投球の判定は・・

<ストライク>

(パン)

(ヒューン)

(パシ)

(ズサー)

すぐさま桜井さんの投球を捕球した、捕手の益子さんが二塁にレーザービームみたいな送球を。

二塁ベースカバーに遊撃手の知野さんが入り、益子さんからの送球を捕球しすぐさま

に走りこんでくる日葵ちゃんへタッチと日葵ちゃんの滑り込む足が二塁ベースに到達するのがほぼ同時に・・・

二塁塁審の野中さんの判定は・・・

<セーフ、セーフ>

(盗塁成功♪、強肩で焦ったよ)

《送球が若干三塁側に逸れた・・・それで負けた・・・》

状況は2死2塁

希ちゃんのカウントは1B・1S

ちなみに、盗塁対決を見てた皆の反応と言えば・・・。

（変化球でギリギリって、相手捕手肩強くな？）

（送球が若干逸れたのと、変化球だったから日葵はセーフになれたのね）

（あの肩の強さで私と同じ1年生捕手・・・）

（益子さんは他県の選手ですが、良いライバルになれそうです）

（あの強肩は1年生ながらこの試合において、脅威になるな）

（桜井さんのクイックタイムは平均的タイム・・・、桜井さんのクイックが1秒でも早かったら日葵ちゃんは盗塁失敗してた・・・）

（私はあの肩の前では盗塁は無理ね）

（日葵ちゃんみたいに速く走りたいよ）

（星歌がマウンドに居たら、クイックがそんなに速くないからセーフになるよね・多分）

（日葵みたいに走者の足が速いと盗塁時でも、守備時でも焦るのよね・）

（韋駄天みたいに走る日葵さん達が羨ましいです）

（日葵ちゃんの盗塁で生まれた先制の好機を生かしたいわね）

一旦、桜井さんがロージンを手に取り一呼吸を置いた後の3球目。

（カーン）

3球目のインハイのストレートを上手く捉えた当たりは・・・

（パシ）

右翼手の細川さんへのライナーになり3アウトチェンジ。

守備の準備が完了してたヨミちゃん達から続々とベンチから各々の守備位置に。

走者として残ってた日葵ちゃんは陽奈ちゃんから、イニングラストバッターの希ちゃ

んは董ちゃんからグローブと帽子を受け取り守備位置へ。

星歌は、蓮華ちゃんのレガース等準備が出来るまで珠姫ちゃんを相手に投球練習を。

蓮華ちゃんの準備完了後は、改めて蓮華ちゃんと軽く打ち合わせを。

「試合でのバッテリーは、小学生のクラブチーム以来だね」

「そうだね、サインはあれから変わらさず？」

「うん」

「じゃあ、星歌が投げたいであろう球のサインを要求するから星歌は自分のミット目掛けて投げてきてー！」

「よろしくね蓮華ちゃん」

「(こ)ち(ら)そ(だ)よ」

打ち合わせの後に、蓮華ちゃんのミット目掛けて何球か投球練習と野手の皆のボール回しやキャッチボールを終了して。

湾星高の1番打者の宮本さんを迎える。

《1回裏、横浜大附属湾星高の攻撃は》

《1番、中堅手：宮本さん》

アナウンスに導かれて、左打席に入る宮本さん。

(1番で左打者、留々ちゃんや陽奈ちゃんみたいな俊足巧打者タイプかな?)
初球のサインに頷いて、インローへのカーブを打たせてファールに。

S。
2球目は、アウトコースのストライクからボールへのスローシンカーを見送り1B1

3球目は、アウトコースのストレートを打たせて・
(カン)

《アウト》

稜ちゃんへのゴロに打ち取り1アウトに。

先頭打者を幸先よくアウトに出来て良かったよ。

「1アウト♪」

「ドンドン打たせても良いぜ！」

「星歌ちゃん初先発の記念1アウトだね」

「星歌ちゃんナイピ」

ボール回し間に内野陣の皆からの声描けでやる気が更に出て来たよ。

予定インニングをしっかりと投げてアピールすると同時に、チームに白星を導くよ。

《2番：遊撃手、知野さん》

今度は、右打者の知野さんが打席に。

蓮華ちゃんのサインに頷いて、精一杯ミット目掛けて投げるだけ。

(カーン)

《アウト!》

インコースのスライダーを引っ張らせて、野手デビュー2試合目のヨミちゃんへのゴロに打ち取って2アウトに。

「野手としても頑張るよ」

(ヨミちゃん、野手起用に若干不満タラタラだったけど良かった)

《3番：投手、桜井さん》

左打席に相手投手の桜井さんが。

同じ1年生で、しかも同じ投手同士。
負けたくないよ・・・

（桜井葉side）

合。Aチームの埼玉県遠征に帯同する形で組まれた、私がいるCチームの今回の練習試合。

相手は、監督と昔からの知り合い（チームメイト？）が今年から監督に就任した新越谷高校野球部と。

新越谷野球部は、今年の3月頃までは諸事情で活動停止してたからメンバーは私達と同じ1年生が中心だったって月（内村）からの情報なんだけど・・・。

向こうの先発投手の子（星歌）は、あんまり見かけないアンダースローだし・・・

それに変態打ち（悪球打ち）して、かつ優姫の肩を潜り抜けて盗塁を決めた子（日葵）

がいるし・・

絶対に、1年生の何人か有名なガールズ出身がいるでしょ！

それは一旦置いてくとして・・・。

私の登板予定はリハビリ登板の意味もあって2回まで、それ以降は風（宮本）か美希（楠本）と交代して外野手としてプレイする予定と監督さんから通達されてる。

だから、AチームやBチームに昇格する為にも投打共に活躍出来る事を証明しないと。

だから、是が非でも打たせて貰うからね。

く桜井葉side終了く

一瞬だけお互いに睨み合い、バチバチと火花が飛んだ感覚になつて・・。

（落ち着け星歌、初先発と同じ1年生投手の桜井さんに負けたくないのプレッシャーを

無意識に感じてるのかな？)

一旦、ロージンを手に取り深呼吸してと・

蓮華ちゃんのサインに頷いて、ミット目掛けて白球を投げていく。

桜井さんに対してカーブ・シンカー・スライダー・スローシンカー・ストレートと、オリジナル変化球以外の持ち球を全て投球。

空振り・ファール・見送りのボール球3つで、桜井さんのカウントは3B2Sのフルカウント。

此処で桜井さんをアウトに取れば、三者凡退に取れて2回表の星歌達の攻撃に良いリズムが生まれるけど・・。

〈蓮華 side〉

初回、2死ランナー無で迎える相手打線クリーンナップの3番打者・桜井葉さん。

投手としての素質・評価は勿論、打者としての素質・評価も高評価と。

そんな桜井さんに対して、何故か星歌がちよつとしたライバル心を抱いたかは分からないけど・・・。

投げ込んでくるストレート、持ち球変化球（サブマリン以外）の球威・キレが増している感じがする・・・。

サブマリンは、打者一巡目以降に解禁しようと思ってたけど・・・

此処は、1回タイムを取って星歌がサブマリンを投げたいが確認しよう・・・。

く蓮華 side 終了く

《タイム！》

タイムを取って、蓮華ちゃんがマウンドに。

「星歌、どうしたい？初回だけどサブマリンを解禁する？」

「自分の考えでは、打者一巡目以降から解禁しようかなと思ってるけど・・・」

「星歌が投げたいと言うなら、サインを出すけど」

「我儘でごめんね蓮華ちゃん、何故か桜井さんには負けたくない・打たれたくないって気持ちが強くて・・・」

「初めての練習試合だった柳大川越戦ではこの気持ちは無くて、星歌自身戸惑ってて・・・(小声)」

「分かった、当初の予定から変更で1巡目からサブマリンのサインを出すから一緒に桜井さん打ち取って2回表の攻撃に繋げよう」

グローブ同士でタッチしてから、蓮華ちゃんは守備位置に戻ってから球審の吉川さ

ん・待ってくれてる打者の桜井さんに小さくお辞儀をして星歌にサインを。

《プレイ》

サインに頷いて、桜井さんに対して投げたサブマリンは・・

無意識か、力んで少し甘くなつて・・

(カーン)

桜井さんのバットが捉えて、打球は・・

(ドン)

センターフェンス直撃の二塁打に・・。

これで、お互いに2死からランナー2塁の状況を・・。

(1 発を浴びなかつただけでも良しとしなきゃ)

(4 番の細川さんを冷静に抑えてピンチを切り抜ければ良いんだ)

《4番、右翼手：細川さん》

4番の細川さんが右打席に。

「いけー！、湾星のカブレラ！」

「場外弾打て！湾星のリトル中田奈緒！」

相手のベンチから、細川さんに対する期待・応援の声。

まずは、1球目・・・

外角に逃げるカーブで、細川さんから豪快な空振りを奪い1S。

続いて2球目・・・

内角低めにスローシンカーを投げて、ファールを打たせて2S。

蓮華ちゃんのサインに頷いて、投げる3球目は・・・

(ブン)

(バシン)

<3アウト、バッターアウト>

インハイギリギリの、ボール球のストレート（誘い球）で細川さんの打ち気を誘い空振り三振に取ってなんとかピンチを防ぎ。

桜井さんの出塁を許したけど、先制点を阻止出来て良かったよ。

ベンチに戻ってからは、蓮華ちゃんやヨミちゃん達からナイピって言ってくれたから・・・

期待に応える投球で、新生新越谷野球部に初勝利を手繰り寄せるぞ！

桜井さんと星歌、お互いにランナーを出すも初回は0点に。

星歌達2回表攻撃は、5番の蓮華ちゃんから。

ランナーが一人でも出れば、星歌に打順が来るからバットでも頑張るぞ！

対して湾星高の2回裏は、同じく5番の楠本さんから。

2回前裏の攻防は如何に・・・

続く。

19 球目：対横浜大学付属湾星高戦③

〈2 回表〉

《2 回表、新越谷の攻撃は・・・》

《5 番、捕手：志木さん》

アナウンスに呼ばれて、蓮華ちゃんが右打席へ。

この回は、5 番蓮華ちゃん・6 番稜ちゃん・7 番白菊ちゃんの打順による攻撃。

〈蓮華 side〉

2 回表は自分から始まり、下位の星歌・ヨミさんへと続いて行く打線。

この回に先制点を取るとするなら、自分と稜さんの両方かもしくはどちらかが出塁してチャンスメイク出来るかがキーポイントかなと・・・。

是非にでも先制点を取って、星歌を援護出来れば・・・。

さて・・・、どう出塁しましょうか・・・。

く蓮華 side 終了く

一瞬チラツと、相手三塁手の伊藤さんの守備位置を確認した蓮華ちゃん。

蓮華ちゃん、セーフティーバントを狙ってるのかな？

桜井さんの蓮華ちゃんに対しての初球は、アウトコースのスライダーを投げてIB

2球目、インコースのカーブを打ちに行くもファールになり、IBBS。

3球目、インハイのストレートにタイミング良く合わせたけど、空振りを取られて1B2Sと追い込まれて・・・。

(タイミングは合ってましたが、桜井さんのストレートが目測よりノビと球威が良いです・・・)

(ストレートもよし、変化球も良しと・・・厄介な相手ですね・・・)

4球目、アウトコースのストライクゾーンギリギリのチェンジアップを体制を崩されながら打った打球は・・・。

三塁線への弱い打球に。

相手三塁手の伊藤さんの肩と、蓮華ちゃんの走力との競争になり・・・。

「あっ!!」

「柚葉!!」

「柚葉あーつと!!が出ちゃった!」

一塁側のベンチから驚きと叱責の声が。

「蓮華ちゃん二つ行けるよ!!」

「蓮華ちゃんの足なら間に合うよ!」

星歌達、三塁側ベンチからは蓮華ちゃんを応援する声が・・・。

何が起きたかと言うと、蓮華ちゃんの打球を処理した相手三塁手の伊藤さんが蓮華ちゃんの走力に焦ったのか・・・。

何故か派手に転倒しながら投げた送球が一塁手の高森さんの頭上を越えていく大暴投を（悪送球）し、ボールがファールゾーンを点々としてる間に蓮華ちゃんが二塁へと。

なにもともあれ、先頭打者の蓮華ちゃんが2塁出塁出来た事は大きいよ♪

状況は、無死2塁で6番の稜ちゃん。

《6番、二塁手：川崎さん》

打撃タイプはフリースインガーの稜ちゃんが右打席に。

芳乃ちゃんが稜ちゃんへの指示が自由に打たせるのか、それとも蓮華ちゃんの進塁を意識した打撃をさせるのか気になって芳乃ちゃんの方を見ると・・・。

悩んでる様子の芳乃ちゃんが・・・

（芳乃side）

相手三塁手、伊藤さんの失策を切欠に、先頭打者の蓮華ちゃんが出塁に成功して無死

2 塁の状況。

此処は、稜ちゃんに自由に打たせて先制点を目指して尚且つチャンス拡大を狙うか・・・。

それとも、1死になっても良いから蓮華ちゃんを三塁に進めて白菊ちゃんの長打や星歌ちゃんの打撃に期待するか・・・。

・・・、決めた。

テストの意味も込めて稜ちゃんへのサインは・・・。

く 芳乃 side 終了く

芳乃ちゃん経由で、監督から稜ちゃんへサインが伝達されて・・・。

そのサインに頷き、了解の意味があるヘルメットのつばを触る稜ちゃん。

桜井さんから投げられた1球目に対して稜ちゃんは……。

(カン)

練習や今までの練習試合であんまり実行機会が無かったバントを実行し、三塁線捕手前バンドを決めるも……。

<アウト!>

相手捕手の益子さんの素早い判断と送球で、二塁走者の蓮華ちゃんが三塁で封殺されちゃって、1アウト1塁に。

相手のベンチからは……。

「流石、優姫バズーカ!」

「そう言えば、優姫バズーカを潜り抜けた、あの走者(日葵)は何者?」

「ナイス判断!優姫!」

相手捕手の益子さんを讃えるエールが。

《7番、右翼手：大村さん》

1死1塁で、打席には白菊ちゃん。

稜ちゃんのバント失敗を白菊ちゃんのバットでカバー出来れば良いな・・・。

白菊ちゃんは、積極的に初球打ちするも左中間深くのフェンス手前の大飛球に倒れ2アウト1塁で星歌に打順が・・・。

《8番：投手、渡辺さん》

く星歌sideく

星歌の打撃で、チャンス拡大出来れば良いけど・・・欲を言えば長打で1点先制を・・・。

でもヨミちゃんや息吹ちゃんと同等の打撃力？と自己評価してる打撃力だから・・・あはは。

相手先発の桜井さんは、蓮華ちゃんから事前に聞いてた噂通りの打撃で星歌から第一打席に中堅フェンス直撃の二塁打を。

(本塁打にならなくて良かったけど)

桜井さんに同じ投手として打球も打撃も負けたくないから、好球必打・みんなの期待に少しでも答えられる様に頑張るよ。

失投や甘い球来ないかな？

☆星歌 side 終了☆

☆益子優姫 side ☆

初回は、変態(悪球)打ちする3番打者の佐倉日葵さんに安打と盗塁を許して2死2塁のピンチを迎えるもなんとか無失点。

この回は、柚葉の失策もあつて無死2塁から6番の川崎さんのバントを失敗に成功等で2死1塁まで来れたけど。

（柚葉の守備はいつもひやひやするよ、でも打撃は頼りになるから憎めないんだよね…）

打席には、相手投手の渡辺さんが右打席に。

渡辺さんの打撃スタイルが不明だけど、8番に起用されてる点から…

打撃がそんなに得意な方じゃないとみたよ。

仮に渡辺さんを出塁させても、次の武田さんで3アウトに出来れば…

く益子優姫 side 終了く

球審の吉川さん、そして桜井さんに一礼してから打席へ。

1球目の内角カーブを空振り、2球目・3球目と外角に外れたストレート・チャレンジアップのボール球を見送って2B1Sの打者有利カウントに。

桜井さん達から見たら、4球目はストライクが欲しいからストレートの可能性が高いけど…得意球のスライダーもあるよね…。

(カ〜ン)

4球目の外角低めスライダーになんとかバットを当てた打球は・・

ふらふらと上がった打球を追いかけた二塁手の北川さんと、右翼手の細川さんの前にポトリと落ちるラツキーな安打に。

一塁走者の稜ちゃんは、好走塁で3塁迄到達成功で2死1・3塁のチャンスの状況で次のヨミちゃんが打席へ。

《9番：三塁手、武田さん》

「うりやー」

「とりやー」

「はいー」

(コン)

くアウト！、3アウトチェンジ

ヨミちゃんの元気の良い声とは裏腹に、打球はボテボテの一塁ゴロになって3アウトチェンジに。

1回く2回と2イニング続けて、得点圏迄走者を進めながら桜井さんの前に0点。

なんだか嫌な流れになりそうだから、2回裏の星歌の投球で攻撃に良い流れを呼び込めたら。

3塁走者の稜ちゃんは、二遊間ペアを組む日葵ちゃんから帽子やグローブを受け取って守備位置に。

星歌は、気持ち駆け足でベンチに戻って水分補給してからグローブを手に取りマウンドへ登り・・・待ってた蓮華ちゃんを相手に5球程投球練習をして2回裏の攻撃開始を待

つ。

《2回裏、湾星高の攻撃は》

《5番：左翼手：楠本さん》

2回裏の湾星高の攻撃も、星歌達と同じく5番から。

5番の左打者の楠本さんが左打席に入ってから、蓮華ちゃんが楠本さんの雰囲気を一通り観察してからサインを。

(コクン)

蓮華ちゃんのサインに頷いて、楠本さんに1球目を投じる。

<1ストライク>

見送れば球審によつてはボール球と判定されるかもしれないギリギリの誘い球、インハイのストレートで楠本さんから空振り奪い1S。

2球目の蓮華ちゃんからのサインに頷き楠本さんへ投じる。

<ファール>

インコースのスライダーでファールを稼ぎ、これで2S。

3球目は、アウトコースのシンカーがボールになり1B2S。

4球目は、インローへサブマリンを楠本さんへ投じる。

(ブーン)

<アウト!>

楠本さんのバットは空を切り、空振りを奪うと同時に楠本さんがボールが蓮華ちゃん
のミットからこぼれてるを見てから振り逃げを図るも。

蓮華ちゃんが直ぐ様に、楠本さんが一塁到達までに一塁の希ちゃんに送球してアウト成立。

楠本さんの振り逃げ阻止に成功。

《6番：三塁手：伊藤さん》

次は、2回表にびっくりエラーをした伊藤さんが打席に。

伊藤さんからは鬼気迫る雰囲気を……。

く伊藤 柚葉 side く

今日の試合は、葉ちゃんの怪我復帰の登板試合なのに・
さっきのインニング柚葉の失策を切欠にピンチが生まれて……、葉ちゃんの足を引つ
張って……。

なんとか捕手の優姫ちゃんのナイスプレーや、葉ちゃんの投球でピンチを脱出出来て

良かった・・・。

内野守備走塁担当の仁志コーチからは、この回攻撃開始までに軽いお説教を貰っちゃった・・・。

（柚葉だって、わざとあんな一塁への大暴投をしたくてした訳じゃあないのに・・・）
得意な打撃でとにかく結果を出して、栞ちゃんの怪我復帰登板を勝つわ！

（美希ちゃんが振り逃げ成功出来たら、柚葉の打点チャンスだったけどね・・・）

〜伊藤柚葉 side 終了〜

伊藤さんへの1球目・・・

（カキーン）

インローへのシンカーを伊藤さんがフルスイングした打球は・・・。

ヨミちゃんが守る三塁を襲う打球になり。

「抜かせないよ！」

ヨミちゃんが懸命に打球に飛び付くけど、ヨミちゃんのグローブの先を打球が抜けていき……

(最低でも2塁は免れないかも……)

ファールだと良いなと思いつつ、チラツと三塁塁審の岸本さんの判定を見てみると

くファール、ファール！>

三塁塁審、岸本さんが大声で両手を広げファール判定を。

(助かった……)

蓮華ちゃんはマスク越しに、打球を捕球出来なかったヨミちゃんからはなんとなくホツとした感じの雰囲気を感じて。

対して伊藤さんは、判定に内心舌打ちでもしてるだろうな・・・的な雰囲気が・・・。

一呼吸を置いて、蓮華ちゃんからの2球目のサインをみて頷き。

伊藤さんへ2球目を投じる。

(ブン)

<ストライク>

アウトコースのストライクからボールになるスライダーで空振りを奪い2S。

3球目は、アウトローのストレートがボールになり1B2S。

4球目、インコース見逃し三振狙いの、ボールからストライクに入るカーブを伊藤さんへ投げて・・・。

(カーン)

タイミングを崩しながらも伊藤さんに上手く捉えられた打球は、ジャンプした日葵ちゃんの頭上を僅かに越えるヒットに。

記録は左前安。

(伊藤さんのタイミングは崩されたけど、強引にパワーでもってかれた感じかな?)

(少しでもコントロールがずれてたら、本塁打になってたかも・・・)

1死1塁になって、次は7番の高森さん。

《7番：一塁手：高森さん》

軽くスイングを数回してから左打席へ。

一塁走者の伊藤さんを目で牽制し、牽制球で様子を確認。

伊藤さんは足から一塁に帰塁し。

(伊藤さんが無警戒するのは良くないよね・・・、警戒はしておかなきゃ)

初球はアウトコースのボールになるストレートで様子見を・・・。

「痛いー！」

高森さんが強引に打ちに行つて、足のつま先に当たる自打球に・・・。

(うわぁ・・・高森さん痛そう・・・)

痛みに耐える高森さんへ、ベンチから冷却スプレーを持った子と打撃担当コーチの北さんが駆け寄り。

自打球が当たった個所にスプレーと高森さんの様子を確認。

《高森さん、只今治療しております．．しばらくお待ちください》

高森さんの応急治療が終了し、試合再開。

2球目以降、ファールとボールで自打球の痛みを耐えながら粘る高森さん。

(痛みを耐えながらの高森さんに粘られてる．．2B2Sの平行カウント．．。カウントを悪くしたくないから次の球でアウトに出来たら．．)

高森さんへ投じる7球目．．。

(カン)

<アウト>

高森さんを二ゴに取って2アウト

ランナーが伊藤さんから高森さんに入れ替わり、2死1塁で左打者の8番北川さん。

《8番：二塁手：北川さん》

〈3アウトチェンジ〉

初球のカーブを打たせて息吹ちゃんへの左飛で3アウトに。

ベンチに戻ると、相手監督の尾花さんが球審の吉川さんに選手交代を伝えて・・・。

相手ベンチ前では何人かの選手がキャッチボールを。

《湾星高、守備及び投手交代をお知らせします》

《1番宮本さんに代わり内村さんが入り二塁手、3番桜井さんが右翼手・4番細川さんが

中堅手。》

《続きまして、6番伊藤さんが一塁手・7番に森さんが入り投手・8番北川さんが三塁手に変更になります》

《1番内村さん背番号116番、7番森さん背番号101番》

*守備位置等変更による湾星高現状オーダー

- 1 (中) 宮本風↓(二) 内村月
- 2 (遊) 知野彩
- 3 (投↓右) 桜井栞
- 4 (右↓中) 細川利恵
- 5 (左) 楠本美希
- 6 (三↓一) 伊藤柚葉
- 7 (一) 高森愛↓(投) 森陽奈
- 8 (二↓三) 北川泉
- 9 (捕) 益子優姫

董ちゃんと同じ中学出身の内村さんが3回から登場し、2番手投手に桜井さんと同じ左腕の森さんがマウンドへ。

高森さんはこの回から守備を退く形に・・・、怪我してなければ良いけど・・・。

(自打球は、打撲や最悪骨折の可能性もあるから・・・)

3回の星歌達の攻撃は、打者1巡目が終了して2巡目の1番の陽奈ちゃんから。

投手交代は、試合が動く切欠になりやすいって聞くからこの3回から点が入る可能性が少し上がったかもしれないよね？

森さんの投球練習に合わせて、陽奈ちゃん・息吹ちゃんがスイングのタイミングの確認をしコールを待つ。

〈内村月side〉

1軍のAチームに帯同する形で行われるCチームの埼玉県の高校との練習試合。

私がいるCチームは董や、稜達がいる最近まで活動自粛してたと言う新越谷野球部との練習試合。

(董が言うには、同じポジションに埼玉では有名なガールズ出身の双子の佐倉姉妹が居て。)

(稜と一緒にお互いのポジションを練習したりしてって試合前の時間に聞いたけど……)

今回の試合は、投手の葉ちゃんが怪我からの復帰(リハビリ)登板も兼ねてるから葉ちゃんに白星が付かなくても、チームが勝てる様に頑張るわと思ってたら……。

私の出番前に、董に代わり先発出場してるその双子佐倉姉妹のどちらかは不明だけど変態打ち(悪球打ち)と優姫から盗塁を決めた場面を見たり……

愛(高森)先輩に代わって3回の守備から早めの出番と……。

試合終盤の代走・守備からの出番だと思ってたから・・内心ビックリしてるわ。
まあ、アピールするチャンスを多く貰えたと思って頑張らなきゃね。

く内村月side終了く

《お待たせしました、3回表新越谷の攻撃は》

《1番：中堅手：佐倉陽奈さん》

陽奈ちゃんが打席へ。

第一打席は、桜井さんに投手ゴロに。

この打席は同じ左腕の森さん。

打者2巡目となる陽奈ちゃんからの攻撃がもうまもなく・・・。

く続くく

20球目：対横浜大学付属湾星高戦④

〈3回表〉

この3回から桜井さんに代わり登板する湾星高2番手投手の森さんと、この試合打席2巡目がスタートする陽奈ちゃんから対戦スタート。

〈プレイ〉

桜井さんと同じ左腕だけど、どう言う投球スタイルの投手なのかな？

直球主体派？変化球主体派？

更に、取得してる球種は何種類なのかな？・・・と。

色々森さんに関して思案してると・・・。

<ボールフオア！>

陽奈ちゃんが、制球に苦しむ森さんから四球を選んで出塁に成功して無死1塁で2番の息吹ちゃん。

《2番：左翼手：川口息吹さん》

〈息吹side〉

GW合宿の仕上げとして行われている練習試合。

初戦の大驚戦、2戦目の藤和戦と連敗し迎えた3戦目となる対横浜大学付属湾星高戦。

なんの冗談か知らないけど、この試合だけは私達1年生だけの力で臨む事に・・・。

しかも、2番として私が・・・。

他に2番適性がある、陽奈や蓮華達がいる中での起用なのよね・・。

本格的に野球を始めて間もない素人当然の私を・・・

2番として更には、星歌の2番手投手としての起用を決めた監督と芳乃の期待になんとしても応えたいわ。

く息吹side終了く

くボールフォア!く

(非力で打てなくても、チームに貢献出来て良かったわ)

息吹ちゃんは簡単に2Sと追い込まれるも、そこから脅威の粘りで森さんから2者連続四球を勝ち取り、無死1・2塁と3イニング連続で得点圏にランナーを進めて。

《3番：遊撃手：佐倉日葵さん》

<湾星高守備タイム1回目！>

第一打席に曲芸師ヒットを放ってる日葵ちゃんが打席に入る前に、守備タイムを取って3塁側の湾星高の投手担当コーチの大原響さんがマウンドへ。

同時に捕手の益子さんと、内野陣の伊藤さん・内村さん・北川さん・知野さんもマウンド近くに集合。

投手担当コーチの大原さんは、森さんへ一言二言程話して三塁側ベンチへ。

マウンドに集合の益子さん達も、一言二言会話してそれぞれの守備位置へ。

<プレイ>

(このケースは、最高はタイムリーや本塁打・最悪は三振や陽奈お姉ちゃんや息吹ちゃんが進塁出来ないフライは避けなきや)

(頑張ってる星歌ちゃんの為、チームの為に)

日葵が打つよ♪)

日葵ちゃんへの1球目・・・。

(カキーン)

外角低めに投じられた、スライダーを捉えた打球は・・・。

一・二塁間を抜けて・・・

(陽奈お姉ちゃんなら本塁に・・・)

先制タイムリーになるかと思われたけど・・・。

(えっ!?!・・・)

この回から二塁の守備に就いてる、内村さんが外野の芝生に少し入った所でダイビン

グキャッチで打球に追い付き一塁に送球。

日葵ちゃんは、内村さんの送球より先に一塁に到達出来て二塁内安打に。

(月・・・やるわね、急いで陽奈を止めないと)

同じくこの回から三塁コーチャー担当の董ちゃんは・・・。

急いで三塁を回りかけて本塁に向かおうとした、二塁走者の陽奈ちゃんを両手を広げてストップの指示を出して。

「陽奈！ストップ！ストップ！」

陽奈ちゃんは、少し慌てた様子で無事三塁に帰塁し。

無死満塁で4番の希ちゃん。

犠飛・タイムリー・併殺打の間・失策・暴投等で先制点を得るチャンス！

《4番：一塁手：中村さん》

相手の湾星高の内野守備陣形は、1点は仕方ないけど代わりに複数アウトを狙う併殺打シフトを。

ファールとボールで、カウントは2B2Sの平行カウント。

(カーン)

<アウト!>

<セーフ!>

希ちゃんの打球は、遊撃手へのゴロになり一塁走者の日葵ちゃんが二塁でアウトで。

打者走者の希ちゃんは間に合ってセーフに。

その間に三塁走者の陽奈ちゃんがホームイン成功で1点先制！

記録：遊撃への併殺崩れの間（1点）

新越谷1点对湾星高0点

《5番：捕手：志木さん》

尚、1死1・3塁で5番の蓮華ちゃん。

（カキーン）

1B1Sからの3球目を打って、中堅手の細川さんへの犠牲フライ。

三塁から息吹ちゃんがホームインで2点目を。

記録：中犠飛（1点）

《6番：遊撃手：川崎さん》

2死1塁で、6番の稜ちゃんはイケイケの流れに続けと積極的に打ちに行くも。

捕手の益子さんへの邪飛に倒れて3アウトチェンジ。

3点目はゲット出来なかったけど、この3回から登板の2番手投手森さんの連続四球を切欠に2点先制に成功。

良く点が入ると試合が動くって聞くから、この3回裏の投球は大事だよ星歌！。

しかも、この3回裏は9番の益子さんから始まって1番へと打者2巡目がスタートする回・・・。

一人一殺投球の気持ちで臨むよ。

《3回裏、湾星高の攻撃は・・・》

《9番：捕手益子さん》

先頭打者の益子さんが右打席へ。

(そう言えば、蓮華ちゃんから聞いた事あるけど・・・)

(捕手は、タイプによるけど自身のバットで安打や適時打(タイムリー等)を放つとその試合攻守に渡って調子が良くなる傾向があるって・・・)

(だから、捕手は対戦相手校の捕手に結果を出させない様になると・・・)

益子さんをなるべく抑えて、新越谷の勝利に一步でも近づける様に頑張らないと。

<アウト>

カウントを悪くしながらも益子さんを白菊ちゃんへの飛球に打ち取って、1アウト。次に迎えるは、董ちゃん・稜ちゃんと同じ中学出身の内村さん。

《1番：二塁手内村さん》

この試合初打席の内村さんが左打席へ。

内村さんがどう言うタイプの打者かは初見では分からないけど・・・、油断せずに投球だね。

投球前に、内野陣に対して蓮華ちゃんからブロックサインで守備位置に指示が。

(セーフティー警戒シフト及び、日葵ちゃんは気持ち前寄りの守備位置と・・・)

(三塁の定位置より気持ち若干前進守備で良いのかな?)

(了解♪)

内村さんに対して、1球目と2球目とボールになった3球目・・・

(コン)

三塁線方向へのセーフティーバントを・・・。

星歌・蓮華ちゃん・ヨミちゃんの誰が捕球しに行くかの指示は・・・。

「ヨミちゃん！」

「武田さん！」

星歌と蓮華ちゃんの指示がヨミちゃんへ。

「了解！」

（急げ私！）

ブロックサインで事前に定位置より前寄りの三塁から猛チャージで打球を捕球しに行くヨミちゃん。

捕球後即一塁へ送球をし一塁塁審の判定は・・・。

<アウト!>

送球が間に合つて2アウトに。

ボール回ししながら先程のヨミちゃんの一連の動きを見てた星歌達の反応と言え
ば・・・

(蓮華ちゃんの読みの中だね)

(内村さんに対して無警戒だったら、セーフでしたね)

(ヨミちゃん、三塁手出場2試合目だけ良い動きしてるよ)

(ヨミ、意外に三塁手も良いじゃん・・・打撃はさっぱりだけど)

(三塁手ヨミちゃんありかも)

続く2番の知野さんを、三振に取って3アウトチェンジ。

3回終了して、2対0と星歌達がリードに成功。

1回目のグラウンド整備タイムに突入へ。

その間に、息吹ちゃんは珠姫ちゃん相手に登板に向けた軽めのキャッチボールを。

途中出場予定の董ちゃんは、ショートダツシユを何本か軽く。

星歌は、予定だと次の4回表迄投げて5回からは息吹ちゃんと守備位置を交代して出場と・・・。

息吹ちゃんが気分良く投げられる様に、4回も0点に抑えれたら良いよね。

グラウンド整備が終わるの待ってる間に、軽く蓮華ちゃんと2度目の対戦になる桜井さん達主軸への投球を打ち合わせを。

「1発は仕方ないから、ソロならOKの気持ちでリードするよ」

「了解だよ。後は打者1巡目が終わったけど、星歌的になんとなくタイミングが合ってる?と思うのが桜井さんかな」

「4回は桜井さんが先頭だから、桜井さんを抑えたら0点で切り抜ける確率が上がるから頑張って桜井さんを打ち取るよ星歌」

「分かったよ蓮華ちゃん」

グラウンド整備が終了して、4回表が始まる・・・。

この回は、2回表と同じく7番の白菊ちゃんからだったけど・・・

白菊ちゃんが遊ゴ、星歌は四球、ヨミちゃんが犠打、陽奈ちゃんが三直とランナーを出しながらも0点に。

森さんが少しずつ立ち直りつつあるのかも・・・。

そして、星歌のラストイニング（予定）を迎える・・・

～続く～

21球目：横浜大学付属湾星校戦⑤

（4回裏）

この回は、3番の桜井さんから始まる打順。

星歌の投球はこの回迄予定だから、この回も0点に抑えて息吹ちゃんにバトンを渡さない。

《3番：右翼手桜井さん》

アナウンスに呼ばれて、桜井さんが左打席に。

桜井さんには、最初の打席ではフェンス直撃の二塁打を打たれてる。。。

2打席連続で出塁はさせたくないし、回の先頭打者だからきっちりとアウトにしない
きや。。。

蓮華ちゃんのサインに頷いて、桜井さんへ1球目を投球。

<ボール>

初球は、外角低めのスライダーがボール。

続く2球目は、内角高めのストレートに桜井さんが反応してファールでカウントを稼^ぎ。

<アウト>

3球目の外角のスローシンカーを打たせて穂ちゃんへのゴロに取って1アウトに。

《4番：中堅手細川さん》

第一打席は空三振に抑えた細川さんが右打席に。

(あっ・・)

(失投?! 星歌ヤバイよ・・)

<ストライク>

初球の制球が甘くなったサブマリンを細川さんが見送り1ストライク。

(ほっ・・助かった)

(焦ったよ)

2球目は、外角低めのストレートが外れて1ボール。

<ファール!>

3球目は、内角高めのストレートを打たせてファールに。

<フェア!>

4 球目、外角へ逃げるカーブを拾われて右翼線ギリギリ一杯に入る二塁打を細川さんに打たれて・・

1 死 2 塁で、5 番の楠本さんが左打席へ・・。

《5 番：左翼手楠本さん》

初球はボール、2 球目は見逃しのストライクからの 3 球目を打たせて日葵ちゃんへのゴロで 2 アウト。

二塁走者の細川さんの三塁への進塁を許さず、2 死 2 塁で次の打者は第一打席で安打を打ってる伊藤さん。

《6 番：一塁手伊藤さん》

かきーん

良い打撃音を響かせ、伊藤さんが放つ星歌の投球を捉えた打球の行方を目で追うと：

(あれ?!、意外と飛距離が伸びてない・・・)

(これはもしかして中飛で3アウトに出来るかも?)

と内心ほっとしていたら・・・

良い打撃音に騙されたのか、中堅手の陽奈ちゃんが数歩後退から慌てて前進し・・・

そんな陽奈ちゃんの様子に慌てて、遊撃手の日葵ちゃん・二塁手の稜ちゃんも打球を追いつつ始め・・・。

「日葵!落下予想地点に近いのは日葵よ」

「違うよ、陽奈お姉ちゃんだよ」

「若干喧嘩してる場合か？どっちが捕球するか決めねえと・・・」

ポトリ・・・

「あつ・・・」

「そんな・・・」

「やべ・・・」

打球を日葵ちゃん、陽奈ちゃん、稜ちゃんの3人がお見合いする形で捕球出来ず・・・。

その間に、二塁から細川さんが生還、打者走者の伊藤さんは二塁へ・・・。

<タイム!>

これで2対1で、尚2死2塁で7番の森さんを迎える前にベンチから芳乃ちゃんが来て守備のタイムを取ることに。

「お見合いしちやった事は仕方ないけど、次の森さんをアウトにして気持ちを切り替えようね」

（守備時の課題点が早めに見つかっただけでもよしだね）

「ドンマイだよー点失点したけど、まだ同点になった訳じゃあないからこれから気を引き締めて頑張ろうね」

（星歌ちゃん、気落ちしてないと良いけど・・・）

「まだ試合は終わってない、終わってからゆっくりとみんなで反省すれば良いと思う」（誰だって失敗はあるから）

「星歌ちゃん、蓮華ちゃん、本当にごめんね。必ず陽奈お姉ちゃんは得意の守備で、日葵は必ず得意な打撃でお見合いで失った点を取り戻して名誉挽回を」

（姉妹で必ず星歌ちゃん達からの信用・信頼を取り戻さなきゃ）

「陽奈と日葵と同じ、ミスしちまったけどこれまでと同じ様にバックを信じて星歌は打球して打者を抑えて欲しい」

（監督から怒られるのは仕方ねえか・・・）

「失点してしまったのは仕方ありません、お見合いの件は今後の練習で防ぐとして今は芳乃さんの言う通り引き続きのピンチを切り抜けて5回表の攻撃へと行きましょう」

（これがまだ練習試合で良かったかなと・・・）

「星歌こそ、4番の細川さんに二塁打を打たれてなければ無失点だったからお互い様だよ」

（1失点したけど改めてヨミちゃん達バックを信じて投げる、星歌が出来る最大の仕事をするだけだから）

マウンドに出来た輪が解けて、改めて試合再開・・・。

バッターは、この試合では初打席を迎える7番の森さん。

《7番：投手森さん》

(あっ・・・)

森さんへの初球、アウトコースへのストレートをコントロールに失敗しちゃって高めに浮いて・・・

カーン

打球はライナーで左中間を破ろうと・・・

(同点にはさせない！、先程の守備の失態は守備でしか返上出来ないから・・・)

(星歌さんの為この打球は必ず捕るわ！)

打球に備えて、ホームベースカバーへと向かっているとふっと頭の中に左翼の息吹ちや

んと一緒に打球を追ってる中堅の陽奈ちゃんがそう言ってる様に聞こえて・・・
そして・・・

打球を追ってる中堅の陽奈ちゃんが、帽子を飛ばしながらダイビングキャッチを
し・・・結果は。

「あれを捕る!?!」

「さっきお見合いした中堅手だよね?」

「同点のチャンスが・・・」

「足速いわね」

湾星側ベンチからは落胆の声が・・・。

「良いで陽奈!」

「流石ね」

「陽奈さん凄いです」

「流石陽奈お姉ちゃん!!」

「陽奈さん助かりました」

「陽奈ちゃんありがとう」

「凄いよ」

ベンチスタートの岡田主将や白菊ちゃん達や、そしてベンチに戻ってきた星歌達が息吹ちやんと一緒にベンチへと戻ってきた陽奈ちゃんへ声を掛け。

みんなから声を掛けられた陽奈ちゃんは一直線に星歌と蓮華ちゃんの元へと歩みよ
り

「星歌さん、蓮華さん・・先程のお見合いは大変すみませんでした」

「先程のプレーで、失態を取り戻せたかは分かりませんが・・」

「姉妹共々、頑張りますので改めてよろしく願います」

そうやって自分のベンチの席へと戻っていく陽奈ちゃん。

なんとか、担当のインニングを最小失点の1点を終えれた星歌・・。

そして、ベンチが陽奈ちゃんのファインプレーで良いムードで5回表の攻撃を迎える・・。

〈5回表〉

《2番：左翼手川口さん》

この試合、息吹ちゃんの3打席目・・そして息吹ちゃんから始まる初めての攻撃。

マウンドには3インニング目に入る森さん。

初球はカーブが高めに外れて1―0。

2球目は、内角のカットボールを息吹ちゃんは見送って・・

<ストライク!>

続く3球目の内角低めのスライダーを打ちに行くもファールになり、1-2のカウントに。

4球目低めのチェンジアップを打つ息吹ちゃん。

息吹ちゃんの打球を遊撃の知野さんが悪送球(一塁への送球がバウンド)で、息吹ちゃんは2打席連続出塁に成功。

無死1塁で、続くは・・・。

《3番、遊撃手・佐倉日葵さん》

初球は、外角のチェンジアップを打ちに行くもファールで0-1。

2 球目は、外角低めのストレートを見送ってボールで1ー1

3 球目、甘い低めストレートを打つも・・・。

(若干タイミングを狂わされたし・・・甘い絶好球を打ち損ねるなんて悔しい、陽奈お姉ちゃんの様に日葵は得意の打撃でミスを取り返さなきゃいけないのに)

森さんのストレートの球威に若干押されたのか、右飛になり1アウト。

焦りと自身への不満の表情を見せながら、日葵ちゃんがベンチに。

そんな日葵ちゃんの傍による陽奈ちゃん。

「日葵、焦りは禁物よ・・・焦れば焦る程心が乱れて良い結果を得る事が難しくなるわ」

「うん・・・」

「今は、希さん達の応援に全力よ」

「そうだね陽奈お姉ちゃん」

そんな陽奈ちゃん達の会話を聞きつつ、4番の希ちゃんの応援を。

《4番：一塁手中村さん》

初球は、内角高めのカットボールを空振りで0―1

2球目は、外角の際どいコースのストレートを見送って・

〈ボール〉

カウントは、1―1

3球目の外角低めのストレートを見逃しのストライクで1―2

4球目のチェンジアップを綺麗に流し打って、三遊間を破る左安。

1 死 1・2 塁で 5 番の蓮華ちゃん。

《5 番：捕手志木さん》

蓮華ちゃんへの初球は・・・。

(あっ！)

(ブロックが間に合わない)

チェンジアップがワンバンドになり、捕手の益子さんが捕球出来ずボールがネット裏に転がる間に息吹ちゃんと希ちゃんは進塁して。

1 死 2・3 塁に。

外野の守備体形は、3 塁走者の息吹ちゃんの帰還は仕方ないとして・・・

2 塁走者の希ちゃんの本塁突入は阻止する形（通常の守備位置よりやや前進）

（3 塁走者の息吹さんへの指示で流れが変わる可能性は大ですよね・・・）

（打球の行方・勢い次第で本塁突入を判断するか・・・あるいはどんな打球でも突入するゴロゴロか・・・それとも・・・）

（さて・・・、我らの参謀川口さんからのオーダーは・・・）

蓮華ちゃんがタイムを取りベンチの芳乃ちゃんから、息吹ちゃん・蓮華ちゃんへサインが伝達され・・・。

（分かったわ）

（了解です）

<ボール>

タイム後の蓮華ちゃんへの投球は、スクイズ警戒のウエストボールになり2―0

(3―0には益子さん達相手バッテリーはしたくはない・・・、そして参謀の芳乃さんのオーダーに応えるには)

(これ以上カウントは不利にはしたくない)

(だから次はストライクを(わざと狙いますかね・・・)(奪う)

3球目は・・・。

<ファール>

蓮華ちゃんが放った打球は、一塁線のファールになって2―1

そして、3塁走者の息吹ちゃんも打球が転がった瞬間からスタートをしてて・・・

(益子さんとの駆け引きですね・・・、さてさて・・・益子さん・・・自分の今先程の打撃と3塁走者の息吹さんを見て次のサインをどう判断しますか?)

(スクイズなら、絶好の機会のはずだけど志木さんは普通にスイングでファール・・・)

(しかも、3塁走者の川口さんも打つとほぼ同時にスタートしてた・・・4球目でのスクイズの可能性は低いけど警戒は捨てきれないよね・・・)

そして・・・4球目・・・。

「スクイズ!」

コン・・・

<フェア!>

森さんが投球を開始すると同時に3塁走者の息吹ちゃんがスタート、それに気づいた相手三塁手の北川さんと捕手の益子さんの声で慌ててボールを外すも・・・。

蓮華ちゃんが急いで外されたボールに飛び付くかのようにバットを当てて・・・。

打球はグラウンド上に転がり・・・。

森さんが急いでグラブトスで本塁送球、そして同時に息吹ちゃんが本塁突入し・・・判定は・・・。

<セーフ、セーフ>

蓮華ちゃんのスクイズ成功で1点追加で3対1、尚2死3塁で6番の稜ちゃんを迎え。

《6番：二塁手・川崎さん》

<フエア!>

スクイズで内心動揺してる？森さんの球を捉えた打球は、森さんのグローブを弾き遊撃手の知野さんがカバーするも稜ちゃんの足が勝りタイムリー内野安打に。

これにより、4対1で尚2死1塁。

(がきーん)

続く7番の白菊ちゃんは痛烈な打球を放つも、北川さんへのゴロになり3アウトチェンジ。

5回裏は、左翼の息吹ちゃんと交代で星歌が左翼で息吹ちゃんが2番手投手として登板予定だから・・・

ベンチで外野手用グローブを用意していると、監督さんが球審に星歌がベンチに下がって董ちゃんが代わりに出場する選手交代告げてて。

そんな時に芳乃ちゃんが耳打ちで・・・

「攻撃中に監督と話し合って決定した事が：当初の予定から変更で、董ちゃんをこの回から遊撃の守備に」

「それに伴って、遊撃の日葵ちゃんを一塁に・一塁の希ちゃんが息吹ちゃんに代わり左翼へ変更」

「星歌ちゃんの出場は、この回までなんだ・伝えるの遅れてごめんね」

芳乃ちゃんから急遽選手起用のプランが変更になった事を謝られて。

「ふえ!」、監督さんと芳乃ちゃんが話し合って決めた事なら仕方ないもん・びっくりしちやっただけど」

(欲を言えばもう1回打席に立ちたかったけど)

安打1本を記録出来たから良いかな)

気を改めて5回からはベンチから息吹ちゃん達を力一杯応援するぞ。

がんばれ!息吹ちゃん!

《新越谷、選手交代をお知らせします》

《2番左翼手の川口息吹さんが投手、3番遊撃手の佐倉日葵さんが一塁手、4番一塁手の中村さんが左翼手、8番投手の渡辺さんに代わりまして藤田さんが入り遊撃手。》

《2番投手川口息吹さん、3番一塁手佐倉日葵さん、4番左翼手中村さん、8番藤田さん
以上になります》

息吹ちゃんはマウンド上で緊張した様子で蓮華ちゃんと言言交わしてから投球練習を。

5回裏の湾星高攻撃は、8番の北川さんから。

息吹ちゃんは、北川さんに四球↓益子さん（遊併打）↓内村さん（左安）↓内村さん
盗塁死で3アウト。

ホツとした表情しながらベンチに戻ってくる息吹ちゃんを迎える星歌達

そんな様子を実はスタンドから密かに初回から観察してた4人がいたらしく・・・

「4人娘 S s i d e ①」

私は、桜木双葉だよ。

古谷ガールズの練習のない休みを利用して、小学校からの幼馴染の和泉雪奈ちゃん（ゆつきー）と、三条梓（あずつち）ちゃんに・

なんと更にこの球場に来て知り合った天神愛里ちゃんの4人で新越谷高対湾星高の練習試合を見に来てよ。

見に来た理由は新越谷高に古谷ガールズでお世話（尊敬）になった、日葵先輩と陽奈先輩がいるからです。

試合は、5回が終了して新越谷がリード。

頑張れ新越谷！頑張れ日葵先輩に陽奈先輩！

日葵先輩の登板はあるのかな？

日葵先輩の活躍ならレギュラー間違いないよね？

↳ 4人娘 side ②

自分は、和泉雪奈です。

今日幼馴染で同じガールズの双葉ちゃん（桜木双葉）と、同じく幼馴染の梓ちゃん（三条梓）に今日知り合った天神さんを加えた4人で新越谷対湾星高の練習試合を見に来ます。

観戦に来た理由は双葉ちゃんと同じだから、割愛しちゃうね。

4回裏の陽奈先輩のファインプレーは流石の一言です。

陽奈先輩の本職である内野守備も見られるかな？楽しみ。

守備と走力なら陽奈先輩は日葵先輩や他の先輩達に劣りません。

新越谷が勝てる様にもっと応援しなきゃ。

く4人娘 s i d e ③く

梓は三条梓よ。

今日は幼馴染の双葉と雪奈に誘われて新越谷高の練習試合を仕方なく観戦よ。

(ガールズも練習休みだったから、暇にしたのよね)

新越谷高は最近活動再開したって聞いたから、来年の受験に向けて気になる学校の一つだったから双葉達からの誘いは有り難うの気持ちで一杯よ。

新生新越谷野球部の暫定的エースって、4回まで投げたアンダーの渡辺さんなのかしら？

く4人娘 s i d e ④く

私は、天神愛里。

中学の先輩である星歌お姉様が新生新越谷野球部でどんな野球をしてるか気になってつついG Wを利用して見に来たの。

（一時の噂では、野球を辞める為に新越谷高に進学したって聞いてたから）
そしたら、私と同じ様に試合を見に来た3人の女の子達（桜木さん、和泉さん、三条さん）と知り合ったわ。

そうそう、肝心の星歌お姉様は4回を投げて味方の守備における連携不足絡みでの1失点のみ。

打では1安打を記録・・・。

5回以上を任して貰えないのは事前の試合プランの為？

それにしても、意外に新生新越谷野球部やるわね。

く4人娘side終了く

波乱？な予感が感じる6回表が始まると思っていた・・・。

続く。

2 2 球目：対横浜大学付属湾星高戦⑥

↳ 5 回裏終了・グラウンド整備中↳

密かに観戦していた 4 人娘（桜木双葉・和泉雪奈・三条梓・天神愛里）以外にも、実はこの試合を敵情視察しに来てる 2 人組がいた・・・。

↳ 敵情視察朱里 & 高坂ペア side ↳

今日、私はチームメイトの高坂さんと一緒に新越谷対横浜大付属湾星高の練習試合を視察しに埼玉県営大宮公園球場へ。

新越谷には、小学校の時に仲良かった星歌（渡辺）と蓮華（志木）がいるから試合後にでも会おうかな・・・

（高坂さんが良ければだけど）

「今日は折角の練習休養日だから、寮でゆっくりしつつ高坂さんを相手に投球練習でもしようかと思ってた矢先に・・・」

「私も朱里ちゃんと同じで寮でのんびりしながら自主トレでもって考えたら・・・」

「昨日の夕飯後に杏会長から、明日実施予定と情報が入ってる新越谷・梁幽館・美園・白糸台・柳大川越の各校の練習試合をクジによるペアを作って敵情視察してきて欲しいな♪って」

（あのクジ・・・、何かしらの細工されてないよね？）

「それから、言われた通り河野会長のクジを引いてペアを作って・・・」

（そう言えばあのくじで・・・、ペアの一人が必ず投手が出来る人が選ばれてるけど・・・偶然？）

「いつもよりかは早く起きて、音姫の特製朝食を食べて出発して高坂さんと一緒に埼玉県の県営大宮公園球場に来た訳で・・・」

（あの時間にみんなの分の朝食があったから、音姫自身は何時起き？）

「音姫ちゃんの朝食もの凄く美味しかった、あれを食べれるなら今回の休日視察も苦じゃあないよ♪」

（今度音姫ちゃんに料理教わろうかな）

会話（愚痴）をしながら、録画等作業をする2人組。

どうやら、この二人組は隣接する千葉県私立聖愛舞浜女子学院「通称：聖女」からわざわざ視察しに来た模様・・・。

他にも同様に千葉から他方面に視察（お願いを聞き）しに行ってるペアがある様で・・・。

「私や朱里ちゃんのペアが担当試合は良いのかも？・・・、確か音姫ちゃんと亜澄ちゃん
のペアは梁幽館対湾星高の試合を担当で試合会場は所沢航空公園球場（埼玉）だよ」

（梁幽館には川越シニアから橘が進学してるから試合結果や橘の結果が気になるし・・・、
更には噂ではく梁幽館の王女様＞なんて二つ名をゲットしたって聞いたけど・・・）

（朱里ちゃん、なんだか思案顔してるから梁幽館か湾星高に仲の良い友達かシニア時代の
チームメイトがいるのかな？）

「次に白糸台対大月女子学園（山梨）の試合を、河野会長自らと戸松さんのペアが担当で試合会場がネッツ多摩昭島スタジアム（東京）」

（白糸台には、川越シニアで大変お世話になった二宮が進学つて聞いているから……。白糸台でも投手適性ある子や、ポジション問わずに才能ある子達の才能を最大限に開花させてる予感がする）

（そして、河野会長からの確かな情報で：既に複数の二つ名を貰ってるらしく……。確か<白糸台の影の司令官>や<白糸台の人形姫>……。二宮らしい二つ名じゃん）

（また朱里ちゃんが思案顔に……。確か杏会長から聞いた話では白糸台には川越シニア時の恋人<二宮瑞希>がいるからね♪って……。今の朱里ちゃんの恋人は私なんだからね）

「更に、那珂学園（茨城）対柳大川越の試合を柏（麻衣）先輩と茜ちゃんのペアが担当で試合会場がノーブルホームスタジアム水戸（茨城）だよ……」

（河野会長は、柳大川越よりもホスト側的那珂学園に興味ありげな雰囲気を出してたげど・・・無意識？）

（茜ちゃん、茨城お土産買ってきてくれると嬉しいな）

それぞれの携帯のメモを見ながら、お互いに確認する2人組。

「最後に、柚葉先輩と田沢さんのペアで・・・視察担当試合が三笠海浜女子学院（神奈川）対美園学院で試合会場が横須賀スタジアム」

（美園には、川越シニアからは金原がいるよな・・・。金原の実力なら外野手のレギュラーになってもおかしくはないか・・・その証拠に二宮と同じで既に二つ名を貰ってる様だし・・・）

（確か、＜美園爆走特急JK＞のはず・・・金原の特徴を捉えた二つ名だね）

（学院対決だねって、音姫ちゃん達で言ってたカードだけ・・・。三度目の朱里ちゃんの思案顔・・・もう・・・川越シニアの人達の事を考えないでよ朱里ちゃん）

（まさか、川越シニア出身だけで聖愛舞浜女子でもあんまり投げてない私にも物騒・・・もしくは実力に合わないな二つ名ついてないよね？・・・あつ、でも河野会長達2年生以外にも早々に1年生で二つ名を貰ってる人達は・・・いるね）

若干高坂彩と早川朱里の心中が乱れ始めた所で二人とも気を取り直す意味も込めて作業の手を止めて、グラウンド整備終了を待つ両校の選手に視線を向けて。

「先発の星歌は4回で降板だけど味方のミスによる1失点だから良いと思うし、蓮華も打撃にリードに良いじゃん」

（あのフオークっぽい球は星歌の決め球かな、それにそれを捕球する蓮華も凄いよ）

「そう言えば朱里ちゃんが言う星歌選手や蓮華選手は、どう言う関係なの？」

（なんだか川越シニアの人達より気になっちゃう・私って嫉妬深いっけ？）

「星歌と蓮華は小学校の時の友達だよ、訳あって途中で転校したけど・」

「それじゃあ、試合後に久々の再会突撃しちゃおうよ！」

（心のもやもやを晴らす為にも、星歌ちゃん達に小学校の時の朱里ちゃんエピソードを聞いちゃおうと♪）

「高坂さんが良いなら・・・」

（高坂さん悪い笑顔してる・・・、石川さんみたい）

気になる人をピックアップして、高坂さんがマークした人が気になり。

「5回までだけど、星歌達以外にはマークを日葵さんにしたけど高坂さんは？」

（こつちだと、柚葉先輩タイプ似かな？）

「私もかな、あの打撃と走力は脅威だね。後は無安打だけど日葵ちゃんのお姉ちゃんの陽奈ちゃんかな」

（陽奈ちゃんは本職では無い外野守備で魅せたプレーに、ベンチで見せた日葵ちゃんへの様子を評価だよ）

高坂さんは、私と違う視点で陽奈さんをマーク。

後でマークした理由を聞いてみたい。

そろそろグラウンド整備が終わりそうだから、視察を再開しないとね。
頑張れ新越谷ナイン。

く敵情視察朱里&高坂ペア side 終了く

くグラウンド side く

グラウンド整備が終わって、6回表がスタート。

星歌達の攻撃は、8番の董ちゃんからで対する湾星高の投手は3番手右腕の須田舞花さんがマウンドに。

(グラウンド整備中に、なんだか星歌や蓮華ちゃんが知ってる懐かしい感覚の視線と嫉妬

気味の視線？を感じたけど・・・誰かが来てるのかな？)

「ねえねえ蓮華ちゃん、なんだか懐かしい感覚の視線を感じた？星歌は感じたけど・・・」

「微妙ですが、確かに星歌と同様に感じましたよ」

(もしかして、あの子が来てるのでしょうか・・・でもあの子の学校は千葉だったはず)

「もしかしたら、試合後にもその懐かしい感覚の視線の持ち主に会えるかも」

(ぜひ試合に勝って会いたいな)

「運が良ければ会えると思いますから、まずは眼前の試合に集中ですよ星歌」

(片方の視線はあんまり良くない感じがしましたね・・・、柳大川越戦前のもう一人の星歌？みたいな・・・)

董ちゃんは、須田さんの4球目を打ちにいくも左飛に倒れて1アウト。

続くヨミちゃんは、必死に粘ってフルカウントまで持ち込むも・空振り三振に倒れて2アウト。

(打撃で結果を出せて無いから、そのイライラをマウンドでぶつけるよつて次の6回裏に登板のヨミちゃんが星歌相手にキャッチボールしながら言つてたけど・イヤな予感がするよな・・・)

3人目の陽奈ちゃんは、初球を捉えて三遊間を破るヒットで2死1塁で2番の息吹ちゃんに代わる代打の珠姫ちゃんがバッターボックスへ。

《2番投手川口さんに代わりまして、山崎さん。》

「走った!」

カーン

初球エンドランを実行するも、運悪く二塁ベースカバーに入った二塁手の内村さんのグローブにライナーで収まり3アウトチェンジに・・・。

藤井監督が球審の吉川さんに守備位置変更を告げて・・・。

《新越谷、守備の交代をお知らせします》

《1 番中堅手の佐倉陽奈さんが三塁手、先程代打しました山崎さん、そのまま入り2 番捕手。》

《5 番捕手の志木さんが中堅手、9 番三塁手の武田さんが投手になります》

《1 番三塁手佐倉陽奈さん、2 番捕手山崎さん、5 番中堅手志木さん、9 番投手武田さん
以上になります》

現状の新越谷の出場選手

- 1 番 (三) 佐倉陽奈
- 2 番 (捕) 山崎珠姫
- 3 番 (一) 佐倉日葵
- 4 番 (左) 中村希
- 5 番 (中) 志木蓮華
- 6 番 (二) 川崎稜
- 7 番 (右) 大村白菊
- 8 番 (遊) 藤田堇
- 9 番 (投) 武田詠深

《6 回裏、湾星高の攻撃は・・・2 番知野さん》

この回は、2番の知野さんから4番の細川さんへと続く油断出来ない打順から。今日の知野さんは2打0安1三振。

(内野ゴロに、空振三の3打席目・結果を欲しがってるから気を付けてヨミちゃん・珠姫ちゃん)

1・2球目はボールで、その後の3球目の見逃しと4球目のファールでカウントを2・2と整えた5球目は少し甘くなってしまつて・・

カキーン

「葉の前に走者を出せた!」

「やったねチノちゃん!」

知野さんに左安を浴びて、無死1塁で厄介な桜井さんを迎えるけど・・。

<ストライク・バッターアウト!>

厄介な桜井さんを何とか空振三振にヨミちゃんと珠姫ちゃんのバッテリーが仕留めて1アウトに。

(初勝利まで後5人・・)

続く4番の細川さんも連続で抑えて2アウトにしたいけど・・。

<ボールフォア>

ファールを含むフルカウントからの7球目、ヨミちゃんの決め球の魔球が僅かにストライクゾーンから外れてたらしくフォアボールに……。

(球審の吉川さんの腕が一瞬ピクって上がりかけたのに……むく)

1死2・1塁で、5番の楠本さんを迎え。

《5番左翼手：楠本さん》

初球はボールから入り、2球目を……

コン

打球は低いライナー性で、蓮華ちゃんが守る中堅へ。

打球をスライディングギャッチで捕球を試みる蓮華ちゃん……結果は……

<セーフ>

二塁塁審の野中さんの両手が真横に広がりセーフをジャッジ、塁間でストツプしてた二塁走者の知野さんはセーフの判定から改めてスタートして1死満塁に……。

<タイム！>

芳乃ちゃんからの伝言を携えて、伝令として主将がマウンド付近に集まってる皆の元

へ。

マウンドの皆に一言二言伝えてベンチに戻ってくる主将。

タイムが解けて、湾星高のバッターは6番の伊藤さん。

伊藤さんは、星歌には2打1安1打点だったけどヨミちゃんに代わってからはどうか・・・。

《6番一塁手：伊藤さん》

初球はボール、2球目はストライクとカウントを1・1にしてからの3球目・・・。

(ウソ!!)

(今日はラッキー♪)

ヨミちゃんがまさかのすつぽぬけ暴投で、1点を返されて4対2で尚1死2・3塁・・・ベンチの芳乃ちゃんの指示で、外野が少し前に出て内野は定位置の守備に。

伊藤さんにフルカウントまで粘られるも、稜ちゃんへの二ゴに取って2アウト。

その間に3塁走者細川さんが生還で、4対3の1点差で2死3塁・・・。

(なんとか2死まで来た・・・、初勝利まで後4人・・・)

《7番投手：須田さん》

スイングを見るに打撃が好きタイプ投手と見える須田さん……。

そんな須田さんは、2ストライクからの3球目を良い音で捉え……。

カキーン

一瞬吹いた風にも味方された打球は、勢いを失って中堅の蓮華ちゃんがキャッチして3アウトチェンジ。

ヨミちゃんが珠姫ちゃんや陽奈ちゃん達にフオローされながらベンチに戻ってくる

「ごめんみんな……折角のリードが……」

「まだ1点リードしてるよ！、同点にされた訳じゃあないから大丈夫だよヨミちゃん！」

「ヨミ、さっきの須田さんの打球だって、外野の頭を超えそうな打球だったけど天にも味方されて蓮華が捕球出来たじゃない」

「残りあと1イニング、初勝利目指して頑張ろう！」

「この回は、日葵からだから1点でも取り返してくるね」

「まだツキはこちらにある」

「取られたら取り返せば良いのよ」

ベンチにいる星歌達、そしてヨミちゃんと一緒にグラウンドから戻って来た日葵ちゃん達の言葉でヨミちゃんも少しずつだけ元氣を取り戻してきて……

「7回はピシヤリと抑えるよ！」

(あれ？7回は日葵ちゃんが投げる予定じゃあ？)

7回も投げるつもりヨミちゃんに対して・・・

「詠深ちゃん、ごめんね7回は日葵ちゃんで行くから・・・」

「ヨミちゃん！次は日葵が登板だよ」

「ヨミちゃん、次は日葵ちゃんのはず」

芳乃ちゃん・日葵ちゃん・珠姫ちゃんの三者に突っ込まれてorzの格好になったヨミちゃんでした・・・。

(初勝利まで・・・後3つのアウト・・・頑張ろう！オー！！)

くグラウンドside終了く

く4人娘side②く

「ゆつきーにあずつちにそれに天神さんヤバイよヤバイよ、リードが1点差だよ1点差！」

「落ち着いて双葉ちゃん、グラウンドにいる陽奈先輩や日葵先輩達の方が双葉ちゃんよりドキドキしてるかもしれないよ」

「双葉落ち着きなさいよ、グラウンドにいない双葉があわあわと慌てても意味ないわよ」

「ジタバタしても取られた点数がTVゲームにみたいに戻ってくる訳では無いので、7回表の新越谷の攻撃は迷惑にならない範囲で全力で応援して裏の守備はナインを鼓舞するように祈りましょ」

「そうだねゆつきーにあずつちに天神さん、よろし全力で攻撃を応援するぞー！」

「はしやぎ過ぎてはめ外さないでね双葉ちゃん」

「双葉のせいだ悪目立ちはしたくないからね！」

「節度が大事ですよ桜木さん」

く4人娘 side ② 終了く

23球目：対横浜大学付属湾星高戦⑦

〈視察者：朱里&彩side〉

6回裏の守る新越谷は、この回から登板の新越谷の3番手武田さんの暴投と内野ゴロの間の2点を返されにリードが1点差に迫られ・・・。

「星歌達の新越谷念願の初勝利まではアウトは3つ、そしてリードは1点・・・最終回の投手はどうするんだろう?」

(武田さんが続投か?、それとも他の誰かが登板?)

「えつとね会長から貰ったマル秘データによれば、新越谷投手陣は兼任も含めて5人でヨミちゃん・星歌ちゃん・2年生の藤原さん・息吹ちゃん・日葵ちゃん」

「ちなみに、ヨミちゃんは初対外試合の柳大川越戦の登板を含めて2試合共に先発だか

らりりーフ登板は初だよ」

（そのりりーフ初登板のヨミちゃんを含めて、残る登板可能投手はベンチの2年生の藤原さんと一塁を守備してる日葵ちゃんの3人・・・）

「武田さんはこの試合で初中継ぎ登板か・・・、改めてロングリリーフも出来る先発兼中継ぎタイプとしての適性判断のテスト登板・・・あるいは今日の試合プランで武田さんの中継ぎ登板が決定してた・・・」

（投手によつては、先発と中継ぎ（抑え）に適性がある選手とどちらかに適性がある選手に分かれるから・・・）

そんな私は、河野会長からは朱里ちゃんはやや先発寄りの先発兼中継ぎタイプだからチームとしては有難いよつて言われたけど・・・。

ちなみに・・・私がいる聖愛舞浜女子学院野球部の投手陣は6人で・・・。

1人目は、柏姉妹で姉の2年生で投手兼外野手の麻衣先輩（左腕）。

河野会長いわく、麻衣は朱里ちゃんと同じ先発兼中継ぎタイプだけどどちらかに専念

させた方が輝くタイプ♪。

2人目は、現エースで妹で2年生の投手兼内野手兼外野手の柚葉先輩。

河野会長いわく、柚葉を現すならjokerかな。先発・中継ぎ・抑え・それに野手としても完璧にこなす・チームとしては切り札的存在にもなるし：起用に悩む子。

3人目は、河野会長自身で、河野会長は捕手がメインながら投手もこなす人。

河野会長曰く投手は、彩ちゃんを育成したい時と気分転換の時に登板する程度のレベルだよ♪って言ってたけど・・・。

4人目は、私の従姉妹で投手兼一塁手兼右翼手の陳音姫（左腕）。

音姫は、河野会長と私の見解は同じで完全先発型左腕で立ち上がりが苦手なのと私と似て無意識に相手に対して手を抜く癖が難点かなって。

5人目は、妹さんもいる中等部からの進学組の外野手兼任の中野さん。

河野会長曰く、中野さんはどちらかと言えば先発向きかなと・欠点は投手返しについて咄嗟に利き手を出す癖をなんとかしてと。

最後の6人目が私こと早川朱里。

私がいる野球部の投手陣の説明はこれで終了するとして・・・。

グラウンドの星歌達の方に意識・視線を向けるとしよう。

新越谷の初勝利まであともう少しだよ。

「視察者：朱里&彩 side 終了」

延長戦を除けば、最終回となる7回の表裏・・・。

マウンド上の湾星高の投手は、6回から引き続き須田さん。

対して、星歌達の攻撃は3番の日葵ちゃんから。

「この回に追加点を入れて、ヨミちゃんや投げる予定の日葵自身の投球が楽になるように頑張るよ♪」

意気揚々と、先頭打者としてバッターボックスへと向かう日葵ちゃん。

カキーン

1Bからの真ん中低めストレートを捉えて、中堅オーバーの二塁打で出塁の日葵ちゃ

ん。

続く4番の希ちゃんは、1・3からの5球目を選んで四球で無死1・2塁で5番の蓮華ちゃんが打席に。

蓮華ちゃんは、自身はアウトになるも進塁打になる一ゴロで1死2・3塁で6番の稜ちゃんが意気揚々と右打席へ。

「おっしやー、ここで打って正遊撃手アピールだぜ」

《ボールフォア!》

対して、守備の湾星高側は稜ちゃんを敬遠気味の四球で出塁させてでも1死満塁にして7番の白菊ちゃんとの勝負に。

(先日の2試合の練習試合藤和戦、大鷲戦、そして本日の湾星高戦と攻守共に未だ良い結果を出せてません・・・)

(この回の裏に投げるヨミさん、もしくは日葵さんの為そしてチームの初勝利為にも必

ず打ち塁上の皆さんをホームへと返します）」

自らの名前がコールされるまでにネクストバッターサークルで、精神統一していると思う白菊ちゃんにベンチから芳乃ちゃんから芳乃ちゃんが歩み寄り耳元で一言二言囁いて再びベンチへと。

（芳乃ちゃん、どんなアドバイスを白菊ちゃんにしたんだろう？）

芳乃ちゃんのアドバイスを受け、気迫漲るオーラを漂わせ白菊ちゃんが右打席へ。

相手の内野・外野の守備シフトは、共に前進守備を。

内野手の間を抜ければ1点は確実、外野手の頭上を越す打球を放てば塁上の走者のみんなが帰還できるチャンス。

気迫漲り闘志が溢れ、威圧感バリバリの右打席の白菊ちゃんへマウンド上の須田さんが初球を投げ……。

(ガキーン)

須田さんが投げた初球を捉えた凄い打撃音・金属音をグラントに響かせ放った打球は……。

(ドン!!)

相手外野手が一步も動けない、打った瞬間に本塁打と分かるセンターバックスクリーンの電光掲示板の一部に直撃する記念すべき新生新越谷野球部チーム第1号となる満塁本塁打に。

三塁走者の日葵ちゃん・二塁走者の希ちゃん・一塁の走者の稜ちゃんがゆつくりと歩きながらホームベースを踏んで、ホームベース付近でこの回の一塁ベースコーチの息吹ちゃんと一緒にヒロインの白菊ちゃんを待つ。

白菊ちゃんは、本塁打の感触を確かめながらゆつくりと一塁・二塁・三塁とベースを踏んでこの回の一塁ベースコーチの星歌と軽くタッチして日葵ちゃん達が待つ本塁へ

と。

「白菊ちゃんの本塁打がチーム記念の第一号♪」

「白菊ちゃん飛ばし過ぎ」

「チーム第一号が満塁弾って、白菊は何かを持つてるよな」

「私にはあんな飛距離にパワーは無理ね」

「やっと、チームと皆さんの役に立てれました」

本塁付近で日葵ちゃん達からの祝福のヘルメット叩き等を貰いながら日葵ちゃんと会話しつつ、ベンチへと凱旋してくる白菊ちゃん。

今度は、ネクストサークルにいる董ちゃんやベンチのみんなや監督とタッチしながら、言葉と祝福のヘルメット叩きを貰う白菊ちゃん。

「白菊ちゃんナイス一撃だよ」

「白菊、チーム第一号おめでとう」

「今日のヒロインは白菊ちゃんね」

「初本塁打おめでとうございます」

「大村さんには満塁女神の加護があるのね」

「失点した分を取り戻してくれてありがとうございます！」

「大村さんの本塁打で、チーム初勝利がぐっと近づきました」

「白菊ちゃん本塁打おめでとう」

恥ずかしそうにそれでいて嬉しそうにベンチに戻り、給水をしながら息を整える白菊ちゃん。

白菊ちゃんに満塁弾を浴びて動揺してると思われる須田さんは、次の董ちゃんに安打を許すも続くヨミちゃんを投併殺にとつて3アウトに。

残すは7回裏の3つのアウト攻防のみ。

6回に続きヨミちゃんが続投か、それとも日葵ちゃんが予定通りに登板か・・・。

芳乃ちゃん・藤井監督の判断は・・・。

く続くく

24球目：対横浜大学付属湾星高戦⑧

（朱里&彩side）

新生新越谷野球部初勝利まであと3アウト・・・。

点差が1点から5点と広がったから、マウンドの日葵さんは余裕を持って投球出来ると思うけど・・・。

「投手によつては、僅差の方が投げやすいタイプと点差がある方が投げやすいタイプいるからね・・・」

（日葵さんはどっちのタイプか・・・）

「ぱっと見だけど、日葵ちゃんはコントロールは良さげだね」

（杏会長からのマル秘データだと、投手時はある癖があるってその癖が発揮しなければ更に良い投手になれるよって．．．どんな癖なんだろう？）

く4人娘達sideく

古谷ガールズでお世話になった日葵先輩達がいる新越谷野球部初勝利まで後3アウト．．．私がグラウンドにいる訳じゃないのに．．．緊張してきちゃう。

フアイトです日葵先輩。

5点差はあるけど、油断は禁物よ日葵先輩．．．。

相手は8番からの下位打線．．．私なら大胆にそして繊細に攻めますが．．．6回からマスクを被る山崎さんはどうリードされますか？

くグラウンドsideく

現在のイニングは延長戦がなければ、最終回予定の7回裏。

マウンド上は、ヨミちゃんではなくて予定通りにこの回から日葵ちゃんが。

対する湾星高の攻撃は、8番で途中から三塁から三塁へ守備位置を変更してる北川さんからの攻撃。

<アウト!>

先頭打者の北川さんを、日葵ちゃん・珠姫ちゃんバッテリーは0B/2Sから三塁を守備する陽奈ちゃんを襲う痛烈な当たりな三塁ゴロに打ち取って1アウトに。

続く、9番の益子さんも1B1Sから内角のストレートを詰まらせて遊ゴロに取って2アウトに。

2死走者なしで、守備からの途中出場の1番二塁手で董ちゃんや稜ちゃんの同級生の内村さんが打席に。

その内村さんは・・・。

<フェア!>

「月! ナイスバッティング!」

「野球は2死から!」

「月さんの二塁打を切欠に1点でも多く返すわよ!」

1Sからの2球目の外角のストレートを、右翼線に上手く弾き返して二塁打で出塁の内村さん。

2死2塁で続く2番の知野さんが・・・、1B1Sからの内角高めストレートをフルスイングで捉えて・・・。

(カキーン)

無情にも無人の芝生のレフトスタンドに突き刺さる2点左中間本塁打を・・・、これで点差は3点差に。

悪い流れは止まらず・・・。

更に3番の桜井さんが、3B1Sからの5球目を捉えて左翼線の二塁打・4番の細川さんは内角高めの初球を打たせて打球を詰まらせながらもレフトの希ちゃんの前に落ちるタイムリーを浴びて2点差に・・・。

2死無走者からの4連打（1本塁打を含む）で2点差に迫った事により、湾星高ベントの雰囲気は最高潮を迎えようとしていて・・・。

「1発が出れば同点！」

「頼むよ美晴！」

「相手投手、野手としては良いけど投手としてはいまいちだから打てるぞ！」

「多分同じ1年生と思うから美晴負けんな！」

逆に、マウンド上で何だか自信なさげに星歌達のベンチをみる日葵ちゃん・・・。

そんな日葵ちゃんを見て、珠姫ちゃんが守備のタイムをとってマウンドへそれに伴って内野陣のヨミちゃん達とベンチから監督（芳乃ちゃん）の伝令として星歌もマウンドへ。。

「日葵ー、逆に走者が居ないから投げやすくなったはずよ・・・落ち着いて珠姫さんのミットを目掛けて投球すれば日葵なら絶対に大丈夫」

（今は自信を失いかけてますが日葵なら大丈夫、だって私の自慢の妹ですから）

「日葵ちゃん2死だよ、後アウト1つでこの試合は試合終了。私達の初勝利に向けて後少しでも良いから一緒に頑張ろ」

（前のイニングで打たれて失点した私が堂々と言える立場じゃ・ないけど）

「まだ2点差はあるし、気楽に投げようぜ」

（今は日葵が頼りなんだ）

「日葵ちゃんの球は調子良いよ、偶々内村さん・知野さん・桜井さんに続けて上手く打れたけど日葵ちゃんの球なら抑えられるよ」

（3失点は日葵ちゃんだけじゃなくて、私の責任でもあるんだから・しつかりしなきゃ私）

「そんな自信なさげに投球してたら相手打者に勝てないわ、練習時の様にいつも通りに投げれば日葵なら勝つから」

（頑張れ日葵）

「ベンチにいる星歌達も、今マウンドにいる内野のヨミちゃん達もそして外野にいる蓮華ちゃん達も日葵ちゃんなら抑えてくれると信じてるよ」

（後アウト1つ・・・、野球の神様・・・日葵ちゃんに力をお願いします・・・）

「珠姫ちゃん達タイムを取ってまでの円陣組んでの応援ありがとう・・・、うんそうだよね・・・。2死無走者からの連打で2失点して日葵少しだけ内心パニックになって自信を失いかけてたのかも・・・」

（失点して仮にサヨナラ負けしてもさ、学校が廃校や野球部がまた活動休止になる訳がないんだし・・・気楽に投球すれば良いのかも♪）

タイムが終わってマウンドの円陣が解けて、みんなそれぞれの守備位置へと・・・。

星歌はベンチに戻って、日葵ちゃんの投球を祈り・・・。

仕切り直しに、日葵ちゃんが捕手の珠姫ちゃんのサインを見て・・・頷いてバッターに

向けて投げる・・・。

その結果は・・・。

く続くく